大　学　院　案　内

令和６年（2024 年）度

医学研究科医科学専攻
（修士課程）

埼玉医科大学大学院

目　　次

1 校　歌 …… 1

2 序　文 …… 3

3 埼玉医科大学の教育方針 …… 5

4 埼玉医科大学大学院医学研究科医科学専攻の概要 …… 11

5 埼玉医科大学大学院学則等 …… 15

6 履修に関する事項 …… 29

（1）埼玉医科大学学位規則 …… 33

（2）医学研究科医科学専攻の履修モデル …… 39

（3）大学院修士課程の長期履修生制度 …… 42

（4）埼玉医科大学大学院科目等履修生受託規則 …… 48

7 授業科目・教員一覧 …… 51

8 シラバス …… 67

（1）共通科目 …… 71

（2）専門科目 …… 115

9 学生生活に関する規定 …… 239

（1）諸手続き …… 259

（2）図書館利用案内 …… 263

（3）ハラスメントに関する手引き …… 266

埼玉医科大学保健医療学部危機管理マニュアル（抄） …… 270

10 その他

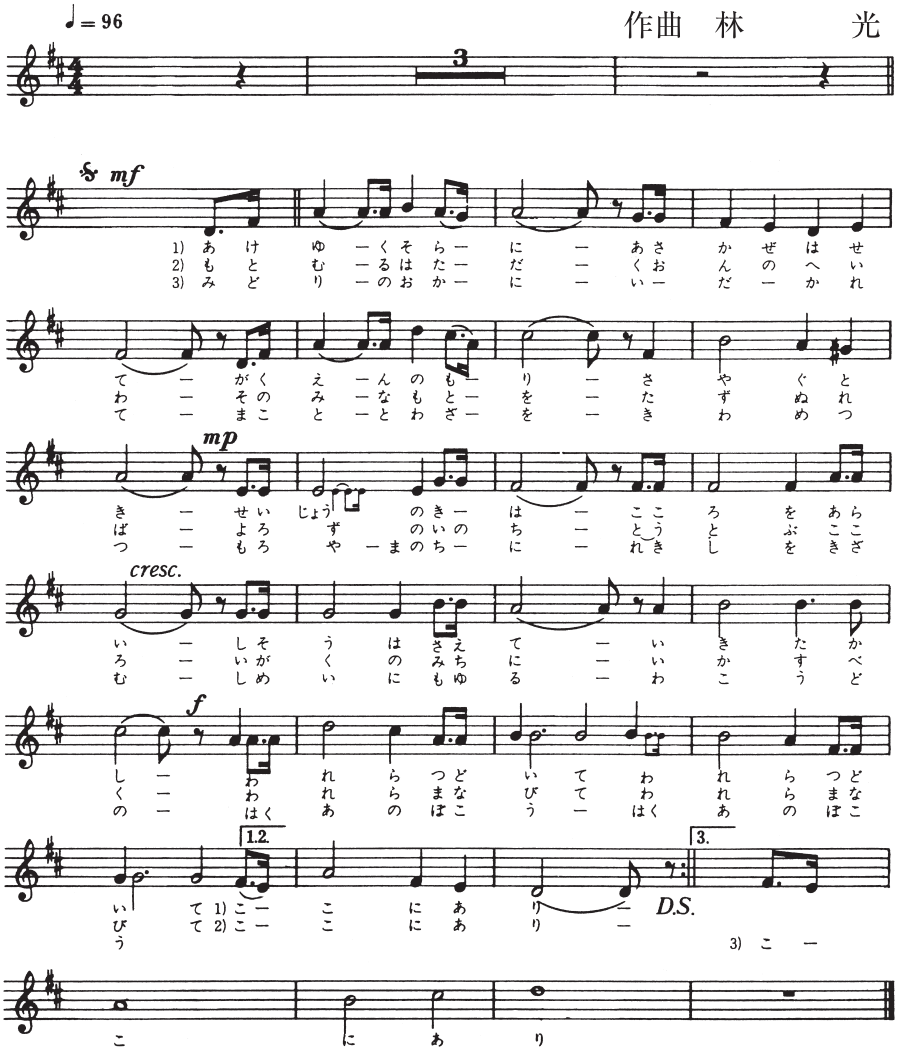
（1）個人情報保護規程 …… 293

（2）校内案内図 …… 301

校　　歌

埼玉医科大学校歌

作詞　栗原　浩
作曲　林　光



前奏

一、明け行く空に　朝風馳せて
学園の森　さやぐとき
清浄の気は　心を洗い
思想は冴えて　意気高し
われら集いて　われら集いて
ここにあり

二、求むるはただ　久遠の平和
その源流を　たずぬれば
よろずの命　貴ぶ精神
医学の道に　活かすべく
われら学びて　われら学びて
ここにあり

三、翠の丘陵に　抱かれて
真理と技を　究めつつ
毛呂山の地に　歴史をきざむ
使命に燃ゆる　若人の
白亜の母校　白亜の母校
ここにあり

序　　文

序　文

本学の大学院は、昭和 53（1978）年に開設された医学研究科博士課程に始まります。この時の目的は、「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与すること」とされ、「専攻分野について、医学研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う」ことを目標としてきました。

一方、わが国の大学院については、様々な課題が指摘されてきました。これに対して、中央教育審議会から、大学院の実質化ならびにグローバル化を推進することを目的に「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」（平成 17 年 9 月 5 日）、続いて「グローバル化社会の大学院教育～世界の多様な分野で大学院修了者が活躍するために～」（平成 23 年 1 月 31 日）という２つの答申が示されました。その後、これらの答申の進捗状況を踏まえて、「未来を牽引する大学院教育改革「社会と協働した「知のプロフェッショナル」の育成」（平成 27 年 9 月 15 日）、さらに「2040 年を見据えた大学院教育のあるべき姿」（平成 31 年 1 月 22 日）が公表されました。各大学では、これらを参考に大学院改革を進めております。

本学においては、1)大学院組織と指導教員の体制整備、2) 選択必修コース(実用実験医学特別講義、最新医学特別講義)による体系的なプログラムの組み立て、3) 専門医養成を目標とするがんプロフェショナル養成プランへの参画、4) 社会人および外国人選抜枠の設置、5) 学位審査の適正化および透明性の確保、6) 秋入学制度の導入、7) 卒後臨床研修と大学院履修が同時に可能な臨床研修プログラム（研究マインド育成自由選択プログラム）の導入、8）指導教員資格の見直し、等々の改革を実行してまいりました。

また、本学では平成 18 年(2006)4 月に保健医療学部が開設され、平成 22 年（2010 年）に保健医療学部から初めての卒業生が誕生するのにあわせて、大学院修士課程が設置されました。その目指すところは、「広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うこと」であり、「建学の理念」に基づいて描かれた「埼玉医科大学の期待する医療人像」にふさわしい人材を育成し、社会に送り出すことを通じて、世の中の保健、医療、福祉の向上に寄与する、という本学の目標を具体化したものです。

本学の医学研究科ならびに看護学研究科の修士課程は、これまで順調に発展してきました。今後も、研究に専念できる環境整備、経済的支援、研究指導および支援体制の強化などに取り組み、質の高い大学院教育に務めていきたいと考えます。

令和５（２０２３）年５月５日、WHO は『COVID-19 は国際的に懸念される緊急事態に該当しない』と宣言、我が国でも５月８日から５類感染症へ移行となって、 COVID-19 からの出口がようやく見えてきました。実地臨床医が直面する現状の医療で解決できない多くの課題を解決するため、研究によってこれを明らかにし、解決する糸口を探し出すことが求められています。大学における研究の一翼を担う大学院生ならびに学位取得者の今後の活躍に大きな期待を寄せております。

令和６年度の入学生を心から歓迎し、皆さんが所期の目的を達成することを祈念いたします。

令和６年４月

学長　竹内　勤

埼玉医科大学の教育方針

埼玉医科大学の教育方針

１．埼玉医科大学の教育方針

１）建学の理念

埼玉医科大学は以下の建学の理念の下、1972 年に毛呂山の地に創立されました。

【建学の理念】

■ 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きるすぐれた実地臨床医家の育成
■ 自らが考え、求め、努め、以て自らの生長を主体的に開展し得る人間の育成
■ 師弟同行の学風の育成

２）埼玉医科大学の期待する医療人像

本学の目指すところは、「建学の理念」にすべて言い尽くされており、基本的にはこれに付け加えるものは何もありません。

しかし、本学創立から現在までの間に医学・医療は過去に例を見ない急激な進歩を遂げ、また、社会情勢も大きく変化しました。ことに患者さんの意思尊重の重要性が一層認識され、加えて情報公開時代を迎え、新しい患者－医療人関係の構築が迫られています。

1999 年 11 月に制定された「埼玉医科大学の期待する医師像」は、埼玉医科大学が創立 30 周年を迎えるにあたり、改めて建学の理念を敷衍し、本学の期待する医師像を描いたものでした。

2006 年 4 月、本学は日高キャンパスに新たに保健医療学部を設置し、医師のみならず保健・医療・福祉の担い手である多種多様な医療人を育成する医療系総合大学として、新たな飛躍への道を歩み始めることとなりました。そしてこれを機に、この四半世紀余の変化をふまえて「埼玉医科大学の期待する医療人像（2017 年改定）」を示し、その目指すところを一層明確にして、本学活動の精神的基盤を再確認することとしました。

【埼玉医科大学の期待する医療人像】

■ 高い倫理観と人間性の涵養
＊ 医療人は、生命に対して深い愛情と畏敬の念を持ち、病める人々の心を理解し、その立場に立って、十分な説明と相互理解のもとに医療を行わなければならない。
＊ 医療人は、豊かな人間性を育成すべく、常に倫理観を磨き、教養を積むことに努力しなければならない。
■ 国際水準の医学・医療の実践
＊ 医療人は、生涯にわたり常に最新の知識・技術を学び、自信を持って国際的に最も質の高い医療を提供するよう心掛けなければならない。
＊ 医療人は、医療における課題を自ら解決する意欲と探求心を持ち、国際的視野を

もって医学･医療の進歩に貢献することを心掛けなければならない。

■ 社会的視点に立った調和と協力

＊ 医療人は自らの能力の限界を自覚し、謙虚に他者と協力し、それぞれの立場で患者中心の医療を実践するために、統合力を磨かなければならない。

＊ 医療人は、社会的視野を持ち、健康の保持･増進、疾病の予防から社会復帰、さらに社会福祉に至る保健･医療全般に責任を有することを自覚し、地域ならびに国際社会の保健・医療に貢献しなければならない。

２．埼玉医科大学大学院医学研究科医科学専攻のポリシー

１）ディプロマポリシー

本専攻では、次の要件を満たすとともに、所定の単位を修得し、修士論文を提出して、論文審査および最終試験に合格した人材に対して大学院修士課程の修了が認定され、修士の学位が授与される。

① 医科学に係わる様々な分野において、幅広く深い学識と高い倫理観を有する。
② 専門領域において活躍できる卓越した専門的知識および技能を身につけている。
③ 学際的分野へ対応可能な専門的研究能力を身につけている。

２）カリキュラムポリシー

本専攻は、生体機能科学分野、生体医工学分野及び理学療法学分野の 3 分野で構成されている。カリキュラムは講義・演習と特別研究にわけられ、講義科目は医学関連領域の共通科目と各分野の専門科目に分かれている。

各分野ではそれぞれの専門領域にみあった専門科目を必要十分なだけ配置するとともに、学生の多様なニーズに応えるための特別研究およびその演習を用意している。

① 共通科目は高い倫理観の醸成を含む 3 分野に共通の医学的知識や医学関連領域の高度な専門知識を修得し、活用できる能力を養うために設けている。履修時期は、その後の研究の基礎となることを考慮して、全ての分野において 1 年次に配置してある。
② 専門科目として、各専門分野に応じた高度な専門的知識を習得するための講義と専門的技能を身につけための演習を設定している。講義は、大学レベルでの知識を基礎とし、各分野での研究や専門職に適した内容を特論として設定し、目指す進路に応じて選択可能としている。
③ 専門的研究能力を身につけるための特別研究、特別演習が 2 年次に配当されている。これに先立って、1 年次には学生の希望を勘案して指導教員が決定される。その後、国際的な学術水準と社会のニーズを満たす研究テーマが検討され、研究指導が開始される。

３）アドミッションポリシー

本専攻の教育課程に基づいて学習を重ね、修了に至るためには一定以上の基礎的学力を備えていることが必要条件となるが、これに加えて本専攻では下記のアドミッション・ポリシーを提示している。

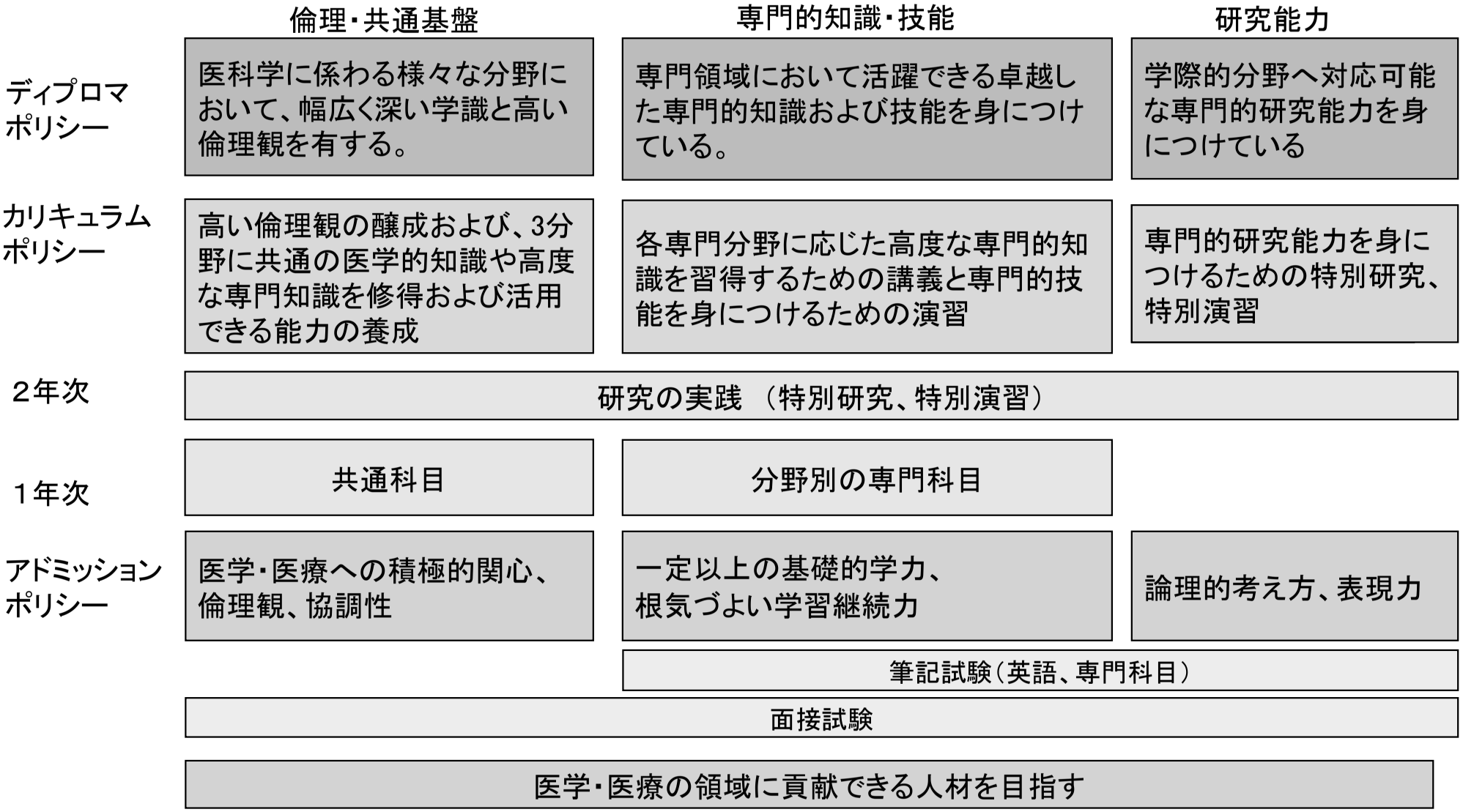
① 医学・医療に積極的な関心を持つとともに、ふさわしい倫理観を備え、くわえて他者の意見に耳を傾けることができる人
② 本専攻の教育課程に基づいて学習を重ね、修了に至るために必要な一定以上の基礎

的学力を備えており、根気づよく学習を継続できる人

③ 論理的に考えを整理し、自分の考えを適確に表現できる人

以上の観点に立ち、筆記試験（英語および専門科目）および面接において適切に評価する。

埼玉医科大学大学院修士課程カリキュラムマップ



埼玉医科大学大学院医学研究科医科学専攻の概要

埼玉医科大学医学研究科医科学専攻の概要

１．埼玉医科大学大学院の歩みとその教育理念

埼玉医科大学は 1892 年（明治 25 年）に創設された毛呂病院を母体として、1972 年（昭和 47 年）に設立されました。その後 34 年を経て、平成 18 年 4 月には保健医療学部が設置され、医療系の総合大学として発展し現在に至っています。

埼玉医科大学大学院医学研究科は、学部の第 1 回目の卒業生が出る昭和 53 年（1978 年）に開設されました。大学院設置の目的は、「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与すること」にあり、また、「博士課程は、専攻分野について、医学研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする」とされました。

その後、大学院をとりまく環境が変化するのにともない、本学の大学院も少しずつ形を変えてきました。その一つは大学院医学研究科の教育目標を「高度で最先端の基礎的・臨床医学研究に従事し、豊かな学識を持つすぐれた医学・医療の指導者を養成することを目標とする」として、新たに臨床的医学研究を目標の一つに据え、しかも医師だけでなく、広く医療人の養成を掲げたことです。また、平成 17 年 9 月の中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」において提唱された、大学院教育の実質化、国際的な通用性、信頼性の向上に関する基本的な考え方をうけて、平成 19 年に大学院教員の組織を改変し、学位論文審査委員の資格要件を定めています。さらに、平成 20 年度から、従来の一般選抜のほかに、社会人選抜、外国人選抜制度を導入し、受験回数もⅠ期・Ⅱ期の２回行い、昼夜開講するなど、大学院入学の機会を広げるための制度改正を行ってきました。

２．医学研究科医科学専攻（修士課程）の設置計画

このように本学に博士課程が設置され 30 年が経過しましたが、医学・医療を取り巻く社会環境の変化、発展とともに、自然科学だけでなく関連科学分野との調和を目指した医科学の発展・充実が望まれ、これらの専門家を育成することが要請されています。

平成 18 年の保健医療学部の設置とともに、保健医療関係の大学院の設置計画については、埼玉医科大学の「第 2 次長期総合計画」（平成 18 年度～22 年度）において示されています。その内容は「…医用生体工学科においても、医用生体工学分野の研究をさらに充実させるとともに、研究や医用機器の開発等に意欲を持つ卒業生を受け入れる大学院修士課程を設置することが構想されている。健康医療科学科においても、たとえば遺伝子診断の高度の検査技術など、特に研究の進展が望まれる分野をカバーする領域において大学院を置いて研究、教育を進展させることには意義があると考えられる。これらの修士課程については、保健医療学部関係で単独の専攻を立ち上げることも考えられるが、医学部と協同して医科学修士課程を新設し、その分野構成に加わるのがむしろ本学全体の構想としては適切なのではないかと考えられる。」と指摘しています。なお、この計画の作成当時は理学療法学科がまだ設置されていませんので、この部分についての記述はありませんが、修士課程設置の方向としては同様に考えています。

３．医学研究科医科学専攻（修士課程）の目的

本研究科の医科学専攻（修士課程）では、医学に係わる様々な分野において、幅広く深い学識の涵養を図るとともに、生命の尊厳に関する高い倫理観を持ち、学際的分野へも対応可

能な専門的研究能力ならびに高い専門性が求められる職業等に必要な卓越した能力を培うことを目的とします。

本専攻は生体機能科学分野、生体医工学分野及び理学療法学分野の 3 分野構成としました。医療・医科学系学部の卒業生、社会人を主な対象とし、ゲノム医科学や再生医科学、環境衛生科学などの学修を目指す生体機能科学分野、生体とその生理現象を医学と工学の両面から解明する生体医工学分野、さらに、各種の生体機能損傷への適切な対応とより高度な機能再生戦略を追及する理学療法学分野を併設することで、入学者の幅広いニーズに対応できるよう工夫しています。また、3 分野の共通科目を設けることにより、多様な人的交流が促進されること、さらに、専攻内の研究報告会などで他分野のスタッフや院生から評価・助言を受けることにより、新たな視点の導入が可能となることも期待されます。

具体的には、既存の医学研究科博士課程、医学部、保健医療学部の教員が協力して構築する共通科目として、医療政策学概論、生命倫理学概論、遺伝カウンセリング学概論、行動科学概論、細胞生物学概論、医療安全管理学概論、病理学概論、生体機能形態学概論、リハビリテーション医療学概論、実験動物学概論、実用実験医学特別講義、統計情報解析特論、疫学方法特論、最新医学特別講義の 14 科目が開講されることで、3 分野の学生には幅広い学問領域を選択受講できる環境が整えられることになります。これまで学んでこなかった新しい領域の知識を獲得し、また、すでに学んできた知識を深めることで、自らの研究テーマの方向性を模索し、あるいは内省するにあたっても、学生には大きな意義のあることと考えられ、さらに学際的なテーマ選択への道も拓ける可能性が考えられます。

例えば、リハビリテーション医療学や医療政策学、医療安全管理学の知識を得ることで、生体機能科学分野や生体医工学分野の学生は、損傷された人体の機能再生に関する安全かつ効率的な成果を生む研究の必要性を考え、また、理学療法学分野の学生は、生体病理病態学や生体機能形態学をより深く学ぶことで、基礎医学的研究の成果に基盤をおいた理学療法の改善を目指し、さらに行動科学理論に裏づけされた実践的な能力の向上にもつながることと思われます。

なお、研究職や教育職を目指す者については、既存の大学院博士課程に進学して、より高度な研究活動を行うための基盤を作ること、また、修士卒業後、技術員等として就職を希望するものについては、各種の現場において大きく貢献できるだけの技術と能力を身に付けさせることが求められると考えています。

４．各分野の人材養成の目標と卒業後の進路

（1）生体機能科学分野

本分野では、分子レベルや人体レベルでの生体機能を科学する研究者あるいは高度専門職業人を育成することを目的としています。この分野で学ぶことにより、環境や食品の安全を測定する分析技術の開発領域や、遺伝性疾患の病態解明や遺伝子治療、再生医学等の最先端領域で活動できる人材となることが期待され、具体的な進路としては学内・学外の博士課程への進学、官公庁等における食品衛生管理部門への就職、大学の教員・研究員・技術員としての就職、未病医学に関わる医療開発分野への就職などが挙げられます。

研究対象とする中心的な学問分野としては、分子医科学、ゲノム医科学、再生医科学、生体病態医科学、生体機能医科学、食品機能学があります。

（2）生体医工学分野

生体医工学は医学・生物学と工学の学際領域であり、生体とその生理現象を医学的立場と工学的立場の両面から解明し、その成果を生命科学や医療に役立てることを目的としており、本分野では医学と工学の境界領域において、研究開発に従事する人材ならびに高度専門職業人として指導的役割を果たし得る臨床工学技術者を育成することを目指しています。

医療の発展・高度化に伴って、生体医工学の研究成果の実用化を目指す研究機関や企業、高度な医療機器を開発・販売する企業が増加しており、また、高度な医療機器の維持や安全

管理のための専門的な知識や技能を有する人材の必要性も増加しています。これらを受けて、卒業後の具体的進路としては、企業の研究開発部門、営業技術部門、エンジニアリング・サービス部門等のスタッフとしての活躍や、医療現場における「医療機器安全管理責任者」としての指導的活動を期待しています。また、本学ないしは他大学の大学院博士課程に進学すれば、大学や研究所等の研究スタッフとなる進路も開けてきます。

研究対象とする中心的な学問分野としては、医療安全工学、生体機能代行工学、生体システム工学、生体信号処理学、生体情報計測学、人間工学、レーザ医工学、光応用計測があげられます。

(3) 理学療法学分野

本分野では、生命倫理学、行動科学、医療安全管理学、実験動物学、統計情報解析学など、幅広い医科学領域の知識を身につけるとともに、生体病理病態学や生体機能形態学などの基礎医学的知識を深めつつ、理学療法の実践に寄与しうる基礎的な研究能力を養い、加えて理学療法の実践能力をさらに向上させることで、様々な疾患や病期・生活環境に対応し、かつ高度な理学療法が実践できる専門職業人を育成することを目的とします。卒業生は高い倫理観と卓抜な実践・教育能力を備え、研究的な視点を絶やすことのない理学療法士として、臨床現場において指導的な活躍ができるようになると考えています。

高齢化が進み高齢者のリハビリテーションのニーズが高まる中、社会からはより高度な理学療法が求められるようになってきました。病院での急性期疾患への対応とともに、デイケア施設や在宅での慢性期疾患への対応がその重要性を増している昨今、高度な能力を備えた理学療法士の存在意義は高まる一方と思われます。卒業後の具体的進路としては、基幹病院から地域の各種施設への就職が期待できます。

研究対象とする中心的な学問分野としては、筋骨格の機能・構造やスポーツ障害を含めた筋骨格理学療法、高齢者の運動耐容能や内部疾患、高次脳機能を含めた神経理学療法があげられます。

埼玉医科大学大学院学則等

埼玉医科大学大学院学則

（昭和 53 年 3 月 24 日制定）
改正 昭和 57 年 4 月 1 日 平成元年 4 月 1 日
令和 4 年 3 月 26 日

目　次

第１章　総則
第２章　組織
第３章　修業年限
第４章　学年度、学期及び休業日
第５章　授業科目、研究指導及び履修方法
第６章　入学、留学、休学、転学及び退学等
第７章　課程修了及び学位の授与
第８章　除籍及び賞罰
第９章　学費
第１０章　教員組織
第１１章　運営
第１２章　特別研究学生、協力研究員及び科目等履修生
第１３章　補則

第１章　総則

（目的）

第１条　埼玉医科大学大学院（以下「本大学院」という。）は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与することを目的とする。

2　本大学院に置く課程は、修士課程及び博士課程とし、その目的は次のとおりとする。

(1)　修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

(2)　博士課程は、専攻分野について、医学研究者として自立して研究活動を行うのに必要な、高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

3　本大学院は、研究科又は専攻ごとに、人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的等を定めるものとする。

第２章　組織

（研究科・専攻・課程）

第２条　本大学院に、次の研究科、専攻及び課程を置く。

研究科名	専攻名	課程名
医学研究科	生物･医学研究系専攻	博士課程
	社会医学研究系専攻	
	臨床医学研究系専攻	
	医科学専攻	修士課程
看護学研究科	看護学専攻	修士課程

第３条　削除

第４条　削除

（定員）

第５条　各専攻の定員は、次のとおりとする。

研究科･専攻	入学定員	収容定員
医学研究科生物･医学研究系専攻	10 名	40 名
医学研究科社会医学研究系専攻	4 名	16 名
医学研究科臨床医学研究系専攻	36 名	144 名
医学研究科医科学専攻	8 名	16 名
看護学研究科看護学専攻	10 名	20 名

第３章　修業年限

（修業年限・在学年限）

第６条　修士課程の標準修業年限は２年とし、博士課程の標準修業年限は４年とする。

2　各研究科の修士課程においては、別に定めるところにより、学生が職業を有している等の事情により、２年の標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

3　在学年限は、本条第１項の標準修業年限の２倍を超えることができない。

第４章　学年度、学期及び休業日

（学年）

第７条　学年度は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。ただし、第 13 条の規定により後期の始めに入学させた者の学年度は、10 月 1 日に始まり、翌年 9 月 30 日に終わる。

（学期）

第８条　学年度を分けて次の２学期とする。

(1)　前期　4 月 1 日から 9 月 30 日まで

(2)　後期　10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

（休業日）

第９条　休業日は、次のとおりとする。

(1)　日曜日

(2)　国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日

(3)　大学創立記念日　5 月 4 日

(4)　春季休業日　4 月 1 日から同月 7 日まで

(5)　夏季休業日　7 月 11 日から 9 月 10 日まで

(6)　冬季休業日　12 月 25 日から翌年 1 月 7 日まで

2　学長は、必要により前項各号の休業日を変更し、あるいは臨時に休業日を設け、又は休業日に授業を行うことができる。

第５章　授業科目、研究指導及び履修方法

（授業科目及び研究指導）

第１０条　研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

2　研究科の各専攻における授業科目は、別表１から３のとおりとする。

3　研究指導については、別に定める。

（他の大学院等における研究指導）

第１０条の２　研究科において教育上有益と認めるときは、他の大学院又は研究所等との協議に基づき、学生が当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。

2　前項の研究指導のうち連携大学院に関し必要な事項は、別に定める。

（履修方法）

第１１条　学生は、前条に定める授業科目について、別表に従って医学研究科では 30 単位以上、看護学研究科では 32 単位以上を履修しなければならない。

2　前項の単位の計算については、埼玉医科大学学則第１３条の規定を準用する。

3　履修する授業科目の選定は、指導教員の指示に従うものとする。

4　指導教員が、研究指導上必要があると認めたときは、研究科長の承認を得て、他の専攻又は学部の授業科目を履修させることができる。

5　学生は、履修する授業科目を所定の届書に記載し、指定の期日までに研究科長に提出しなければならない。

6　この条に定めるもののほか、授業科目の履修について必要な事項は研究科委員会が定める。

（教育方法の特例）

第１１条の２　本大学院は、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

（履修単位の認定）

第１２条　履修単位の認定は、筆記又は口述試験若しくは研究報告等により行うものとする。

2　疾病その他やむを得ない事情のため、正規の試験を受けることができなかった者には、追試験を受けさせることができる。

3　各授業科目の試験又は研究報告の成績は、Ａ．Ｂ．Ｃ．Ｄをもって表し、Ａ．Ｂ及びＣを合格、Ｄを不合格とする。

第６章　入学、留学、休学、転学及び退学等

（入学の時期）

第１３条　入学の時期は、学期の始めとする。ただし、学長は後期の始めに入学を許可することができる。

（入学資格）

第１４条　修士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者

(2)　学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者

(3)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者

(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者

(5)　我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6)　専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(7)　文部科学大臣の指定した者

(8)　学校教育法第 102 条第 1 項に規定する学士の学位を有する者
(9)　学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学に在学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
(10)　本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者

2　博士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
(1)　大学の医学、歯学又は修業年限が 6 年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者
(2)　外国において、学校教育における 18 年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学)を修了した者
(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学)を修了した者
(4)　我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
(5)　文部科学大臣の指定した者
(6)　学校教育法第 102 条第 1 項に規定する修士の学位を有する者
(7)　学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学に在学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
(8)　本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者

(入学試験)

第１５条　入学を志願する者は、入学検定料 30,000 円を添えて、所定の入学願書及び必要書類を指定の期日までに提出しなければならない。

2　入学者の選抜時期、選抜方法等は、別に定める。

(入学手続)

第１６条　入学を許可された者は、所定の期日までに入学金その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

2　前項に規定する手続を取らない者は、入学の許可を取り消すことがある。

(留学)

第１７条　本大学院との協定による国内外の大学院又はこれに相当する教育研究機関に留学しようとする者は、研究科委員会に願い出なければならない。

2　休学することなく留学できる期間は、原則として１年とする。ただし、教育上必要と認めるときは更に 1 年以内に限り延長を認める。

（休学）

第１８条　疾病その他やむを得ない事由のため、3 箇月以上修学することができないときは、所定の願書に必要書類を添えて、学長に願い出て休学することができる。

2　学長は、特に必要と認めた者には、休学を命ずることがある。

3　休学の期間は、1 年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事由があると認められるときは、更に 1 年を限り延長することがある。

4　休学の期間は、第 6 条第 3 項の修業年限に算入しない。

（復学）

第１９条　休学期間の満了のとき又は休学期間中にその事由が削減したときは、所定の復学願により、学長の許可を得て復学することができる。

（転学）

第２０条　他の大学院に在学する者が、本大学院に転入学を願い出たときは、欠員ある場合に限り、選考のうえ、これを許可することがある。

2　学生が、他の大学院に転学しようとするときは、所定の転学願により、学長の許可を受けなければならない。

（退学）

第２１条　疾病その他の事由により退学しようとするときは、所定の退学願により、学長の許可を受けなければならない。

（再入学）

第２２条　前条の規定により退学した者で、退学後１年以内に再び入学を願い出る者があるときは、欠員のあるときに限り考査のうえ、これを許可することがある。ただし、研究科委員会が特に認めたときは、退学後１年を超える者についても再入学を認めることがある。

2　考査の方法、授業科目の履修その他必要な事項は、研究科委員会が定める。

第 7 章　課程修了及び学位の授与

（課程修了）

第２３条　本大学院の修士課程の修了は、次のとおりとする。

(1)　所定の授業科目について、医学研究科では 30 単位以上、看護学研究科では 32 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

(2)　在学期間に関しては、研究科に２年以上在学すること。ただし、優れた研究業績をあげた者については、１年以上在学すれば足りるものとする。

2　本大学院の博士課程の修了は、次のとおりとする。

(1)　所定の授業科目について 30 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

(2)　在学期間に関しては、研究科に４年以上在学すること。ただし、優れた研究業績をあげた者については、３年以上在学すれば足りるものとする。

3　修了時期は学期の区分に従う。

（学位の授与）

第２４条　前条の規定により課程を修了した者には、次の学位を授与する。

研究科・専攻	学　位
医学研究科生物・医学研究系専攻(博士課程)	博士(医学)
医学研究科社会医学研究系専攻(博士課程)	
医学研究科臨床医学研究系専攻(博士課程)	
医学研究科医科学専攻　生体機能科学分野(修士課程)	修士(医科学)又は 修士(臨床検査学)
医学研究科医科学専攻　生体医工学分野(修士課程)	修士(医科学)又は 修士(医工学)
医学研究科医科学専攻　理学療法学分野(修士課程)	修士(医科学)又は 修士(理学療法学)
看護学研究科看護学専攻(修士課程)	修士(看護学)

2　大学院医学研究科博士課程の課程を経ない者で、学位論文を提出し、その審査及び試験に合格し、前条に定める者と同等以上の学力があると認められた者には、博士（医学）の学位を授与する。

3　学位に関する事項は、埼玉医科大学学位規則で定める。

第８章　除籍及び賞罰

（除籍）

第２５条　次の各号の一に該当する者は、除籍する。

(1)　故なくして３箇月以上授業料その他の学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2)　在学の期間が、修士課程にあっては４年、博士課程にあっては８年を超える者

(3)　死亡した者

(4)　行方不明の届出のあった者

（表彰）

第２６条　優れた研究業績を挙げ、又は学生の模範となる者があるときは、学長は研究科委員会の意見を聴いてこれを表彰することがある。

（懲戒）

第２７条　学生が、本学の教育方針に違背し、又は学生としての本分にもとる行為のある者は、学長は研究科委員会の意見を聴いてこれを懲戒する。

2　懲戒は、けん責、停学及び退学とする。

（退学の要件）

第２８条　前条の退学は、次の各号の一に該当する者について行う。

(1)　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2)　正当の事由なくして出席常でない者

(3)　学則に違背し、又は本学の秩序を乱した者

第９章　学費

（学費）

第２９条　入学金及び授業料は、次のとおりとする。

(1)　入学金（入学時のみ）　300,000 円

(2)　授業料（年額）博士課程　500,000 円

　　授業料（年額）修士課程　700,000 円

(3)　施設設備費（年額）　200,000 円

2　第６条第２項の規定に基づき、当該標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に履修して課程を修了することを認められた者(「長期履修生」という。)については、前項の規定にかかわらず、別に定める。

（学費の納入）

第３０条　授業料は、所定の期日までに納入しなければならない。ただし、願い出により２期に分納することができる。

2　授業料は、休学又は停学中であっても徴収する。

3　退学、除籍又は懲戒退学の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。

4　授業料を所定の期日までに納入しないときは、授業への出席、図書の閲覧、その他施設の利用を認めない。

5　学費の納入の時期その他細目については、別に定める。

第１０章　教員組織

（教員組織）

第３１条　研究科における授業は、本学の大学院教員が担当する。

2　研究科における研究指導は、本学の指導教員が担当する。

3　大学院教員及び指導教員の資格要件については、別に定める。

（研究科長）

第３２条　各研究科に研究科長を置く。

2　選考については、別に定める。

第１１章　運営

（大学院委員会）

第３３条　本大学院に大学院委員会を置き、次の委員をもって組織する。

(1)　学長

(2)　各研究科長

(3)　学校法人埼玉医科大学の理事若干名

(4)　各研究科から選出された教員若干名

(5)　その他学長が必要と認め、大学院委員会の承認を得た者

（大学院委員会の役割）

第３４条　大学院委員会の役割は、次のとおりとする。

(1)　各研究科の連絡調整に関する事項

(2)　大学院と学部その他の機関との連絡調整に関する事項

(3)　その他学長の諮問事項

（大学院委員会の招集）

第３５条　大学院委員会は、学長が招集し、その議長となる。

2　学長に事故あるときは、委員のうちからあらかじめ学長の指名する者が、その職務を代行する。

（大学院委員会の職務）

第３６条　第33条から前条までに定めるもののほか、大学院委員会について必要な事項は、学長が定める。

（研究科委員会）

第３７条　各研究科に、研究科委員会を置く。

2　研究科委員会の構成員及び運営に関する事項は、別に定める。

（研究科委員会の審議事項）

第３８条　研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1)　学生の入学、卒業及び課程の修了

(2)　学位の授与

(3)　前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2　研究科委員会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

（研究科委員会の招集）

第３９条　研究科委員会は、研究科長が招集し、その議長となる。

2　研究科長に事故あるときは、委員のうちからあらかじめ研究科長が指名する者が、その職務を代行する。

（研究科委員会の職務）

第４０条　第 37 条から前条までに定めるもののほか、研究科委員会について必要な事項は、研究科委員会が定める。

第１２章　特別研究学生、協力研究員及び科目等履修生

（特別研究学生）

第４１条　国内外の他の大学院から大学院学生の研究指導の申入れがあったときは、研究科委員会の意見を聴いて受け入れることができる。

2　特別研究学生の受託規則は、別に定める。

（協力研究員）

第４２条　公共又は民間の諸機関から学外研究者の研究指導の申入れがあったときは、研究科委員会の議を経て受け入れることができる。

2　協力研究員の受託規則は、別に定める。

（科目等履修生）

第４３条　本大学院の学生以外の者から本大学院が定める所定の授業科目のうち、一又は複数の授業科目について履修の申入れがあったときは、研究科委員会の意見を聴いて受け入れることができる。

2　科目等履修生の受託規則は、別に定める。

（大学院研究生）

第４４条　本大学院教員の指導を受け、特定の専門事項を研究しようとする者があるときは、研究科委員会の意見を聴いて受け入れることができる。

2　大学院研究生に関する事項は、別に定める。

第１３章　補則

（補則）

第４５条　この学則に定めるもののほか、別段の定めがない限り、学部学生に関する規定を準用する。

2　前項の規定により、学部学生に関する規定を準用するに当たっては、「教授会若しくは教員代表者会議」とあるのは、「研究科委員会」と読み替えるものとする。

附　則

この学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(令和 4 年 3 月 26 日)

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

別表 2（第 10 条関係）医学研究科医科学専攻（修士課程）授業科目及び単位数

◎印の科目は必修科目

修了要件　30 単位

共通科目

授業科目名	授業の形式	単位数	備考
医療政策学概論	講義	2	8 単位以上
生命倫理学概論	講義	2	
遺伝カウンセリング学概論	講義	2	
行動科学概論	講義	2	
細胞生物学概論	講義	2	
医療安全管理学概論	講義	2	
病理学概論	講義	2	
生体機能形態学概論	講義	2	
リハビリテーション医療学概論	講義	2	
実験動物学概論	講義	2	
実用実験医学特別講義	講義	2	
統計情報解析特論	講義	2	
疫学方法特論	講義	2	
最新医学特別講義	講義	2	
老年学概論	講義	2	

専門科目

分野	授業科目名	授業の形式	単位数	備考
生体機能科学分野	ゲノム医学特論	講義	2	必修を含む 22 単位以上
	生体・病態医科学特論	講義	2	
	生体機能科学特論	講義	2	
	栄養学特論	講義	2	
	環境衛生科学特論	講義	2	
	環境微生物学特論	講義	2	
	脳科学特論	講義	2	
	分析医科学特論	講義	2	
	臨床検査医学特論	講義	2	
	◎生体分子機能医科学演習	演習	4	
	◎生体分子機能医科学特別研究	実験・実習	8	
生体医工学分野	医療安全工学特論	講義	2	
	生体機能代行工学特論	講義	2	
	生体システム工学特論	講義	2	
	生体信号処理特論	講義	2	
	生体情報計測特論	講義	2	
	人間工学特論	講義	2	
	レーザー医工学特論	講義	2	
	光応用計測特論	講義	2	
	◎生体医工学演習	演習	4	
	◎生体医工学特別研究	実験・実習	8	
理学療法学分野	理学療法研究方法論	講義	2	
	人体機能形態学特論Ⅰ	講義	2	
	人体機能形態学特論Ⅱ	講義	2	
	徒手理学療法学特論	講義	2	
	がん理学療法学特論	講義	2	
	予防理学療法学特論	講義	2	
	筋骨格理学療法学特論Ⅰ（上肢・脊椎）	講義	2	
	筋骨格理学療法学特論Ⅱ（下肢）	講義	2	
	神経理学療法学特論Ⅰ（治療計画）	講義	2	
	神経理学療法学特論Ⅱ（手技）	講義	2	
	スポーツ理学療法学特論	講義	1	
	スポーツ理学療法学演習	演習	1	
	◎理学療法学演習	演習	4	
	◎理学療法学特別研究	実験・実習	8	

埼玉医科大学大学院の目的に関する規則

(趣　旨)

第１条　この規則は、埼玉医科大学大学院学則第１条第３項の規定に基づき、大学院の各研究科におく専攻ごとの人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定めるものとする。

(各研究科専攻の目的)

第２条　各研究科におく専攻ごとの目的は、次のとおりとする。

(1)　医学研究科生物・医学研究系専攻(博士課程)は、生物・医学研究分野に関する研究者として、高度で最先端の基礎的研究に従事し、自立して研究活動を行うに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(2)　医学研究科社会医学研究系専攻(博士課程)は、社会医学研究分野に関する研究者として、高度で最先端の社会医学研究に従事し、自立して研究活動を行うに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(3)　医学研究科臨床医学研究系専攻(博士課程)は、臨床医学研究分野に関する研究者並びに職能人として、高度で最先端の臨床医学研究に従事し、自立して研究・医療活動を行うに必要な能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(4)　医学研究科医科学専攻(修士課程)は、医科学に係わる様々な分野において、幅広く深い学識と高い倫理観を持ち、学際的分野へも対応可能な専門的研究能力並びに卓越した技能を有する高度専門職者を育成することを目的とする。

(5)　看護学研究科看護学専攻(修士課程)は、科学的・研究的視点をもとにして、高い倫理観と高度な研究能力、実践能力及び多様な人々に対する生活支援能力を有する看護職者を育成し、地域のケアニーズに応えることを目的とする。

附　則

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

履修に関する事項

履修に関する事項

授業科目の履修に当たっては、以下の内容を十分理解のうえ、履修登録を行うこと。

1　共通科目

共通科目には医療政策学概論等 14 科目の授業科目（講義）があり、このうち８単位以上を修得しなければならない。（教員一覧、シラバス参照）

2　専門科目

各分野の演習及び特別研究の必修科目を含む計 22 単位以上を、修得しなければならない。（教員一覧、シラバス参照）

3　成績は毎学期に筆記試験等により行う

(1)　授業科目の成績は、A、B、C、D による評価とし、A、B 及び C を合格とし、D を不合格とする。

(2)　学位論文及び最終試験の成績は、合否をもって評価し、合を合格、否を不合格とする。

(3)　病気その他やむを得ない事由により成績評価を受けることができなかった者は、願い出により研究指導教員の指定する方法により評価を受けることができる。

4　修了要件

分野ごとの各科目の取得要件を満たし、合計 30 単位以上を修得して、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。（大学院学則、学位規則参照）

5　学位の授与

最終試験に合格した者には修士(医科学)の学位が与えられる。（学位規則参照）

6　履修モデル

授業科目の履修例について、各分野別の履修モデルを示しているので、履修科目を選択すること。（履修モデル参照）

7　長期履修生

修士課程の標準修業年限は 2 年であるが、職業を有し就業しているなどのため、標準修業年限内では修学が困難な学生について、修業年限を 3 年として修学を認めるものである。この制度を活用する場合は、届出ること。（長期履修生制度参照）

8　履修登録

研究指導教員と相談して履修科目を選択し、履修届を提出すること。なお研究指導教員が確認し、押印したものを届出ること。

9．科目等履修生

科目等履修生を希望する場合には、科目等履修生受託規則を参照すること。

医学研究科医科学専攻（修士課程）　学位審査の運用方法

1. 学位審査の申請

学位審査の申請にあたって、申請者は提出期限までに以下の書類を提出する。

(1)学位論文審査願
(2)履歴書
(3)学位論文
(4)論文内容の要旨
(5)学位論文に関する関係倫理指針に基づいて適正な手続きがなされていることを示す書類

2. 学位審査申請資格の審査

提出された申請書類および取得単位数により、下記の申請資格要件を満たしているかの審査を修士課程運営委員会にて行う。

(1)　学位論文および申請書類等が適正に提出されていること
(2)　学位審査の判定時において、修士課程修了の要件に必要な単位取得が見込めること
(3)　「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」等、研究の遂行に際して必要な倫理指針およびCOIに関して適正な手続を経ていること。

3. 学位審査委員会の設置

（学位審査委員会の体制）

(1)学位審査委員会は主査１名、副査２名から構成される。
(2)申請者の論文指導を行った指導教員及び論文作成に関わった教員は、審査委員になることはできないものとする。
(3)原則として主査は申請者と同じ分野から、副査は同じ分野から1名、他分野から1名選出することとするが、学位論文の内容から見て、他に適切な委員がいる場合には、その選出は妨げないものとする。

（学位審査委員会の設置方法）

(1) 申請資格が認定された場合は、修士課程運営委員会にて学位審査委員（主査、副査）の候補者を選出し、医学研究科委員会に報告する。
(2) 修士課程運営委員会の報告を受けて、医学研究科委員会において主査・副査を決定し、学位審査委員会を設置する。

4. 学位審査委員会の進め方・項目

(1)学位審査委員会の開催日程

主査は学位審査委員会の審査結果の提出期限を考慮して開催日程を調整する。

(2)学位審査委員会の運営

①審査委員会の参加者

学位審査委員会は、基本的には非公開とするが、主査、副査および申請者のほか、参加を希望する者はオブザーバーとして出席することを認める。ただし、オブザーバーの発言は認めない。なお指導教員もオブザーバーとして出席可能とする。また、参加者は全員参加表への記名を義務づける。

②学位審査委員会の進行

委員会の時間・進行方法は下記の進行を基本とするが、詳細は主査が決定する。

ア　主査による委員会の開始の挨拶、司会進行、審査委員・申請者の紹介

イ　申請者のプレンゼンテーション

ウ　審査委員による質疑応答

エ　学位審査の判定

(3)学位論文が満たすべき基準

学位審査判定で提出された論文の評価の基準は以下による。

①研究の目的（研究の必要性や意義・将来への有用性）が明確であること。

②研究目的を達成するための対象・方法が科学的根拠に基づき妥当であること。

③結果・結論が客観的なデータが信頼される形で正確に示され、重要な知見および新規性が示されていること。

④申請論文の記述（本文，図表，引用文献など）が十分かつ適切であること。

⑤申請論文が関係倫理指針に基づき、適正な手続きと必要な記述がなされていること。

(4)学位審査の判定、報告

学位審査の判定にあたっては、学位審査委員会にて以下の点を評価して修士の学位の授与するに適格であるか否かの判定を行い、修士課程運営委員会に報告する。

①審査委員は専門領域の知識や経験に基づき科学的に審査し、申請論文が論文審査の基準を満たしているかを評価する。

②審査委員は学位申請論文を中心とした研究成果の発表、審査委員との質疑応答等を通じて、申請者の学力、研究能力、態度及び人格等の総合的な評価をする。

5. 学位授与の判定

(1)学位審査委員会からの判定結果の報告に基づき、修士課程運営委員会にて学位授与の判定について審議し、結果を医学研究科委員会に報告する。

(2)修士課程運営委員会の報告を受けて、医学研究科委員会において学位授与の判定について審議し、決定する。

6. 早期修了

早期修了については、学位論文審査願等の提出期限までに、早期修了の資格を満たして必要な書類を提出したものに限るものとする。

7. 学位審査関係諸規則等

①埼玉医科大学大学院学則
②埼玉医科大学学位規則
③「臨床研究に関する倫理指針と学位申請論文の取扱いについて(学位申請論文に関する３病院の病院長、IRB委員長、倫理委員会委員長との申し合せ)」
④厚生労働省―研究に関する指針についてー
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/hokabunya/i-kenkyu/index.html

8. 学位審査関係の問い合わせ先

保健医療学部事務室
電話:042-984-4801(内線42－3102)
FAX:042-984-4804
E メール：hmaster＠saitama-med.ac.jp

埼玉医科大学学位規則

(昭和 53 年 3 月 24 日制定)
改正 平成 8 年 4 月 1 日 平成 12 年 4 月 1 日
平成 13 年 4 月 1 日 平成 18 年 4 月 1 日
平成 18 年 11 月 20 日 平成 19 年 4 月 1 日
平成 22 年 4 月 1 日 平成 23 年 11 月 18 日
平成 24 年 5 月 21 日 平成 25 年 3 月 15 日
平成 26 年 3 月 12 日 平成 27 年 3 月 12 日
平成 27 年 11 月 20 日平成 29 年 11 月 17 日
平成 31 年 3 月 15 日 令和 2 年 3 月 24 日

(趣旨)

第１条　この規則は、学位規則(昭和 28 年文部省令第 9 号。)第 13 条の規定に基づき、埼玉医科大学(以下「本学」という。)において授与する学位に関し必要な事項を定めるものとする。

(学位の種類)

第２条　本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。

(学位授与の要件)

第３条　次の各号のいずれかに該当する者には、学位を授与する。

(1)　学士の学位は、本学学部を卒業した者

(2)　修士の学位は、本学大学院の修士課程を修了した者

(3)　博士の学位は、本学大学院の博士課程を修了した者

(4)　前号に規定するもののほか、本学に学位論文を提出してその審査に合格し、かつ、専攻学術に関し本学大学院博士課程の修了者と同等以上の学力を有することが確認された者には博士の学位を授与することができること。

2　前項の規定により学位を授与するに当たっては、別表に掲げる区分により、専攻分野の名称を付記するものとする。

(学位論文提出の資格)

第４条　修士課程又は博士課程の学生が、修士又は博士の学位論文(以下「学位論文」という。)を提出するためには、所定の単位等を修得し、学位論文の主題及びその研究計画書を当該指導教員に提出し、その承認を受けなければならない。

2　前条第 1 項第 4 号の規定により本学に学位論文を提出することのできる者は、卒業･修了した課程に応じた研究歴がなければならない。なお、研究歴期間等については、別に定める。

(学位論文の提出)

第５条　本学大学院の修士課程に１年以上在学し、所定の科目について医学研究科にあっては30単位以上、看護学研究科にあっては32単位以上を取得した者は、学位論文審査願により学位論文を提出することができる。

2　本学大学院の博士課程に3年以上在学し、所定の科目について30単位以上を取得した者は、学位論文審査願(様式第１号)により学位論文を提出することができる。

3　学位論文は、在学期間中に提出するものとし、その期日は研究科委員会において別に定める。

4　本学大学院の博士課程に4年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けたのみで退学した者が学位を申請する場合は、第3条第1項第4号の規定の該当者として取り扱う。

(博士の学位授与の申請)

第６条　第3条第1項第4号の規定により博士の学位の授与を申請する者は、学位申請書に、学位論文、履歴書及び学位論文審査手数料(以下「審査手数料」という。)を添えて研究科長を経て学長に提出するものとする。

2　学位論文の提出は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1)　主論文1編とし、他に参考論文を添えることができること。この場合において、論文目録を付すものとする。

(2)　審査のため必要があるときは、研究歴証明書の関係資料を提出させることがあること。

(審査手数料)

第７条　審査手数料は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1)　第5条第2項の規定により申請する場合　30,000円

(2)　前条第1項の規定により申請する場合　200,000円

(学位論文及び審査手数料の返付)

第８条　いったん受理した学位論文及び納入した審査手数料は、いかなる事由があっても返却しない。

(学位論文の審査)

第９条　第5条第1項及び第2項又は第6条第1項の規定により提出された学位論文を受理したときは、学長は研究科委員会にその審査を付託する。

(審査委員会)

第１０条　審査委員会は、研究科委員会が指名する委員をもって構成する。

2　審査委員会は、博士課程にあっては4名以上、修士課程にあっては3名以上とする。

3　審査の主査は、審査委員のうちから研究科委員会が指名する者をもって充てる。

(学位論文の審査及び学力の確認等)

第１１条　審査委員会は、次の各号に定めるところにより学位論文の審査、最終試験及び学力の確認を行う。

(1)　最終試験は学位論文を中心として、口答又は筆答試問によって行うこと。

(2)　第6条第1項の規定により学位論文を提出した者の論文審査については前号と同一の方法によるものとし、更に学力の確認のための試問を行うこと。この場合において、外国語を課すものとする。ただし、医学研究科に所定の年限以上在学し、所定の単位を修得した者については、学力確認のための試問を免除することがある。

2　審査委員会は、審査の結果を研究科委員会に報告する。

3　研究科委員会は、審査について必要があるときは、他の大学の大学院等の教員等の協力を得ることができる。

4　前3項に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

(学位論文の審査期限)

第１２条　審査委員会は、第5条第1項又は第2項の規定に係る者については、在学期間中に審査を終了するものとする。

2　審査委員会は、第5条第4項又は第6条第1項の規定に係る者については論文の審査を委嘱されてから1年以内に審査及び試験を終了するものとする。ただし、特別の事由があるときは、研究科委員会の意見を聴いて学長がその期間を1年以内に限り延長することができる。

(判定)

第１３条　研究科委員会は、第11条第2項の規定による報告に基づき、学長が決定するに当たり学位論文の審査、学力の確認及び試験の合否を議決する。

2　前項の議決に当たっては、研究科委員会の3分の2以上の出席を要し、出席委員の3分の2以上の同意を要する。

3　前項の議決は、無記名投票をもって行う。

(学位の授与)

第１４条　学長は、埼玉医科大学学則第15条及び第16条の規定により卒業した者並びに前条の議決により課程を修了した者及び論文審査に合格した者に対し、学位記により学位を授与し、学位を授与できない者にはその旨通知する。

(論文要旨の公表)

第１５条　学長は、博士の学位を授与したとき、当該博士の学位を授与した日から3月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

第１６条　博士の学位を授与された者は、授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2　前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約

したものを公表することができる。この場合において、本学はその論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3　博士の学位を授与された者が行う前二項の規定による公表は、本学の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。

(博士の学位の名称)

第１７条　博士の学位の授与を受けた者が学位の名称を用いるときは、当該学位名の下に、「埼玉医科大学」と大学名を付記するものとする。

(学位の取消し)

第１８条　本学において学位の授与を受けた者が次の各号の一に該当する場合は、学長は関係学部の教授会又は研究科委員会の意見を聴いて、既に授与した学位を取り消し、学位記を返付させ、かつ、その旨を公表するものとする。

(1)　不正の方法によって学位を受けた事実が判明した場合

(2)　名誉を汚す行為があると認められた場合

2　学部教授会又は研究科委員会において、前項の議決を行う場合は、第 13 条第 2 項の規定を準用する。

(学位記の再交付)

第１９条　学位記の再交付を受けようとする者は、理由を明記して、学長に申請しなければならない。

(登録及び報告)

第２０条　本学において博士の学位を授与したときは、学長は学位簿に登録し、併せて 3 か月以内に学位(博士)授与報告書により文部科学大臣に報告するものとする。

(学位記等の様式)

第２１条　学位記及び学位授与申請関係書類等の様式については、別に定める。

附　則

この規則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 8 年 4 月 1 日)

この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 12 年 4 月 1 日)

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 13 年 4 月 1 日)

この規則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 18 年 4 月 1 日)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 18 年 11 月 20 日)

この規則は、平成 18 年 11 月 20 日から施行する。

附　則(平成 19 年 3 月 19 日)

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 21 年 11 月 13 日)

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 23 年 11 月 18 日)

この規則は、平成 23 年 11 月 18 日から施行する。

附　則(平成 24 年 5 月 21 日)

この規則は、平成 24 年 5 月 21 日から施行し、平成 24 年 3 月 31 日から適用する。

附　則(平成 25 年 3 月 15 日)

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 26 年 3 月 12 日)

この規則は、平成 26 年 3 月 12 日から施行する。

附　則(平成 27 年 3 月 12 日)

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 27 年 3 月 31 日以前に入学した学生に係る別表(学位及び専攻分野の名称)の適用については、従前の例による。

附　則(平成 27 年 11 月 20 日)

この規則は、平成 27 年 11 月 20 日から施行する。

附　則(平成 29 年 11 月 17 日)

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 31 年 3 月 15 日)

この規則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(令和２年３月 24 日)

この規則は、令和２年４月１日から施行する。

（２）医学研究科医科学専攻の履修モデル

生体機能科学分野

区分	授業科目名	開講時期	単位数	分子レベルの生体機能研究	未病医科学関連の研究	臨床検査関連の研究	食品の機能や毒性の研究
共通科目	医療政策学概論	1・前	2				
	生命倫理学概論	1・後	2	2			
	遺伝カウンセリング学概論	1・前	2		2		
	行動科学概論	1・後	2		2		
	細胞生物学概論	1・後	2	2			
	医療安全管理学概論	1・後	2				2
	病理学概論	1・前	2			2	
	生体機能形態学概論	1・前	2			2	
	リハビリテーション医療学概論	1・後	2				
	実験動物学概論	1・前	2	2	2	2	2
	実用実験医学特別講義	1・前	2	2			2
	統計情報解析特論	1・前	2		(2)*	2	2
	疫学方法特論	1・後	2		2		
	最新医学特別講義	1・通	2	(2)*		(2)*	(2)*
専門科目	ゲノム医学特論	1・前	2	2		2	
	生体・病態医科学特論	1・後	2	2	2		
	生体機能科学特論	1・前	2	2		2	2
	栄養学特論	1・後	2	2	2		2
	環境衛生科学特論	1・前	2		2		2
	環境微生物学特論	1・前	2		2	2	2
	脳科学特論	1・前	2	2	2	2	
	分析医科学特論	1・後	2			2	2
	臨床検査医学特論	1・後	2				
	生体分子機能医科学演習	2・通	4	4	4	4	4
	生体分子機能医科学特別研究	2・通	8	8	8	8	8
合　　計				30	30	30	30

( )*は、余裕がある場合に履修を薦める科目

生体医工学分野

区分	授業科目名	開講時期	単位数	研究開発者向け	高度専門職：臨床工学技術者向け
共通科目	医療政策学概論	1・前	2		
	生命倫理学概論	1・後	2	2	2
	遺伝カウンセリング学概論	1・前	2		
	行動科学概論	1・後	2		(2)*
	細胞生物学概論	1・後	2		
	医療安全管理学概論	1・後	2	2	2
	病理学概論	1・前	2		
	生体機能形態学概論	1・前	2	2	2
	リハビリテーション医療学概論	1・後	2	(2)*	
	実験動物学概論	1・前	2		
	実用実験医学特別講義	1・前	2		
	統計情報解析特論	1・前	2	2	2
	疫学方法特論	1・後	2		
	最新医学特別講義	1・通	2		
専門科目	医療安全工学特論	1・前	2		2
	生体機能代行工学特論	1・後	2		2
	生体システム工学特論	1・前	2	2	
	生体信号処理特論	1・後	2	2	
	生体情報計測特論	1・前	2	2	2
	人間工学特論	1・後	2	2	2
	レーザー医工学特論	1・前	2		2
	光応用計測特論	1・後	2	2	
	生体医工学演習	2・通	2	4	4
	生体医工学特別研究	2・通	2	8	8
合　　計				30	30

()*は、余裕がある場合に履修を薦める科目

理学療法学分野

区分	授業科目名	開講時期	単位数	筋骨格理学療法モデル	神経理学療法モデル
共通科目	医療政策学概論	1・前	2		
	生命倫理学概論	1・後	2	2	2
	遺伝カウンセリング学概論	1・前	2		
	行動科学概論	1・後	2		
	細胞生物学概論	1・後	2		
	医療安全管理学概論	1・後	2		
	病理学概論	1・前	2		(2)*
	生体機能形態学概論	1・前	2		
	リハビリテーション医療学概論	1・後	2	2	2
	実験動物学概論	1・前	2	(2)*	
	実用実験医学特別講義	1・前	2		
	統計情報解析特論	1・前	2	2	2
	疫学方法特論	1・後	2		
	最新医学特別講義	1・通	2		
	老年学概論	1・前	2	2	2
専門科目	理学療法研究方法特論	1・前	2	2	2
	人体機能形態学特論Ⅰ	1・前	2	2	
	人体機能形態学特論Ⅱ	1・後	2		
	徒手理学療法学特論	1・後	2	(2)*	
	がん理学療法学特論	1・後	2		2
	予防理学療法学特論	1・前	2		2
	筋骨格理学療法学特論Ⅰ(上肢・脊椎)	1・前	2	2	
	筋骨格理学療法学特論Ⅱ(下肢)	1・後	2	2	
	神経理学療法学特論Ⅰ(治療計画)	1・前	2		2
	神経理学療法学特論Ⅱ(手技)	1・後	2		2
	スポーツ理学療法学特論	1・前	1	2	
	スポーツ理学療法学演習	1・前	1		
	理学療法学演習	2・通	4	4	4
	理学療法学特別研究	2・通	8	8	8
合計				30	30

()*は、余裕がある場合に履修を薦める科目

大学院修士課程の長期履修生制度

修士課程の標準修業年限は２年ですが、職業を有し就業しているなど、標準修業年内では、修学が困難な学生について、修業年限を３年として修学を認めるものです。

（埼玉医科大学大学院長期履修生規則（以下「規則」という。）を参照してください。）

１　修学が困難な者として認める理由（規則第２条の各号）

(1)　職業を有し、就業している者
(2)　家事、育児、介護等に当たる必要がある者
(3)　その他学長が相当と認めた者
※(3)については、(1)や（2）に準じた理由が必要です。

２　長期履修生に志願する手続き（規則第３条）

（志願手続は入学手続き期間内に行う必要があります。）

(1)　長期履修生志願書
(2)　理由書
(3)　職業を有する場合には在職証明書又は在職が確認できる書類
(4)　その他学長が必要と認める書類
※(4)については、育児や介護等を行っている場合に必要な書類とします。

３　長期履修生のための教育課程

（指導教員とご相談ください。）

４　学　費

区　分	学年	入学金	授業料	施設設備費	修業期間の学費の計
一般学生	1	300,000 円	700,000 円	200,000 円	2,100,000 円
	2	―	700,000 円	200,000 円	
長期履修生	1	300,000 円	470,000 円	140,000 円	2,130,000 円
	2	―	470,000 円	140,000 円	
	3	―	470,000 円	140,000 円	

なお長期履修生の学費は、入学金以外を修業年限の２年分を３年間で支払う計算となりますが、１万円未満は切り上げます。

埼玉医科大学大学院長期履修生規則

（趣旨）

第 1 条　埼玉医科大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)第 6 条第 2 項の規定に基づき、修士課程において計画的な長期履修を認められた者（以下「長期履修生」という。）の取扱いについては、この規則の定めるところによる。

（志願資格）

第 2 条　長期履修生に志願できる者は、本学大学院修士課程へ入学する者で、次の各号のいずれかに該当し、標準修業年限内での修学が困難な者とする。

(1)　職業を有し、就業している者

(2)　家事、育児、介護等に当たる必要がある者

(3)　その他学長が相当と認めた者

（志願手続）

第 3 条　長期履修生に志願する者は、入学手続き期間内に次の書類を提出しなければならない。

ただし、原則として入学後 1 年未満の者については、研究科委員会の議を経て提出期間の延長を認めることがある。

(1)　長期履修生志願書

(2)　理由書

(3)　職業を有する場合には在職証明書又は在職が確認できる書類

(4)　その他学長が必要と認める書類

（履修期間の変更）

第 4 条　長期履修生が、認められた履修期間の変更を希望する場合には、各研究科が定める期日までに、次の書類を提出しなければならない。

(1)　長期履修生履修期間変更申請書

(2)　理由書

(3)　その他学長が必要と認める書類

（学費）

第 5 条　大学院学則第 29 条に定める授業料及び施設設備費の年額については、標準修業年限の 2 年分の授業料及び施設設備費の額を、認められた履修期間で除した額（その額が 1 万円未満の場合には 1 万円に切り上げるものとする。）とする。ただし、前条の規定により履修期間の延長が認められた場合においても、授業料及び施設設備費の年額は変更しない。

（決定及び許可）

第 6 条　長期履修生の決定及び前条に規定する履修期間の変更の許可は、研究科委員会の議を経て学長がこれを行う。

（その他）

第 7 条　この規則に定めるもののほか、長期履修生に関して必要な事項は、各研究科が定める。

附　則

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

研究科長　殿

長　期　履　修　生　志　願　書

私は、大学院修士課程の長期履修生として認めていただきたく、
別紙の理由書を添えて志願書を提出します。

年　　月　　日

大学院修士課程　　研究科　　専攻

氏　　名　　㊞

指導教員（予定）氏名　　㊞

長　期　履　修　生　志　願　理　由　書			
研究科 専攻名		氏　名	
（志願理由）			

研究科長　殿

長期履修生履修期間変更申請書

私は、履修期間の変更を認めていただきたく、別紙の理由書を添えて申請書を提出します。

年　　月　　日

大学院修士課程　　研究科　　専攻

氏　　名　　㊞

長期履修生履修期間変更理由書			
研究科 専攻名		氏　名	
（変更理由）			

埼玉医科大学大学院科目等履修生受託規則

第１章　目的

(目的)

第１条　この規則は、埼玉医科大学大学院学則(昭和 53 年 3 月 24 日制定。以下「大学院学則」という。)第 43 条第 2 項の規定に基づき、正規学生の研究及び指導に支障のない範囲において、医学研究科及び看護学研究科における科目等履修生を受託するために必要な事項を定めることを目的とする。

第２章　科目等履修生の受託(科目等履修生の受入れ)

(資格)

第２条　各研究科の科目等履修生として受入れすることができる者は、本大学院学則第 14 条に定める入学資格を持つ者と同等の者とする。

(申請)

第３条　科目等履修生としての受入を志願する者は、所定の期間内に関係書類を添えて学長に申請するものとする。

2　申請の方法、時期については別に定める。

(選考)

第４条　学長は前条の申請があったとき、研究科長に審議を委託する。

2　研究科長は書類審査等大学が定める必要な方法により選考を行い、研究科委員会の議を経て、その受入れの可否を決定し学長にその旨報告するものとする。

3　学長は研究科長の報告を受けて申請者に結果を通知するものとする。

(受入手続、許可)

第５条　合格の通知を受けた者は、所定の期日までに登録料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

2　学長は、前項の受入手続きを完了した者について受入を許可する。

(受入の時期)

第６条　受入の時期は学年又は学期の始めとする。

(履修期間)

第７条　履修期間は、受入を許可された時より 1 年以内とする。

2　前項の履修期間を超えて引き続き科目等履修生として在学する場合は、学長に願い出てその許

可を受けなければならない。

（科目の履修）

第８条　履修できる科目は、各研究科において当該年度に開講される科目とする。

2　履修の登録及び方法については別に定める。

（単位の授与）

第９条　履修を許可された科目を履修し、その試験に合格した場合は単位を授与する。

2　科目等履修生として修得できる単位は年間 10 単位を上限とする。

（受入許可の取消し）

第１０条　科目等履修生が次の各号の一に該当する場合は、学長は審議の上、受入許可を取り消しその旨を当該学生に通知するものとする。

(1)　本学の諸規程その他遵守事項に違反したと認められるとき。

(2)　各研究科で科目の履修を受けることが適当でないと認められるとき。

（授業料及びその納付）

第１１条　科目等履修生の授業料等は次のとおりとする。

(1)　検定料　　20,000 円

(2)　登録料　　30,000 円

(3)　授業料：1 単位あたり　　30,000 円

2　一旦納入された検定料、登録料及び授業料は一切返還しない。

（災害保険等への加入）

第１２条　科目等履修生は、学生教育研究災害傷害保険等に加入しておくものとする。

（損害賠償）

第１３条　学長は、科目等履修生が故意又は重大な過失により、各研究科の施設・設備等に損害を及ぼしたとき、当該学生に対して、損害の全部又は一部について賠償を求めるものとする。

（補足）

第１４条　この規則に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、本学大学院学則を準用するものとする。

（その他）

第１５条　各研究科の科目等履修生として特別なコースを履修する場合の規則については別に定める。

担当教員・オフィスアワー

令和 6 年度　医学研究科医科学専攻(修士課程)　　授業科目名・授業科目責任者一覧

共通科目

授業科目名	授業の形式	学期	曜日・時限	曜日・時限	学年	単位数	授業科目責任者	頁
医療政策学概論	講義	前期	火・3		1	2	小野寺亘	71
生命倫理学概論	講義	後期	木・4	木・6	1	2	大西正夫（非常勤）	74
遺伝カウンセリング学概論	講義	前期	水・3		1	2	難波　聡	77
行動科学概論	講義	後期	木・1	月・6	1	2	菅 理江	79
細胞生物学概論	講義	後期	水・1		1	2	西本正純	83
医療安全管理学概論	講義	後期	火・4	土・1	1	2	中島　勧	86
病理学概論	講義	前期	月・1	月・6	1	2	茅野秀一	89
生体機能形態学概論	講義	前期	火・2		1	2	山岸敏之	93
リハビリテーション医療学概論	講義	後期	月・4	木・7	1	2	國澤洋介	96
実験動物学概論	講義	前期	木・1		1	2	水野由美	99
実用実験医学特別講義	講義	前期	火・6		1	2	永島雅文	102
統計情報解析特論	講義	前期	木・2	木・6	1	2	椎橋実智男	104
疫学方法特論	講義	後期	木・1		1	2	太田晶子	107
最新医学特別講義	講義	通年	金・6		1	2	髙橋健夫	109
老年学概論	講義	前期	火・1	木・7	1	2	新井智之	111

専門科目

分野	授業科目名	授業の形式	学期	曜日・時限	曜日・時限	学年	単位数	授業科目責任者	頁
生体機能科学分野	ゲノム医学特論	講義	前期	月・3	水・6	1	2	奥田晶彦	115
	生体・病態医科学特論	講義	後期	金・1	金・7	1	2	前田卓哉	118
	生体機能科学特論	講義	前期	金・2	木・6	1	2	藤原智徳	122
	栄養学特論	講義	後期	木・1	月・6	1	2	伴場裕巳	126
	環境衛生科学特論	講義	前期	水・5	水・7	1	2	輿五沢真吾	130
	環境微生物学特論	講義	前期	月・4	月・6	1	2	佐藤正夫	133
	脳科学特論	講義	前期	月、木・5		1	2	池田正明	136
	分析医科学特論	講義	後期	火・3	火・7	1	2	飯野 望	140
	臨床検査医学特論	講義	後期	火・1	火・6	1	2	小野川傑	144
	生体分子機能医科学演習	演習	通年			2	4	藤原智徳	148
	生体分子機能医科学特別研究	実験・実習	通年			2	8	藤原智徳	149
生体医工学分野	医療安全工学特論	講義	前期	金・3	金・6	1	2	加納　隆（非常勤）	150
	生体機能代行工学特論	講義	後期	月・4	月・7	1	2	奥村高広	154
	生体システム工学特論	講義	前期	月・3	月・6	1	2	下岡聡行	158
	生体信号処理特論	講義	後期	月・3	月・6	1	2	小林直樹	161
	生体情報計測特論	講義	前期	火・5	火・7	1	2	駒形英樹	165
	人間工学特論	講義	後期	木・3	水・6	1	2	宮本裕一	169
	レーザー医工学特論	講義	前期	木・2	水・木6	1	2	笠松直史	173
	光応用計測特論	講義	後期	火・3	火・7	1	2	若山俊隆	177
	生体医工学演習	演習	通年			2	4	若山俊隆	180
	生体医工学特別研究	実験・実習	通年			2	8	若山俊隆	184
理学療法学分野	理学療法研究方法論	講義	前期	月・4	水・6,7	1	2	高倉保幸	188
	人体機能形態学特論Ⅰ	講義	前期	月・2	水・6,7	1	2	時田幸之輔	192
	人体機能形態学特論Ⅱ	講義	後期	水・4	水・6	1	2	時田幸之輔	195
	徒手理学療法学特論	講義	後期	木・3	火・6	1	2	赤坂清和	198
	がん理学療法学特論	講義	後期	金・3	月・6,7	1	2	高倉保幸	201
	予防理学療法特論	講義	前期	火・4	月・6,7	1	2	新井智之	204
	筋骨格理学療法学特論Ⅰ(上肢・脊椎)	講義	前期	木・4	火・6, 7	1	2	赤坂清和	207
	筋骨格理学療法学特論Ⅱ(下肢)	講義	後期	木・5	火・7	1	2	赤坂清和	210
	神経理学療法学特論Ⅰ(治療計画)	講義	前期	木・5	月・6.7	1	2	高倉保幸	213
	神経理学療法学特論Ⅱ(手技)	講義	後期	金・5	月・6.7	1	2	高倉保幸	216
	スポーツ理学療法学特論	講義	前期	火・1.2.3	土・1.2.3	1	1	赤坂清和	219
	スポーツ理学療法学演習	演習	前期	火・1.2.3	土・1.2.3.6.7	1	1	赤坂清和	223
	理学療法学演習	演習	通年	木・4,5	木・6,7	2	4	赤坂清和	229
	理学療法学特別研究	実験・実習	通年	月,水,金・4,5	月,水,金・6,7	2	8	赤坂清和	234

令和 6 年度　医科学専攻修士課程　　教員一覧

分野	区分	教員氏名	資格	所属(大学院基本学科名)
生体機能科学分野	●	藤原　智徳	教授	生体機能科学
	●	茅野　秀一	特任教授	生体機能科学
	●	佐藤　正夫	教授	生体機能科学
	●	小野川　傑	教授	生体機能科学
	●	飯野　　望	教授	生体機能科学
	●	山岸　敏之	教授	生体機能科学
	●	小野　公嗣	准教授	生体機能科学
	●	伴場　裕巳	講師	生体機能科学
	●	山本　晃司	講師	生体機能科学
	●	山本　梓司	講師	生体機能科学
	○	水谷　諭史	講師	生体機能科学
	●	髙橋　祐介	講師	生体機能科学
	○	山賀　　貴	助教	生体機能科学
	●	金子　優子	准教授	生体機能科学
	●	奥田　晶彦	教授	生体機能科学
	●	片桐　岳信	教授	生体機能科学
	●	黒川　理樹	教授	生体機能科学
	●	三谷幸之介	教授	生体機能科学
	●	堀江公仁子	教授	生体機能科学
	●	池田　和博	准教授	生体機能科学
	●	西本　正純	准教授	生体機能科学
	●	水野　洋介	准教授	生体機能科学
	○	與五沢　真吾	准教授	生体機能科学
	○	平﨑　正孝	講師	生体機能科学
	●	池田　正明	教授	生体機能科学
	●	永島　雅文	教授	生体機能科学
	●	前田　卓哉	教授	生体機能科学
	●	安田　政実	教授	生体機能科学
生体医工学分野	●	若山　俊隆	教授	生体医工学
	●	小林　直樹	客員教授	生体医工学
	●	下岡　聡行	教授	生体医工学
	○	田邊　一郎	特任教授	生体医工学
	●	宮本　裕一	教授	生体医工学
	●	笠松　直史	教授	生体医工学
	●	駒形　英樹	准教授	生体医工学
	●	奥村　高広	准教授	生体医工学
	●	脇田　政嘉	講師	生体医工学
	●	川邉　　学	講師	生体医工学
	○	白石　直子	助教	生体医工学
理学療法学分野	●	赤坂　清和	教授	理学療法学
	●	高倉　保幸	教授	理学療法学
	●	國澤　洋介	教授	理学療法学
	●	新井　智之	准教授	理学療法学
	●	大久保　雄	准教授	理学療法学
	●	時田幸之輔	講師	理学療法学
	○	金井　欣秀	講師	理学療法学
	○	森田　泰裕	講師	理学療法学
	○	服部　　寛	助教	理学療法学
	○	清水　夏生	助教	理学療法学
	○	三浦　佳代	助教	理学療法学
	○	飛田　和基	助教	理学療法学

●は指導教員　○は大学院教員

《共通科目》

【科目名】　医療政策学概論

【非常勤教員】

担当者	所属	E-mail
小野寺 亘	医_医療政策学	wonodera@saitama-med.ac.jp

【科目名】　生命倫理学概論

【非常勤教員】

担当者	所属	E-mail
大西 正夫	医学教育センター	ohnishim@saitama-med.ac.jp

【科目名】　遺伝カウンセリング学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
難波　聡	医_大学病院 ゲノム医療科	火	10:00～15:00	毛呂山キャンパス 本部棟 5 階	aknamba @saitama-med.ac.jp
齋藤　恵	医_大学病院 ゲノム医療科	火	10:00～12:00	毛呂山キャンパス 第二研究棟 4 階	msaito @saitama-med.ac.jp
大竹　明	医_大学病院 ゲノム医療科	水	10:00～12:00	毛呂山キャンパス 8 号館 2 階	akira_oh @saitama-med.ac.jp

【科目名】　行動科学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
菅　理江	医_教養教育	月	16:00～17:00	毛呂山キャンパス 7 号館 3 階	rsuge @saitama-med.ac.jp
吉川　圭介	医_薬理学	火・水・木	10:00～16:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	kisukey @saitama-med.ac.jp
椎橋 実智男	情報技術支援推進センター	月	17:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 3 階	mhiibas @saitama-med.ac.jp
林　禅之	医_教養教育	水	16：00～17：30	毛呂山キャンパス 7 号館 3 階	yhaya @saitama-med.ac.jp

【非常勤教員】

担当者	所属	E-mail
長根 光男	医_生理学	nagane_o@saitma-med.ac.jp
小柴 満美子	医_生化学	koshiba@saitama-med.ac.jp
稲川 健太郎	医学教育センター	

【科目名】　細胞生物学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
西本 正純	ゲノム医学研究センターRI 部門	月～金	9:00～10:00 17:00～18:00 (金:17:00～18:00 のみ)	日高キャンパス ゲノム医学研究センター 6 階	msamasa @saitama-med.ac.jp

【科目名】　医療安全管理学概論

【非常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
中島　勧	医_医療安全管理学	水	13:00～15:00	川越キャンパス	nakaji_s @saitama-med.ac.jp

【科目名】病理学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
新井 栄一	医_国医 病理診断科	火	16:30～18:00	日高キャンパス 教員棟 4 階	e_arai @saitama-med.ac.jp
石澤 圭介	医_病理学	月	16:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 5 階	ishizawa @saitama-med.ac.jp
茅野 秀一	保医_ 臨床検査学科	月	12:30～13:30	日高キャンパス 保健医療学部棟 C604	hidekazu @saitama-med.ac.jp
佐々木　惇	医_病理学	月	17:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 5 階	asasaki @saitma-med.ac.jp
長谷部 孝裕	医_国医 病理診断科	月･水･金	14:00～17:00	日高キャンパス 教員棟 4 階	thasebe @saitama-med.ac.jp
藤野　節	医_国医 病理診断科	火	16:30～17:30	日高キャンパス 教員棟 5 階	tfujino @saitama-med.ac.jp
百瀬 修二	医_総医 病理部	月	17:00～18:00	川越キャンパス 総合医療センター病理部	momose @saitama-med.ac.jp
安田 政実	医_国医 病理診断科	月･火･木	14:00～17:00	日高キャンパス 教員棟 2 階	m_yasuda @saitama-med.ac.jp
山田 健人	医_病理学	金	16:30～18:30	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 5 階	taketo @saitama-med.ac.jp

【科目名】生体機能形態学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
山岸　敏之	保医_ 臨床検査学科	火	12:00～13:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C527	toshiya @saitama-med.ac.jp
時田 幸之輔	保医_ 理学療法学科	水	13:00～14:30	川角キャンパス 教員室 310	tokita @saitama-med.ac.jp

【科目名】リハビリテーション医療学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
乙戸 崇寛	保医_ 理学療法学科	月	13:00～16:30	川角キャンパス 教員室 308	otsudo @saitama-med.ac.jp
高倉 保幸	保医_ 理学療法学科	月	13:00～15:00	川角キャンパス 学科長室	takakura @saitama-med.ac.jp
國澤 洋介	保医_ 理学療法学科	月	13:00～17:00	川角キャンパス 教員室 304	kunisawa @saitama-med.ac.jp
新井 智之	保医_ 理学療法学科	月	13:00～18:00	川角キャンパス 教員室 101	arai_tm @saitama-med.ac.jp

【科目名】実験動物学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
川村　勇樹	医_教養教育	月	10:00～12:00	毛呂山キャンパス 7 号館 1 階教養教育教員室 1	kawamura @saitama-med.ac.jp
冨永 信子	医_中央研究施設 実験動物部門	月･水	15:00～17:00	毛呂山キャンパス 第三 研究棟 実験動物施設	non_tomi @saitama-med.ac.jp
水野　由美					

【非常勤教員】

担当者	所属	E-mail
掘切 一美	医_中央研究施設 実験動物部門	kaz5148@saitama-med.ac.jp

【科目名】実用実験医学特別講義

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
永島 雅文	医_解剖学	火	17:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 6 階	mnagashi@saitama-med.ac.jp
坂本　安	医_中央研究施設 機能部門	水	14:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 3 階	ysakamot@saitama-med.ac.jp
堀内　大	医_微生物学	月	16:30～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 6 階	horiuchi@saitama-med.ac.jp
田丸 文信	医_生理学	木	12:00～14:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 5 階	tamalu@saitama-med.ac.jp
平沢　統	医_生理学	木	12:00～14:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 5 階	hhirasa@saitama-med.ac.jp
中村　彰宏	医_微生物学	水	16：00～17：00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 6 階	aki_ｎ@saitama-med.ac.jp
魚住 尚紀	医_生化学	木	16:30～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	nuozumi@saitama-med.ac.jp
栗崎 知浩	医_解剖学	月	16:00～17:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 6 階	kurisaki@saitama-med.ac.jp
西本 正純	ゲノム医学研究センター RI 部門	水・木・金	17:00～18:00	日高キャンパス ゲノム医学研究センター 3 階	masamasa@saitama-med.ac.jp
中野 貴成	医_生化学	水	16:00～17:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	tnakano@saitama-med.ac.jp
松成 一朗	医_大学病院 放射線科	金	14:00～17:00	毛呂山キャンパス 大学病院 核医学科 読影室	m_ichiro@saitama-med.ac.jp
水野　洋介	医_中央研究施設 機能部門	水	14:00～17:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟地下 2 階	mizuno@saitama-med.ac.jp

【非常勤教員】

担当者	所属	E-mail
佐藤 智美	医_解剖学	tosato@saitama-med.ac.jp

【科目名】統計情報解析特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
椎橋実智男	情報技術支援推進センター	月	17:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 3 階	mshiibas@saitama-med.ac.jp

【科目名】疫学方法特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
太田 晶子	医_社会医学	水	16:00～17:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	aohta @saitama-med.ac.jp

【科目名】最新医学特別講義

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
髙橋 健夫	医_総医　放射線科	木	17:00～18:00	川越キャンパス 管理棟 5 階	taketaka @saitama-med.ac.jp
三村 俊英	医_大学病院 リウマチ･膠原病科	火	18:00～19:00	毛呂山キャンパス 第 2 研究棟 203	toshim @saitama-med.ac.jp
		水	10:00～12:00		
奥田 晶彦	ゲノム基礎医学	月	16:00～17:00	日高キャンパス ゲノム医学研究センター3 階	akiokuda @saitama-med.ac.jp
持木 彫人	医_総医 消化管･一般外科	木	14:00～16:00	川越キャンパス総合医療センター5 階 消化管･一般外科　医局	emochiki @saitama-med.ac.jp
大西 秀樹	医_国医 精神腫瘍科	月	17:00～18:00	日高キャンパス 教員棟 4 階	honishi @saitama-med.ac.jp
千本松孝明	RA センター	月・ 火・水	15:00～17:00	本部棟 4 階 ＲＡセンター	senbont @saitama-med.ac.jp
岡田　浩一	医_腎臓内科	月	16:00～17:00	毛呂山キャンパス 第 3 ビル 1 階 岡田教授室	hirookda @saitama-med.ac.jp
片桐 岳信	ゲノム基礎医学	火	12:00～16:00	日高キャンパス ゲノム医学研究センター2 階	katagiri @saitama-med.ac.jp
亀井美登里	医_社会医学	火	13:00～14:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	kamei @saitama-med.ac.jp
堀江公仁子	ゲノム応用医学	月	16:30～17:30	ゲノム医学研究センター2 階	khorie07 @saitama-med.ac.jp
解良　恭一	医_国医 呼吸器内科	金	18:00～19:00	日高キャンパス 教員研究棟 2 階	kkaira @saitama-med.ac.jp

【科目名】老年学概論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
新井 智之	保医_ 理学療法学科	月	13:00～18:00	川角キャンパス 教員室 101	arai_tm @saitama-med.ac.jp

《専門科目》

＜生体機能科学分野＞

【科目名】　ゲノム医学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
奥田 晶彦	ゲノム基礎医学	月	16:00～17:00	日高キャンパス ゲノム医学研究センター3 階	akiokuda @saitama-med.ac.jp

【科目名】　生体・病態医科学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
前田　卓哉	大学病_中央検査部	月～木	16:00～18:00	毛呂山キャンパス 第二ビル 1 階	t_maeda @ saitama-med.ac.jp
藤原　智徳	保医_臨床検査学科	月	9:00～12：00	日高キャンパス 保健医療学部 C515	tfuj @saitama-med.ac.jp
		火	9:00～12：00		
永島 雅文	医_解剖学	火	17:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 6 階	mnagashi @saitama-med.ac.jp

【科目名】　生体機能科学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
藤原　智徳	保医_臨床検査学科	月	9:00～12:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C515	tfuj @saitama-med.ac.jp
		火	9:00～12:00		
金子 優子	保医_看護学科	月	9:00～12:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C615	yukaneko @saitama-med.ac.jp
		火	14:50～16:20		

【科目名】　栄養学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
伴場　裕巳	保医_臨床検査学科	金	9:00 ～ 12:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C525	bam @saitama-med.ac.jp

【科目名】　環境衛生科学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
野寺　誠	保医_臨床検査学科	水	17:00～18:30	日高キャンパス 保健医療学部棟 C516	mnodera @saitama-med.ac.jp
宮崎　孝	医_社会医学	金	12:00～17:30	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	miyasan @saitama-med.ac.jp

【科目名】　環境微生物学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
佐藤 正夫	保医_臨床検査学科	金	12:00～13:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C517	satoma @saitama-med.ac.jp

【【科目名】脳科学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
池田 正明	医_生理学	月	17:00～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 5 階	mikeda@saitama-med.ac.jp
淡路 健雄	医_薬理学	火	12:00～14:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	tawaji@saitama-med.ac.jp
小谷 典弘	医_生化学	水	17:00～18:30	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	kotani@saitama-med.ac.jp
魚住 尚紀	医_生化学	木	16:30～18:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	nuozumi@saitama-med.ac.jp
中野 貴成	医_生化学	火	16:00～17:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	tnakano@saitama-med.ac.jp
周防　　諭	医_薬理学	火	12:00～13;30	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	ssuo@saitama-med.ac.jp
柳下一姜楠	医_薬理学	火	12:00～14:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	nanyagi@saitama-med.ac.jp
吉川 圭介	医_薬理学	木	14:00～17:00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	keisukey@saitama-med.ac.jp
北條 泰嗣	医_生化学	水	16：00～18：00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	yhojo@saitama-med.ac.jp
橋爪 幹	医_生化学	木	16：00～18：00	毛呂山キャンパス 基礎医学棟 4 階	m_hashi@saitama-med.ac.jp

【非常勤教員】

担当者	所属
小川 哲郎	医_生理学

【科目名】分析医科学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
飯野　望	保医_臨床検査学科	火	16:00～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C510	niino @saitama-med.ac.jp

【科目名】臨床検査医学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
小野川　傑	保医_臨床検査学科	火	12:00～13:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C524	onogawa @saitama-med.ac.jp

【科目名】生体分子機能医科学演習・生体分子機能医科学特別研究

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
藤原　智徳	保医_臨床検査学科	月	9:00～12:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C524	tfuj @saitama-med.ac.jp
		火	9:00～12:00		
茅野　秀一	保医_臨床検査学科	月	12:30～13:30	日高キャンパス 保健医療学部棟 C604	hidekazu @saitama-med.ac.jp
前田　卓哉	大学病_中央検査部	月～木	16:00～18:00	毛呂山キャンパス 第二ビル１階	t_maeda @saitama-med.ac.jp
奥田 晶彦	ゲノム基礎医学	月	16:00～17:00	日高キャンパス ゲノム医学研究センター3 階	akiokuda @saitama-med.ac.jp

＜生体医工学分野＞

【科目名】　医療安全工学特論

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
川邉　学	保医_臨床工学科	水	9：30－12:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C507	kawabe_m @saitama-med.ac.jp

【非常勤教員】

担当者	所属	E-mail
加納　隆	保医_臨床工学科	tkano@saitama-med.ac.jp

【科目名】　生体機能代行工学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
奥村 高広	保医_臨床工学科	月	16:30－18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C503	me12oku @saitama-med.ac.jp
白石 直子	保医_臨床工学科	月	16:30－18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C505	naomaru @saitama-med.ac.jp

【科目名】　生体システム工学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
下岡 聡行	保医_臨床工学科	月	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟 C526	shimooka @saitama-med.ac.jp

【科目名】　生体信号処理特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
小林 直樹	保医_臨床工学科	月	9:00～10:30	日高キャンパス 保健医療学部棟　C501	naoki_kb @saitama-med.ac.jp
石川 雅浩	保医_臨床工学科	木	9:00～12:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C303	ishikawa @saitama-med.ac.jp

【科目名】　生体情報計測特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
駒形　英樹	保医_臨床工学科	月	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C520	komagata @saitama-med.ac.jp

【科目名】　人間工学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
宮本 裕一	保医_臨床工学科	月・木	16:30～18:00	日高キャンパス保健医療学部棟　C523	ymiyamo@saitama-med.ac.jp

【科目名】　レーザー医工学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
宮本 裕一	保医_臨床工学科	月・木	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C523	ymiyamo @saitama-med.ac.jp
田邊 一郎	保医_臨床工学科	水	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C521	Ichirota @saitama-med.ac.jp

【科目名】　光応用計測特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
若山 俊隆	保医_臨床工学科	火・金	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C504	wakayama @saitama-med.ac.jp

【科目名】生体医工学演習・生体医工学特別研究

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
若山 俊隆	保医_臨床工学科	火・金	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C504	wakayama @saitama-med.ac.jp
下岡 聡行	保医_臨床工学科	月	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C526	shimooka @saitama-med.ac.jp
戸井田 昌宏	保医_臨床工学科	月・火	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C522	toida @saitama-med.ac.jp

宮本 裕一	保医_臨床工学科	月・木	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C523	ymiyamo @saitama-med.ac.jp
若山 俊隆	保医_臨床工学科	火・金	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C504	wakayama @saitama-med.ac.jp
脇田 政嘉	保医_臨床工学科	月・火	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C503	waki @saitama-med.ac.jp
駒形 英樹	保医_臨床工学科	金	16:30～18:00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C502	komagata @saitama-med.ac.jp
石川　雅浩	保医_臨床工学科	木	9：00～12：00	日高キャンパス 保健医療学部棟　C507	ishikawa @saitama-med.ac.jp

＜理学療法学分野＞

【科目名】　理学療法研究方法論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
高倉 保幸	保医_理学療法学科	月	13:00～15:00	川角キャンパス 学科長室	takakura @saitama-med.ac.jp
赤坂 清和	保医_理学療法学科	月・金	13:00～16:00	川角キャンパス 教員室 305	akasaka-smc @umin.ac.jp

【科目名】　人体機能形態学特論Ⅰ

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
時田　幸之輔	保医_理学療法学科	水	13:00～14:30	川角キャンパス 教員室 310	tokita @saitama-med.ac.jp

【科目名】　人体機能形態学特論Ⅱ

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
時田 幸之輔	保医_理学療法学科	水	13:00～14:30	川角キャンパス 教員室 310	tokita @saitama-med.ac.jp

【科目名】　徒手理学療法学特論・筋骨格理学療法学特論Ⅰ（上肢・脊椎）・筋骨格理学療法学特論Ⅱ（下肢）

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
赤坂 清和	保医_理学療法学科	月･金	13:00～16:00	川角キャンパス 教員室 305	akasaka-smc @umin.ac.jp
乙戸 崇寛	保医_理学療法学科	月	13:00～16:30	川角キャンパス 教員室 308	otsudo @saitama-med.ac.jp
大久保 雄	保医_理学療法学科	月	13:00～15:00	川角キャンパス 教員室 205	yokubo @saitama-med.ac.jp

【科目名】　がん理学療法学特論・神経理学療法学特論Ⅱ（手技）

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
高倉 保幸	保医_理学療法学科	月	13:00～15:00	川角キャンパス 学科長室	takakura @saitama-med.ac.jp

【科目名】　予防理学療法学特論

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
新井　智之	保医_理学療法学科	月	13:00-18:00	川角キャンパス 教員室 101	arai_tm @saitama-med.ac.jp

【科目名】　神経理学療法学特論Ⅰ（治療計画）

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
高倉 保幸	保医_理学療法学科	月	13:00～15:00	川角キャンパス 学科長室	takakura @saitama-med.ac.jp

【科目名】理学療法学演習・理学療法学特別研究

【常勤教員】

担当者	所属	曜日	時間	訪問先	E-mail
赤坂 清和	保医_理学療法学科	月・金	13:00～16:00	川角キャンパス 教員室 305	akasaka-smc @umin.ac.jp
高倉 保幸	保医_理学療法学科	月	13:00～15:00	川角キャンパス 学科長室	takakura @saitama-med.ac.jp
乙戸 崇寛	保医_理学療法学科	月	13:00～16:30	川角キャンパス 教員室 308	otsudo @saitama-med.ac.jp
新井　智之	保医_理学療法学科	月	13:00-18:00	川角キャンパス 教員室 101	arai_tm @saitama-med.ac.jp
國澤　洋介	保医_理学療法学科	月	13:00～17:00	川角キャンパス 教員室 304	kunisawa @saitama-med.ac.jp
時田幸之輔	保医_理学療法学科	水	13:00～14:30	川角キャンパス 教員室 310	tokita @saitama-med.ac.jp

シラバス

（第 14 条特例含む）

【令和６年度　医学研究科　時間割表】　（通常版）

《前期》　１年次

時限	分野		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9：00 ～ 10：30	共通科目		病理学概論	老年学概論		実験動物学概論 （於：毛呂山キャンパス）		
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法		スポーツ理学療法学特論 スポーツ理学療法学演習				
2 10：40 ～ 12：10	共通科目			生体機能形態学概論		統計情報解析特論 （於：毛呂山キャンパス）		
	専門科目	生体機能					生体機能科学特論	
		生体医工				レーザー医工学特論		
		理学療法	人体機能形態学特論Ⅰ	スポーツ理学療法学特論 スポーツ理学療法学演習				
3 13：10 ～ 14：40	共通科目			医療政策学概論	遺伝カウンセリング学概論			
	専門科目	生体機能	ゲノム医学特論					
		生体医工	生体システム工学特論		医療安全工学特論			生体情報計測特論
		理学療法						
4 14：50 ～ 16：20	共通科目							
	専門科目	生体機能	環境微生物学特論					
		生体医工	生体情報計測特論					生体情報計測特論
		理学療法	理学療法研究方法論	予防理学療法特論		筋骨格理学療法学 特論Ⅰ（上肢・脊椎）		
5 16：30 ～ 18：00	共通科目							
	専門科目	生体機能	脳科学特論(後 10 回)		環境衛生科学特論	脳科学特論(前半 5 回)		
		生体医工	生体情報計測特論					
		理学療法				神経理学療法学特論Ⅰ （治療計画）		
6 18:10 ～ 19:40 14 条 特例	共通科目		病理学概論	実用実験医学特別講義 （於：毛呂山キャンパス） （TV 中継）18:00～19:30		統計情報解析特論 （於：毛呂山キャンパス）	最新医学特別講義 （於：毛呂講義室） （TV 中継）18:00～19:30	
	専門科目	生体機能						
		生体医工	生体システム工学特論			レーザー医工学特論		
		理学療法	予防理学療法特論 神経理学療法学特論Ⅰ （治療計画）	筋骨格理学療法学 特論Ⅰ（上肢・脊椎） スポーツ理学療法学演習	理学療法研究方法論 人体機能形態学特論Ⅰ			
7 19:50 ～ 21:20 14 条 特例	共通科目					老年学概論		
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法	予防理学療法特論 神経理学療法学特論Ⅰ （治療計画）	スポーツ理学療法学演習	理学療法研究方法論 人体機能形態学特論Ⅰ	徒手理学療法学特論		

《後期》１年次

時限	分野		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9：00 ～ 10：30	共通科目				細胞生物学概論	疫学方法特論 行動科学概論		
	専門科目	生体機能		臨床検査医学特論		栄養学特論	生体・病態医科学特論	
		生体医工						
		理学療法						
2 10：40 ～ 12：10	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法						
3 13：10 ～ 14：40	共通科目							
	専門科目	生体機能		分析医科学特論				
		生体医工	生体信号処理特論	光応用計測特論		人間工学特論		
		理学療法				徒手理学療法学特論	がん理学療法学特論	
4 14：50 ～ 16：20	共通科目		リハビリテーション 医療学概論	医療安全管理学概論		生命倫理学概論		
	専門科目	生体機能						
		生体医工	生体機能代行工学特論					
		理学療法			人体機能形態学特論Ⅱ			
5 16：30 ～ 18：00	共通科目		行動科学概論					
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法				筋骨格理学療法学 特論Ⅱ（下肢）	神経理学療法学 特論Ⅱ（手技）	
6 18：10 ～ 19：40 14条 特例	共通科目		行動科学概論			生命倫理学概論	最新医学特別講義 （於：毛呂キャンパス） （TV 中継）18:00～19:30	
	専門科目	生体機能						
		生体医工				人間工学特論		
		理学療法	がん理学療法学特論 神経理学療法学特論Ⅱ （手技）	筋骨格理学療法学 特論Ⅱ（下肢）	人体機能形態学特論Ⅱ			
7 19：50 ～ 21：20 14条 特例	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工	生体機能代行工学特論	光応用計測特論				
		理学療法	がん理学療法学特論 神経理学療法学特論Ⅱ （手技）					

【令和６年度　医学研究科　時間割表】　（第 14 条特例）

《前期》　１年次

時限	分野		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9：00 ～ 10：30	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法						
2 10：40 ～ 12：10	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						生体情報計測特論
		理学療法						
3 13：10 ～ 14：40	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						生体情報計測特論
		理学療法						スポーツ理学療法学演習（於：川越サテライト）
4 14：50 ～ 16：20	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						生体情報計測特論
		理学療法						スポーツ理学療法学演習（於：川越サテライト）
5 16：30 ～ 18：00	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						生体情報計測特論
		理学療法						スポーツ理学療法学演習（於：川越サテライト）
6 18:10 ～ 19:40 14 条 特例	共通科目		病理学概論	実用実験医学特別講義 （於：毛呂山キャンパス）		統計情報解析特論 （於：毛呂講義室）	最新医学特別講義 （於：毛呂講義室）	
	専門科目	生体機能	環境微生物学特論		ゲノム医学特論	生体機能科学特論		
		生体医工	生体システム工学特論		レーザー医工学特論（後 11 回） （於：川越サテライト）	レーザー医工学特論（前 4 回） （於：川越サテライト）	医療安全工学特論	
		理学療法	予防理学療法学特論 （於：川越サテライト）		理学療法研究方法論 （於：川越サテライト）			
			神経理学療法学特論Ⅰ （於：川越サテライト）	筋骨格理学療法学特論Ⅰ （上肢・脊髄） （於：川越サテライト）	人体機能形態学特論Ⅰ （於：川越サテライト）			スポーツ理学療法学演習（於：川越サテライト）
7 19:50 ～ 21:20 14 条 特例	共通科目					老年学概論		
	専門科目	生体機能			環境衛生科学特論			
		生体医工						
		理学療法	予防理学療法学特論 （於：川越サテライト）	スポーツ理学療法学特論 （於：川越サテライト）	理学療法研究方法論 （於：川越サテライト）			
			神経理学療法学特論Ⅰ （於：川越サテライト）	スポーツ理学療法学演習 （上肢・脊髄） （於：川越サテライト）	人体機能形態学特論Ⅰ （於：川越サテライト）			スポーツ理学療法学演習（於：川越サテライト）

《後期》１年次

時限	分野		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9：00 ～ 10：30	共通科目							医療安全 管理学概論
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法						
2 10：40 ～ 12：10	共通科目							医療安全 管理学概論
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法						
3 13：10 ～ 14：40	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法						
4 14：50 ～ 16：20	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法						
5 16：30 ～ 18：00	共通科目							
	専門科目	生体機能						
		生体医工						
		理学療法						
6 18：10 ～ 19：40 14条 特例	共通科目		行動科学概論 （於：毛呂山キャンパス）			生命倫理学概論 （於：川越サテライト）	最新医学特別講義 （於：毛呂キャンパス）	
	専門科目	生体機能	栄養学特論	臨床検査医学特論				
		生体医工	生体信号処理特論		人間工学特論			
		理学療法	がん理学療法学特論 （於：川越サテライト）	徒手理学療法学特論 （於：川越サテライト）	人体機能形態学特論Ⅱ			
			神経理学療法学特論Ⅱ （手技） （於：川越サテライト）					
7 19：50 ～ 21：20 14条 特例	共通科目		生体機能代行工学特論			リハビリテーション 医療学概論 （於：川越サテライト）		
	専門科目	生体機能		分析医科学特論			生体・病態医科学特論	
		生体医工		光応用計測特論				
		理学療法	がん理学療法学特論 （於：川越サテライト）	筋骨格理学療法学特論Ⅱ （於：川越サテライト）				
			神経理学療法学特論Ⅱ （手技） （於：川越サテライト）					

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
医療政策学概論	講義	1年 前期	2	共通科目	小野寺 亘

到達目標

人口構成や経済状況の変化は日本の医療に大きな影響を及ぼしている。一方で長年の制度疲労、構造問題、患者や医療者の行動の問題なども顕在化している。国の政策に依存するだけではなく、地域主導とオーナーたるステークホルダーの義務と責任の明確化をキーワードに日本の医療の在るべき姿を考える。そのため、医療法の成り立ちや身分法、医療資源の配置状況、医療保険者の役割などを検証し、一人称で考え、自ら実践できるようにする。

【学習の具体的な目標】

1.制度創設時の時代背景を知ることで､現在求められている改革の必要性について論じることができる。

2.共助を基本として運営されてきた日本の医療、その担い手は誰か？ それぞれの役割は何か？を考えることで、これからの医療の目指すべき方向を論じることができる。

3. 病床機能報告制度による医療ビッグデータを活用した地域医療ビジョンの策定が進められた。これを基に地域医療の姿を考えるとともに、地域医療の理念について論じることができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/16	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	時代とともにあった医療制度①（制度改革等）
2	4/23	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	時代とともにあった医療制度②（国の主張等）
3	4/30	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	時代とともにあった医療制度③(社会保障制度改革)
4	5/7	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	日本の医療構造と医療経済
5	5/14	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	医療のあるべき姿
6	5/21	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	日本における医療の特徴
7	5/28	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	医療法から見る日本の医療
8	6/4	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	日本の医療保険制度
9	6/11	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	人生100年時代の社会保障制度改革の方向
10	6/18	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	医療制度改革の方向
11	6/25	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	地域医療の分析（地域格差を中心に）
12	7/2	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	都道府県医療計画と地域医療ビジョン
13	7/9	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	地域医療ビジョン実現に向けた取り組み
14	7/16	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	医療の質と診療報酬体系
15	7/23	火	3限	C201ゼミ室	小野寺	一人称で語る日本の医療

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポートによって評価する。 課題：未定	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：討論、研究の参考となる資料については毎回の講義時に配布する。	既成概念にとらわれずに積極的に議論する。 日本の医療のあるべき姿を一人称で考える。

授業内容

1．時代とともにあった医療制度①（制度改革等）

内　容：1.社会状況の変化が医療に及ぼす影響について説明できる。
2.医療界で、いま起きていることを説明できる。
3.制度改革で医療構造は変わったか説明できる。

2. 時代とともにあった医療制度②（国の主張等）

内　容：1.国の主張と国民の反応について説明できる。
2.マニフェスト・プラン・構想の内容を説明できる。

3. 時代とともにあった医療制度③（社会保障制度改革）

内　容：1.社会保障と税の一体改革が目指すものについて説明できる。
2.地域包括ケアの背景と方向を説明できる。

4. 日本の医療構造と医療経済

内　容：1.日本の医療構造とそれぞれの想い、医療経済の特殊性を説明できる。
2.医療政策を担うキープレーヤーについて、その役割を説明できる。

5. 医療のあるべき姿

内　容：1.社会保障審議会の基本方針について説明できる。
2.診療報酬改定項目から見る主な視点を説明できる。

6. 日本における医療の特徴

内　容：1.様々な視点から日本の医療の現状を説明できる。
2.法令や制度と医療実態のギャップについて説明できる。

7. 医療法から見る日本の医療

内　容：1.医療法が規定している内容について説明できる。
2.医療基本法の性格を理解した上で現行医療法の考え方を説明できる。

8. 日本の医療保険制度

内　容：1.医療保険制度の構造について説明できる。
2.国民を含む関係者の役割について説明できる。

9. 人生100年時代の社会保障改革の方向

内　容：1.新時代の社会保障改革プランについて説明できる。
2.人生100年時代構想会議について説明できる。

10. 医療制度改革の方向

内　容：1.医療提供体制における改革について説明できる。
2.医療保険制度改革について説明できる。

11. 地域医療の分析（地域格差を中心に）

内　容：1.一人当たり医療費の地域格差について説明できる。
2.地域格差の背景を知るための指標について説明できる。

12. 都道府県医療計画と地域医療ビジョン

内　容：　1.都道府県医療計画の概念と構成について説明できる。
　　2.地域医療ビジョンの概要と意義について説明できる。

13. 医療医療ビジョン実現に向けた取り組み

内　容：　1.地域医療調整会議の意義と課題について説明できる。
　　2.地域医療の「見える化」の必要性について説明できる。

14. 医療の質と診療報酬体系

内　容：　1.医療の質の向上についての諸外国の取組み状況を説明できる。
　　2.診療報酬体系の特殊性と課題について説明できる。

15. 一人称で語る日本の医療

内　容：　1.自らが描く「日本の医療の姿」について説明できる。
　　2.改革に必要な制度改正について説明できる。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生命倫理学概論	講義	1年 後期	2	共通科目	大西 正夫

到達目標

生命倫理学を理解し、医療、医科学研究に役立てることができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/3	木	4限	かわクリ	大西	医療・医科学研究の生命倫理
2	10/10	木	4限	かわクリ	大西	研究倫理の歴史的理解――法、判例、綱領（指針）
3	10/17	木	4限	かわクリ	大西	インフォームドコンセントの源流から今日まで
4	10/24	木	4限	かわクリ	大西	インフォームドコンセントの実践的理解
5	10/31	木	4限	かわクリ	大西	医科学研究と利益相反
6	11/7	木	4限	かわクリ	大西	倫理的研究と非倫理的研究
7	11/14	木	4限	かわクリ	大西	医療資源の配分――功利主義と自由主義、Justice
8	11/21	木	4限	かわクリ	大西	個人情報と守秘義務、変容する守秘の概念
9	11/28	木	4限	かわクリ	大西	脳死と臓器移植、生体間移植の倫理性
10	12/5	木	4限	かわクリ	大西	末期医療――延命と尊厳死、安楽死――世界の潮流
11	12/12	木	4限	かわクリ	大西	性と生殖の倫理(1)体外受精、人工妊娠中絶
12	12/19	木	4限	かわクリ	大西	性と生殖の倫理 (2) セクシュアリティの新たな様相
13	12/26	木	4限	かわクリ	大西	遺伝子の諸問題：ゲノム医療の時代の生命倫理
14	1/9	木	4限	かわクリ	大西	ジェンダーとアカデミックハラスメント
15	1/16	木	4限	かわクリ	大西	医療人・研究者の行動規範、倫理委員会の審査

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポート、自由研究レポートおよびその発表によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	かわごえクリニックにて対面のみの講義

授業内容

1. 医療・医科学研究と生命倫理

内　容：　1.医療のあるべき姿を説明できる。
　　2.医科学研究の進め方を説明できる。

2. 研究倫理の歴史的理解

内　容：　1.医の四原則――自律尊重・善行・無危害・正義を基に倫理的な医療・研究を説明できる
　　2.人体実験、独善的医療から患者・被験者の自律、意思を尊重した時代背景を説明できる。

3. インフォームドコンセント（IC）の源流から今日まで

内　容：　1.医学研究倫理の原型であるニュールンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言を説明できる。
　　2.欧米で確立されたインフォームドコンセントについて診療、研究両面で説明できる。

4. インフォームドコンセント（IC）の実践的理解

内　容：　1.患者、被験者が理解、納得したうえで同意するICの意義を医療者として十分認識できる。
2.研究協力にいったん同意しても撤回し、不利益を被らない同意撤回について説明できる。

5. 医科学研究と利益相反

内　容：　1.利益相反の意味と透明性確保の重要性を説明できる。
2.国・大学・研究機関の各利益相反基準を説明できる。

6. 倫理的研究と非倫理的研究

内　容：　1.科学的合理性と倫理的妥当性を備えた研究が被験者ファーストであることを説明できる。
2.不十分なICの取得、国に応じたダブルスタンダードの研究は非人道的として許されない。

7. 医療資源の配分――功利主義、自由平等、完全自由主義

内　容：　1.臨床現場（ミクロ）と政策レベル（マクロ）の医療資源配分があることを説明できる。
2.費用対効果などの医療経済面だけでなく、目の前の重篤患者への全力投球を説明できる。

8. 個人情報と守秘義務、変容する守秘の概念

内　容：　1.伝統的理解である絶対的義務から現代的な理解の相対的義務（一応の義務）を説明できる。
2.患者の権利である個人情報を自身でコントロールするプライバシー権として説明できる。

9. 脳死と臓器移植、生体間移植の倫理性

内　容：　1.脳死の概念（定義）を的確に理解し、臓器移植向けの「法的脳死」説明できる。
2.脳死移植が国際水準ほど普及せず、肝移植では生体間が圧倒的に多い実情を説明できる。

10. 末期医療――延命と尊厳死、安楽死――世界の潮流

内　容：　1.延命治療の差し控え（withholding）と中止（withdrawing）について説明できる。
2.積極的安楽死、消極的安楽死、苦痛緩和のための鎮静、世界の安楽死の潮流を説明できる。

11. 性と生殖の倫理（1）

内　容：　1..妊娠中絶と避妊、体外受精など生殖（補助）医療の歴史と現状を倫理面から説明できる。
2.110年ぶりに改正された性犯罪に関する歴史的法改正（2017年）の意義を説明できる。

12. 性と生殖の倫理（2）

内　容：　1.LGBTQｓ――セクシュアルマイノリティの概念が浸透してきた今日的状況を説明できる。
2.性別二分法からノンバイナリーへという状況の流れと国際的な動向を説明できる。

13. ゲノム医療の進化と倫理の“相克”

内　容：　1.ゲノムデータの個人識別性、新たな生殖医療への応用可能性などを説明できる。
2.ゲノム編集がもたらす難病治療への期待と倫理面での抜きがたい懸念を説明できる。

14. ジェンダーとアカデミックハラスメント

内　容：　1.新たな局面を迎えたジェンダーの概念、ジェンダー差別の諸問題を説明できる。
2.大学・医療機関・研究機関におけるアカハラ、セクハラ、パワハラを説明できる。

15. 医療人・研究者の行動規範、倫理委員会の厳格な審査

内　容：　1.論文データ捏造など不正行為（misconducts）の問題点を説明できる。
2.社会の規範に基づいた倫理観と、臨床研究法に基づく倫理審査の基準を説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生命倫理学概論	講義	1 年 後期	2	共通科目	大西 正夫

到達目標

生命倫理学を理解し、医療、医科学研究に役立てることができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/5	木	6 限	かわクリ	大西	医療・医科学研究の生命倫理
2	10/12	木	6 限	かわクリ	大西	研究倫理の歴史的理解――判例、綱領（指針）、法
3	10/19	木	6 限	かわクリ	大西	インフォームドコンセントの源流から今日まで
4	10/26	木	6 限	かわクリ	大西	インフォームドコンセントの実践的理解
5	11/2	木	6 限	かわクリ	大西	医科学研究と利益相反
6	11/9	木	6 限	かわクリ	大西	倫理的研究と非倫理的研究
7	11/16	木	6 限	かわクリ	大西	医療資源の配分――功利主義と自由主義、Justice
8	11/30	木	6 限	かわクリ	大西	個人情報と守秘義務、変容する守秘の概念
9	12/7	木	6 限	かわクリ	大西	脳死と臓器移植、生体間移植の倫理性
10	12/14	木	6 限	かわクリ	大西	末期医療――延命と尊厳死、安楽死――世界の潮流
11	12/21	木	6 限	かわクリ	大西	性と生殖の倫理（1）体外受精、人工妊娠中絶
12	1/4	木	6 限	かわクリ	大西	性と生殖の倫理（2）セクシュアリティの新たな様相
13	1/11	木	6 限	かわクリ	大西	遺伝子の諸問題：ゲノム医療の時代の生命倫理
14	1/18	木	6 限	かわクリ	大西	ジェンダーとアカデミックハラスメント
15	1/25	木	6 限	かわクリ	大西	医療人・研究者の行動規範、倫理委員会の審査

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポート、自由研究レポートおよびその発表によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	かわごえクリニックにて対面のみの講義

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
遺伝カウンセリング学概論	講義	1年 前期	2	共通科目	難波　聡 大竹　明 鶴岡　恵 上村 のぞみ

到達目標

遺伝カウンセリングの定義を理解し、医療が患者（クライアント）と医療者との双方向コミュニケーションプロセスであることを学ぶ。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/10	水	3限	C201ゼミ室	難波	医の倫理と遺伝カウンセリングの基本理念
2	4/17	水	3限	C201ゼミ室	鶴岡	遺伝カウンセリングの対象と手順
3	4/24	水	3限	C201ゼミ室	鶴岡	遺伝形式と家系図作成法
4	5/8	水	3限	C201ゼミ室	鶴岡	遺伝学的検査法
5	5/15	水	3限	C201ゼミ室	上村	出生前診断法
6	5/22	水	3限	C201ゼミ室	鶴岡	神経・筋疾患における遺伝カウンセリング
7	5/29	水	3限	C201ゼミ室	大竹	消化器・呼吸器疾患における遺伝カウンセリング
8	6/5	水	3限	C201ゼミ室	大竹	循環器疾患における遺伝カウンセリング
9	6/12	水	3限	C201ゼミ室	大竹	骨・結合組織疾患における遺伝カウンセリング
10	6/19	水	3限	C201ゼミ室	大竹	先天代謝異常症における遺伝カウンセリング
11	6/26	水	3限	C201ゼミ室	難波	染色体異常症における遺伝カウンセリング
12	7/3	水	3限	C201ゼミ室	大竹	生活習慣病における遺伝カウンセリング
13	7/10	水	3限	C201ゼミ室	上村	妊娠に関連した遺伝カウンセリング
14	7/17	水	3限	C201ゼミ室	鶴岡	家族性腫瘍における遺伝カウンセリング
15	7/24	水	3限	C201ゼミ室	難波	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポート、自由研究レポートおよびロールプレイによる発表によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：医科遺伝学　松田一郎　南江堂 参考書：特になし	特になし

授業内容

1. 医の倫理と遺伝カウンセリングの基本理念

内　容：　1.医の倫理の4原則を説明できる。
2.医の倫理に基づき、遺伝カウンセリングの基本理念を説明できる。

2. 遺伝カウンセリングの対象と手順

内　容：　1.出生前、小児期、成人期遺伝カウンセリングそれぞれの特殊性を説明できる。
2.チーム医療としての遺伝カウンセリング体制を理解できる。

3. 遺伝形式と家系図作成法

内　容：　1.メンデル遺伝病を理解し、各遺伝形式の特徴を説明できる。
2.非メンデル遺伝病を理解し、各遺伝形式の特徴を説明できる。
3.家系図を正確に作成し、そこから遺伝形式を推定できる。

4. 遺伝学的検査法

内　容：　1.染色体検査法の概要が説明でき、結果の解釈ができる。
　　2.遺伝子検査法の概要が説明でき、結果の解釈ができる。

5. 出生前診断法

内　容：　1.出生前診断の適応を説明できる。
　　2.実際に行われている各種出生前診断法の利点・欠点を説明できる。

6. 神経・筋疾患における遺伝カウンセリング

内　容：　1.ハンチントン舞踏病における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.デュシェンヌ筋ジストロフィー症における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

7. 消化器・呼吸器疾患における遺伝カウンセリング

内　容：　1.カータゲナー症候群における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.遺伝性高ビリルビン血症における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

8. 循環器疾患における遺伝カウンセリング

内　容：　1.ウィリアムズ症候群における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.22q11.2欠失症候群における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

9. 骨・結合組織疾患における遺伝カウンセリング

内　容：　1.マルファン症候群における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.軟骨無形成症における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

10. 先天代謝異常症における遺伝カウンセリング

内　容：　1.シトルリン血症II型（成人型シトルリン血症）における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.ファブリー病における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

11. 染色体異常症における遺伝カウンセリング

内　容：　1.ダウン症候群における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.ターナー症候群における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

12. 生活習慣病における遺伝カウンセリング

内　容：　1.糖尿病における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.肥満症における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

13. 妊娠に関連した遺伝カウンセリング

内　容：　1.習慣性流産における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.高齢妊娠における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　3.NIPTについて説明できる。

14. 家族性腫瘍における遺伝カウンセリング

内　容：　1.遺伝性乳癌卵巣癌症候群における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　2.多発性内分泌腺腫症における遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。
　　3.家族性大腸ポリポーシスにおける遺伝カウンセリングの特徴を説明できる。

15. まとめ

内　容：　遺伝カウンセリングを行う際に留意すべき事柄を説明できる。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
行動科学概論	講義	1年 後期	2	共通科目	菅　理江、 吉川圭介、小柴満美子、林禅之、椎橋実智男、稲川健太郎、五十嵐友里

到達目標

ヒトの行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。行動を対象とした研究の実際を紹介し、行動が様々な要因によって規定され、階層的な異なるレベルで説明されていることを理解する。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/3	木	1限	毛呂山キャンパス	菅	こころはどこにあるのか - 心理学史
2	10/10	木	1限	毛呂山キャンパス	菅	感覚と知覚
3	10/17	木	1限	毛呂山キャンパス	吉川	行動薬理学(1)
4	10/24	木	1限	毛呂山キャンパス	吉川	行動薬理学(2)
5	11/2	木	1限	毛呂山キャンパス	菅	学習と記憶
6	10/31	木	1限	毛呂山キャンパス	小柴	愛着と社会性(1)
7	11/7	木	1限	毛呂山キャンパス	小柴	愛着と社会性(2)
8	11/14	木	1限	毛呂山キャンパス	稲川	ヒトの発達について(1)
9	11/21	木	1限	毛呂山キャンパス	稲川	ヒトの発達について(2)
10	11/28	木	1限	毛呂山キャンパス	稲川	こころを測るということ
11	12/5	木	1限	毛呂山キャンパス	稲川	心理検査で何を検査しているか
12	12/12	木	1限	毛呂山キャンパス	林	意識の科学と哲学
13	12/19	木	1限	毛呂山キャンパス	椎橋	意思決定の話
14	1/9	木	1限	川越キャンパス	五十嵐	認知行動療法と医療心理学
15	1/16	木	1限	毛呂山キャンパス	菅	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業内で出される課題によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書 : 岡市廣成・鈴木尚人監修「心理学概論第 2 版」ナカニシヤ出版（2014） ISBN 978-4-7795-0830-1	基本毛呂山キャンパスでの開講。

授業内容

1. こころはどこにあるのか - 心理学史

担　当：　菅　理江

内　容：　1. コースの説明

2. 心と行動がこれまでどのように捉えられてきたのか、そして心を科学するためにどのような研究がなされてきたのかを概観する。

2. 感覚と知覚

担　当：　菅　理江

内　容：　外界を把握するために、ヒトは能動的かつ選択的に情報を収集し選択し続けている。ヒトの知覚の特性を理解し、測定方法について知る。

3. 行動薬理学(1)

担　当：　吉川 圭介

内　容：　行動薬理学とは薬物と行動の相互作用について研究する研究分野である。行動薬理学の基本的な考え方と技法を学ぶ。

4. 行動薬理学(2)

担　当：　吉川 圭介

内　容：　第３回講義に引き続き、実際の研究データをもとに、具体的な問題への取り組み方と応用について学ぶ。

5. 学習と記憶

担　当：　菅　理江

内　容：　ヒトは生まれた時から外界の情報を取り込んで学習し自らの行動を変容させている。様々な形の学習とその基礎となる仕組みについて学ぶ。

6. 愛着と社会性 (1)

担　当：　小柴 満美子

内　容：　ヒトを含む社会動物は、学習により、他個体に対して親密さを表現する基本的な心理機能、「愛着」を自らに育むようになる。親子間のみならず、子同士の社会的相互作用や、食住環境の影響など、愛着の育みに必要な要素を考察する。

7. 愛着と社会性 (2)

担　当：　小柴 満美子

内　容：　第６回講義に引き続き、社会的相互作用・環境がもたらす行動への影響について、研究データを交えて検討する。

8. ヒトの発達について(1)

担　当：　稲川　健太郎

内　容：　ヒトの誕生から死に至るまでの心身の変化を発達という。特に、世界を理解し適応しようとする心の働き（認知）の変化に焦点をあて解説する。

9. ヒトの発達について(2)

担　当：　稲川　健太郎

内　容：　第八回を踏まえ、認知発達について、経年変化に伴い変化していくという説、他者との相互作用により変化していくという説、これら二つの異なる説を検討する。

10. こころを測るということ

担　当：　稲川 健太郎

内　容：　心理学ではさまざまな形でこころという見えない物を測っている。心理検査のなりたちと、仕組み、検討すべき点について説明していく。

11. 心理検査で何を検査しているか

担　当：　稲川 健太郎

内　容：　第10回に引続き、こころを測ることについて、テストを実際に体験し、その仕組みについて考えていく。

12. 意識の科学と哲学

担　当：　林 禅之

内　容：　知覚経験や身体感覚にはある独特な主観的感じ、あるいは「クオリア」が伴うと考えられている。クオリアの本性に迫る現代の科学研究を概観しながら、意識の存在が提起するいくつかの哲学的な問題について考える。

13. 意思決定のはなし

担　当：　椎橋 実智男

内　容：　意思決定に関する様々なアプローチを概観し、意思決定のプロセスについて考える。

14. 認知行動療法と医療心理学

担　当：　五十嵐 友里

内　容：　行動科学が実際の医療場面でどのように使われているか、また医療従事者の行動にどのように生かせるのかを概説する。

15. まとめ

担　当：　菅 理江

内　容：　本講義で学んだことをまとめ、行動研究上で重要な倫理的問題について考える。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
行動科学概論	講義	1 年 後期	2	共通科目	菅　理江、吉川圭介、小柴満美子、林禅之、椎橋実智男、稲川健太郎、五十嵐友里

到達目標

ヒトの行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。行動を対象とした研究の実際を紹介し、行動が様々な要因によって規定され、階層的な異なるレベルで説明されていることを理解する。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/7	月	5 限	毛呂山キャンパス	菅	こころはどこにあるのか - 心理学史
2	10/7	月	6 限	毛呂山キャンパス	菅	感覚と知覚
3	10/21	月	6 限	毛呂山キャンパス	吉川	行動薬理学(1)
4	10/28	月	6 限	毛呂山キャンパス	吉川	行動薬理学(2)
5	11/11	月	6 限	毛呂山キャンパス	菅	学習と記憶
6	11/18	月	6 限	毛呂山キャンパス	小柴	愛着と社会性(1)
7	11/25	月	6 限	毛呂山キャンパス	小柴	愛着と社会性(2)
8	12/2	月	5 限	毛呂山キャンパス	稲川	ヒトの発達について(1)
9	12/2	月	6 限	毛呂山キャンパス	稲川	ヒトの発達について(2)
10	12/9	月	5 限	毛呂山キャンパス	稲川	こころを測るということ
11	12/9	月	6 限	毛呂山キャンパス	稲川	心理検査で何を検査しているか
12	12/16	月	6 限	毛呂山キャンパス	林	意識の科学と哲学
13	12/23	月	6 限	毛呂山キャンパス	椎橋	意思決定の話
14	1/13	月	6 限	川越キャンパス	五十嵐	認知行動療法と医療心理学
15	1/20	月	6 限	毛呂山キャンパス	菅	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業内で出される課題によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：岡市廣成・鈴木尚人監修「心理学概論第 2 版」ナカニシヤ出版（2014） ISBN 978-4-7795-0830-1	基本毛呂山キャンパスでの開講。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
細胞生物学概論	講義	1年 後期	2	共通科目	西本正純

到達目標

日常的に使われている“遺伝”という言葉について考えてみませんか？
そもそも親から子へ“遺伝”すると言ったとき、その実態はなんなのだろうか？
また個人個人で固有の性質があるというが、何によって規定されるのだろうか？
といった基本的な疑問から、そもそも“生命とは何か？”について考えてみたいと思います。
その上で、以下のような疑問について理解してもらえたらと思います。
1. 人体の基本構造である“細胞”についてその構造について、まず理解してもらうことを目標とします。その上で人体は多種類の細胞から構成されているが、なぜそれぞれの細胞は固有の性質を持っているのだろうか？
2. それぞれのヒトは固有の性質を持っているが、その特有な性質は各個人が持つ遺伝子によって規定されている。それではそもそも遺伝子とは何なのだろうか？
3. その上で、遺伝子と個人の固有の性質が、どのような関係にあるかについて考えてみます。そのうえで、親から子へと遺伝子は伝えられていくが、そこにはどのようなメカニズムが存在しているのだろうか？
4. 遺伝子の異常が疾患と深く関係していることは知られているが、それでは遺伝子の異常がいかに疾患発症につながるのだろうか？さらにその性質が遺伝するということは何を意味しているのだろうか？
5. 以上のことを理解したうえで、現在医療現場で注目されているトピックについて触れます。現時点では、落ち着いているとはいえ、皆さんにとって重大な関心事である「新型コロナウイルス(SARS-CoV2)」についても、ここまでで学んだ「遺伝子」という言葉を使用しながら、新世代ワクチン開発なども交えながら話します。
6. なお、前期に「実験医学特別講義」において西本が、「ES 細胞の臨床応用研究」で「再生医療」について話す予定としています。こちらもぜひ受講してもらえればと思います。なお、この「細胞生物学概論」において「再生医療」というテーマで話す予定としていますが、これは上記「ES 細胞の臨床応用研究」の内容について、より基本的なところから話すとともに、復習的な意味を込めて内容を別の語り口で話すこととしていますので、合わせて受講してもらえると、より理解が深まると思います。

以上のような内容を理解することで、今後研究者となる場合にはその基盤として、医療従事者となる場合には視野を拡げることを目的としています。

その他、受講される方の修士課程でのテーマを教えてもらえれば、そのテーマを別の切り口から話すことも考えていますので、今後の参考になることもあるかもしれません

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/2	水	1限	ゼミ室	西本	細胞の構造
2	10/9	水	1限	ゼミ室	西本	タンパク質の構造と機能
3	10/16	水	1限	ゼミ室	西本	遺伝情報を担う核酸からタンパク質合成へ（1）
4	10/23	水	1限	ゼミ室	西本	遺伝情報を担う核酸からタンパク質合成へ（2）
5	10/30	水	1限	ゼミ室	西本	遺伝子の構造
6	11/6	水	1限	ゼミ室	西本	遺伝子の変異について考える
7	11/13	水	1限	ゼミ室	西本	相同染色体について考える、単一遺伝子病―顕性(優性）遺伝と潜性（劣性）遺伝
8	11/20	水	1限	ゼミ室	西本	血液型の話
9	11/27	水	1限	ゼミ室	西本	PCR の原理
10	12/4	水	1限	ゼミ室	西本	DNA 鑑定
11	12/11	水	1限	ゼミ室	西本	ウイルスについて：(その１：基本性質)
12	12/18	水	1限	ゼミ室	西本	ウイルスについて（その２：ワクチン戦略)
13	1/8	水	1限	ゼミ室	西本	再生医療（1）
14	1/15	水	1限	ゼミ室	西本	再生医療（2）
15	1/22	水	1限	ゼミ室	西本	再生医療（3）

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講をもって単位を認定する。講義中に小テストを予定しています。	西本正純 質問などがあれば、メールにて連絡をください。また、直接対面で話がしたい場合は、メールにて日時・場所などを相談のうえ、その時間を作ります。 e-mail: masamasa@saitama-med.ac.jp
教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：特になし 参考書：Essential 細胞生物学（南江堂） その他スライドにおいて引用文献として記載してあるものを、参考書として利用してもらえれば、と思います。	講義の中で、理解できなかった部分があった場合は、その講義の中、あるいはその直後に教官に質問し、疑問点を残さないように努めてください。

授業内容

細胞の構造

担当者： 西本正純

内　容：
1. 細胞が生体の基本単位であることを説明できる。
2. 真核細胞と原核細胞の違いについて説明できる。
3. 主な細胞内小器官の役割について説明できる。

タンパク質の構造と機能

担当者： 西本正純

内　容：
1. アミノ酸の構造について説明できる。
2. タンパク質の構造について説明できる。
3. タンパク質が細胞の機能を果たすうえで中心にあることを説明できる。

遺伝情報を担う核酸からタンパク質合成へ（１）

担当者： 西本正純

内　容：
1. 核酸が遺伝情報の基本となっていることを説明できる。
2. 核酸の構造について説明できる。
3. 遺伝情報からタンパク質が合成されるまでの段階を説明できる。
4. 遺伝子とは何か、説明できる。

遺伝情報を担う核酸からタンパク質合成へ（２）

担当者： 西本正純

内　容：
1. DNAとRNAの高次構造の違いとその機能の違いを説明できる。
2. 遺伝情報からタンパク質が合成されるまでの段階を説明できる。

遺伝子の構造

担当者： 西本正純

内　容：
1. なぜ細胞により合成されるタンパク質が異なるか説明できる。
2. プロモーター、エンハンサー、エクソン、イントロンといった遺伝子の構造について説明できる。

遺伝子の変異について考える

担当者： 西本正純

内　容：
1. 遺伝子の変異にはどのようなものがあるか説明できる。
2. 遺伝子の変異によりどのようなことが起こりうるか説明できる。

相同染色体について考える、単一遺伝子病―顕性（優性）遺伝と潜性（劣性）遺伝

担当者： 西本正純

内　容：
1. 相同染色体とは何か説明できる。
2. 親子、兄弟での形質の違いについて相同染色体の面から説明できる。
3. 顕性（優性）遺伝と潜性（劣性）遺伝について相同染色体の面から説明できる。
4. 常染色体と性染色体での遺伝形式の違いについて説明できる。

血液型の話

担当者： 西本正純

内　容： 1.ABO血液型とは何か説明できる。
2.抗原・抗体反応（免疫反応）の基本的な原理について説明できる。
3.血液型が親子でいかに遺伝されるか説明できる。

PCRの原理

担当者： 西本正純

内　容： 1.PCRの原理が説明できる。
2.PCRの利点と欠点を説明できる。

DNA鑑定

担当者： 西本正純

内　容： 1.個人個人でのゲノム構造の違いについて説明できる。
2.PCRを利用することでなぜ親子鑑定、犯罪捜査の証拠になりうるのか説明できる。

ウイルスについて：（その１：基本性質）

担当者： 西本正純

内　容： 1.ウイルスの構造について説明できる。
2.ウイルスの増殖について説明できる。
3.ウイルス感染症の治療薬について説明できる。

ウイルスについて（その２：ワクチン戦略）

担当者： 西本正純

内　容： 1.抗体とはどのようなもので、その働きについて説明できる。。
2.ワクチンを接種することでの感染防御の仕組みについて説明できる。
3.新世代ワクチン（組換え技術を利用したワクチン）について説明できる。

再生医療（1）

担当者： 西本正純

内　容： 1.再生医療がどのような疾患に対し有効であるか説明できる。
2.胚性幹細胞と体性幹細胞の違いを説明できる。
3.胚性幹細胞を再生医療で利用するうえでの利点と欠点について説明できる。
4.クローン動物について説明できる。
5.ヒトES細胞とマウスES細胞の違いが説明できる。

再生医療（2）

担当者： 西本正純

内　容： 1.iPS細胞とはどのようにして生み出されたか説明できる。
2.iPS細胞がなぜ再生医療に有効な材料と考えられているのか説明できる。
3.iPS細胞の再生医療以外での利用法について説明できる。

再生医療（3）

担当者： 西本正純

内　容： 1.なぜ当初考えられたiPS細胞の再生医療の利用には問題があるか説明できる。
2.その問題点を解消するために考えられたiPS細胞バンクについて説明できる。
3.なぜそもそも臓器移植では拒絶反応が起こるのか説明できる。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
医療安全管理学概論	講義	1年 後期	2	共通科目	中島　勧

到達目標

医療安全の確保に必要な考え方を自ら考え、医療にかかわるに際し、これを実践できる能力を養う。
【学習の具体的な目標】
1. 医療安全問題の基本を理解し、安全な医療実践のための方策を探ることができる。
2. 医療保険をはじめとするわが国の医療の現状を理解し、医療安全にかかわる医療環境につき考察することができる。
3. 医療安全にかかわる医療システム、医療人の考え方を考察し、医療安全確保のため各自ができることは何かを考えることができる。
4. 医療事故におけるヒューマンエラーのかかわりを理解し、人間はエラーをするものであるとの考えに立った医療安全確保の方策をさぐることができる。
5. インシデントとアクシデントの違いを理解し、その分析、医療安全確保への応用を考えることができる。
6. 医療機器の安全確保については、操作ミスなどのヒューマンエラー対策が重要であることを、具体的な事例を挙げて考えてみることができる。
7. 過去に問題となった医療事故を分析して、その原因、対処法、防止策につき討論することができる。
8. 医療安全、院内感染防止、救急医療につき実際の医療現場において体験しその中で安全な医療のあり方を再確認することができる。
9. 医療安全対策を行った結果を評価することができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/2	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療安全の基本
2	10/9	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療環境を考察
3	10/16	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療をおびやかす諸問題
4	10/23	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療におけるヒューマンエラー
5	10/30	水	6限	C201ゼミ室	中島	インシデントとアクシデント
6	11/6	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療機器の安全
7	11/13	水	6限	C201ゼミ室	中島	過去の医療事故から学ぶⅠ
8	11/20	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療安全実践Ⅰ
9	11/27	水	6限	C201ゼミ室	中島	過去の医療事故から学ぶⅡ
10	12/4	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療安全実践Ⅱ
11	12/11	水	6限	C201ゼミ室	中島	過去の医療事故から学ぶⅢ
12	12/18	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療安全実践Ⅲ
13	12/25	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療安全対策評価Ⅰ
14	1/8	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療安全対策評価Ⅱ
15	1/15	水	6限	C201ゼミ室	中島	医療安全対策評価Ⅲ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
討論、発表、レポートによる評価	教員一覧参照
教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：特になし 参考書：特になし	履修を希望する場合は、履修届を提出する前に必ず、担当教員に連絡し、内容ならびに日程の確認をすること。

授業内容
1. 医療安全の基本 内　容：　医療安全問題の基本を理解し、安全な医療実践のための方策を探る。 2. 医療環境を考察 内　容：　医療保険をはじめとするわが国の医療の現状を理解し、医療安全にかかわる医療環境につき考察する。 3. 医療をおびやかす諸問題 内　容：　医療安全にかかわる医療システム、医療人の考え方を考察し、医療安全確保のため各自ができることは何かを考える。 4. 医療におけるヒューマンエラー 内　容：　医療事故におけるヒューマンエラーのかかわりを理解し、人間はエラーをするものであるとの考えに立った医療安全確保の方策をさぐる。 5. インシデントとアクシデント 内　容：　インシデントとアクシデントの違いを理解し、その分析、医療安全確保への応用を考える。 6. 医療機器の安全 内　容：　医療機器の安全確保については、操作ミスなどのヒューマンエラー対策が重要であることを、具体的な事例を挙げて考えてみる。 7. 過去の医療事故から学ぶⅠ 内　容：　過去に問題となった医療事故を分析して、その原因、対処法、防止策につき討論する。 8. 医療安全実践Ⅰ 内　容：　医療安全、院内感染防止、救急医療につき実際の医療現場において体験しその中で安全な医療のあり方を再確認する。 9. 医療安全対策評価Ⅰ 内　容：　医療安全対策を行った結果を評価する。 10. 過去の医療事故から学ぶⅡ 内　容：　過去に問題となった医療事故を分析して、その原因、対処法、防止策につき討論する。 11. 医療安全実践Ⅱ 内　容：　医療安全、院内感染防止、救急医療につき実際の医療現場において体験しその中で安全な医療のあり方を再確認する。 12. 医療安全対策評価Ⅱ 内　容：　医療安全対策を行った結果を評価する。 13. 過去の医療事故から学ぶⅢ 内　容：　過去に問題となった医療事故を分析して、その原因、対処法、防止策につき討論する 14. 医療安全実践Ⅲ 内　容：　医療安全、院内感染防止、救急医療につき実際の医療現場において体験しその中で安全な医療のあり方を再確認する。 15. 医療安全対策評価Ⅲ 内　容：　医療安全対策を行った結果を評価する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
医療安全管理学概論	講義	1 年 後期	2	共通科目	中島　勧

到達目標

医療安全の確保に必要な考え方を自ら考え、医療にかかわるに際し、これを実践できる能力を養う。
【学習の具体的な目標】
1. 医療安全問題の基本を理解し、安全な医療実践のための方策を探ることができる。
2. 医療保険をはじめとするわが国の医療の現状を理解し、医療安全にかかわる医療環境につき考察することができる。
3. 医療安全にかかわる医療システム、医療人の考え方を考察し、医療安全確保のため各自ができることは何かを考えることができる。
4. 医療事故におけるヒューマンエラーのかかわりを理解し、人間はエラーをするものであるとの考えに立った医療安全確保の方策をさぐることができる。
5. インシデントとアクシデントの違いを理解し、その分析、医療安全確保への応用を考えることができる。
6. 医療機器の安全確保については、操作ミスなどのヒューマンエラー対策が重要であることを、具体的な事例を挙げて考えてみることができる。
7. 過去に問題となった医療事故を分析して、その原因、対処法、防止策につき討論することができる。
8. 医療安全、院内感染防止、救急医療につき実際の医療現場において体験しその中で安全な医療のあり方を再確認することができる。
9. 医療安全対策を行った結果を評価することができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/2	水	7 限	C201ゼミ室	中島	医療安全の基本
2	10/9	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療環境を考察
3	10/16	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療をおびやかす諸問題
4	10/23	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療におけるヒューマンエラー
5	10/30	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	インシデントとアクシデント
6	11/6	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療機器の安全
7	11/13	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	過去の医療事故から学ぶⅠ
8	11/20	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療安全実践Ⅰ
9	11/27	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	過去の医療事故から学ぶⅡ
10	12/4	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療安全実践Ⅱ
11	12/11	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	過去の医療事故から学ぶⅢ
12	12/18	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療安全実践Ⅲ
13	12/25	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療安全対策評価Ⅰ
14	1/8	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療安全対策評価Ⅱ
15	1/15	水	7 限	C201 ゼミ室	中島	医療安全対策評価Ⅲ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
討論、発表、レポートによる評価	教員一覧参照
教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：特になし 参考書：特になし	履修を希望する場合は、履修届を提出する前に必ず、担当教員に連絡し、内容ならびに日程の確認をすること。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
病理学概論	講義	1年 前期	2	共通科目	茅野秀一、佐々木惇、山田健人、石澤圭介、山口　浩、百瀬修二、安田政実、佐藤次生、川崎朋範、東　守洋、長谷部孝裕

到達目標

1. 医学領域で日常使用する専門用語の定義を知り、基礎知識を得て、活用できる。
2. 疾患のある臓器の形態異常と、その初期像から終末像までの変遷を推定し説明できる。
3. 形態異常の病変が如何なる原因理由で生じたか説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	1限	C201ゼミ室	佐々木 惇	緒言、先天異常、奇形
2	4/22	月	1限	C201ゼミ室	茅野 秀一	退行性病変、進行性病変
3	5/13	月	1限	C201ゼミ室	茅野 秀一	循環障害(1) 出血
4	5/20	月	1限	C201ゼミ室	茅野 秀一	循環障害(2) 梗塞
5	5/27	月	1限	C201ゼミ室	山田 健人	循環障害(3) 全身性循環障害
6	6/3	月	1限	C201ゼミ室	茅野 秀一	炎症(1) 概念
7	6/10	月	1限	C201ゼミ室	石澤 圭介	炎症(2) 炎症の型
8	6/17	月	1限	C201ゼミ室	山口　浩	炎症(3) 分類と疾患名
9	6/24	月	1限	C201ゼミ室	百瀬 修二	炎症(4)　免疫とその異常
10	7/1	月	1限	C201ゼミ室	安田 政実	腫瘍総論(1) 定義と形態、分類
11	7/8	月	1限	C201ゼミ室	佐藤 次生	腫瘍総論(2) 腫瘍の組織型
12	7/22	月	1限	C201ゼミ室	川崎 朋範	腫瘍総論(3) 転移、早期癌、前癌病変
13	7/29	月	1限	C201ゼミ室	東　守洋	腫瘍総論(4) 癌関連遺伝子
14	8/5	月	1限	C201ゼミ室	長谷部孝裕	病理学研究
15	8/19	月	1限	C201ゼミ室	茅野 秀一	概論　全体のまとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
講義出席とレポートにより評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
参考書：標準病理学(医学書院)	不明な点は講義中に質問するよう心がけて欲しい。 なお日程の 15 回目は変更される場合もある。

授業内容

1. 緒言、先天異常、奇形

担　当：　佐々木　惇

内　容：　1.病理解剖、外科病理等の病理学的検索方法の概略を説明できる。
2.検体の肉眼所見や光学顕微鏡所見の観察からどんな異常か述べられる。
3.代表的な先天異常、奇形の疾患について述べられる。
4.遺伝性疾患の概略について述べられる。
5.代表的な染色体異常について説明できる。

2. 退行性病変、進行性病変

担　当：　茅野 秀一

内　容：　1.萎縮、変性、壊死の定義概念について述べられる。
2.肥大、過形成、再生、化生の定義概念について述べられる。
3.創傷の治癒機転とその経過中に現われる肉芽組織について述べられる。

3. 循環障害(1) 出血

担　当：　茅野　秀一

内　容：　1.出血の定義が述べられる。
2.代表的出血疾患について説明でき、発病後の病態の変遷を述べられる。

4. 循環障害(2) 梗塞

担　当：　茅野　秀一

内　容：　1.虚血、うっ血、充血、血栓、塞栓の定義概念について説明できる。
2.梗塞の定義について説明でき、代表的な梗塞疾患の発症機序、および発病後の病態の変遷が説明できる。

5. 循環障害(3) 全身性循環障害

担　当：　山田 健人

内　容：　1.高血圧、ショック、出血傾向、DIC等の循環障害について説明できる。
2.高血圧、ショック等の際にどんな経過を辿るか述べられる。

6. 炎症(1) 概念

担　当：　茅野　秀一

内　容：　1. 炎症の概念について述べられる。
2.炎症の５徴候を述べられる。

7. 炎症(2) 炎症の型

担　当：　石澤 圭介

内　容：　1.炎症の原因、組織変化、修復機転について述べられる。
2.炎症の型について説明できる。

8. 炎症(3) 分類と疾患名

担　当：山口　浩

内　容：　1.原因や炎症の型に基づく炎症疾患の命名法を説明できる。
2.主な感染症とその病理病態像について説明できる。

9. 炎症(4)免疫とその異常

担　当：　百瀬 修二

内　容：　1.免疫不全の原因、病態と、弱毒菌感染症について説明できる。
2.アレルギーの定義とアレルギー性疾患について説明できる。

10. 腫瘍総論(1) 定義と形態、分類

担　当：　安田 政実

内　容：　1.腫瘍の定義が述べられる。
2.良性腫瘍と悪性腫瘍、上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の相違点が説明できる。

11. 腫瘍総論(2) 腫瘍の組織型

担　当：　佐藤　次生

内　容：　1.腫瘍の形態、増殖様式について述べられる。
2.腫瘍細胞の異型性について述べられる。
3.正常組織と腫瘍の肉眼所見、組織所見の相違点について説明できる。

12. 腫瘍総論(3) 転移、早期癌、前癌病変

担　当：　川崎朋範

内　容：　1.癌の拡がり方、転移の種類について説明できる。
2.早期癌と前癌病変について具体例を説明できる。

13. 腫瘍総論(4) 癌関連遺伝子

担　当：　東　守洋

内　容：　遺伝子異常、環境因子、ウイルス因子等による発癌機序の概略を説明できる。

14. 病理学的研究

担　当：　長谷部　孝裕

内　容：　1. 研究（目的、分野・種類、対象、方法等）について説明できる。
2. 病理学的研究の特徴について説明できる。

15. 全体のまとめ

担　当：　茅野 秀一

内　容：　全体を通じての内容の討論，質疑応答を行う。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
病理学概論	講義	1 年 前期	2	共通科目	茅野秀一、川崎朋範（国）、山田健人、百瀬修二（総）、奥寺康司、山口　浩（国）、安田政実（国）、木下勇一、東守洋（総）、長谷部孝裕（国）（講義順）

到達目標

1. 基本的な医学用語を適切に使用して各種病的現象を説明できる。
2. 代表的な病変・疾患の形態学的特徴を説明できる。
3. 代表的な病変・疾患の原因、理由と成立の機序について説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	6 限	C201 ゼミ室	茅野 秀一	緒言、細胞傷害（退行性病変、進行性病変）
2	4/22	月	6 限	C201 ゼミ室	川崎 朋範	先天異常、奇形
3	5/13	月	6 限	C201 ゼミ室	茅野秀一	循環障害(1) 出血
4	5/20	月	6 限	C201 ゼミ室	茅野秀一	循環障害(2) 梗塞
5	5/27	月	6 限	C201 ゼミ室	山田 健人	循環障害(3) 全身性循環障害
6	6/3	月	6 限	かわクリ	百瀬 修二	炎症(1) 概念
7	6/10	月	6 限	C201 ゼミ室	奥寺康司	炎症(2) 炎症の型
8	6/17	月	6 限	C201 ゼミ室	山口　浩	炎症(3) 分類と疾患名
9	6/24	月	6 限	かわクリ	百瀬 修二	炎症(4)　免疫とその異常
10	7/1	月	6 限	C201 ゼミ室	安田 政実	腫瘍総論(1) 定義と形態、分類
11	7/8	月	6 限	C201 ゼミ室	木下 勇一	腫瘍総論(2) 腫瘍の組織型
12	7/22	月	6 限	C201 ゼミ室	川崎 朋範	腫瘍総論(3) 転移、早期癌、前癌病変
13	7/29	月	6 限	かわクリ	東　守洋	腫瘍総論(4) 癌関連遺伝子
14	8/5	月	6 限	C201 ゼミ室	長谷部孝裕	病理学研究
15	8/19	月	6 限	C201 ゼミ室	茅野 秀一	概論　全体のまとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
講義出席とレポートにより評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
参考書：標準病理学(医学書院)	不明な点は講義中に質問するよう心がけて欲しい。 なお日程の 15 回目は変更される場合もある。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体機能形態学概論	講義	1年 前期	2	共通科目	山岸 敏之 小野 公嗣 時田 幸之輔

到達目標

人体の形態および構造を発生学、形態学、組織学的観点から理解し、研究の方法および研究への応用法を考える。

【学習の具体的な目標】

1. 細胞・組織・器官の基本的構造と機能を説明できる。
2. ヒトの発生過程の概略を説明できる。
3. 呼吸・循環・泌尿器の発生過程と構造を説明できる。
4. 消化器の発生過程と構造を説明できる。
5. 骨・筋・神経（感覚器を含む）の構造と機能を説明できる。
6. 正常な人体の構造を肉眼解剖レベル、顕微解剖レベル、発生学の視点から説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/16	火	2限	C201ゼミ室	山岸	体制、受精
2	4/23	火	2限	C201ゼミ室	山岸	着床、胚葉分化
3	5/7	火	2限	C201ゼミ室	山岸	咽頭弓から形成される器官、運動器系の発生
4	5/14	火	2限	C201ゼミ室	山岸	呼吸器系、消化器系の発生
5	5/21	火	2限	C201ゼミ室	山岸	循環器系、泌尿生殖器系、神経系の発生
6	5/28	火	2限	C201ゼミ室	小野	正常構造の階層性と組織学
7	6/4	火	2限	C201ゼミ室	小野	研究における組織学的解析法
8	6/11	火	2限	C201ゼミ室	小野	中枢神経系の恒常性
9	6/18	火	2限	C201ゼミ室	小野	血液の恒常性
10	6/25	火	2限	C201ゼミ室	小野	組織学的解析法の応用
11	7/2	火	2限	C201ゼミ室	時田	運動器系の肉眼解剖
12	7/9	火	2限	C201ゼミ室	時田	上肢の構造（局所解剖学）
13	7/16	火	2限	C201ゼミ室	時田	下肢の構造(局所解剖学)
14	7/23	火	2限	C201ゼミ室	時田	体幹・頭部の構造(局所解剖学)
15	7/30	火	2限	C201ゼミ室	時田	中枢神経系・末梢神経系の構造

評価方法	連絡先／オフィスアワー
講義への出席状況、講義中の質疑応答、講義終了後に与えられる課題のレポートによる理解度で評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：適宜資料を配付する 参考書： 1. ムーア人体発生学(Moor and Persaud 原著、医歯薬出版) 2. 日本人体解剖学（金子著、南山堂）	特になし

授業内容
1. 体制、受精 担　当：　山岸 敏之 内　容：　1.脊椎動物の体制について説明できる 2.生殖子の形成過程について説明できる。 3.受精の経過を説明できる。 **2. 着床、胚葉分化** 担　当：　山岸 敏之 内　容：　1.卵割・原腸形成・器官形成の概略を説明できる。 2.二層性胚盤・三層性胚盤について説明できる。 3.外胚葉・内胚葉・中胚葉について説明できる。 **3. 咽頭弓から形成される器官、運動器系の発生** 担　当：　山岸 敏之 内　容：　1.咽頭弓について説明できる。 2.顔面、口蓋の発生について説明できる。 3.体節について説明できる。 4.骨格筋の発生について説明できる。 5.四肢の発生について説明できる。 **4. 呼吸器系、消化器系の発生** 担　当：　山岸 敏之 内　容：　1.下気道・肺の発生について説明できる。 2.消化管の発生について説明できる。 3.肝臓、膵臓の発生について説明できる。 **5. 循環器系、泌尿生殖器系、神経系の発生** 担　当：　山岸 敏之 内　容：　1.心臓・血管の発生について説明できる。 2.胎生期造血について説明できる。 3.前腎・中腎・後腎について説明できる。 4.中腎管・中腎傍管について説明できる。 5.性の決定について説明できる。 6.中枢神経系の発生が説明できる 7.末梢神経系の発生が説明できる。 **6. 正常構造の階層性と組織学** 担　当：　小野 公嗣 内　容：　1. 細胞小器官について説明できる。 2. 組織の構成について説明できる。 3. 器官の構成について説明できる。 4. 階層性について説明できる。 **7. 研究における組織学的解析法** 担　当：　小野 公嗣 内　容：　1. 組織化学的解析について説明できる。 2. 免疫組織化学的解析について説明できる。 **8. 中枢神経系の恒常性** 担　当：　小野 公嗣 内　容：　1. 脳脊髄液循環について説明できる。 2. 中枢神経系の恒常性について説明できる。 3. 中枢神経系における恒常性の破綻について説明できる。

9. 血液の恒常性

担　当：　小野 公嗣

内　容：　1. 血液浄化作用が説明できる。
2. 脾臓の組織構造と機能について説明できる。
3. 脾臓の発生異常について考察できる。

10. 組織学的解析法の応用

担　当：　小野 公嗣

内　容：　1. 自分の研究内容を図示して説明することができる。
2. 組織学的な研究手法について自分の研究への応用を検討することができる。

11. 運動器系の肉眼解剖

担　当：　時田 幸之輔

内　容：　肉眼解剖学的な研究方法について説明できる。

12. 上肢の構造（末梢神経、脈管を含む局所解剖学）

担　当：　時田 幸之輔

内　容：　1.上肢の筋骨格系について説明できる。
2.上肢筋骨格系の比較解剖学的研究課題について説明できる。
3.上肢の末梢神経、脈管を含む局所解剖学について説明できる。
4.上肢の局所解剖学・肉眼解剖学的研究課題について説明できる。

13. 下肢の構造（局所解剖学）

担　当：　時田 幸之輔

内　容：　1.下肢の筋骨格系について説明できる。
2.下肢筋骨格系の比較解剖学的研究課題について説明できる。
3.下肢の末梢神経、脈管を含む局所解剖学について説明できる。
4.下肢の局所解剖学・肉眼解剖学的研究課題について説明できる。

14. 体幹・頭部の構造（特殊感覚を含む）

担　当：　時田 幸之輔

内　容：　1.体幹・頭部の構造（特殊感覚を含む）について説明できる。
2.頭部・体幹の肉眼解剖学的研究課題について説明できる。

15. 中枢神経系・末梢神経系の構造

担　当：　時田 幸之輔

内　容：　1.中枢神経系の構造について説明できる。
2.末梢神経系の構造について説明できる。
3.末梢神経系の肉眼解剖学的研究課題について説明できる。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
リハビリテーション医療学概論	講義	1年後期	2	共通科目	國澤 洋介、赤坂 清和、高倉 保幸、新井 智之、大久保 雄、服部 寛、田上 未来

到達目標

リハビリテーション医療における最新の知見を幅広く紹介する。また、討論を通じてリハビリテーション領域における現在の課題と今後の展望について理解を深める。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/30	月	4限	川角キャンパス院生室	赤坂	リハビリテーションと ICF
2	10/7	月	4限	川角キャンパス院生室	服部	障がい者スポーツの歴史と現状
3	10/14	月	4限	川角キャンパス院生室	大久保	徒手理学療法学概論(1)
4	10/21	月	4限	川角キャンパス院生室	大久保	徒手理学療法学概論(2)
5	10/28	月	4限	川角キャンパス院生室	服部	生体関節運動の超音波画像解析と臨床応用(1)
6	11/11	月	4限	川角キャンパス院生室	大久保	生体関節運動の超音波画像解析と臨床応用(2)
7	11/18	月	4限	川角キャンパス院生室	大久保	腰部障害とリハビリテーション(1)
8	11/25	月	4限	川角キャンパス院生室	大久保	腰部障害とリハビリテーション(2)
9	12/2	月	4限	川角キャンパス院生室	大久保	腰部障害とリハビリテーション(3)
10	12/9	月	4限	川角キャンパス院生室	國澤・田上	医療機器の開発と活用(1)
11	12/16	月	4限	川角キャンパス院生室	國澤・田上	医療機器の開発と活用(2)
12	1/6	月	4限	川角キャンパス院生室	高倉	急性期リハビリテーションの課題と展望
13	1/20	月	4限	川角キャンパス院生室	高倉	回復期リハビリテーションの課題と展望
14	1/27	月	4限	川角キャンパス院生室	新井	予防医学に基づくリハビリテーション
15	1/28	火	4限	川角キャンパス院生室	赤坂	米国と日本の理学療法の相違

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業における質疑応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：資料を配布する。 参考書：特になし	授業テーマについて積極的な発言を求める。

授業内容

1. リハビリテーションと ICF

担　当：　赤坂 清和

内　容：　1. コース説明
2. リハビリテーションとICFの関係について，これらの歴史的背景と最新の知見を紹介する。

2. 障がい者スポーツの歴史と現状

担　当：　服部　寛

内　容：　障がい者スポーツの歴史と現状について紹介する。

3. 徒手理学療法学概論(1)

担　当：　大久保　雄

内　容：　関節に対する運動器徒手理学療法の歴史的背景と手技を概説する。

4. 徒手理学療法学概論(2)

担　当：　大久保　雄

内　容：　軟部組織に対する運動器徒手理学療法の歴史的背景と手技を概説する。

5. 生体関節運動の超音波画像解析と臨床応用(1)

担　当：　服部　寛

内　容：　生体関節運動を解析する場合の注意点と臨床応用例を紹介する。

6. 生体関節運動の超音波画像解析と臨床応用(2)

担　当：　大久保　雄

内　容：　生体関節運動を解析する場合の注意点と臨床応用例を紹介する。

7. 腰部障害とリハビリテーション(1)

担　当：　大久保　雄

内　容：　腰部障害とリハビリテーションに関する最新の知見を紹介し、課題と展望について討論する。

8. 腰部障害とリハビリテーション(2)

担　当：　大久保　雄

内　容：　腰部障害とリハビリテーションに関する最新の知見を紹介し、課題と展望について討論する。

9. 腰部障害とリハビリテーション(3)

担　当：　大久保　雄

内　容：　腰部障害とリハビリテーションに関する最新の知見を紹介し、課題と展望について討論する。

10. 医療機器の開発と活用(1)

担　当：　國澤　洋介・田上　未来

内　容：　医療機器開発人材育成プログラムと活動内容を紹介する。医療機器開発の現場や具体的な事例の紹

11. 医療機器の開発と活用(2)

担　当：　國澤　洋介・田上　未来

内　容：　実際の医療機器開発の現場、具体的な事例について紹介する。

12. 急性期リハビリテーションの課題と展望

担　当：　高倉 保幸

内　容：　急性期リハビリテーションの課題を概説し、今後の展望について討論する。

13. 回復期リハビリテーションの課題と展望

担　当：　高倉 保幸

内　容：　回復期リハビリテーションの課題を概説し、今後の展望について討論する。

14. 予防医学に基づくリハビリテーション

担　当：　新井　智之

内　容：　予防医学に基づくリハビリテーションを概説し、最新の知見とリハビリテーション領域への応用について紹介する。

15. 米国と日本の理学療法の相違

担　当：　赤坂 清和

内　容：　1. 米国の理学療法事情を概説する。また、日本との比較から理学療法を含めた今後のリハビリテーションのあり方について討論する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
リハビリテーション医療学概論	講義	1 年 後期	2	共通 科目	國澤　洋介 赤坂　清和 高倉　保幸 新井　智之 大久保　雄 服部　寛 田上　未来

到達目標

リハビリテーション医療における最新の知見を幅広く紹介する。また、討論を通じてリハビリテーション領域における現在の課題と今後の展望について理解を深める。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/3	木	7 限	川越ビル	赤坂	リハビリテーションと ICF
2	10/10	木	7 限	川越ビル	服部	障がい者スポーツの歴史と現状
3	10/17	木	7 限	川越ビル	大久保	徒手理学療法学概論(1)
4	10/24	木	7 限	川越ビル	大久保	徒手理学療法学概論(2)
5	10/31	木	7 限	川越ビル	服部	生体関節運動の超音波画像解析と臨床応用(1)
6	11/7	木	7 限	川越ビル	大久保	生体関節運動の超音波画像解析と臨床応用(2)
7	11/14	木	7 限	川越ビル	大久保	腰部障害とリハビリテーション(1)
8	11/21	木	7 限	川越ビル	大久保	腰部障害とリハビリテーション(2)
9	11/28	木	7 限	川越ビル	大久保	腰部障害とリハビリテーション(3)
10	12/5	木	7 限	川越ビル	國澤･田上	医療機器の開発と活用(1)
11	12/12	木	7 限	川越ビル	國澤･田上	医療機器の開発と活用(2)
12	12/19	木	7 限	川越ビル	高倉	急性期リハビリテーションの課題と展望
13	1/9	木	7 限	川越ビル	高倉	回復期リハビリテーションの課題と展望
14	1/16	木	7 限	川越ビル	新井	予防医学に基づくリハビリテーション
15	1/23	木	7 限	川越ビル	赤坂	米国と日本の理学療法の相違

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業における質疑応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：資料を配布する。 参考書：特になし	授業テーマについて積極的な発言を求める。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
実験動物学概論	講義	1年 前期	2	共通科目	水野 由美、川村 勇樹 冨永 信子、石原 由夏、 堀切 一美

到達目標

動物実験における動物種と飼育、実験に関わる法規及び倫理を理解し、医学・薬学・生物学等における実験動物の役割を理解し説明できることを目標とする。また、研究目的に応じた適切な実験動物の選択について、実験動物の種類や特性、飼育法、解析方法を理解し説明できることを目標とする。基本的な動物実験の手技を演習を通じて理解する。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	5/16	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	冨永	動物実験の定義
2	5/23	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	冨永	実験動物と動物実験
3	5/30	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	冨永	動物実験の倫理・法規と指針
4	6/6	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	冨永	実験動物育種・繁殖学
5	6/13	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	石原	実験動物の感染症と制御
6	6/20	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	石原	実験動物の寄生虫病
7	6/27	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	川村	モデル動物学
8	7/4	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	川村	比較遺伝学と遺伝子改変動物
9	7/11	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	水野	実験動物の表現型解析
10	7/18	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	堀切	実験動物飼育管理学 ①
11	7/25	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	堀切	実験動物飼育管理学 ②
12	8/1	木	1限	毛呂山キャンパス 第三研究棟	石原、冨永	動物実験技術（演習）①
13			2限	毛呂山キャンパス 第三研究	石原、冨永	動物実験技術（演習）②
14			3限	毛呂山キャンパス 第三研究	石原、冨永	動物実験技術（演習）③
15			4限	毛呂山キャンパス 第三研究	石原、冨永	動物実験技術（演習）④

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数の受講並びに参加をもって単位を認定する。 なお、必要に応じてレポートの提出を求めることがある。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書:必要に応じてプリント等を配布する。 参考書：特になし	講義は毛呂山キャンパス第三研究棟の研究室でおこなう。履修希望者は事前に場所を確認すること。

授業内容

1. 動物実験の定義

担 当：　冨永 信子

内 容：　動物実験の定義・理由・根拠について例を使って説明出来る。

2. 実験動物と動物実験

担 当： 冨永 信子

内 容： 実験動物とは何か、動物実験とは何かを理解し動物実験の結果をヒトへ外挿出来る事の根拠を説明出来る。

3. 動物実験の倫理・法規と指針

担 当： 冨永 信子

内 容： 動物福祉を理解し、動物愛護管理法にもとづく動物実験に対する3Rs(Refinement, Replacement, Reduction)を理解、説明出来る。

4. 実験動物育種・繁殖学

担 当： 冨永 信子

内 容： 実験動物の品種や系統を説明出来る。
実験動物の性成熟と性周期を理解し、動物種ごとの繁殖法、繁殖生理を説明出来る。

5. 実験動物の感染症と制御

担 当： 石原 由夏

内 容： 1.動物実験器具等の滅菌、消毒法等を説明出来る。
2.実験動物の種々の疾病の病態生理を理解し、予防や治療法を説明出来る。
3.人獣共通感染症の病態生理を理解し、予防法を説明できる。

6. 実験動物の寄生虫病

担 当： 石原 由夏

内 容： 実験動物に寄生する寄生虫について説明出来る。

7. モデル動物学

担 当： 川村 勇樹

内 容： 疾患モデル動物および生物学的モデル動物を説明出来る。

8. 比較遺伝学と遺伝子改変動物

担 当： 川村 勇樹

内 容： 1.遺伝子改変動物とは何かを理解し、例を用いて説明出来る。
2.遺伝子改変動物の作出方法を説明出来る。

9. 実験動物の表現型解析

担 当： 水野 由美

内 容： 1,実験動物を観察するために必要な着眼点を説明できる。
2, 実験動物の脳機能を測るための行動テストの種類とポイントを説明できる。

10-11. 実験動物飼育管理学①~②

担 当： 堀切 一美

内 容： 1.実験動物飼育における、飼育環境を理解し説明出来る。
2.動物種に合わせた飼育設備等を説明出来る。
3.実験動物種に合わせた飼育環境における温度、湿度、照明等の環境設定を説明出来る。

12－15. 動物実験技術（演習）①～④

担 当： 石原 由夏、冨永 信子

内 容： 1.実験動物種に合わせた保定法、個体識別法を具体的に説明出来る。
2.実験動物種に合わせた麻酔薬、麻酔法、安楽死等を具体的に説明出来る。
3.動物実験に使う基本的な実験装置等を理解し、具体手的に使用目的を説明出来る。

区分：共通科目		
科　目　名	実用実験医学特別講義　Introduction to Experimental Medicine	
授業責任者	ふりがな 氏名	ながしま　まさぶみ 永島　雅文　　M. Nagashima
	連絡先:メールアドレス	mnagashi@saitama-med.ac.jp
	オフィスアワー	火曜日 17：00-18：00 基礎医学棟 6 階 608
授業分担者	下記記載のとおり	
配当年次	1 年次　前期	
開講時間	火曜日　18 時～19 時 30 分	
開講場所	Zoom	

到達目標

医学研究の原理を理解しつつ、実用的な実験手技を効率よく習得し、自らの研究に応用していく能力を身につける。

教育内容

回	月日	講義名	担当者
1	4/23	肉眼解剖学と臨床医学 Clinical anatomy: concept and research	**解剖学** **永島雅文　M. Nagashima**
2	5/7	共同研究施設の利用と研究紹介 Biomedical Research Center: Division of Analytical Science	**中央研究施設** **水野洋介　Y.Mizuno**
3	5/14	細胞分離と細胞培養 Fundamental techniques of cell isolation and cell culture	**微生物学** **市川朝永　T. Ichikawa**
4	5/21	パッチクランプ法 Patch-clamp technique	**生理学** **平沢統　H. Hirasawa**
5	5/28	組換え DNA 実験安全委員会教育訓練：遺伝子組換え生物の取扱い Training lecture by the SMU Institutional Biosafety Committee: Handling of Genetically Modified Organisms	**微生物学** **村上孝　T.Murakami**
6	6/4	PCR と RT-PCR Introduction of PCR and RT-PCR	**微生物学** **中村彰宏　A. Nakamura**
7	6/11	ラジオアイソトープ利用研究の利点と実践 A practical guide to emplpy radioisotopes in your research	**生化学** **中野貴成　T. Nakano**
8	6/18	遺伝子改変動物を用いた疾患モデル研究 Studies of disease models using genetically modified animals	**解剖学** **佐藤智美 T. Sato**
9	6/25	薬剤スクリーニングの手法 Drag screening techniques	**解剖学** **栗崎知浩　T.Kurisaki**
10	7/2	病原微生物等取扱教育訓練:バイオセーフティとバイオテロの動向 Training lecture by the SMU Institutional Biosafety Committee: Bio-safety and risk management	**微生物学** **堀内大　Y. Horiuchi**
11	7/16	系統的変異体作製による構造機能相関の解析 Mutational analysis of molecular structure and function	**生化学** **魚住尚紀　N. Uozumi**
12	7/23	薬理学実験法 Pharmacological experiments	**薬理学** **淡路健雄 T. Awaji**
13	7/30	ES 細胞の臨床応用研究 ES cells: tools for the regenerative medicine	**中央研究施設** **西本正純　M. Nishimoto**
14	9/3	核医学における画像解析と統計処理 Data processing and statistical analysis in nuclear medicine images	**核医学** **松成一朗　I. Matsunari**
15	9/17	次世代シークエンサーやマイクロアレイを用いた遺伝子発現解析 Gene expression analysis using next generation sequencer or microarray	**中央研究施設** **水野洋介　Y.Mizuno**

準備学習
評価方法　履修に必要な時間数以上の受講並びに参加をもって単位を認定する。 なお、必要に応じレポートの提出を求めることがある。
成績評価基準 受講状況により、A.B.C.D をもって表し、A.B 及び C を合格、D を不合格とする。
注意事項・メッセージ オフィスアワーについては臨時の会議や出張などにより不在の可能性がありますので電話やメールにて事前の連絡をとることをお勧めいたします。

【オフィスアワー】

担当者	曜日・時間・場所
永島雅文	火曜日 17：00-18：00 基礎医学棟 6 階 608
水野洋介	水曜日 14：00-17：00　基礎医学棟地下 2 階　中央研究施設形態部門
市川朝永	水曜日 17：00-18：00 基礎医学棟 6 階 微生物学
平沢　統	木曜日 12：00-14：00 基礎医学棟 5 階
村上　孝	木曜日 16：30-17：30 基礎医学棟 6 階 微生物学
中村彰宏	水曜日 16：30-17：30 基礎医学棟 6 階
中野貴成	水曜日 16：00-17：00 基礎医学棟 4 階　生化学教員室
佐藤智美	水曜日 16：00-17：00 基礎医学棟 6 階 613
栗﨑知浩	月曜日 16：00-17：00 基礎医学棟 6 階 617
堀内　大	水曜日 17：00-18：00 基礎医学棟 6 階　微生物学
魚住尚紀	木曜日 16：30-18：00 基礎医学棟 4 階 生化学教員室
淡路健雄	火,水,木曜日 10：00-16：00 基礎医学棟 4 階薬理学 1 研
西本正純	水、木、金曜日 17：00-18：00 ゲノム棟 3 階ゲノム基礎医学 307 室
松成一朗	金曜日 14：00-17：00 大学病院 核医学科 読影室

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
統計情報解析特論	講義	1年 前期	2	共通科目	椎橋 実智男

到達目標

医学研究のために必要な統計処理の基本概念を理解し、実験データなどを適切に統計処理して、そこから見出された事柄を客観的に示すことができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/25	木	2限	Zoom	椎橋	統計解析の基本概念
2	5/2	木	2限	Zoom	椎橋	データの記述
3	5/9	木	2限	Zoom	椎橋	データの記述
4	5/23	木	2限	Zoom	椎橋	確率モデル1
5	5/30	木	2限	Zoom	椎橋	確率モデル2
6	6/6	木	2限	Zoom	椎橋	推測統計の本理念
7	6/13	木	2限	Zoom	椎橋	母集団の推定
8	6/20	木	2限	Zoom	椎橋	母集団の検定（平均値）
9	6/27	木	2限	Zoom	椎橋	母集団の検定（割合）
10	7/4	木	2限	Zoom	椎橋	分散分析
11	7/11	木	2限	Zoom	椎橋	ノンパラメトリク検定・多重比較
12	7/18	木	2限	Zoom	椎橋	生存時間分析・ハザード比
13	9/5	木	2限	Zoom	椎橋	検出力分析
14	9/12	木	2限	Zoom	椎橋	ROC・多重量解析
15	9/19	木	2限	Zoom	椎橋	ロジスティック回帰分析

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講・受講テーマに関するレポートなどで総合的に評価する。	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：初回の講義時に指定する。 参考書：「ハーバード大学標準テキスト生物統計学入門」（丸善）	十分な予習をもって講義に臨み、講義ごとに疑問点の解消を図ることが望ましい。 博士課程との合同科目である。

授業内容

1. 統計解析の基本概念

内　容：　1. 客観的な事実を示すために統計解析が必要とされる理由を説明できる。
2. 統計学における確率モデルの必要性を説明できる。

2. データの記述

内　容：　記述統計と推測統計の概要を説明できる。

3. データの記述

内　容：　1. 統計解析に用いるデータの種類とその性質を説明できる。
2. 代表値と散布度の種類と性質を説明でき、それらを用いてデータを記述できる。
3. ２変数の相関関係を、散布図・相関係数・回帰直線を用いて説明できる。

4. 確率モデル1

内　容：
1. 母集団と標本を説明できる。
2. 標本抽出の必要性と留意点を説明できる。
3. 確率分布を確率モデルとして用い、その起こる確率を推測できる。
4. 母集団、標本抽出、標本、確率モデル、母集団の推測、の関係を説明できる。

5. 確率モデル2

内　容：
1. 母平均の信頼区間の概念を説明できる。
2. 母平均の信頼区間を求めることができる。
3. 母比率の信頼区間を求めることができる。

6. 推測統計の本理念

内　容：
1. 統計的仮説検定の概念を説明できる。
2. 確率モデルと帰無仮説の関係を説明できる。
3. 帰無仮説が棄却できた場合、帰無仮説が採択されてしまった場合の結論の方法を説明できる。

7. 母集団の推定

内　容：　t分布を用いた母平均の検定（1群）を行い、結論を述べることができる。

8. 母集団の検定（平均値）

内　容：
1. t分布を用いた対応のない平均値の検定（2群）を実施できる。
2. F検定を実施できる。
3. ウェルチの検定を実施できる。
4. t分布を用いた対応のある平均値の検定（2群）を実施できる。

9. 母集団の検定（割合）

内　容：
1. カイ二乗検定の原理を説明できる。
2. カイ二乗検定を実施できる。
3. Fisherの精密検定を実施できる。

10. 分散分析

内　容：
1. 分散分析の概念を説明できる。
2. 一元配置の分散分析を実施できる。
3. 二元配置の分散分析を実施できる。
4. 交互作用を説明できる。

11. ノンパラメトリック検定・多重比較

内　容：
1. パラメトリックとノンパラメトリックの概念を説明できる。
2. パラメトリックな検定方法に対応するノンパラメトリックな検定方法を列挙できる。
3. ノンパラメトリックな検定を実施できる。

12. 生存時間分析・ハザード比

内　容：
1. 多重比較の概念を説明できる。
2. 多重比較の問題を考慮した検定手法を列挙し、その特性を説明できる。
3. 多重比較の問題を考慮した検定を実施できる。

13. 検出力分析

内　容：
1. 生存時間分析の概念を説明できる。
2. エンドポイント、観察期間、打ち切りの意味を説明できる。
3. 生存曲線を描くことができる。
4. 生存時間の検定が実施できる。
5. ハザードおよびハザード率の概念が説明できる。
6. ハザード比のを用いた比較ができる。

14. ROC・多変量解析

内　容：
1. ロジスティック回帰分析の概念を説明できる。
2. ロジスティック回帰分析を実施できる。
3. ロジスティック回帰分析の結果を解釈できる。

15. ロジスティック回帰分析

内　容：　医学データに妥当な検定手法を適用して解析し、その結果を論述できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
統計情報解析特論	講義	1 年 前期	2	共通科目	椎橋 実智男

到達目標

医学研究のために必要な統計処理の基本概念を理解し、実験データなどを適切に統計処理して、そこから見出された事柄を客観的に示すことができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/25	木	6 限	Zoom	椎橋	統計解析の基本概念
2	5/2	木	6 限	Zoom	椎橋	データの記述
3	5/9	木	6 限	Zoom	椎橋	データの記述
4	5/23	木	6 限	Zoom	椎橋	確率モデル 1
5	5/30	木	6 限	Zoom	椎橋	確率モデル 2
6	6/6	木	6 限	Zoom	椎橋	推測統計の本理念
7	6/13	木	6 限	Zoom	椎橋	母集団の推定
8	6/20	木	6 限	Zoom	椎橋	母集団の検定（平均値）
9	6/27	木	6 限	Zoom	椎橋	母集団の検定（割合）
10	7/4	木	6 限	Zoom	椎橋	分散分析
11	7/11	木	6 限	Zoom	椎橋	ノンパラメトリク検定・多重比較
12	7/18	木	6 限	Zoom	椎橋	生存時間分析・ハザード比
13	9/5	木	6 限	Zoom	椎橋	検出力分析
14	9/12	木	6 限	Zoom	椎橋	ROC・多重量解析
15	9/19	木	6 限	Zoom	椎橋	ロジスティック回帰分析

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講・受講テーマに関するレポートなどで総合的に評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：初回の講義時に指定する。 参考書：「ハーバード大学標準テキスト生物統計学入門」（丸善）	十分な予習をもって講義に臨み、講義ごとに疑問点の解消を図ることが望ましい。 博士課程との合同科目である。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
疫学方法特論	講義	1年 後期	2	共通科目	太田晶子

到達目標

疫学の基本概念を理解し、基本的方法を使うことができる。これを利用した研究計画をたてることができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/3	木	1限	C201ゼミ室	太田	What is epidemiology
2	10/10	木	1限	C201ゼミ室	太田	Quantifying disease in populations
3	10/17	木	1限	C201ゼミ室	太田	Comparing disease rates
4	10/24	木	1限	C201ゼミ室	太田	Measurement error and bias
5	11/7	木	1限	C201ゼミ室	太田	Planning and conducting a survey
6	11/14	木	1限	C201ゼミ室	太田	Ecological studies
7	11/21	木	1限	C201ゼミ室	太田	Longitudinal studies
8	11/28	木	1限	C201ゼミ室	太田	Case-control and cross sectional studies
9	12/5	木	1限	C201ゼミ室	太田	Experimental studies
10	12/12	木	1限	C201ゼミ室	太田	Screening
11	12/19	木	1限	C201ゼミ室	太田	Outbreakes of diseases
12	12/26	木	1限	C201ゼミ室	太田	Reading epidemiological reports
13	1/9	木	1限	C201ゼミ室	太田	Further reading
14	1/16	木	1限	C201ゼミ室	太田	〃
15	1/23	木	1限	C201ゼミ室	太田	〃

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席確認、講義中の到達度評価	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：中村好一. 基礎から学ぶ楽しい疫学　第4版　医学書院. 2020. 参考書：Coggon D.:Epidemiology for the Uninitiated. BMJ Books.ISBN-13:978-0727916044	学習方法：疫学を基礎から学ぶために書かれた教科書および参考書を用いて講義する。予め購入することが望ましい。

授業内容
1. What is epidemiology 内　容：　疫学の目的、方法の特徴、基本的概念について説明できる。 **2. Quantifying disease in populations** 内　容：　疾病の定義、疾病の頻度、頻度の尺度、について説明できる。 **3. Comparing disease rates** 内　容：　疾病頻度の比較の方法、曝露効果の測定方法が応用できる。 **4. Measurement error and bias** 内　容：　1.曝露効果の測定における､誤差、バイアスのメカニズムについて説明できる。 2.バイアス制御の方法が応用できる。 **5. Planning and conducting a survey** 内　容：　疫学研究計画策定の手順が説明できる。 **6. Ecological studies** 内　容：　Ecological study の具体例をあげ、その有用性を説明できる。 **7. Longitudinal studies** 内　容：　Longitudinal study の具体例をあげ、その有用性を説明できる。 **8. Case-control and cross sectional studies** 内　容：　Case-control study の方法､原理が説明できる。 **9. Experimental studies** 内　容：　Experimental study の方法、原理が説明できる。 **10. Screening** 内　容：　スクリーニングの概念、スクリーニング方法の評価の原則が説明できる。 **11. Outbreakes of diseases** 内　容：　疾病のOutbreake の観察、評価について説明できる。 **12. Reading epidemiological reports** 内　容：　疫学研究報告を批判的に読むことができる。 **13. Further reading①** 内　容：　疫学研究報告を批判的に読み、改善方法を考えることができる。 **14. Further reading②** 内　容：　疫学研究報告を批判的に読み、改善方法を考えることができる。 **15. Further reading③** 内　容：　疫学研究報告を批判的に読み、改善方法を考えることができる。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
最新医学特別講義	講義	1年 通年	2	共通科目	髙橋健夫、奥田晶彦、村上　孝 増谷　聡、廣田浩一、根本直人 岡田浩一、三村俊英、堀江公仁子 片桐岳信、解良恭一、千本松孝明 大西秀樹、亀井美登里

到達目標

進歩の著しい基礎医学、臨床医学の各領域を対象として、最新知識を各領域のエキスパートから講演いただき、大学院生としての素養である、未知なるものを探求する好奇心を育み、その方法論を学ぶとともに関連領域への見識の拡大を図る。また、最新医学の知識の吸収を通じて、国内外の学会への積極的な参加・発表などへの意欲を高め、国際性の醸成、高度専門性の獲得、キャリアパス形成のための意識的基盤を確立する。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	5/10	金	6限	Zoom	奥田	iPS細胞が持つ無限の可能性と克服すべき問題点
2	5/17	金	6限	Zoom	村上	がん微小環境における抗腫瘍疫学応答
3	6/7	金	6限	Zoom	増谷	先天性心疾患:出生前からはじまる障害心臓病学
4	6/14	金	6限	Zoom	廣田	知的財産と社会実装について（全2回） 知的財産権の確保と活用
5	6/21	金	6限	Zoom	根本	知的財産と社会実装について（全2回） 大学発ベンチャーの企業と運営
6	6/28	金	6限	Zoom	岡田	腎線維化メカニズムと治療へのアプローチ
7	7/19	金	6限	Zoom	三村	関節リウマチ治療の最適化
8	7/26	金	6限	Zoom	髙橋	腫瘍生物学及び放射線治療の最前線
9	10/11	金	6限	Zoom	堀江	ホルモン依存性がんの分子病態と患者由来モデル
10	11/8	金	6限	Zoom	片桐	筋肉が骨になる難病 進行性骨化性線維異形成症(FOP)
11.12	11/9	土				埼玉医大　研究の日
13	11/15	金		Zoom	解良	肺癌薬物療法の目覚ましい進歩
14	12/6	金	6限	Zoom	千本木	研究倫理
15	12/13	金	6限	Zoom	大西	ウエルニッケ脳症 －忘れられてきたせん妄の原因
16	1/17	金	6限	Zoom	亀井	我が国の昨今のパブリックヘルスの動向と展望

評価方法	連絡先/オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講並びに参加をもって単位を認定する。 なお必要に応じレポートの提出を求めることがある。	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：特になし 参考書：特になし	博士課程と合同の講義である。

授業内容
１．　iPS細胞が持つ無限の可能性と克服すべき問題点 内　容： 2.　がん微小環境における抗腫瘍免疫応答 内　容： 3. 先天性心疾患：出生前からはじまる生涯心臓病学 内　容： 4. 知的財産と社会実装について（全２回）知的財産権の確保と活用 内　容： 5. 知的財産と社会実装について（全２回）大学発ベンチャーの企業と運営 内　容： 6. 腎線維化メカニズムと治療へのアプローチ 内　容： 7.　関節リウマチ治療の最適化 内　容： 8. 腫瘍生物学及び放射線治療の最前線 内　容： 9. ホルモン依存性がんの分子病態と患者由来モデル 内　容： 10. 筋肉が骨になる難病　進行性骨化性線維異形成症(FOP) 内　容： 11.12　埼玉医大　研究の日 内　容： 13.　肺癌薬物治療の目覚ましい進歩 内　容： 14. 研究倫理 内　容： 15.　ウエルニッケル脳症　–忘れられたきたせん妄の原因 内　容： 16.　我が国の昨今のパブリックヘルスの動向と展望 内　容：

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
老年学概論	講義	1年 前期	2	共通 科目	新井　智之 森田　泰裕

到達目標

老年学は，加齢（aging）と高齢者（aged）の問題を扱う学際的な学問であり，その領域は，①加齢の科学的研究，②高齢社会の問題の発見と解決のための，③人文学的研究，④ ①～③の研究成果を応用するための研究，⑤世帯間の問題を扱う研究と広範囲に及ぶ．本講義では，老年学の基礎から応用までの知見を紹介し，現状の課題について整理し，討論する．その中で，老年学を医療・介護領域で応用するための実践的な能力を身につけることを目標とする．

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/16	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	老年学の定義と概念
2	4/23	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	高齢者の健康と寿命
3	4/30	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	老化
4	5/7	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	高齢化、長寿化と社会福祉
5	5/14	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	高齢者の社会関係
6	5/21	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	加齢に伴う変化（1）運動機能
7	5/28	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	加齢に伴う変化（2）生理機能
8	6/4	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	加齢に伴う変化（3）精神心理面
9	6/11	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	高齢期に問題となりやすい疾病、障害
10	6/18	火	1限	川角キャンパス院生室	森田	老年症候群（1）：高齢者の虚弱（フレイル、ロコモティブシンドローム，サルコペニア、痛み）
11	6/25	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	老年症候群（2）：認知症、軽度認知障害（MCI）
12	7/2	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	身体活動と栄養
13	7/9	火	1限	川角キャンパス院生室	森田	生活機能と介護予防
14	7/16	火	1限	川角キャンパス院生室	森田	ケアとリハビリテーション
15	7/23	火	1限	川角キャンパス院生室	新井	老年学の課題とまとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業における質疑応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：資料を配布する。 参考書：老年学要論、柴田博・他、建帛社	授業テーマについて積極的な発言を求める。

授業内容

１．老年学の定義と概念

内容：１．老年学の歴史的背景と意義について紹介する
２．老年学における研究法について解説する
３．サクセスフル・エイジングの概念を概説し，今後の展望や課題について討論する

２．高齢者の健康と寿命

内容：１．高齢者の健康の概念が説明できる
２．高齢者の健康評価，健康尺度について紹介する
３．限界寿命，寿命の性差，健康寿命，長寿の要因について説明できる

３．老化

内容：１．老化の生物学的学説および社会学的学説について概説できる
２．OQL，生きがいの概念を概説し，現状の課題について討論する
３．死生学について紹介する

４．高齢化・長寿化と社会福祉

内容：１．高齢社会の現状を概説し，今後の課題について討論する
２．高齢者の医療，介護，福祉，保健の制度やサービスの現状について紹介する
３．老化の社会的側面について概説し，現状の課題について討論する

５．高齢者の社会関係

内容：１．高齢期のライフスタイル変化やライフイベントについて説明できる
２．ソーシャルサポート，ソーシャルネットワーク、ソーシャル・キャピタルについて概説し，現状の課題や今後の展望について討論する
３．高齢者の社会貢献，社会参加について概説し，現状の課題と今後の展望について討論する

６．加齢に伴う変化（１）：運動機能

内容：１．筋骨格系の加齢変化とその評価法について説明できる
２．神経系の加齢変化とその評価法について説明できる
３．運動機能の加齢変化とその評価法について説明できる

７．加齢に伴う変化（２）：生理機能

内容：１．感覚機能の加齢変化について説明できる
２．自律機能の加齢変化について説明できる
３．高次脳機能の加齢変化について説明できる

８．加齢に伴う変化（３）：精神心理面

内容：１．認知機能の加齢変化とその評価法について説明できる
２．知能の加齢変化について説明できる
３．パーソナリティ・感情の加齢変化について説明できる

９．高齢期に問題となりやすい疾患、障害

内容：１．骨折，骨粗鬆症を概説し，予防法や運動療法の最新の知見を紹介する
２．変形性関節症や腰部脊柱管狭窄症を概説し，予防法や運動療法の最新の知見を紹介する
３．高齢者における脳血管疾患を概説し，予防法や運動療法の最新の知見を紹介する
４．糖尿病，高血圧，脂質異常症を概説し，予防法や運動療法の最新の知見を紹介する
５．その他の高齢期に問題となりやすい疾患を概説し，予防法や運動療法の最新の知見を紹介する。

１０．老年症候群（１）：高齢者の虚弱（フレイル、ロコモティブシンドローム，サルコペニア）

内容：１．フレイル・サルコペニアを概説し，その対策に関する最新の知見を紹介する
２．オーラルフレイルの概念を概説し，その対策に関する最新の知見を紹介する
３．ロコモティブシンドロームを概説し，その対策に関する最新の知見を紹介する
４．高齢者の痛みについて概説し，その対策に関する最新の知見を紹介する

１１．老年症候群（２）：認知症、軽度認知障害（MCI）

内容：１．認知症、軽度認知障害を概説できる
２．軽度認知障害の対策に関する最新の知見を紹介する
３．認知症に対する対策や認知症高齢者に対する対応について最新の知見を紹介する

１２．身体活動と栄養

内容：１．高齢者に対する運動，身体活動、栄養の考え方を概説し、実際の方法について討論する
２．重複障害に対する身体活動と栄養の指導の考え方を概説し，実際の介入方法を討論する

１３．生活機能と介護予防

内容：１．生活機能について概説できる。
２．ヘルスプロモーションの考え方を概説でき，現状の課題について討論する
３．予防の枠組み（一次予防，二次予防，三次予防）と考え方が説明できる
４．介護予防の考え方と介護予防事業を概説でき，現状の課題と今後の展望を討論する

１４．ケアとリハビリテーション

内容：１．ケアとソーシャルワークの考え方を概説でき，現状の課題について討論する
２．リハビリテーションの考え方を概説できる
３．高齢者リハビリテーションの考え方を概説でき，現状の課題について討論する

１５．老年学の課題とまとめ

内容：１．老年学の課題を整理し、討論する。
２．全体を通じての内容を討論し、質疑応答を行う

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
老年学概論	講義	1 年 前期	2	共通 科目	新井　智之 森田　泰裕

到達目標

老年学は，加齢（aging）と高齢者（aged）の問題を扱う学際的な学問であり，その領域は，①加齢の科学的研究，②高齢社会の問題の発見と解決のための，③人文学的研究，④ ①～③の研究成果を応用するための研究，⑤世帯間の問題を扱う研究と広範囲に及ぶ．本講義では，老年学の基礎から応用までの知見を紹介し，現状の課題について整理し，討論する．その中で，老年学を医療・介護領域で応用するための実践的な能力を身につけることを目標とする．

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	7 限	川越ビル	新井	老年学の定義と概念
2	4/25	木	7 限	川越ビル	新井	高齢者の健康と寿命
3	5/2	木	7 限	川越ビル	新井	老化
4	5/9	木	7 限	川越ビル	新井	高齢化、長寿化と社会福祉
5	5/16	木	7 限	川越ビル	新井	高齢者の社会関係
6	5/23	木	7 限	川越ビル	新井	加齢に伴う変化（1）運動機能
7	5/30	木	7 限	川越ビル	新井	加齢に伴う変化（2）生理機能
8	6/6	木	7 限	川越ビル	新井	加齢に伴う変化（3）精神心理面
9	6/13	木	7 限	川越ビル	新井	高齢期に問題となりやすい疾病、障害
10	6/20	木	7 限	川越ビル	森田	老年症候群（1）：高齢者の虚弱（フレイル、ロコモティブシンドローム，サルコペニア）
11	6/27	木	7 限	川越ビル	新井	老年症候群（2）：認知症、軽度認知障害（MCI）
12	7/4	木	7 限	川越ビル	新井	身体活動と栄養
13	7/11	木	7 限	川越ビル	森田	生活機能と介護予防
14	7/18	木	7 限	川越ビル	森田	ケアとリハビリテーション
15	7/25	木	7 限	川越ビル	新井	老年学の課題とまとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業における質疑応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：資料を配布する。 参考書：老年学要論、柴田博・他、建帛社	授業テーマについて積極的な発言を求める。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
ゲノム医学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 （生体機能科学分野）	奥田 晶彦

到達目標

ヒトを含むあらゆる生物が、ゲノムにコードされている暗号の基に造られており、かつ、その暗号の変異が疾患につながることを理解し、また、その変異の同定が、疾患の治療法の開発につながることを理解させる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/22	月	3限	C201ゼミ室	奥田	DNAと遺伝子の構造
2	5/13	月	3限	C201ゼミ室	奥田	染色体の構造と機能
3	5/20	月	3限	C201ゼミ室	奥田	ゲノムプロジェクト
4	5/27	月	3限	C201ゼミ室	奥田	ヒトゲノムの構成
5	6/3	月	3限	C201ゼミ室	奥田	遺伝子の発現とその調節
6	6/10	月	3限	C201ゼミ室	奥田	ゲノムの不安定性
7	6/17	月	3限	C201ゼミ室	奥田	進化系統樹
8	6/24	月	3限	C201ゼミ室	奥田	遺伝的マッピング
9	7/1	月	3限	C201ゼミ室	奥田	ヒト疾患遺伝子の同定
10	7/8	月	3限	C201ゼミ室	奥田	複雑な疾患の遺伝的解析
11	7/15	月	3限	C201ゼミ室	奥田	分子病理学
12	7/22	月	3限	C201ゼミ室	奥田	癌の遺伝学
13	7/29	月	3限	C201ゼミ室	奥田	DNA検査・診断
14	9/2	月	3限	C201ゼミ室	奥田	機能ゲノム学
15	9/9	月	3限	C201ゼミ室	奥田	遺伝子操作、及び遺伝子治療

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講をもって単位を認定する。評価は15回の講義の終了後、速やかに行う。再試験は原則行わない。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	講義の中で、理解できなかった部分があった場合は、その講義の中、あるいはその直後に教員に質問し、疑問点を残さないように努めること。

内容

1. DNAと遺伝子の構造

内　容：　DNA、RNA、ポリペプチドの構成単位、遺伝子の構造、転写、RNAのプロセシング、翻訳、翻訳後のプロセシングに関して理解する。

2. 染色体の構造と機能

内　容：　染色体の構造、細胞周期、細胞分裂、染色体バンド法、染色体異常について理解する。

3. ゲノムプロジェクト

内　容：　ゲノムプロジェクトの背景と組織、及びそれがもたらした成果について理解する。

4. ヒトゲノムの構成

内　容：　ヒトゲノムの中の、タンパク質をコードする遺伝子、RNAを最終産物とするRNA遺伝子、反復配列等の分布について理解する。

5. 遺伝子の発現とその調節

内　容：　転写因子、及びエピジェネティックな機構による遺伝子発現調節について理解する。

6. ゲノムの不安定性

内　容：　変異、多型、及びDNA修復を概説するとともに、疾患を引き起こす変異について理解する。

7. 進化系統樹

内　容：　各種生物のゲノムの比較から、ヒトの遺伝子がどのような経過を辿って進化してきたかを理解する。

8. 遺伝的マッピング

内　容：　組換え率と遺伝的距離の関係等、遺伝的マッピングの基礎を理解する。

9. ヒト疾患遺伝子の同定

内　容：　ポジショナルクローニング等、ヒト疾患遺伝子の同定法に関して理解する。

10. 複雑な疾患の遺伝的解析

内　容：　多因子疾患であるヒルシュプルング病等の複雑な疾患を規定する遺伝子の同定法について理解する。

11. 分子病理学

内　容：　遺伝子の中の変異が、最終遺伝子産物の機能、あるいは量に影響を与え、そのことが、細胞・組織に対してどのような悪影響を与えるかを理解する。

12. 癌の遺伝学

内　容：　癌組織は、癌原遺伝子の活性化、癌抑制遺伝子の不活化、あるいはその両方が合わさって形成されるが、網膜芽細胞腫等を理解する。

13. DNA検査・診断

内　容：　本人の同定、及び別人との血縁関係の検査等を目的としたDNA診断について理解する。

14. 機能ゲノム学

内　容：　個々の遺伝子、あるいは遺伝子産物を対象とした研究とは対照的に、個々の生物が持つ全ての遺伝子を網羅的に解析する機能ゲノム学について理解する。

15. 遺伝子操作、及び遺伝子治療

内　容：　トランスジェーニック、ノックアウトマウス作成による特定の遺伝子の機能解析、及び治療を目的とした遺伝子治療に関して理解する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
ゲノム医学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 （生体機能科学分野）	奥田 晶彦

到達目標

ヒトを含むあらゆる生物が、ゲノムにコードされている暗号の基に造られており、かつ、その暗号の変異が疾患につながることを理解し、また、その変異の同定が、疾患の治療法の開発につながることを理解させる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	5/8	水	6 限	C201ゼミ室	奥田	DNA と遺伝子の構造
2	5/15	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	染色体の構造と機能
3	5/22	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	ゲノムプロジェクト
4	5/29	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	ヒトゲノムの構成
5	6/5	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	遺伝子の発現とその調節
6	6/12	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	ゲノムの不安定性
7	6/19	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	進化系統樹
8	6/26	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	遺伝的マッピング
9	7/3	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	ヒト疾患遺伝子の同定
10	7/10	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	複雑な疾患の遺伝的解析
11	7/17	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	分子病理学
12	7/24	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	癌の遺伝学
13	7/31	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	DNA 検査・診断
14	9/4	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	機能ゲノム学
15	9/11	水	6 限	C201 ゼミ室	奥田	遺伝子操作、及び遺伝子治療

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講をもって単位を認定する。評価は 15 回の講義の終了後、速やかに行う。再試験は原則行わない。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	講義の中で、理解できなかった部分があった場合は、その講義の中、あるいはその直後に教員に質問し、疑問点を残さないように努めること。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体・病態医科学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 （生体機能科学分野）	前田 卓哉 藤原 智徳 永島 雅文

到達目標

ヒトの生命活動について特に神経系と感染防御に焦点を当て、解剖学、生理学、細胞生物学、免疫学の視点から概要を学び、病態を理解する基礎知識を養う。
【学習の具体的な目標】
神経系の構成、神経回路による情報処理、免疫系の機能と人為的操作法について学ぶ。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/4	金	1限	C201ゼミ室	永島	神経系の構成1：基本構造と発生
2	10/11	金	1限	C201ゼミ室	永島	神経系の構成2：ニューロンとグリア
3	10/18	金	1限	C201ゼミ室	永島	中枢神経系の構造1：脊髄と脳幹
4	10/25	金	1限	C201ゼミ室	永島	中枢神経系の構造2：大脳皮質
5	11/1	金	1限	C201ゼミ室	永島	中枢神経系の構造3：下行性伝導路と小脳
6	11/8	金	1限	C201ゼミ室	藤原	ニューロンによる情報伝達の機構1：静止膜電位と活動電位
7	11/15	金	1限	C201ゼミ室	藤原	ニューロンによる情報伝達の機構2：シナプス
8	11/22	金	1限	C201ゼミ室	藤原	ニューロンによる情報伝達の機構3：シナプス伝達
9	11/29	金	1限	C201ゼミ室	藤原	神経回路による情報処理1：神経可塑性
10	12/6	金	1限	C201ゼミ室	藤原	神経回路による情報処理2：高次脳機能
11	12/13	金	1限	C201ゼミ室	前田	ゲノム解析と種の同定
12	12/20	金	1限	C201ゼミ室	前田	国際感染症と危機管理
13	1/10	金	1限	C201ゼミ室	前田	感染症診断の基礎と実際
14	1/17	金	1限	C201ゼミ室	前田	感染症に対する免疫療法戦略
15	1/24	金	1限	C201ゼミ室	前田	医療機関における感染管理

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講をもって単位を認定する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

授業内容

1. 神経系の構成1：基本構造と発生

担　当：　永島 雅文

内　容：　生体情報の入力・処理・出力の観点から神経系の基本構造を総覧し中枢神経系の発生過程を解説する。

2. 神経系の構成2：ニューロンとグリア

担　当：　永島 雅文

内　容：　中枢神経系を構成するニューロンとグリアの基本構造と機能を解説する。

3. 中枢神経系の構造1：脊髄と脳幹

担　当：　永島 雅文

内　容：　脊髄と脳幹における灰白質と白質の構造から、感覚入力と運動出力の機能局在について解説する。

4. 中枢神経系の構造2：大脳皮質

担　当：　永島 雅文

内　容：　大脳皮質における細胞構築と機能局在から、高次の情報処理と疾患による脱落症状について解説する。

5. 中枢神経系の構造3：下行性伝導路と小脳

担　当：　永島 雅文

内　容：　錐体路による運動制御および小脳における情報処理について解説する。

6. ニューロンによる情報伝達の機構1：静止膜電位と活動電位

担　当：　藤原 智徳

内　容：　静止電位と活動電位の発生メカニズムに関わるイオンチャネルの種類と機能について解説する。

7. ニューロンによる情報伝達の機構2：シナプス

担　当：　藤原 智徳

内　容：　シナプスの構造と機能およびシナプス前細胞における神経伝達物質の放出の機序について解説する。

8. ニューロンによる情報伝達の機構2：シナプス伝達

担　当：　藤原 智徳

内　容：　シナプス伝達について、神経伝達物質の受容体を介した情報伝達の機序について解説する。

9. 神経回路による情報処理1：神経可塑性

担　当：　藤原 智徳

内　容：　神経可塑性の機序について解説する。

10. 神経回路による情報処理2：高次脳機能

担　当：　藤原 智徳

内　容：　神経の可塑的変化と高次脳機能の関連について解説する。

11. ゲノム解析と種の同定

担　当：　前田 卓哉

内　容：　ゲノム解析による種同定の基本原則とデータベースの活用方法について解説する。

12. 国際感染症と危機管理

担　当：　前田 卓哉

内　容：　新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、さらなる感染症パンデミックに備えるための医療機関における危機管理について解説する。

13. 感染症診断の基礎と実際

担　当：　前田 卓哉

内　容：　質量分析法や遺伝子検査を用いた感染症診断が主流となる現状と、それらの基礎技術について解説する。

14. 感染症に対する免疫療法戦略

担　当：　前田 卓哉

内　容：　さまざまなワクチン療法のほか、抗体療法による感染症治療の最前線について解説する。

15. 医療機関における感染管理

担　当：　前田 卓哉

内　容：　医療機関における院内感染対策のほか、地域包括ケアにおける感染管理の重要性について解説する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体・病態医科学特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 （生体機能科学分野）	前田 卓哉 藤原 智徳 永島 雅文

到達目標

ヒトの生命活動について特に神経系と感染防御に焦点を当て、解剖学、生理学、細胞生物学、免疫学の視点から概要を学び、病態を理解する基礎知識を養う。
【学習の具体的な目標】
神経系の構成、神経回路による情報処理、免疫系の機能と人為的操作法について学ぶ。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/4	金	7 限	C201ゼミ室	永島	神経系の構成 1：基本構造と発生
2	10/11	金	7 限	C201ゼミ室	永島	神経系の構成 2：ニューロンとグリア
3	10/18	金	7 限	C201ゼミ室	永島	中枢神経系の構造 1：脊髄と脳幹
4	10/25	金	7 限	C201ゼミ室	永島	中枢神経系の構造 2：大脳皮質
5	11/1	金	7 限	C201ゼミ室	永島	中枢神経系の構造 3：下行性伝導路と小脳
6	11/8	金	7 限	C201ゼミ室	藤原	ニューロンによる情報伝達の機構 1：静止膜電位と活動電位
7	11/15	金	7 限	C201ゼミ室	藤原	ニューロンによる情報伝達の機構 2：シナプス
8	11/22	金	7 限	C201ゼミ室	藤原	ニューロンによる情報伝達の機構 3：シナプス伝達
9	11/29	金	7 限	C201ゼミ室	藤原	神経回路による情報処理 1：神経可塑性
10	12/6	金	7 限	C201ゼミ室	藤原	神経回路による情報処理 2：高次脳機能
11	12/13	金	7 限	C201ゼミ室	前田	ゲノム解析と種の同定
12	12/20	金	7 限	C201ゼミ室	前田	国際感染症と危機管理
13	1/10	金	7 限	C201ゼミ室	前田	感染症診断の基礎と実際
14	1/17	金	7 限	C201ゼミ室	前田	感染症に対する免疫療法戦略
15	1/24	金	7 限	C201ゼミ室	前田	医療機関における感染管理

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講をもって単位を認定する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体機能科学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	藤原　智徳 金子 優子 山本　梓司

到達目標

生体の機能を維持するための機構である神経系と内分泌系に関与する生理活性物質、受容体、細胞内情報伝達系、イオンチャネルおよびトランスポーターの役割と自律神経系、呼吸および循環の調節機構を理解する能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/19	金	2限	C210	藤原	細胞膜における物質の移動
2	5/10	金	2限	C210	金子	静止膜電位と膜興奮の機序
3	5/17	金	2限	C210	金子	ニューロンと活動電位
4	5/24	金	2限	C210	金子	イオンチャネルの構造と機能の多様性
5	5/31	金	2限	C210	金子	筋肉の興奮と収縮
6	6/7	金	2限	C210	金子	イオンチャネルの研究方法
7	6/14	金	2限	C210	金子	網膜神経回路網における情報処理
8	6/21	金	2限	C210	藤原	細胞内情報伝達系の特徴
9	6/28	金	2限	C210	藤原	細胞内情報伝達系の特徴
10	7/5	金	2限	C210	藤原	受容体の種類と役割
11	7/12	金	2限	C210	藤原	トランスポーターの種類と機能
12	7/19	金	2限	C210	藤原	生理活性物質の作用
13	7/26	金	2限	C210	藤原	内分泌機能による生体の調節機構
14	8/2	金	2限	C210	山本	自律神経系による生体の調節機構
15	8/2	金	3限	C210	山本	呼吸および循環調節機構

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業への参加状況、課題レポートにより評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

授業内容

1.細胞膜における物質の移動

担　当：　藤原　智徳

内　容：　細胞膜の特徴と細胞膜を介する物質の移動について考える。

2.静止膜電位と膜興奮の機序

担　当：　金子 優子

内　容：　静止膜電位と活動電位の発生について考える。

3.ニューロンと活動電位

担　当：　金子 優子

内　容：　ニューロンにおける活動電位について考える。

4.イオンチャネルの構造と機能の多様性

担　当：　金子 優子

内　容：　電位依存性イオンチャネルを中心に、イオンチャネルの構造と機能の多様性について考える。

5.筋肉の興奮と収縮

担　当：　金子 優子

内　容：　筋肉の興奮と収縮について考える。

6.イオンチャネルの研究方法

担　当：　金子 優子

内　容：　イオンチャネルの様々な研究方法について考える。

7. 網膜神経回路網における情報処理

担　当：　金子 優子

内　容：　網膜神経回路網を例として神経組織における情報処理について考える。

8. 細胞内情報伝達系の特徴

担　当：　藤原　智徳

内　容：　情報伝達に関与する細胞内因子とその特徴について考える。

9. シナプス情報伝達

担　当：　藤原　智徳

内　容：　神経細胞間のシナプス情報伝達について考える。

10.受容体の種類と役割

担　当：　藤原　智徳

内　容：　細胞膜並びに細胞内の受容体の種類と役割について考える。

11.トランスポーターの種類と機能

担　当：　藤原　智徳

内　容：　トランンスポーターの種類と機能について考える。

12.生理活性物質の作用

担　当：　藤原　智徳

内　容：　アミノ酸系、アミン系およびペプチド系生理活性物質の作用について考える。

13. 内分泌機能による生体の調節機構

担　当：　藤原　智徳

内　容：　内分泌系による生体の調節機構について考える。

14.自律神経系による生体の調節機構

担　当：　山本　梓司

内　容：　自律神経系による生体の調節機構について考える。

15. 呼吸および循環調節機構

担　当：　山本　梓司

内　容：　呼吸および循環の調節機構について考える。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体機能科学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	藤原 智徳 金子 優子 山本 梓司

到達目標

生体の機能を維持するための機構である神経系と内分泌系に関与する生理活性物質、受容体、細胞内情報伝達系、イオンチャネルおよびトランスポーターの役割と自律神経系、呼吸および循環の調節機構を理解する能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	6 限	C210	藤原	細胞膜における物質の移動
2	5/9	木	6 限	C210	金子	静止膜電位と膜興奮の機序
3	5/16	木	6 限	C210	金子	ニューロンと活動電位
4	5/23	木	6 限	C210	金子	イオンチャネルの構造と機能の多様性
5	5/30	木	6 限	C210	金子	筋肉の興奮と収縮
6	6/6	木	6 限	C210	金子	イオンチャネルの研究方法
7	6/13	木	6 限	C210	金子	網膜神経回路網における情報処理
8	6/20	木	6 限	C210	藤原	細胞内情報伝達系の特徴
9	6/27	木	6 限	C210	藤原	細胞内情報伝達系の特徴
10	7/4	木	6 限	C210	藤原	受容体の種類と役割
11	7/11	木	6 限	C210	藤原	トランスポーターの種類と機能
12	7/18	木	6 限	C210	藤原	生理活性物質の作用
13	7/25	木	6 限	C210	藤原	内分泌機能による生体の調節機構
14	8/1	木	6 限	C210	山本	自律神経系による生体の調節機構
15	8/1	木	6 限	C210	山本	呼吸および循環調節機構

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業への参加状況、課題レポートにより評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
栄養学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	伴場 裕巳

到達目標

栄養素やその他の食品成分が生体に及ぼす機能と病態発症機構を理解し、個々の遺伝素因に応じて、食事による予防医学に役立てる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/3	木	1限	C201ゼミ室	伴場	テーラーメイド医療と栄養学
2	10/10	木	1限	C201ゼミ室	伴場	糖質による遺伝子発現
3	10/17	木	1限	C201ゼミ室	伴場	脂質による遺伝子発現（1）
4	10/24	木	1限	C201ゼミ室	伴場	脂質による遺伝子発現（2）
5	10/31	木	1限	C201ゼミ室	伴場	タンパク質（アミノ酸）と遺伝子発現
6	11/7	木	1限	C201ゼミ室	伴場	ビタミンと生体機能調節（1）
7	11/14	木	1限	C201ゼミ室	伴場	ビタミンと生体機能調節（2）
8	11/21	木	1限	C201ゼミ室	伴場	ミネラルと生体機能調節（1）
9	11/28	木	1限	C201ゼミ室	伴場	ミネラルと生体機能調節（2）
10	12/5	木	1限	C201ゼミ室	伴場	食物繊維と生体機能調節
11	12/12	木	1限	C201ゼミ室	伴場	非栄養成分と生体機能調節
12	12/19	木	1限	C201ゼミ室	伴場	糖尿病および肥満と食品成分
13	1/9	木	1限	C201ゼミ室	伴場	脂質異常症と食品成分
14	1/16	木	1限	C201ゼミ室	伴場	がんと食品成分
15	1/23	木	1限	C201ゼミ室	伴場	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
受講に必要な時間数以上の受講をもって単位取得の必要条件として、レポート、口頭試問等で総合的に評価をおこなう。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：栄養科学シリーズNEXT　**分子栄養学**、宮本賢一 他編　講談社サイエンティフィク 参考書：栄養と遺伝子のはなし ： 分子栄養学入門、佐久間慶子、 福島亜紀子著　技報堂出版	特になし

授業内容

1. テーラーメイド医療と栄養学

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1.ヒトの遺伝子の多様性について説明できる。
2.テーラーメイド医療について説明できる。
3.エピゲノムと栄養について概略を説明できる。

2. 糖質による遺伝子発現

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1. 血糖の調節機構について説明できる。
2. 肝臓におけるグルコースによる遺伝子発現の調節について説明できる。

3. 脂質による遺伝子発現（１）

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1. 脂質摂取により発現が調節される遺伝子について説明できる。
2. 脂肪酸による遺伝子発現の調節について説明できる。

4. 脂質による遺伝子発現（２）

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　コレステロールによる遺伝子発現の調節について説明できる。

5. タンパク質（アミノ酸）と遺伝子発現

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　各種アミノ酸による遺伝子発現の調節について説明できる。

6. ビタミンと生体機能調節（１）

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　脂溶性ビタミンの遺伝子発現の調節について説明できる。

7. ビタミンと生体機能調節（２）

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　水溶性ビタミンの生体機能調節について説明できる。

8. ミネラルと生体機能調節（１）

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　多量元素の生体機能調節について説明できる。

9. ミネラルと生体機能調節（２）

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　微量元素の生体機能調節について説明できる。

10. 食物繊維と生体機能調節

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1. 食物繊維について説明できる。
2. プロバイオティクスについて説明できる。

11. 非栄養成分と生体機能調節

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1. ポリフェノール類について説明できる。
2. ポリフェノール類の生体機能調節について説明できる。

12.. 糖尿病および肥満と食品成分

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1. 糖尿病および肥満の発症に関わる遺伝子について栄養学な観点から説明できる。
2. 糖尿病および肥満の発症予防に関わる食品成分について説明できる。

13. 脂質異常症と食品成分

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1. 脂質異常症の発症に関わる遺伝子について栄養学な観点から説明できる。
2. 脂質異常症の発症予防に関わる食品成分について説明できる。

14. がんと食品成分

担　当：　伴場 裕巳

内　容：　1. がんの発症に関わる遺伝子について栄養学な観点から説明できる。
2. がんの発症予防に関わる食品成分について説明できる。

15. まとめ

担　当：　伴場　裕巳

内　容：　講義内容を総括し、質疑応答等により理解度に関する自己評価ができる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
栄養学特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	伴場 裕巳

到達目標

栄養素やその他の食品成分が生体に及ぼす機能と病態発症機構を理解し、個々の遺伝素因に応じて、食事による予防医学に役立てる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/30	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	テーラーメイド医療と栄養学
2	10/7	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	糖質による遺伝子発現
3	10/21	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	脂質による遺伝子発現（1）
4	10/28	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	脂質による遺伝子発現（2）
5	11/11	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	タンパク質（アミノ酸）と遺伝子発現
6	11/18	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	ビタミンと生体機能調節（1）
7	11/25	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	ビタミンと生体機能調節（2）
8	12/2	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	ミネラルと生体機能調節（1）
9	12/9	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	ミネラルと生体機能調節（2）
10	12/16	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	食物繊維およびと生体機能調節
11	12/23	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	非栄養成分と生体機能調節
12	1/6	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	糖尿病および肥満と分子栄養学
13	1/20	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	脂質異常症と分子栄養学
14	1/27	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	がんと分子栄養学
15	2/3	月	6 限	C201ゼミ室	伴場	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
受講に必要な時間数以上の受講をもって単位取得の必要条件として、レポート、口頭試問等で総合的に評価をおこなう。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：栄養科学シリーズ NEXT　分子栄養学、 宮本賢一 他編　講談社サイエンティフィク 参考書：栄養と遺伝子のはなし ： 分子栄養学入門、佐久間慶子、福島亜紀子著 技報堂出版	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
環境衛生科学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	与五沢真吾 宮崎　孝

到達目標

環境医学および産業医学を理解し、予防医学活動を実践することが出来る。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/19	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	予防医学と予防医学活動の実際
2	4/26	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	環境と生体の関わり
3	5/10	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	環境・産業医学総論①
4	5/17	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	環境・産業医学総論②
5	5/24	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	異常環境医学①
6	5/31	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	異常環境医学②
7	6/7	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	高気圧環境医学各論
8	6/14	水	5限	C201ゼミ室	与五沢	分子環境医学の基礎①
9	6/21	水	5限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎②
10	6/28	水	5限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎③
11	7/5	水	5限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎④
12	7/12	水	5限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎⑤
13	7/19	水	5限	C201ゼミ室	宮崎	化学物質による中毒①
14	7/26	水	5限	C201ゼミ室	宮崎	化学物質による中毒②
15	9/6	水	5限	C201ゼミ室	宮崎	環境・産業医学の問題点

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポート、自由研究レポートおよびその発表によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

授業内容

1. 予防医学と予防医学活動の実際

担　当：　与五沢真吾

内　容：　1.予防医学の概念を説明できる。

2.医療施設外での予防医学活動の実際を説明できる。

2. 環境と生体の関わり

担　当：　与五沢真吾

内　容：　環境とヒトの相互作用を説明できる。

3. 環境・産業医学総論①

担　当：　与五沢真吾

内　容：　1.環境医学の歴史と範囲を説明できる。

2.環境医学分野の重要な用語を説明できる。

4. 環境・産業医学総論②

担　当：　与五沢真吾

内　容：　1.産業医学の歴史を説明できる。

2.職業病を説明できる。

3.作業関連疾患を説明できる。

5. 異常環境医学①

担　当：　与五沢真吾

内　容：　1.低気圧環境の生体影響を説明できる。

2.高山病の病態、治療法、予防法を説明できる。

6. 異常環境医学②

担　当：　与五沢真吾

内　容：　1.高気圧環境の生体影響を説明できる。

2.高気圧環境下での作業の種類を説明できる。

7. 高気圧環境医学各論

担　当：　与五沢真吾

内　容：　1.減圧症の病態を説明できる。

2.減圧症の治療法を説明できる。

8. 分子環境医学の基礎①

担　当：　与五沢真吾

内　容：　分子環境医学について説明できる。

9. 分子環境医学の基礎②

担　当：　宮崎　孝

内　容：　分子環境医学分野で行われている研究の概要を説明できる。

10. 分子環境医学の基礎③

担　当：　宮崎　孝

内　容：　分子環境医学分野で行われている研究の概要を説明できる。

11. 分子環境医学の基礎④

担　当：　宮崎　孝

内　容：　微量元素と生体の関係を説明できる。

12. 分子環境医学の基礎⑤

担　当：　宮崎　孝

内　容：　微量元素と生体の関係を説明できる。

13. 化学物質による中毒①

担　当：　宮崎　孝

内　容：　一般環境および作業環境中の化学物質の生体への影響を説明できる。

14. 化学物質による中毒②

担　当：　宮崎　孝

内　容：　一般環境および作業環境中の化学物質の生体への影響を説明できる。

15. 環境・産業医学の問題点

担　当：　宮崎　孝

内　容：　作業環境における快適環境とその形成について説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
環境衛生科学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	与五沢真吾 宮崎　孝

到達目標

環境医学および産業医学を理解し、予防医学活動を実践することが出来る。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/19	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	予防医学と予防医学活動の実際
2	4/26	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	環境と生体の関わり
3	5/10	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	環境・産業医学総論①
4	5/17	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	環境・産業医学総論②
5	5/24	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	異常環境医学①
6	5/31	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	異常環境医学②
7	6/7	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	高気圧環境医学各論
8	6/14	水	7 限	C201ゼミ室	与五沢	分子環境医学の基礎①
9	6/21	水	7 限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎②
10	6/28	水	7 限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎③
11	7/5	水	7 限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎④
12	7/12	水	7 限	C201ゼミ室	宮崎	分子環境医学の基礎⑤
13	7/19	水	7 限	C201ゼミ室	宮崎	化学物質による中毒①
14	7/26	水	7 限	C201ゼミ室	宮崎	化学物質による中毒②
15	9/6	水	7 限	C201ゼミ室	宮崎	環境・産業医学の問題点

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポート、自由研究レポートおよびその発表によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
環境微生物学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	佐藤 正夫

到達目標

微生物と宿主の関係を理解し、病原性発現のメカニズムを説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応①
2	4/22	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応②
3	5/6	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応③
4	5/13	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応④
5	5/20	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	新興・再興感染症
6	5/27	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	人畜共通感染症
7	6/3	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	日和見感染症
8	6/10	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	細菌感染症①
9	6/17	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	細菌感染症②
10	6/24	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	細菌感染症③
11	7/1	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	ウイルス感染症①
12	7/8	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	ウイルス感染症②
13	7/22	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	ウイルス感染症③
14	7/29	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	真菌感染症と原虫感染症
15	8/5	月	4限	C201ゼミ室	佐藤	重複感染症

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポートをもって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：随時、参考資料を配付する。 参考書：戸田新細菌学、南山堂。	英語の論文を読み、その要約ができる者の参加が望ましい。

授業内容

1. 感染症と宿主反応①

内　容：　病原微生物と感染症の概念を説明できる。

2. 感染症と宿主反応②

内　容：　感染症と宿主反応を説明できる。

3. 感染症と宿主反応③

内　容：　感染症と宿主の免疫応答について説明できる。

4. 感染症と宿主反応④

内　容：　感染症に対するワクチン開発について説明できる。

5. 新興・再興感染症

内　容：　新興・再興感染症について説明できる。

6. 人畜共通感染症

内　容：　人畜共通感染症について説明できる。

7. 日和見感染症

内　容：　日和見感染症について説明できる。

8. 細菌感染症①

内　容：　細菌感染症の病原性について説明できる。(各論1)

9. 細菌感染症②

内　容：　細菌感染症の病原性について説明できる。(各論2)

10. 細菌感染症③

内　容：　細菌感染症の病原性について説明できる。(各論3)

11. ウイルス感染症①

内　容：　ウイルス感染症の病原性について説明できる。(各論1)

12. ウイルス感染症②

内　容：　ウイルス感染症の病原性について説明できる。(各論2)

13. ウイルス感染症③

内　容：　ウイルス感染症の病原性について説明できる。(各論3)

14. 真菌感染症と原虫感染症

内　容：　1.真菌感染症の病原性について説明できる。
　　2.原虫感染症の病原性について説明できる。

15. 重複感染症

内　容：　異なる感染症が重複感染した場合の病原性について説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
環境微生物学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	佐藤 正夫

到達目標

微生物と宿主の関係を理解し、病原性発現のメカニズムを説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応①
2	4/22	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応②
3	5/6	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応③
4	5/13	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	感染症と宿主反応④
5	5/20	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	新興・再興感染症
6	5/27	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	人畜共通感染症
7	6/3	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	日和見感染症
8	6/10	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	細菌感染症①
9	6/17	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	細菌感染症②
10	6/24	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	細菌感染症③
11	7/1	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	ウイルス感染症①
12	7/8	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	ウイルス感染症②
13	7/22	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	ウイルス感染症③
14	7/29	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	真菌感染症と原虫感染症
15	8/5	月	6 限	C201ゼミ室	佐藤	重複感染症

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポートをもって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：随時、参考資料を配付する。 参考書：戸田新細菌学、南山堂。	英語の論文を読み、その要約ができる者の参加が望ましい。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
脳科学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	池田正明、魚住尚紀、淡路健雄、小谷典弘、周防　諭、吉川圭介、中野貴成、柳下　楠、北條 泰嗣、橋爪 幹、小川哲郎

到達目標

脳の機能、病態、疾患の原因を、脳を構成する分子や細胞、神経回路および脳の構造のそれぞれのレベルで説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	4限	毛呂山キャンパス 生理学教室	池田	感情障害の病態と原因探索の現状
2	4/18	木	5限		池田	統合失調症の病態と遺伝子
3	4/25	木	5限		小川	小児神経発達と自閉症の病因
4	5/16	木	5限		池田	睡眠のメカニズムと睡眠障害
5	5/23	木	5限		池田	概日リズムの分子機構とリズム障害
6	5/13	月	5限	毛呂山キャンパス 薬理学教室	周防	線虫の基礎生物学（講義)、線虫実験法（実習）
7	5/20	月	5限		淡路	細胞内可視化研究概論（講義）
8	5/27	月	5限		淡路	受容体薬理学（講義)、受容体研究法（実習）
9	6/3	月	5限		柳下	神経変性疾患・発達障害の分子薬理学（講義）
10	6/10	月	5限		吉川	神経炎症の生命科学（講義）
11	6/17	月	5限	毛呂山キャンパス 生化学教室	北條	脳の液性調節と神経回路オシレーション機構
12	6/24	月	5限		橋爪	辺縁系に対するストレスの影響
13	7/1	月	5限		小谷	神経機能に関与する生体分子「糖鎖」
14	7/8	月	5限		中野	摂食制御
15	7/22	月	5限		魚住	生理活性脂質と神経機能

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席、レポート	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：Principles of Neural Science, Eric R. Kandel McGraw-Hill Companies 参考書：特になし	評価は出席と授業における積極性を主に行われる。 課題を課すことがある。 ※授業日程は受講者と相談の上変更することがある。 ※社会人学生の場合、講義日程は年度始めに受講生と相談の上決定する。原則として、夏期休暇中の1日もしくは2日間で集中講義の形式で行う。

授業内容

1．感情障害の病態と原因探索の現状

担　当：　池田 正明

内　容：　感情障害（うつ病、躁うつ病）の病態、病因、治療法について解説する。

2．統合失調症の病態と遺伝子

担　当：　池田 正明

内　容：　統合失調症の病因検索の方法、疾患モデル、バイオマーカー、原因候補遺伝子、治療法について解説する。

3．小児神経発達と自閉症の病因

担　当：　小川 哲郎

内　容：　神経系の発達、自閉症の分類、疾患モデル、病因検索の現状、治療法について解説する。

4．睡眠のメカニズムと睡眠障害

担　当：　池田 正明

内　容：　睡眠のメカニズム、睡眠障害、治療法について解説する。

5．概日リズムの分子機構とリズム障害

担　当：　池田 正明

内　容：　概日リズムの発振機能と時計遺伝子の機能、概日リズム障害、時計遺伝子と疾患との関連について解説する。

6．線虫の基礎生物学（講義）、線虫実験法（実習）

担　当：　周防　諭

内　容：　モデル動物として有用な線虫による研究法の基礎を解説する。線虫の生態を概説した後、受講者数が少数の場合には、簡単な実習を行う（白衣持参が望ましい）。

7．細胞内可視化研究概論（講義）

担　当：　淡路　健雄

内　容：　細胞内情報伝達・細胞内環境・細胞内生体分子の可視化研究法について議論する。

8．受容体薬理学（講義）、受容体研究法（実習）

担　当：　淡路 健雄

内　容：　受容体の薬理学を解説する。その研究法の一つである細胞内CaイオンやミトコンドリアpHの変化を解析する画像技術を説明した後、受講者数が少数の場合には、簡単な実習を行う（白衣持参が望ましい）。

9. 神経変性疾患・発達障害の分子薬理学（講義）

担　当：　柳下-姜 楠

内　容：　神経変性疾患（アルツハイマー病、レビィ小体認知症、ピック病、パーキンソン病など）や自閉症をはじめとした発達障害の分子生物学を解説する。

10. 論文論読（演習）

担　当：　吉川 圭介

内　容：　グリア細胞の過剰活性化、炎症性メディエーター産生などの神経炎症反応は神経変性疾患の発症、病態進行に大きく関わる。アルツハイマー病、多発性硬化症を中心とした神経炎症を解説する。

11. 脳の液性調節と神経回路オシレーション機構

担　当：　北條 泰嗣

内　容：　ニューロンの興奮や神経伝達など神経活動の素過程を解説したのちに、生体脳機能の本質的特徴である、アミン系を中心とする液性調節機構と神経回路が発するオシレーション活動の意義について概説する。

12. 辺縁系に対するストレスの影響

担　当：　橋爪 幹

内　容：　認知・情動機能等、高次脳機能を司る辺縁系のシナプス可塑性とオシレーション過程に対するストレスの影響につき、適応とその破綻の視点から、最新の研究結果を解説する。

13. 神経機能に関与する生体分子「糖鎖」

担　当：　小谷 典弘

内　容：　神経細胞では、様々な生体分子が協調して複雑かつ断続的な電気信号伝達システムを構築することで高次機能を維持している。本講義ではその生体分子の一つである「糖鎖」に焦点をあて、糖鎖がどのように神経機能に関与しているかを最近の研究成果をまじえて紹介する。

14. 摂食制御

担　当：　中野 貴成

内　容：　脳内報酬系と摂食行動、またそれらに関連する神経伝達物質、ホルモンなどについて概説する。その制御システムを理解するとともに、それらの破綻による肥満や摂食障害について最近のトピックを紹介する。

15. 生理活性脂質と神経機能

担　当：　魚住 尚紀

内　容：　プロスタグランジン・ロイコトリエンといった生理活性脂質は、炎症・ アレルギーなど、生体防御システムの主要な調節物質である。同時に、記憶や 疼痛など中枢・末梢神経機能においても重要な役割を果たしている。生理活性脂質の神経系における役割について、最近の知見を交えて紹介する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
脳科学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 （生体機能科学分野）	池田正明、魚住尚紀、淡路健雄、小谷典弘、周防　諭、吉川圭介、中野貴成、柳下　楠、北條 泰嗣、橋爪 幹、小川哲郎

到達目標

脳の機能、病態、疾患の原因を、脳を構成する分子や細胞、神経回路および脳の構造のそれぞれのレベルで説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	4 限	毛呂山キャンパス 生理学教室	池田	感情障害の病態と原因探索の現状
2	4/18	木	5 限		池田	統合失調症の病態と遺伝子
3	4/25	木	5 限		小川	小児神経発達と自閉症の病因
4	5/16	木	5 限		池田	睡眠のメカニズムと睡眠障害
5	5/23	木	5 限		池田	概日リズムの分子機構とリズム障害
6	5/13	月	5 限	毛呂山キャンパス 薬理学教室	周防	線虫の基礎生物学（講義）、線虫実験法（実習）
7	5/20	月	5 限		淡路	細胞内可視化研究概論（講義）
8	5/27	月	5 限		淡路	受容体薬理学（講義）、受容体研究法（実習）
9	6/3	月	5 限		柳下	神経変性疾患・発達障害の分子薬理学（講義）
10	6/10	月	5 限		吉川	神経炎症の生命科学（講義）
11	6/17	月	5 限	毛呂山キャンパス 生化学教室	北條	脳の液性調節と神経回路オシレーション機構
12	6/24	月	5 限		橋爪	辺縁系に対するストレスの影響
13	7/1	月	5 限		小谷	神経機能に関与する生体分子「糖鎖」
14	7/8	月	5 限		中野	摂食制御
15	7/22	月	5 限		魚住	生理活性脂質と神経機能

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席、レポート	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：Principles of Neural Science, Eric R. Kandel McGraw-Hill Companies 参考書：特になし	評価は出席と授業における積極性を主に行われる。 課題を課すことがある。 ※授業日程は受講者と相談の上変更することがある。 ※社会人学生の場合、講義日程は年度始めに受講生と相談の上決定する。原則として、夏期休暇中の1日もしくは2日間で集中講義の形式で行う。

科目名	形態	配当年次	単位数	科目区分	授業責任者
分析医科学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	飯野　望

到達目標

分子生物学的技術の進歩により疾患に特有な病因遺伝子を検出する遺伝子検査が、臨床の現場で可能となったことを理解し、その検査結果が個人をターゲットにした予防医学や先進医療に貢献している現状を深く把握することで研究に展開できる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/1	火	3限	Cゼミ201	飯野	遺伝子・染色体の構造
2	10/8	火	3限	Cゼミ201	飯野	遺伝子の機能
3	10/15	火	3限	Cゼミ201	飯野	核酸の抽出
4	10/22	火	3限	Cゼミ201	飯野	遺伝子検査技術①
5	10/29	火	3限	Cゼミ201	飯野	遺伝子検査技術②
6	11/5	火	3限	Cゼミ201	飯野	白血病と遺伝子解析①
7	11/12	火	3限	Cゼミ201	飯野	白血病と遺伝子解析②
8	11/19	火	3限	Cゼミ201	飯野	白血病と遺伝子解析③
9	11/26	火	3限	Cゼミ201	飯野	大腸癌と遺伝子解析①
10	12/3	火	3限	Cゼミ201	飯野	大腸癌と遺伝子解析②
11	12/10	火	3限	Cゼミ201	飯野	大腸癌と遺伝子解析③
12	12/17	火	3限	Cゼミ201	飯野	肺癌と遺伝子解析①
13	12/24	火	3限	Cゼミ201	飯野	肺癌と遺伝子解析②
14	1/7	火	3限	Cゼミ201	飯野	癌と遺伝子検査の発展
15	1/14	火	3限	Cゼミ201	飯野	まとめ

評価方法	連絡先・オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講をもって単位取得の 必要条件とし、課題レポートにより評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 随時、資料を配布する 参考書：特になし	特になし

授業内容

1. 遺伝子・染色体の構造

担　当：　飯野　望

内　容：　1.　ヒトの染色体の構造を説明できる。
2.　DNA および RNA の構造を説明できる。
3.　転写・翻訳・翻訳後プロセッシングについて説明できる。

2. 遺伝子の機能

担　当：　　飯野　望

内　容：　1.　転写調節について説明できる。
　　2.　エピジェネティクスについて説明できる。

3. 核酸の抽出

担　当：　飯野　望

内　容：　1.　代表的な DNA の抽出法（フェノール・クロロホルム法、カラム法）について説明できる。
　　2.　代表的な RNA の抽出法（AGPC 法、カラム法）について説明できる。

4. 遺伝子検査技術①

担　当：　飯野　望

内　容：　1.　PCR 法および RT-PCR 法の概要について説明できる。
　　2.　代表的なリアルタイム PCR 法（TaqMan Probe 法・SYBER Green 法）の概要について説明できる。

5. 遺伝子検査技術②

担　当：　飯野　望

内　容：　1.　一塩基多型解析（SNP)、マイクロサテライト解析の概要について説明できる。
　　2.　塩基配列決定法の概要について説明できる。

6. 白血病と遺伝子解析①

担　当：　飯野　望

内　容：　近年の白血病における遺伝子検査の標準化の動向や問題点について説明できる。

7. 白血病と遺伝子解析②

担　当：　飯野　望

内　容：　慢性骨髄性白血病における遺伝子検査の原理を理解し、その有用性について説明できる。

8. 白血病と遺伝子解析③

担　当：　飯野　望

内　容：　急性骨髄性白血病におけるWT-1mRNA定量検査やFLT3（FMS-like tyrosine kinase 3）遺伝子のITD（Internal Tandem Duplication）変異検査の原理を理解し、その有用性について説明できる。

9. 大腸癌と遺伝子解析①

担　当：　飯野　望

内　容：　近年の大腸がんにおける遺伝子検査の動向、さらに予後予測や治療選択に重要な遺伝子変異検査について説明できる。

10. 大腸癌と遺伝子解析②

担　当：　飯野　望

内　容：　RAS および BRAF V600E の遺伝子変異検査について理解し、治療選択との関連性を説明できる。

11. 大腸癌と遺伝子解析③

担　当：　飯野　望

内　容：　遺伝性大腸癌の一つであるリンチ症候群における MSI（マイクロサテライト不安定性）検査と MMR 遺伝子（ミスマッチ修復遺伝子）がコードしているタンパク発現を調べる ISH（免疫組織化学）検査について理解し、説明できる。

12. 肺癌と遺伝子解析①

担　当：　飯野　望

内　容：　肺がんのドライバー遺伝子である ROS1 融合遺伝子、ALK 融合遺伝子および EGFR 遺伝子変異の機序について理解し、さらに治療の適応に結びつけて説明できる。

13. 肺癌と遺伝子解析②

担　当：　飯野　望

内　容：　ROS1 融合遺伝子、ALK 融合遺伝子および EGFR 遺伝子変異の検査について説明できる。

14. がんと遺伝子検査の発展

担　当：　飯野　望

内　容：　次世代シークエンス法による包括的遺伝子検査やがん患者の血液サンプルを用いた体細胞遺伝子検査（リキッドバイオプシー）の新規技術の現状と今後の展望を説明できる。

15. まとめ

担　当：　飯野　望

内　容：　講義内容を統括し、自身の研究との関連を説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位数	科目区分	授業責任者
分析医科学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	飯野　望

到達目標

分子生物学的技術の進歩により疾患に特有な病因遺伝子を検出する遺伝子検査が、臨床の現場で可能となったことを理解し、その検査結果が個人をターゲットにした予防医学や先進医療に貢献している現状を深く把握することで研究に展開できる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/1	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	遺伝子・染色体の構造
2	10/8	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	遺伝子の機能
3	10/15	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	核酸の抽出
4	10/22	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	遺伝子検査技術①
5	10/29	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	遺伝子検査技術②
6	11/5	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	白血病と遺伝子解析①
7	11/12	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	白血病と遺伝子解析②
8	11/19	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	白血病と遺伝子解析③
9	11/26	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	大腸癌と遺伝子解析①
10	12/3	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	大腸癌と遺伝子解析②
11	12/10	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	大腸癌と遺伝子解析③
12	12/17	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	肺癌と遺伝子解析①
13	12/24	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	肺癌と遺伝子解析②
14	1/7	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	癌と遺伝子検査の発展
15	1/14	火	7 限	C ゼミ 201	飯野	まとめ

評価方法	連絡先・オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講をもって単位取得の必要条件とし、課題レポートにより評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 随時、資料を配布する 参考書：特になし	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
臨床検査医学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	小野川　傑

到達目標

免疫学の基礎知識をもって疾患の病態生理を捉え、かつ必要な臨床検査について理解することができるようになる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/1	火	1限	C201ゼミ室	小野川	免疫応答の特徴と概要
2	10/8	火	1限	C201ゼミ室	小野川	白血球循環と組織への遊走
3	10/15	火	1限	C201ゼミ室	小野川	自然免疫系による微生物や組織損傷の認識
4	10/22	火	1限	C201ゼミ室	小野川	生体侵襲時における補体の機能
5	10/29	火	1限	C201ゼミ室	小野川	免疫グロブリン
6	11/5	火	1限	C201ゼミ室	小野川	T細胞の誕生
7	11/12	火	1限	C201ゼミ室	小野川	T細胞のエフェクター機能
8	11/19	火	1限	C201ゼミ室	小野川	B細胞の活性化と抗体産生
9	11/26	火	1限	C201ゼミ室	小野川	上皮組織における免疫応答
10	12/3	火	1限	C201ゼミ室	小野川	過敏症
11	12/10	火	1限	C201ゼミ室	小野川	免疫学から見た感染症
12	12/17	火	1限	C201ゼミ室	小野川	免疫学からみた生体侵襲（敗血症）
13	1/7	火	1限	C201ゼミ室	小野川	免疫学からみた輸血副反応
14	1/14	火	1限	C201ゼミ室	小野川	免疫学からみた移植
15	1/21	火	1限	C201ゼミ室	小野川	まとめ（学生によるプレゼンテーション）

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講およびプレゼンテーションをもって単位を認定する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：講義時に資料を配布 参考書：医系免疫学　改訂 16 版　矢田純一著　中外医学社	学部における免疫学講義の知識があるとよい。講義の中で示せる内容には限りがあるので、積極的に関連書籍や最新知見に目を通すように努めること。

授業内容
1．免疫応答の特徴と概要 担 当：　小野川　傑 内　容：　生体機能の一つである免疫系の基本構成因子について説明できる。 2．白血球循環と組織への遊走 担 当：　小野川　傑 内　容：　自然免疫の特徴、かかわる細胞の機能や接着分子について説明できる。 3．自然免疫系による微生物や組織損傷の認識 担 当：　小野川　傑 内　容：　自然免疫に関与する受容体やシグナル調節分子について説明できる。 4．生体侵襲時における補体の機能 担 当：　小野川　傑 内　容：　自然免疫の液性エフェクター分子である補体について説明できる。 5．免疫グロブリン 担 当：　小野川　傑 内　容：　免疫グロブリンの構造、合成、抗原との結合について説明できる。 6．Ｔ細胞の誕生 担 当：　小野川　傑 内　容：　胸腺における正の選択、負の選択が説明できる。 7．Ｔ細胞のエフェクター機能 担 当：　小野川　傑 内　容：　Ｔ細胞の活性化に必要なシグナル伝達、エフェクター細胞の機能が説明できる。 8．Ｂ細胞の活性化と抗体産生 担 当：　小野川　傑 内　容：　B細胞の活性化と抗体産生について説明できる。 9．上皮組織における免疫応答 担 当：　小野川　傑 内　容：　消化管における免疫応答の特徴を説明できる。 10．過敏症 担 当：　小野川　傑 内　容：　代表的な過敏症の機序について説明できる。 11．免疫学から見た感染症 担 当：　小野川　傑 内　容：　感染症における免疫応答について説明できる。 12．免疫学から見た生体侵襲（敗血症） 担 当：　小野川　傑 内　容：　敗血症の概念、定義および病態を説明できる。

13. 免疫学から見た輸血副反応

担 当： 小野川 傑

内 容： 免疫応答がかかわる輸血副作用について、種類や原因を説明できる。

14. 免疫学から見た移植

担 当： 小野川 傑

内 容： 移植医療における免疫の関与、特に拒絶反応や移植片対宿主反応について説明できる。

15. まとめ（学生によるプレゼンテーション）

担 当： 小野川 傑

内 容： 関心をもった内容について、最新の研究成果などを踏まえて、学生自身によるプレゼンテーションができる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
臨床検査医学特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 (生体機能科学分野)	小野川　傑

到達目標

免疫学の基礎知識をもって疾患の病態生理を捉え、かつ必要な臨床検査について理解することができるようになる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/1	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	免疫応答の特徴と概要
2	10/8	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	白血球循環と組織への遊走
3	10/15	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	自然免疫系による微生物や組織損傷の認識
4	10/22	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	生体侵襲時における補体の機能
5	10/29	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	免疫グロブリン
6	11/5	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	T 細胞の誕生
7	11/12	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	T 細胞のエフェクター機能
8	11/19	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	B 細胞の活性化と抗体産生
9	11/26	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	上皮組織における免疫応答
10	12/3	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	過敏症
11	12/10	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	免疫学から見た感染症
12	12/17	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	免疫学からみた生体侵襲（敗血症）
13	1/7	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	免疫学からみた輸血副反応
14	1/14	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	免疫学からみた移植
15	1/21	火	6 限	C201ゼミ室	小野川	まとめ（学生によるプレゼンテーション）

評価方法	連絡先／オフィスアワー
履修に必要な時間数以上の受講およびプレゼンテーションをもって単位を認定する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：講義時に資料を配布する。 参考書：医系免疫学　改訂 16 版、矢田純一著、中外医学社	学部における免疫学講義の知識があるとよい。講義の中で示せる内容には限りがあるので、積極的に関連書籍や最新知見に目を通すように努めること。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体分子機能医科学演習	演習	2年 通年	4	専門科目 （生体機能科学分野）	藤原智徳、 前田卓哉、篠田 啓 篠田 啓、奥田晶彦

到達目標

【到達目標】

生体機能科学分野を選択した学生は、特別研究を効率よく進める上で、様々な生命現象に関する研究の最新の情報を得、それを理解する能力を身に付けることが重要である。また、特別研究を遂行する上で、様々な機器の原理を理解し、それを使いこなす能力が必要となる。本演習では、輪読会、論文抄読会、及び、各種機器の操作方法を習得させることで、特別研究を実施する為に必要な能力を身に付けさせることを目標とする。

【学習方略】

本演習の到達目標を達成するため、以下の演習を行う。

1. 輪読形式による専門性の高い教科書を読破する。また、定期的な報告及び議論の場を設ける。
2. 実施する特別研究と関連の深い学術論文をメインとした抄読会を行い、活発な議論を行うことで理解力を高める。
3. 各種実験機器の原理を理解し、かつ、操作方法を習得させるといった研究を実施する上で必要な技術の修得を目指す。

【演習テーマ】

1. 藤原智徳
   神経細胞や内分泌細胞で行われる開口放出の制御機構に関して演習する。
2. 前田卓哉
   次世代シーケンサーをはじめとする様々な遺伝子診断技術の新規開発と、その臨床応用に関して演習する。
3. 茅野秀一
   骨髄を首座とする多様な疾患を対象に臨床病理学的、分子病理学的な研究に関して演習する。
4. 奥田晶彦
   幹細胞学、特にES・iPS細胞に関する研究に重きを置いた研究に関して演習する。

【授業計画】

1. 輪講および学術論文の抄読
   第1週：オリエンテーション（本演習の概要説明、及び輪読・抄読の分担の指示など）
   第2～30週：毎週、輪読あるいは学術論文の抄読を行う。担当者によるプレゼンテーション、及びそのプレゼンテーションを基に、学術的な討論を行う。
2. 専門技術の修得のための演習
   第1週：オリエンテーション　本演習の項目・内容に関する説明
   第2～4週：各種汎用機器に関する原理、及び操作法の説明
   第5～10週：各種汎用機器の操作の実施演習
   第11週：第1回演習報告会
   第12～16週：専門性の高い機器の原理、及び操作法の説明
   第17～21週：各種専門機器の操作の実施演習
   第22週：第2回演習報告会
   第23～29週：学会発表のスライドの作成、及び発表論文作成のための演習
   第30週：第3回演習報告

評価方法	連絡先／オフィスアワー
プレゼンテーション、及び討論への参加等から、事前の学習の度合い、理解のレベルを把握し、総合的に評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	事前の学習、及び活発な討論により、研究を行うための基盤的な能力を積極的に身に付けるように心がけること。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体分子機能医科学特別研究	実験・実習	2年 通年	8	専門科目 (生体機能科学分野)	藤原智徳、 前田卓哉、茅野秀一 篠田 啓、奥田晶彦

到達目標

【到達目標】

基礎医学を中心とした医学研究の達成を目標とする。医科学全般の最新の研究動向を踏まえ、分子レベルにおいて未だ解明されていない様々な生命現象、及び疾患を題材に、1つの研究テーマを設定し、詳細な実験計画を立て、研究を遂行する。そして、その研究から得られた研究成果を国内外に発信する。これらの過程で、当該分野における専門知識・実験手技を身に付けさせる。かつ、独自に、研究計画を立て、実行できる能力を身に付けさせる。

【学習方略】

本特別研究では、以下の3つの段階を経て、到達目標の達成を目指す。

第一段階：医科学全般における研究の動向の調査を行い、各研究テーマの重要度、及び達成の可能性等を考慮して、1つの研究テーマを設定する。

第二段階：第一段階で設定した研究テーマを下に、研究を実行する。なお、定期的な研究報告会において、研究の進展状況を報告し、問題点の抽出、研究計画の軌道修正等を行う。

第三段階：研究の過程で得られた実験結果をまとめ、学会発表、及び修士論文を作成する。

また、国際誌に発表すべきであると考えられる成果が得られた場合は、英文で論文を作成し、原著論文として発表する。

【研究テーマ】

1. 藤原智徳
   シナプス情報伝達の分子機構について分子生物学的、細胞生物学的な解析を行い、脳の高次機能の基盤である神経ネットワークについて研究を行うことを通して、修士論文の指導を行う。
2. 前田卓哉
   次世代シーケンサーをはじめとする様々な遺伝子診断技術の新規開発と、その臨床応用に関する研究を行うことを通して、修士論文の指導を行う。
3. 茅野秀一
   骨髄を首座とする多様な疾患を対象に臨床病理学的、分子病理学的な研究に関する研究を行うことを通して、修士論文の指導を行う。
4. 奥田晶彦
   ES細胞、及び、iPS細胞を用いた再生医療の実現のための基盤的な研究、特に、これら多能性幹細胞が持つ腫瘍原性の除去等による安全性の向上を念頭に置いた研究を通して、修士論文の指導を行う。

【授業計画】

第1～3週：研究テーマの設定の為の医学全般の研究の動向の調査
第4週：研究テーマの設定
第5～8週：研究の遂行の前段階としての予備実験、及び研究計画の作成
第9～24週：研究計画に基づいた研究の実行
第25～30週：実験データの取りまとめと、学会発表、及び修士論文作成

評価方法	連絡先／オフィスアワー
研究に対する熱意、実験の確実性、実行力、並びに、学会発表、及び修士論文の充実度などにより、総合的に評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	評価に関しては、研究の達成度よりも、実験計画の立案、及びその計画の実行力に重きを置いて評価する。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
医療安全工学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (生体医工学分野)	加納　隆 川邉　学

到達目標

医療機器・設備・電磁環境に関する国内外の規格ならびに指針について、ただ単に学ぶのではなく、どうしてそのような規格・指針が作られたか？という背景ならびに意図されていることまで十分に説明できる。

【学習の具体的な目標】

1. 電撃のメカニズムと事故事例について説明できる。
2. 医用電気機器の国内外の規格を説明できる。
3. 医用電気機器の安全基準(JIS T 0601-1)は2012年に大改訂があり、2014年、2017年、2023年と改定されてきているが、どのような目的で、どのように改定されたかを説明できる。
4. 医療機器関連のその他の基準（リスクマネジメント、アラーム、ユーザビリティ）を説明できる。
5. 医療機器の耐用期間や地震対策について説明できる。
5. 病院電気設備の安全基準(JIS T 1022)の改定内容を説明できる。
6. 病院電気設備のトラブル事例とその対策について説明できる。
7. 医療電磁環境・EMCに関する国内規格（JIS T 0601-1-2）ならびに国際規格（IEC 60601-1-2）がどのように変遷を遂げたかを説明できる。
8. 総務省・電波環境協議会から出された「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」ならびに「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」について説明できる。
9. 総務省・電波環境協議会から2021年7月に出された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（改定版）」について説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/17	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	電撃のメカニズムと事故事例
2	4/24	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	医用電気機器の安全基準
3	5/1	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	〃
4	5/8	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	〃
5	5/15	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	医療機器の耐用期間・地震対策
6	5/22	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	病院電気設備の安全基準
7	5/29	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	〃
8	6/5	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	病院電気設備のトラブル事例とその対策
9	6/12	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	医療電磁環境（EMC）に関する規格
10	6/19	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	各種電波による医療機器への影響に関する指針
11	6/26	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	〃
12	7/3	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	病院内電波管理
13	7/10	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	〃
14	7/17	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	〃
15	7/24	水	3限	ゼミ室	加納・川邉	〃

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポート提出に、授業中の態度ならびに出席状況を考慮して評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：JIS T 0601-1、JIS T 1022、JIS T 0601-1-2（日本規格協会から発行されている）	医用機器安全管理学に関する基本的な知識を有すること

授業内容
1. 電撃のメカニズムと事故事例 内　容：　1.人体の電気刺激反応について説明できる。 2.電撃のメカニズムとアースの必要性について説明できる 3.マクロショックとミクロショックの違いを説明できる。 4.マクロショックの事故事例を説明できる。 5.ミクロショックの事故事例を説明できる。 **2. 医用電気機器の安全基準①** 内　容：　1.医用電気機器の規格の体系について説明できる。 2.国内外での規格の推移を説明できる。 3.医用電気機器の安全基準(JIS T 0601-1)は2012年に大改定があり、2014年、2017年、2023年と改定されてきているが、どのような目的で、どのように改定されたかを説明できる。 **3. 医用電気機器の安全基準②** 内　容：　1.漏れ電流の種類と許容値について説明できる。 2.漏れ電流測定用器具の構成と特性について説明できる。 3.主電源スイッチの廃止やタッチプルーフの導入について説明できる。 **4. 医用電気機器の安全基準③** 内　容：　1.医用電気システムの安全基準(JIS T 0601-1-1)を説明できる。 2.リスクマネジメントの医療機器への適用(JIS T 14971)を説明できる。 3.医用電気機器及び医用電気システムのアラームの基準(IEC 60601-1-8)を説明できる。 4.医療機器のユーザビリティーエンジニアリングに関する基準(IEC 62366)を説明できる。 **5. 医療機器の耐用期間・地震対策** 内　容：　1.医療機器の耐用期間について説明できる。 2.医療機器の地震対策について説明できる。 **6. 病院電気設備の安全基準①** 内　容：　1.病院電気設備の安全基準(JIS T 1022)が1982年に初めて発行された経緯とその後の改定の推移を説明できる。 2.非常電源設備に関する改定点について説明できる。 **7. 病院電気設備の安全基準②** 内　容：　1. 非接地配線方式のメカニズムについて説明できる。 2. 電流監視装置と過電流警報装置について説明できる。 **8. 病院電気設備のトラブル事例とその対策** 内　容：　1. 地絡事故事例の原因と対策について説明できる。 2. ホスピタルグレードの配線用器具の必要性について説明できる。 **9. 医療電磁環境（EMC）に関する規格** 内　容：　1.EMCに関する国際的な基準（IEC 60601-1-2）の変遷について説明できる。 2.EMCに関する国内基準（JIS T 0601-1-2）は2012年ならびに2018年に改定されたが、その内容を説明できる。

10. 各種電波による医療機器への影響に関する指針①

内　容：　1.携帯電話等の各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響に関する調査結果ならびにそれを根拠に出された指針について説明できる。

11,　各種電波による医療機器への影響に関する指針②

内　容：　1.「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」の根拠となる調査結果ならびに指針の内容について説明できる。

2.携帯電話による装着型医療機器や在宅医療機器に対する影響調査結果について説明できる。

12. 病院内電波管理①

内　容：　1.総務省/電波環境協議会（EMCC）から2016年4月に発行された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」作成の経緯について説明できる。

2.EMCCの活動内容について説明できる。

13. 病院内電波管理②

内　容：　1.総務省/電波環境協議会から2021年7月に出された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（改定版）」の医用テレメータに関する内容について説明できる。

14. 病院内電波管理③

内　容：　1.総務省/電波環境協議会から2021年7月に出された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（改定版）」の無線LANに関する内容について説明できる。

15. 病院内電波管理④

内　容：　1.総務省/電波環境協議会から2021年7月に出された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（改定版）」の携帯電話ならびにその他無線通信機器に関する内容について説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
医療安全工学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (生体医工学分野)	加納　隆 川邉　学

到達目標

医療機器・設備・電磁環境に関する国内外の規格ならびに指針について、ただ単に学ぶのではなく、どうしてそのような規格・指針が作られたか？という背景ならびに意図されていることまで十分に説明できる。

【学習の具体的な目標】

1. 電撃のメカニズムと事故事例について説明できる。
2. 医用電気機器の国内外の規格を説明できる。
3. 医用電気機器の安全基準(JIS T 0601-1)は 2012 年に大改訂があり、2014 年、2017 年、2023 年と改定されてきているが、どのような目的で、どのように改定されたかを説明できる。
4. 医療機器関連のその他の基準（リスクマネジメント、アラーム、ユーザビリティ）を説明できる。
5. 医療機器の耐用期間や地震対策について説明できる。
5. 病院電気設備の安全基準(JIS T 1022)の改定内容を説明できる。
6. 病院電気設備のトラブル事例とその対策について説明できる。
7. 医療電磁環境・EMC に関する国内規格（JIS T 0601-1-2）ならびに国際規格（IEC 60601-1-2）がどのように変遷を遂げたかを説明できる。
8. 総務省・電波環境協議会から出された「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」ならびに「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」について説明できる。
9. 総務省・電波環境協議会から 2021 年 7 月に出された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（改定版)」について説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/12	金	6 限	Zoom	加納・川邉	電撃のメカニズムと事故事例
2	4/19	金	6 限	Zoom	加納・川邉	医用電気機器の安全基準
3	4/26	金	6 限	Zoom	加納・川邉	〃
4	5/10	金	6 限	Zoom	加納・川邉	〃
5	5/17	金	6 限	Zoom	加納・川邉	医療機器の耐用期間・地震対策
6	5/24	金	6 限	Zoom	加納・川邉	病院電気設備の安全基準
7	5/31	金	6 限	Zoom	加納・川邉	〃
8	6/7	金	6 限	Zoom	加納・川邉	病院電気設備のトラブル事例とその対策
9	6/14	金	6 限	Zoom	加納・川邉	医療電磁環境（EMC）に関する規格
10	6/21	金	6 限	Zoom	加納・川邉	各種電波による医療機器への影響に関する指針
11	6/28	金	6 限	Zoom	加納・川邉	〃
12	7/5	金	6 限	Zoom	加納・川邉	病院内電波管理
13	7/12	金	6 限	Zoom	加納・川邉	〃
14	7/19	金	6 限	Zoom	加納・川邉	〃
15	7/26	金	6 限	Zoom	加納・川邉	〃

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポート提出に、授業中の態度ならびに出席状況を考慮して評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：JIS T 0601-1、JIS T 1022、JIS T 0601-1-2（日本規格協会から発行されている）	医用機器安全管理学に関する基本的な知識を有すること

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体機能代行工学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	奥村高広、白石直子

到達目標

1. 循環機能代行機器、とくに補助循環領域の現状と発展について説明できる。
2. 循環機能代行機器領域の英文を読解できる。
3. 再生医療の現状（とくに心臓、腎臓の領域）について説明できる。
4. 体外循環の従来法にとらわれず新たな手法について理解し議論できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/30	月	4限	C201ゼミ室	奥村･白石	ガイダンス
2	10/7	月	4限	C201ゼミ室	奥村	Counterpulsation 1
3	10/21	月	4限	C201ゼミ室	奥村	Counterpulsation 2
4	10/28	月	4限	C201ゼミ室	奥村	Counterpulsation 3
5	11/11	月	4限	C201ゼミ室	奥村	機械工学と人工臓器1
6	11/18	月	4限	C201ゼミ室	奥村	機械工学と人工臓器2
7	11/25	月	4限	C201ゼミ室	奥村	Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices
8	12/2	月	4限	C201ゼミ室	白石	再生医療の基礎1
9	12/9	月	4限	C201ゼミ室	白石	再生医療の基礎2
10	12/16	月	4限	C201ゼミ室	白石	幹細胞研究と循環器1
11	12/23	月	4限	C201ゼミ室	白石	幹細胞研究と循環器2
12	1/6	月	4限	C201ゼミ室	奥村	バルブ式半閉鎖型体外循環 VACC と体外循環の新分類1
13	1/20	月	4限	C201ゼミ室	奥村	バルブ式半閉鎖型体外循環 VACC と体外循環の新分類2
14	1/27	月	4限	C201ゼミ室	奥村･白石	生体機能代行機器と関連領域の発展1
15	2/3	月	4限	C201ゼミ室	奥村･白石	生体機能代行機器と関連領域の発展2

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポート、発表、出席状況等を総合的に判断して評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：講義資料を配布する。 参考書：Cardiopulmonary Bypass and Mechanical Support (Wolters Kluwer)	本科目は学問の教授ではなく、受講者と教員とが共に学ぶことを目的とする。

授業内容

1. ガイダンス

担　当：　奥村 高広、白石 直子

内　容：　1.生体機能代行工学について説明できる。

2. Counterpulsation 1

担　当：　奥村 高広

内　容：　1.Counterpulsationの原理と効果を説明できる。
2.大動脈内バルーンパンピングIABPの原理と構造を説明できる。
3.IABPの現状を説明できる。

3. Counterpulsation 2

担 当：　奥村 高広

内　容：　1.Counterpulsationの原理と効果を説明できる。
2.大動脈内バルーンパンピングIABPの原理と構造を説明できる。
3.IABPの現状を説明できる。

4. Counterpulsation 3

担 当：　奥村 高広

内　容：　1.External Counterpulsationの原理と構造を説明できる。

5. 機械工学と人工臓器 1

担 当：　奥村 高広

内　容：　1.スターリングエンジンと人工心臓について説明できる。

6. 機械工学と人工臓器 2

担 当：　奥村 高広

内　容：　1.磁性流体と人工筋肉について説明できる。

7. Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices 1

担 当：　奥村 高広

内　容：　1.Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices ※英文抄読

8. 再生医療の基礎 1

担 当：　白石 直子

内　容：　1.幹細胞とは何か説明できる。
2.幹細胞の種類（組織幹細胞、ES細胞、iPS細胞）とその特徴について説明できる。

9. 再生医療の基礎 2

担 当：　白石 直子

内　容：　1.再生医療の現状について具体的に述べることができる。
2.再生医療と臨床工学技士の今後の関わりについて討議することができる。

10. 幹細胞研究と循環器 1

担 当：　白石 直子

内　容：　1.iPS細胞を用いた心臓再生について最近のトピックスを説明できる。

11. 幹細胞研究と循環器 2

担 当：　白石 直子

内　容：　1.iPS細胞を用いた腎臓再生について最近のトピックスを説明できる。

12. バルブ式半閉鎖型体外循環VACCと体外循環の新分類 1

担 当：　奥村 高広

内　容：　1.バルブ式半閉鎖型体外循環法を説明できる。
2.新しい体外循環の分類について説明できる。

13. バルブ式半閉鎖型体外循環VACCと体外循環の新分類 2

担 当： 奥村 高広

内 容： 1.バルブ式半閉鎖型体外循環法を説明できる。
2.新しい体外循環の分類について説明できる。

14. 生体機能代行機器と関連領域の発展 1

担 当： 奥村 高広

内 容： 1.生体機能代行機器および関連領域の最近のトピックスを説明できる。

15. 生体機能代行機器と関連領域の発展 2

担 当： 奥村　高広、白石 直子

内 容： 1.生体機能代行機器および関連領域の最近のトピックスを説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体機能代行工学特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	奥村高広

到達目標

1. 循環機能代行機器、とくに補助循環領域の現状と発展について説明できる。
2. 循環機能代行機器領域の英文を読解できる。
3. 体外循環の従来法にとらわれず新たな手法について理解し議論できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/30	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	ガイダンス
2	10/7	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Counterpulsation 1
3	10/21	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Counterpulsation 2
4	10/28	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Counterpulsation 3
5	11/11	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	機械工学と人工臓器 1
6	11/18	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	機械工学と人工臓器 2
7	11/25	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices 1
8	12/2	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices 2
9	12/9	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices 3
10	12/16	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices 4
11	12/23	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	Short-Term Uses of Mechanical Circulatory Support Devices 5
12	1/6	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	バルブ式半閉鎖型体外循環 VACC と体外循環の新分類 1
13	1/20	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	バルブ式半閉鎖型体外循環 VACC と体外循環の新分類 2
14	1/27	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	生体機能代行機器と関連領域の発展 1
15	2/3	月	7 限	C201ゼミ室	奥村	生体機能代行機器と関連領域の発展 2

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポート、発表、出席状況等を総合的に判断して評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：講義資料を配布する。 参考書：Cardiopulmonary Bypass and Mechanical Support (Wolters Kluwer)	本科目は学問の教授ではなく、受講者と教員とが共に学ぶことを目的とする。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体システム工学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (生体医工学分野)	下岡 聡行

到達目標

生体は1つの「システム」である。しかし、個体から生体高分子群まで、様々なレベルで「システム」を構築し、それらが階層的に情報伝達、制御を行っている。本講義では、システム工学の柱であるモデリングと計測・制御の観点から、生体をシステムの側面から理解する。

【学習の具体的な目標】

生体を微分方程式等の数学的手段でモデル化して扱うための基礎的な事項を修得する。人工臓器等も含めて簡単な生体モデルを構築できるようになる。様々な階層のレベルにおいてシステムとしての生体の仕組みの理解を深める。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	3限	C209	下岡	イントロダクション
2	4/22	月	3限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎①
3	5/6	月	3限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎②
4	5/13	月	3限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎③
5	5/20	月	3限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎④
6	5/27	月	3限	C209	下岡	非線形システムの基礎①
7	6/3	月	3限	C209	下岡	非線形システムの基礎②
8	6/10	月	3限	C209	下岡	臓器や人工臓器のモデルとシミュレーション
9	6/17	月	3限	C209	下岡	化学反応と数学モデル
10	6/24	月	3限	C209	下岡	細胞のモデルとシミュレーション①
11	7/1	月	3限	C209	下岡	細胞のモデルとシミュレーション②
12	7/8	月	3限	C209	下岡	生体のパターン形成の数理①
13	7/22	月	3限	C209	下岡	生体のパターン形成の数理②
14	7/27	土	3限	C209	下岡	生体のパターン形成の数理③
15	7/29	月	3限	C209	下岡	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
期間中の数度のレポート・発表および学期末に試験を行って成績を評価する予定である。	教員一覧参照
教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：使用しない 参考書：適宜紹介する	学部レベルの数学の知識は必須である。機械工学やシステム制御論の基礎に関してもある程度の知識を有することが望ましい。

授業内容
1. イントロダクション 内　容：　生体医工学におけるシステムモデルの例を挙げて概要を説明できる。 2. システムの数理モデルの基礎① 内　容：　1.簡単な物理現象を微分方程式で記述できる。 2.基礎的な微分方程式が解ける。 3. システムの数理モデルの基礎② 内　容：　1.簡単なラプラス変換ができる。 2.伝達関数の概念を説明できる。 4. システムの数理モデルの基礎③ 内　容：　フィードバックの概念を説明できる。生体機能に果たすフィードバックの役割を例を挙げて説明できる。 5. システムの数理モデルの基礎④ 内　容：　相平面、トラジェクトリ、ヌルクラインなどの概念を説明できる。 6. 非線形システムの基礎① 内　容：　1.線形システムと非線形システムの違いを説明できる。 2.生体システムの非線形性を例を挙げて説明できる。 7. 非線形システムの基礎② 内　容：　1.非線形システムの基礎的な応答を、相平面・トラジェクトリなどを使って説明できる。 2.非線形システムの安定性について説明できる。 8. 臓器や人工臓器のモデルとシミュレーション 内　容：　1.腎臓等の生理学的な機能をモデル化して分析できる。 2.人工透析や補助循環における数学モデルの例を挙げて概要を説明できる。 9. 化学反応と数学モデル 内　容：　生体の生理学的応答の基礎となる化学反応を非線形応答の観点から分析できる。 10. 細胞のモデルとシミュレーション① 内　容：　拡散と反応の観点から細胞の機能をモデル化できる。 11. 細胞のモデルとシミュレーション② 内　容：　1.ホジキン・ハクスレーモデル(H-Hモデル)の概要を説明できる。 2.E-Cellモデルの概要を説明できる。 12. 生体のパターン形成の数理① 内　容：　生体の形状・模様などの多様性と類似性については、簡単な非線形モデルで説明が試みられている。それらの例を挙げて概要を説明できる。 13. 生体のパターン形成の数理② 内　容：　化学や物理の支配方程式とパターン形成のモデルの関連を説明できる。 14. 生体のパターン形成の数理③ 内　容：　パターン形成の非線形モデルの応答を導くことができる。 15. まとめ 内　容：　講義の内容を説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体システム工学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (生体医工学分野)	下岡 聡行

到達目標

生体は 1 つの「システム」である。しかし、個体から生体高分子群まで、様々なレベルで「システム」を構築し、それらが階層的に情報伝達、制御を行っている。本講義では、システム工学の柱であるモデリングと計測・制御の観点から、生体をシステムの側面から理解する。

【学習の具体的な目標】

生体を微分方程式等の数学的手段でモデル化して扱うための基礎的な事項を修得する。人工臓器等も含めて簡単な生体モデルを構築できるようになる。様々な階層のレベルにおいてシステムとしての生体の仕組みの理解を深める。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	6 限	C209	下岡	イントロダクション
2	4/22	月	6 限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎①
3	5/6	月	6 限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎②
4	5/13	月	6 限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎③
5	5/20	月	6 限	C209	下岡	システムの数理モデルの基礎④
6	5/27	月	6 限	C209	下岡	非線形システムの基礎①
7	6/3	月	6 限	C209	下岡	非線形システムの基礎②
8	6/10	月	6 限	C209	下岡	臓器や人工臓器のモデルとシミュレーション
9	6/17	月	6 限	C209	下岡	化学反応と数学モデル
10	6/24	月	6 限	C209	下岡	細胞のモデルとシミュレーション①
11	7/1	月	6 限	C209	下岡	細胞のモデルとシミュレーション②
12	7/8	月	6 限	C209	下岡	生体のパターン形成の数理①
13	7/22	月	6 限	C209	下岡	生体のパターン形成の数理②
14	7/27	土	6 限	C209	下岡	生体のパターン形成の数理③
15	7/29	月	6 限	C209	下岡	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
期間中の数度のレポート・発表および学期末に試験を行って成績を評価する予定である。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：使用しない 参考書：適宜紹介する	学部レベルの数学の知識は必須である。機械工学やシステム制御論の基礎に関してもある程度の知識を有することが望ましい。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体信号処理特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	小林 直樹

到達目標

本講義では、生体信号の解析、処理するために必要となる信号処理の理論から生体工学分野への応用について講義する。信号処理理論としては、時間周波数解析に必要なディジタルフーリエ変換、ウェーブレット変換等のディジタル信号処理、時系列信号解析で必要となる確率過程処理、信号伝達に必要となる情報圧縮処理、通信処理などの講義を行う。さらに心拍や視覚映像などの生体信号を利用したシステムに適応した場合の応用例を示して生体工学分野での具体的信号処理の適用方法について講義する。

1. 生体信号における信号処理について理解し、説明できる。
2. ディジタル信号処理について理解し、使うことができる。
3. 不規則信号の処理について理解し、使うことができる。
4. 信号伝達に必要な符号化、通信処理について理解し、使うことができる。
5. 信号処理を実際の生体信号に適用の方法について理解し、使うことができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/30	月	3限	C201ゼミ室	小林	生体信号と信号処理
2	10/7	月	3限	C201ゼミ室	小林	標本化と量子化
3	10/21	月	3限	C201ゼミ室	小林	離散フーリエ変換
4	10/28	月	3限	C201ゼミ室	小林	〃
5	11/11	月	3限	C201ゼミ室	小林	高速フーリエ変換
6	11/18	月	3限	C201ゼミ室	小林	ウェーブレット変換などその他の直行変換
7	11/25	月	3限	C201ゼミ室	小林	確率と統計
8	12/2	月	3限	C201ゼミ室	小林	〃
9	12/9	月	3限	C201ゼミ室	小林	確率過程
10	12/16	月	3限	C201ゼミ室	小林	〃
11	12/23	月	3限	C201ゼミ室	小林	情報の符号化
12	12/6	月	3限	C201ゼミ室	小林	〃
13	1/20	月	3限	C201ゼミ室	小林	通信処理
14	1/27	月	3限	C201ゼミ室	小林	生体信号への適用
15	2/3	月	3限	C201ゼミ室	小林	〃

評価方法	連絡先／オフィスアワー
前半1回，後半1回のレポートで評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：ディジタル信号処理	特になし

授業内容

1. 生体信号と信号処理

担　当：　小林 直樹

内　容：　心拍、筋電などの生体信号の特性を理解し、生体信号によって有益な情報を得るためには、どのような信号処理が必要であるかを理解する。

2. 標本化と量子化

担　当：　小林 直樹

内　容：　生体信号処理の基本であるディジタル信号処理について、アナログ信号からディジタル信号に変換するためのサンプリング定理について理解し、説明できるようにする。

3. 離散フーリエ変換①

担　当：　小林 直樹

内　容：　時系列信号の信号処理でよく使われる離散フーリエ変換の意味を理解するとともに、その特性、利用における注意点などを理解して使いこなせるようにする。

4. 離散フーリエ変換②

担　当：　小林 直樹

内　容：　時系列信号の信号処理でよく使われる離散フーリエ変換の意味を理解するとともに、その特性、利用における注意点などを理解して使いこなせるようにする。

5. 高速フーリエ変換

担　当：　小林 直樹

内　容：　離散フーリエ変換の高速処理アルゴリズムである高速フーリエ変換の仕組みを理解し、使いこなせるようにする。

6. ウェーブレット変換などその他の直行変換

担　当：　小林 直樹

内　容：　その他の直交変換として、時系列データに有効なウェーブレット変換、画像処理で用いられている離散コサイン変換などについて学び、使えるようにする

7. 確率と統計①

担　当：　小林 直樹

内　容：　時系列生体信号に代表される、不規則信号を扱う手法である確率過程信号処理に必要な基礎として、確率および統計についての理論を理解し、応用できるようにする。

8. 確率と統計②

担　当：　小林 直樹

内　容：　時系列生体信号に代表される、不規則信号を扱う手法である確率過程信号処理に必要な基礎として、確率および統計についての理論を理解し、応用できるようにする。

9. 確率過程①

担　当：　小林 直樹

内　容：　不規則信号処理の元となる確率過程の信号処理について学習するとともに、その特性を知って利用できるようにする。

10. 確率過程②

担　当：　小林 直樹

内　容：　不規則信号処理の元となる確率過程の信号処理について学習するとともに、その特性を知って利用できるようにする。

11. 情報の符号化①

担　当：　小林 直樹

担　当：　得られた生体信号などの情報を通信、蓄積、圧縮したりする場合に必要となる情報の符号化技術について、そのアルゴリズムおよび特性について知り、利用可能とする。

12. 情報の符号化②

担　当：　小林 直樹

内　容：　得られた生体信号などの情報を通信、蓄積、圧縮したりする場合に必要となる情報の符号化技術について、そのアルゴリズムおよび特性について知り、利用可能とする。

13. 通信処理

担　当：　小林 直樹

内　容：　生体信号を取得する際における情報伝達系の仕組みを理解し、そのために必要な通信処理技術および特性について学ぶ。

14. 生体信号への適用①

担　当：　石川 雅浩

内　容：　今までの信号処理を総合的学習として、時系列生体信号の信号処理に適用した例、および視覚生体信号に適用した場合の実例および、その適用方法について学ぶ。

15. 生体信号への適用②

担　当：　石川 雅浩

内　容：　今までの信号処理を総合的学習として、時系列生体信号の信号処理に適用した例、および視覚生体信号に適用した場合の実例および、その適用方法について学ぶ。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体信号処理特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	小林 直樹

到達目標

本講義では、生体信号の解析、処理するために必要となる信号処理の理論から生体工学分野への応用について講義する。信号処理理論としては、時間周波数解析に必要なディジタルフーリエ変換、ウェーブレット変換等のディジタル信号処理、時系列信号解析で必要となる確率過程処理、信号伝達に必要となる情報圧縮処理、通信処理などの講義を行う。さらに心拍や視覚映像などの生体信号を利用したシステムに適応した場合の応用例を示して生体工学分野での具体的信号処理の適用方法について講義する。

1. 生体信号における信号処理について理解し、説明できる。
2. ディジタル信号処理について理解し、使うことができる。
3. 不規則信号の処理について理解し、使うことができる。
4. 信号伝達に必要な符号化、通信処理について理解し、使うことができる。
5. 信号処理を実際の生体信号に適用の方法について理解し、使うことができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/30	月	6 限	C201ゼミ室	小林	生体信号と信号処理
2	10/7	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	標本化と量子化
3	10/21	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	離散フーリエ変換
4	10/28	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	〃
5	11/11	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	高速フーリエ変換
6	11/18	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	ウェーブレット変換などその他の直行変換
7	11/25	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	確率と統計
8	12/2	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	〃
9	12/9	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	確率過程
10	12/16	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	〃
11	12/23	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	情報の符号化
12	12/6	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	〃
13	1/20	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	通信処理
14	1/27	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	生体信号への適用
15	2/3	月	6 限	C201 ゼミ室	小林	〃

評価方法	連絡先／オフィスアワー
前半 1 回，後半 1 回のレポートで評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：ディジタル信号処理	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体情報計測特論	講義	1年 前期	2	共通科目 (生体医工学分野)	駒形　英樹

到達目標

生体情報計測の中でも特に医用画像計測の解析に必要な画像処理アルゴリズムやパターン認識、機械学習に関する知識と理解を深め、研究に利用できる力を養うことを目標とする。

【学習の具体的な目標】

1. 生体計測の種類と概要を説明することができる。
2. 画像の撮像原理や色空間など画像データについて説明することができる。
3. 基礎的な画像処理アルゴリズム（エッジ検出、平滑化、二値化、ラベリング、形状解析、テクスチャ解析、パターン認識）の原理を説明し、これらの画像処理を行うプログラムを作成することができる。
4. 機械学習の目的と種類や特徴について説明することができる。
5. 簡単なGUIプログラムを作成することができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	5/20	月	4限		駒形	生体情報計測と画像データ
2	5/20	月	5限		駒形	プログラムの構造
3	5/27	月	4限	MM教室	駒形	画像処理実習1
4	5/27	月	5限	MM教室	駒形	画像処理実習2
5	6/10	月	4限		駒形	色空間と幾何変換
6	6/10	月	5限		駒形	画像の濃淡変換とフィルタ演算
7	6/17	月	4限	MM教室	駒形	画像処理実習3
8	6/17	月	5限	MM教室	駒形	画像処理実習4
9	7/1	月	4限		駒形	二値化と形状解析
10	7/1	月	5限		駒形	テクスチャ解析とパターン認識
11	7/8	月	4限	MM教室	駒形	画像処理実習5
12	7/8	月	5限	MM教室	駒形	画像処理実習6
13	7/22	月	4限		駒形	機械学習1
14	7/22	月	5限		駒形	機械学習2
15	7/29	月	4限	MM教室	駒形	機械学習3とGUIプログラミング

評価方法	連絡先／オフィスアワー
講義期間中のレポートや出席状況・授業態度によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：ディジタル画像処理編集委員会（著），“ディジタル画像処理[改訂第二版]”，画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会），2022.	履修条件はありません。プログラム未経験者でも構いません。

授業内容

1. 生体情報計測と画像データ

内　容：　1. 生体計測の種類と概要を説明することができる。
2. 画像ファイルや圧縮形式の種類と特徴を説明することができる。
3. 画像の撮像原理や撮影パラメータについて説明することができる。
4. 生体信号や画像のAD変換について説明することができる。
5. 色空間やヒストグラムについて説明することができる。

2. プログラムの構造

内　容：　1. プログラムの種類を挙げることができる。
2. プログラムのファイル構成（ソースファイル、ヘッダファイル、実行ファイル、静的リンクライブラリ、動的リンクライブラリ）を説明することができる。
3. プログラムの要素（変数、型、配列、分岐、繰返し、関数、構造体、クラス、オブジェクト指向、例外処理、マルチスレッド、イベント等）の概要を説明することができる。

3. 画像処理実習1

内　容：　1. ペイントやPowerPoint、Photoshopなど市販のソフトウェアを用いた画像処理を行うことができる。

4. 画像処理実習2

内　容：　1. Visual C++を用いたC++言語のプログラム開発を行うことができる。
2. Visual C++とOpenCVを用いた図形の描画を行うことができる。

5. 色空間と幾何変換

内　容：　1. ヒストグラムと統計量（平均値や標準偏差、中央値、最頻値、コントラストなど）について説明することができる。
2. 色空間の種類や特徴について説明することができる。
3. 拡大や縮小、回転など、画像の幾何変換の計算を行うことができる。

6. 画像の濃淡変換とフィルタ演算

内　容：　1. トーンカーブについて説明することができる。
2. 疑似カラーについて説明することができる。
3. 平滑化やエッジ抽出など、フィルタ演算の仕組みについて説明することができる。
4. ラプラシアンフィルタやメディアンフィルタの仕組みと効果について説明することができる。

7. 画像処理実習3

内　容：　1. Visual C++とOpenCVを用いて、画像の読込みと保存を行うプログラムを作成することができる。
2. Visual C++とOpenCVを用いて、画像の伸縮、回転、クリッピングを行うプログラムを作成することができる。

8. 画像処理実習4

内　容：　1. Visual C++とOpenCVを用いて、画像の平滑化やエッジ検出を行うプログラムを作成することができる。
2. Visual C++とOpenCVを用いて、画像の合成や疑似カラー変換を行うプログラムを作成することができる。

9. 二値化と形状解析

内　容：　1. 閾値や判別分析を用いた二値化法について説明することができる。
2. 二値画像の収縮・膨張処理の仕組みと効果について説明することができる。
3. 二値画像のラベリングの仕組みについて説明することができる。
4. ラベリングされた二値画像から形状特徴量（面積や円形度、重心など）を計算する方法について説明することができる。
5. ベクトル化と細線化について説明することができる。

10. テクスチャ解析とパターン認識

内　容：　1. 同時生起行列やランレングス行列を用いたテクスチャ特徴量の計算式について説明することができる。
2. テンプレートマッチングの仕組みについて説明することができる。
3. 様々な特徴点検出手法と特徴点を用いたパターン認識手法について説明することができる。

11. 画像処理実習5

内　容：　1. Visual C++とOpenCVを用いて、閾値を用いた二値化法、および、判別分析を用いた二値化法のプログラムを作成することができる。
2. Visual C++とOpenCVを用いて、任意の画像の形状特徴量を計算するプログラムを作成することができる。

12. 画像処理実習6

内　容：　1. Visual C++とOpenCVを用いて、テンプレートマッチングを行うプログラムを作成することができる。
2. Visual C++を用いて、計算時間を測定するプログラムを作成することができる。

13. 機械学習1

内　容：　1. 機械学習の目的と用途について説明することができる。
2. 逆行列を用いた線形予測、および、一般化逆行列を用いた線形回帰分析（最小二乗法）について仕組みと計算式を説明することができる。
3. 重回帰分析や正準相関分析、多重ロジスティック解析について説明することができる。
4. パーセプトロンや重畳、線形分離について説明することができる。

14. 機械学習2

内　容：　1. 評価関数と最適化について説明することができる。
2. ニューラルネットワークについて説明することができる。
3. サポートベクターマシンについて説明することができる。
4. 生体信号（1次元のデータ）や画像（2次元のデータ）から微分値や積分値などの特徴を抽出する方法について説明することができる。
5. 深層学習（ディープラーニング）について説明することができる。
6. 画像に対する深層学習の種類と特徴について説明することができる。
7. 主成分分析（PCA）やクラスタリングなどの教師無し学習の種類や目的について説明することができる。

15. 機械学習3とGUIプログラミング

内　容：　1. 二値分類から多値分類への拡張法について説明することができる。
2. ダウンサンプリングやアップサンプリングについて説明することができる。
3. 特徴選択について説明することができる。
4. 混合行列や様々な精度・誤差について説明することができる。
5. 交差検証（クロスバリデーション）について説明することができる。
6. 深層学習のプーリングについて説明することができる。
7. アンサンブル学習や敵対的生成ネットワーク（GAN）について説明することができる。
8. C#を用いた簡単なGUIプログラミングを行うことができる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体情報計測特論	講義	1 年 前期	2	共通科目 (生体医工学分野)	駒形　英樹

到達目標

生体情報計測の中でも特に医用画像計測の解析に必要な画像処理アルゴリズムやパターン認識、機械学習に関する知識と理解を深め、研究に利用できる力を養うことを目標とする。

【学習の具体的な目標】

1. 生体計測の種類と概要を説明することができる。
2. 画像の撮像原理や色空間など画像データについて説明することができる。
3. 基礎的な画像処理アルゴリズム（エッジ検出、平滑化、二値化、ラベリング、形状解析、テクスチャ解析、パターン認識）の原理を説明し、これらの画像処理を行うプログラムを作成することができる。
4. 機械学習の目的と種類や特徴について説明することができる。
5. 簡単な GUI プログラムを作成することができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	5/18	土	3 限		駒形	生体情報計測と画像データ
2	5/18	土	4 限		駒形	プログラムの構造
3	5/25	土	3 限	MM 教室	駒形	画像処理実習 1
4	5/25	土	4 限	MM教室	駒形	画像処理実習 2
5	6/8	土	3 限		駒形	色空間と幾何変換
6	6/8	土	4 限		駒形	画像の濃淡変換とフィルタ演算
7	6/15	土	3 限	MM 教室	駒形	画像処理実習 3
8	6/15	土	4 限	MM教室	駒形	画像処理実習 4
9	6/29	土	3 限		駒形	二値化と形状解析
10	6/29	土	4 限		駒形	テクスチャ解析とパターン認識
11	7/6	土	3 限	MM 教室	駒形	画像処理実習 5
12	7/6	土	4 限	MM教室	駒形	画像処理実習 6
13	7/27	土	3 限	MM教室	駒形	機械学習 1
14	7/27	土	4 限	MM 教室	駒形	機械学習 2
15	7/27	土	5 限	MM教室	駒形	機械学習 3 と GUI プログラミング

評価方法	連絡先／オフィスアワー
講義期間中のレポートや出席状況・授業態度によって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：ディジタル画像処理編集委員会（著），“ディジタル画像処理[改訂第二版]”，画像情報教育振興協会（CG-ARTS 協会），2022.	履修条件はありません。プログラム未経験者でも構いません。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
人間工学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	宮本 裕一

到達目標

幅広い概念を有する人間工学において、特に医療機器の規制に関する理解を深めることで、医療にかかわる人材に必要な人間工学的観点からの資質を認識する。

【学習の具体的な目標】

人間工学は、エルゴノミクスやヒューマンファクターとも呼ばれており、安全で使いやすい医療機器をつくることにも役立つ実践的な科学技術である。

人間工学が対象とする人間以外の他の要素には、(a)作業・仕事、(b)道具・機器、(c)モノ・作業場などの設計 、(d)物理環境、(e)組織・マネジメント、(f)法規（規制）なども含まれる。我が国における医療機器の製造および品質管理に関する規制には、このような人間工学を意識した数多くの要求事項が存在する。すなわち、現在我が国に流通している医療機器の有効性、安全性およびその品質は、人間工学に基づく科学的なエビデンスによって担保されているとも言える。

当該科目では、近年提唱されている医療機器におけるレギュラトリーサイエンス（科学技術の成果を人と社会との調和のうえで最も望ましい姿に調整するための科学)、特に医療機器の製造及び品質管理に係る規制の理解を通し、人間工学が人々の安全・安心・快適・健康の保持・向上に貢献する実践科学であることを認識することを目標とする。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/3	木	3限	C201ゼミ室	宮本	人間工学とは、その定義と範囲
2	10/10	木	3限	C201ゼミ室	宮本	我が国における医療機器規制の概要
3	10/17	木	3限	C201ゼミ室	宮本	医療機器製造業と製造販売業
4	10/24	木	3限	C201ゼミ室	宮本	医療機器の承認審査制度
5	10/31	木	3限	C201ゼミ室	宮本	医療機器製造業者の品質システム(QMS)
6	11/7	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMSにおける8つのサブシステムとその役割
7	11/14	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMSにおける管理監督サブシステム
8	11/21	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMSにおける設計管理サブシステム
9	11/28	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMSにおける製造・製品サブシステム
10	12/5	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMSにおける購買管理サブシステム
11	12/12	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMSにおける文書管理・製品受領者サブシステム
12	12/19	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMSにおける是正措置・予防措置サブシステム(CAPA)
13	1/9	木	3限	C201ゼミ室	宮本	QMS調査における不適合事例の紹介
14	1/16	木	3限	C201ゼミ室	宮本	〃
15	1/23	木	3限	C201ゼミ室	宮本	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題およびレポートによって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：よくわかる改正薬事法（医療機器編） 薬事日報社 対訳 ISO13485 医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格、日本規格協会	特になし

授業内容

1. 人間工学とは、その定義と範囲

内　容：　1.人間工学の定義について説明できる。
　　2.人間工学の範囲について説明できる。

2. 我が国における医療機器規制の概要

内　容：　1.医療機器に係る規制全般について概説できる。
　　2.医療機器のクラス分類について説明できる。
　　3.医療機器規制国際整合化会議について説明できる。

3. 医療機器製造業と製造販売業

内　容：　1.医療機器製造業の定義とその許可権者について説明できる。
　　2.医療機器製造販売業の定義とその許可権者について説明できる。
　　3.製造業および製造販売業の許可要件を列挙できる。

4. 医療機器の承認審査制度

内　容：　1.我が国における医療機器の承認プロセスについて概説できる。
　　2.承認審査、信頼性調査およびQMS調査のそれぞれの役割について説明できる。
　　3.医薬品医療機器総合機構について説明できる。

5. 医療機器製造業者の品質システム(QMS)

内　容：　1.医療機器製造業者が備えるべき品質管理監督システムの概要を説明できる。
　　2.ISO13485とQMS省令について説明できる。
　　3.QMS調査の役割を説明できる。

6. QMSにおける8つのサブシステムとその役割

内　容：　1.QMSにおける8つのサブシステムを列挙できる。
　　2.各サブシステムの内容を説明できる。
　　3.各サブシステム間の関係を説明できる。

7. QMSにおける管理監督サブシステム

内　容：　1.管理監督サブシステムに含まれる製造業者の活動を説明できる。
　　2.品質方針の重要性を説明できる。
　　3.関連するQMS省令の要求事項との紐付けができる。

8. QMSにおける設計管理サブシステム

内　容：　1.設計管理サブシステムに含まれる製造業者の活動を説明できる。
　　2.医療機器のリスクマネジメントの概要を説明できる。
　　3.関連するQMS省令の要求事項との紐付けができる。

9. QMSにおける製造・製品サブシステム

内　容：　1.製造・製品サブシステムに含まれる製造業者の活動を説明できる。
2.製品標準書について説明できる。
3.関連するQMS省令の要求事項および通知との紐付けができる。

10. QMSにおける購買管理サブシステム

内　容：　1.購買管理サブシステムに含まれる製造業者の活動を説明できる。
2.サプライヤの定義を説明できる。
3.関連するQMS省令の要求事項との紐付けができる。

11. QMSにおける文書管理・製品受領者サブシステム

内　容：　1.文書管理・製品受領者サブシステムに含まれる製造業者の活動を説明できる。
2.文書体系図について説明できる。
3.承認書の品目仕様について説明できる。
4.関連するQMS省令の要求事項との紐付けができる。

12. QMSにおける是正措置・予防措置サブシステム(CAPA)

内　容：　1.CAPAの定義について説明できる。
2.是正措置・予防措置サブシステムに含まれる製造業者の活動を説明できる。
3.関連するQMS省令の要求事項との紐付けができる。

13. QMS調査における不適合事例の紹介①

内　容：　1.QMS省令への適合性について説明できる。
2.8つのサブシステムのうち、いずれかに対するQMS省令への不適合事例を挙げることができる。

14. QMS調査における不適合事例の紹介②

内　容：　1.QMS省令への適合性について説明できる。
2.8つのサブシステムのうち、いずれかに対するQMS省令への不適合事例を挙げることができる。

15. まとめ

内　容：　医療機器規制の概要全般について説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
人間工学特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	宮本 裕一

到達目標

幅広い概念を有する人間工学において、特に医療機器の規制に関する理解を深めることで、医療にかかわる人材に必要な人間工学的観点からの資質を認識する。

【学習の具体的な目標】

人間工学は、エルゴノミクスやヒューマンファクターとも呼ばれており、安全で使いやすい医療機器をつくることにも役立つ実践的な科学技術である。

人間工学が対象とする人間以外の他の要素には、(a)作業・仕事、(b)道具・機器、(c)モノ・作業場などの設計 、(d)物理環境、(e)組織・マネジメント、(f)法規（規制）なども含まれる。我が国における医療機器の製造および品質管理に関する規制には、このような人間工学を意識した数多くの要求事項が存在する。すなわち、現在我が国に流通している医療機器の有効性、安全性およびその品質は、人間工学に基づく科学的なエビデンスによって担保されているとも言える。

当該科目では、近年提唱されている医療機器におけるレギュラトリーサイエンス（科学技術の成果を人と社会との調和のうえで最も望ましい姿に調整するための科学)、特に医療機器の製造及び品質管理に係る規制の理解を通し、人間工学が人々の安全・安心・快適・健康の保持・向上に貢献する実践科学であることを認識することを目標とする。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/2	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	人間工学とは、その定義と範囲
2	10/9	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	我が国における医療機器規制の概要
3	10/16	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	医療機器製造業と製造販売業
4	10/23	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	医療機器の承認審査制度
5	10/30	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	医療機器製造業者の品質システム(QMS)
6	11/6	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS における 8 つのサブシステムとその役割
7	11/13	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS における管理監督サブシステム
8	11/20	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS における設計管理サブシステム
9	11/27	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS における製造・製品サブシステム
10	12/4	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS における購買管理サブシステム
11	12/11	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS における文書管理・製品受領者サブシステム
12	12/18	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS における是正措置・予防措置サブシステム(CAPA)
13	1/8	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	QMS 調査における不適合事例の紹介
14	1/15	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	〃
15	1/22	水	6 限	C２０１ゼミ室	宮本	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題およびレポートによって評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：よくわかる改正薬事法（医療機器編） 薬事日報社 対訳 ISO13485 医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格、日本規格協会	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
レーザー医工学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (生体医工学分野)	笠松 直史 田邊 一郎 宮本 裕一

到達目標

最近、著しい進歩を遂げているレーザーとその医用応用分野に興味を持ち、装置の安全な操作や、各種生体試料を用いたレーザーの新しい医用応用について理解する。

【学習の具体的な目標】

1. レーザーの基礎（原理と特徴）と各種レーザーの種類、構成、特徴を理解する。
2. レーザーの応用分野について理解し、レーザーの操作実際と安全管理を修得する。
3. 医用レーザーの生体への作用因子を理解する。
4. 生体組織の光特性について理解する。
5. 生体分光法について理解する。
6. 医用レーザーの計測・診断法の実際について修得する。
7. 医用レーザー治療法の実際について修得する。
8. 先端医用レーザー研究の現状と今後について理解を深める。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	2限	C201ゼミ室	笠松	レーザーの基礎（原理と特徴）
2	4/25	木	2限	C201ゼミ室	笠松	各種レーザーについて（種類、構成、特徴）
3	5/2	木	2限	C201 ゼミ室	笠松	レーザーの応用分野について
4	5/9	木	2限	C201 ゼミ室	笠松	レーザーの操作とハザード
5	5/16	木	2限	C201 ゼミ室	宮本	医用レーザーの生体への作用因子（波長、強度）
6	5/23	木	2限	C201 ゼミ室	宮本	生体組織の光特性Ⅰ（光感受性の特徴）
7	5/30	木	2限	C201 ゼミ室	田邊	生体組織の光特性Ⅱ（熱伝導性と熱緩和）
8	6/6	木	2限	C201 ゼミ室	宮本	生体組織の光特性Ⅲ（光感受性色素について）
9	6/13	木	2限	C201 ゼミ室	田邊	生体分光法Ⅰ（励起と生体蛍光の理論）
10	6/20	木	2限	C201 ゼミ室	宮本	生体分光法Ⅱ（短時間・高強度レーザーの使用）
11	6/27	木	2限	C201 ゼミ室	田邊	生体分光法Ⅲ（生体の蛍光診断法）
12	7/4	木	2限	C201 ゼミ室	笠松	医用レーザー計測・診断法の実際
13	7/11	木	2限	C201 ゼミ室	笠松	医用レーザー治療法の実際
14	7/18	木	1限	C201 ゼミ室	笠松	先端医用レーザー研究の現状と今後
15	7/25	木	2限	C201 ゼミ室	笠松	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
講義の際の資料などに関連した試験を行い、その成績をもって評価する。 また、適時、レポートを課し、その内容によっても評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
授業毎に、内容に沿った資料を配布する。 特になし	

授業内容
1. レーザーの基礎（原理と特徴） 担　当：　笠松 直史 内　容：　レーザーの原理、特性などを非線形光学と量子光学の両面から理解できる。 **2. 各種レーザーについて（種類、構成、特徴）** 担　当：　笠松 直史 内　容：　固体レーザー、気体レーザー、色素レーザー、半導体レーザーなどの種類と構造を説明できる。 **3. レーザーの応用分野について** 担　当：　笠松 直史 内　容：　1.レーザーを利用した各種光学機器の種類や構造を理解できる。 2.医療面のおけるレーザーの利用法（診断、治療など）を説明できる。 **4. レーザーの操作とハザード** 担　当：　笠松 直史 内　容：　1.各種レーザー装置の正しい使用法を理解できる。 2.レーザー光の危険性を理解し、その防御法と安全な操作法を説明できる。 **5. 医用レーザーの生体への作用因子（波長、強度）** 担　当：　宮本 裕一 内　容：　1.生体に作用するレーザー光の作用機序について理解できる。 2.各種レーザーの波長に対する生体の反応について説明できる。 **6. 生体組織の光特性Ⅰ（光感受性の特徴）** 担　当：　宮本 裕一 内　容：　1.生体組織の光感受性について、臓器別に説明できる。 2.レーザー光に対する光感受性の機序について説明できる。 **7. 生体組織の光特性Ⅱ（熱伝導性と熱緩和）** 担　当：　田邊 一郎 内　容：　1.生体組織の、レーザーに対する熱伝導性について理解できる。 2.各種レーザーの生体に対する発熱特性について説明できる。 **8. 生体組織の光特性Ⅲ（光感受性色素について）** 担　当：　宮本 裕一 内　容：　1.光感受性物質の作用機序を理解できる。 2.光感受性物質の種類や応用について説明できる。 **9. 生体分光法Ⅰ（励起と生体蛍光の理論）** 担　当：　田邊 一郎 内　容：　1.レーザー光に対する生体蛍光の発現機序を理解できる。 2.生体蛍光の種類や、組織別の特徴について説明できる。 **10. 生体分光法Ⅱ（短時間・高強度レーザーの使用）** 担　当：　宮本 裕一 内　容：　1.パルスレーザーの種類と特性について理解できる。 2.パルスレーザーの生体作用の特徴について説明できる。 **11. 生体分光法Ⅲ（生体の蛍光診断法）** 担　当：　田邊 一郎 内　容：　1.診断に使用される生体蛍光の特徴について理解できる。 2.蛍光診断法の装置とその利用について説明できる。

12. 医用レーザー計測・診断法の実際

担　当：　笠松 直史

内　容：　1.Optical Coherence Tomographyの原理と利用法について理解できる。
2.医用レーザーを用いた各種診断法について理解できる。

13. 医用レーザー治療法の実際

担　当：　笠松 直史

内　容：　1.医用レーザーを用いた各種治療法について理解できる。
2.医用レーザー治療装置の構造や治療法の効果、安全性について説明できる。

14. 先端医用レーザー研究の現状と今後

担　当：　笠松 直史

内　容：　1.先端医用レーザーの研究動向について理解できる。
2.今後の進展方向を踏まえた研究の企画立案ができる。

15. まとめ

担　当：　笠松 直史

内　容：　レーザーの医用応用のまとめ

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
レーザー医工学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (生体医工学分野)	笠松 直史 田邊 一郎 宮本 裕一

到達目標

最近、著しい進歩を遂げているレーザーとその医用応用分野に興味を持ち、装置の安全な操作や、各種生体試料を用いたレーザーの新しい医用応用について理解する。

【学習の具体的な目標】

1. レーザーの基礎（原理と特徴）と各種レーザーの種類、構成、特徴を理解する。
2. レーザーの応用分野について理解し、レーザーの操作実際と安全管理を修得する。
3. 医用レーザーの生体への作用因子を理解する。
4. 生体組織の光特性について理解する。
5. 生体分光法について理解する。
6. 医用レーザーの計測・診断法の実際について修得する。
7. 医用レーザー治療法の実際について修得する。
8. 先端医用レーザー研究の現状と今後について理解を深める。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	レーザーの基礎（原理と特徴）
2	4/25	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	各種レーザーについて（種類、構成、特徴）
3	5/2	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	レーザーの応用分野について
4	5/9	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	レーザーの操作とハザード
5	5/16	木	6 限	C201ゼミ室	宮本	医用レーザーの生体への作用因子（波長、強度）
6	5/23	木	6 限	C201ゼミ室	宮本	生体組織の光特性Ⅰ（光感受性の特徴）
7	5/30	木	6 限	C201ゼミ室	田邊	生体組織の光特性Ⅱ（熱伝導性と熱緩和）
8	6/6	木	6 限	C201ゼミ室	宮本	生体組織の光特性Ⅲ（光感受性色素について）
9	6/13	木	6 限	C201ゼミ室	田邊	生体分光法Ⅰ（励起と生体蛍光の理論）
10	6/20	木	6 限	C201ゼミ室	宮本	生体分光法Ⅱ（短時間・高強度レーザーの使用）
11	6/27	木	6 限	C201ゼミ室	田邊	生体分光法Ⅲ（生体の蛍光診断法）
12	7/4	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	医用レーザー計測・診断法の実際
13	7/11	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	医用レーザー治療法の実際
14	7/18	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	先端医用レーザー研究の現状と今後
15	7/25	木	6 限	C201ゼミ室	笠松	まとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
講義の際の資料などに関連した試験を行い、その成績をもって評価する。 また、適時、レポートを課し、その内容によっても評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
授業毎に、内容に沿った資料を配布する。	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
光応用計測特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	若山 俊隆

到達目標

現在、医学および生命工学において、光を用いた機器は診療診断と共に新しい生命科学現象を発見するために必要不可欠なツールと考えることができる。光そのものの持つポテンシャルを基礎から学び、それらを医学および生命工学に応用する知識を得ることは今後の自然科学を学ぶ上で極めて重要になると考えられる。このような点から、光の本質から顕微鏡、治療診断そして最先端の光学とフォトニクスを学ぶ。

【学習の具体的な目標】

光は生命現象を非侵襲のうちにイメージングすることを達成し、その物質の物性さえも分析できることから創薬や医学の臨床研究にも多大な貢献が期待されている。光の歴史は古いのにもかかわらず、現在も新しい光物理現象が見出され、その現象を利用した光学機械や顕微鏡、光診断装置等が開発されている。このような点から光がもつ基本的な性質を波動性と粒子性に大別し、光学とフォトニクスの両面から基礎と応用をそれぞれ概説する。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/27	火	3限	C304	若山	イントロダクション
2	10/4	火	3限	C304	若山	基礎光学(Ⅰ) 光の特性
3	10/11	火	3限	C304	若山	基礎光学 (Ⅱ) 光デバイスと医療機器
4	10/18	火	3限	C304	若山	光学顕微鏡 (Ⅰ) 原理と構造
5	10/25	火	3限	C304	若山	光学顕微鏡 (Ⅱ) 位相差・微分・偏光
6	11/1	火	3限	C304	若山	基礎光学のまとめ
7	11/8	火	3限	C304	若山	基礎フォトニクス (Ⅰ) 光と物質の相互作用
8	11/15	火	3限	C304	若山	先端顕微鏡 (Ⅰ) 共焦点の原理とその応用
9	11/22	火	3限	C304	若山	先端顕微鏡 (Ⅱ) 近接場の基礎とその応用
10	11/29	火	3限	C304	若山	先端顕微鏡 (Ⅲ) 非線形光学の応用
11	12/6	火	3限	C304	若山	分光診断 (Ⅰ) 光バイオプシ, ラマン分光
12	12/13	火	3限	C304	若山	基礎フォトニクス (Ⅱ) コヒーレンス理論
13	12/20	火	3限	C304	若山	光コヒーレンストモグラフィ
14	1/7	火	3限	C304	若山	光応用計測の最近のトピックス
15	1/14	火	3限	C304	若山	光応用計測のまとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポート課題とプレゼンテーション	Email : wakayama@saitama-med.ac.jp ／ 火曜日5限
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：ヘクト 光学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ヤリーヴ 応用エレクトロニクス 基本光工学Ⅰ・Ⅱを中心にして、その他は参考資料を添える。	特になし

授業内容

1. イントロダクション

内　容：　光の電磁場理論を理解することができる。

2. 基礎光学(Ⅰ) 光の特性

内　容：　1.光の特性、波動および光子としての性質およびそのメカニズムを説明できる。

3. 基礎光学（Ⅱ）光デバイスと医療機器

内　容：　1.なぜ、光は糖によって旋光性が発現するかをそのメカニズムを説明できる。
2.光学異性体について説明できる。

4. 光学顕微鏡（Ⅰ） 原理と構造

内　容：　1.一般的に使用される光学顕微鏡の特性をその原理と構造を説明できる。
2.実像と虚像を知ることで結像するメカニズムを説明できる。
3.Abbeの理論から回折限界を理解し、これを説明できる。

5. 光学顕微鏡（Ⅱ）位相差・微分・偏光

内　容：　位相差顕微鏡、微分干渉顕微鏡、偏光顕微鏡の特徴とメカニズムを説明できる。

6. 基礎光学のまとめ

内　容：　光の基礎、特に光学素子および顕微鏡のメカニズムまでを光の特性を理解した上で説明できる。

7. 基礎フォトニクス（Ⅰ）光と物質の相互作用

内　容：　1.光子と電子の相互作用をレーザーのメカニズムを使って説明できる。
2.レーザー冷却および光ピンセットを説明できる。

8. 先端顕微鏡（Ⅰ）共焦点の原理とその応用

内　容：　1.共焦点顕微鏡の原理を説明できる。
2.蛍光共焦点顕微鏡から超解像を誇るSTED顕微鏡、これらの医学応用を説明できる。

9. 先端顕微鏡（Ⅱ）近接場の基礎とその応用

内　容：　1.近接場光を理解できる。
2.近接場光学顕微鏡の原理とその医学応用を説明できる。

10. 先端顕微鏡（Ⅲ）非線形光学の応用

内　容：　1.第二次高調波発振を理解し，これを用いた顕微鏡の原理とその医学応用を説明できる。
2.二光子吸収を理解し，これを用いた顕微鏡の原理とその医学応用を説明できる。

11. 分光診断（Ⅰ）光バイオプシ，ラマン分光

内　容：　1.光バイオプシイメージングの原理とその医学応用を説明できる。
2.ラマン分光顕微鏡の原理とその医学応用を説明できる。

12. 基礎フォトニクス（Ⅱ）コヒーレンス理論

内　容：　光のコヒーレンス理論の基礎を説明できる。

13. 光コヒーレンストモグラフィ

内　容：　1.光コヒーレンストモグラフィの原理を説明できる。
2.光コヒーレンストモグラフィによる医療応用を説明できる。

14. 光応用計測の最近のトピックス

内　容：　最近の光応用計測のトピックスを説明できる。

15. 光応用計測のまとめ

内　容：　光学およびフォトニクスを理解した上で、これらを生体医工学に応用できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
光応用計測特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 (生体医工学分野)	若山 俊隆

到達目標

現在、医学および生命工学において、光を用いた機器は診療診断と共に新しい生命科学現象を発見するために必要不可欠なツールと考えることができる。光そのものの持つポテンシャルを基礎から学び、それらを医学および生命工学に応用する知識を得ることは今後の自然科学を学ぶ上で極めて重要になると考えられる。このような点から、光の本質から顕微鏡、治療診断そして最先端の光学とフォトニクスを学ぶ。

【学習の具体的な目標】

光は生命現象を非侵襲のうちにイメージングすることを達成し、その物質の物性さえも分析できることから創薬や医学の臨床研究にも多大な貢献が期待されている。光の歴史は古いのにもかかわらず、現在も新しい光物理現象が見出され、その現象を利用した光学機械や顕微鏡、光診断装置等が開発されている。このような点から光がもつ基本的な性質を波動性と粒子性に大別し、光学とフォトニクスの両面から基礎と応用をそれぞれ概説する。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	9/27	火	7 限	C304	若山	イントロダクション
2	10/4	火	7 限	C304	若山	基礎光学(Ⅰ) 光の特性
3	10/11	火	7 限	C304	若山	基礎光学 (Ⅱ) 光デバイスと医療機器
4	10/18	火	7 限	C304	若山	光学顕微鏡 (Ⅰ) 原理と構造
5	10/25	火	7 限	C304	若山	光学顕微鏡 (Ⅱ) 位相差・微分・偏光
6	11/1	火	7 限	C304	若山	基礎光学のまとめ
7	11/8	火	7 限	C304	若山	基礎フォトニクス (Ⅰ) 光と物質の相互作用
8	11/15	火	7 限	C304	若山	先端顕微鏡 (Ⅰ) 共焦点の原理とその応用
9	11/22	火	7 限	C304	若山	先端顕微鏡 (Ⅱ) 近接場の基礎とその応用
10	11/29	火	7 限	C304	若山	先端顕微鏡 (Ⅲ) 非線形光学の応用
11	12/6	火	7 限	C304	若山	分光診断 (Ⅰ) 光バイオプシ, ラマン分光
12	12/13	火	7 限	C304	若山	基礎フォトニクス (Ⅱ) コヒーレンス理論
13	12/20	火	7 限	C304	若山	光コヒーレンストモグラフィ
14	1/7	火	7 限	C304	若山	光応用計測の最近のトピックス
15	1/14	火	7 限	C304	若山	光応用計測のまとめ

評価方法	連絡先／オフィスアワー
レポート課題とプレゼンテーション	Email : wakayama@saitama-med.ac.jp ／ 火曜日 5 限
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書 : 特になし 参考書 : ヘクト 光学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ヤリーヴ 応用エレクトロニクス 基本光工学Ⅰ・Ⅱを中心にして、その他は参考資料を添える。	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体医工学演習	演習	2年 通年	4	専門科目 (生体医工学分野)	若山 俊隆、下岡 利行、 宮本 裕一、奥村 高宏、 川邉 学 、脇田 政嘉、 小林 直樹

到達目標

【到達目標】

生体安全工学、生体システム工学、生体信号処理および生体計測制御といった融合領域において、特別研究を進めるために、高い専門性と最新の研究に基づく知識、理解力および議論するためのコミュニケーション能力および専門的技術力が必要となる。このため、少人数グループで専門的教科書、教材等を用いた輪講および専門分野の学術論文、国際会議資料などを用いた論文抄読会および特別研究に必要な装置の操作習熟、プログラム作成などを進めることにより、専門知識を高めるとともに、理解力およびコミュニケーション能力および専門技術力を身に付けることを目標とする。

【教育内容（学習の具体的な目標)】

生体安全工学、生体システム工学、生体信号処理および生体計測制御における課題解決に必要となる専門性の高い知識と理解力および課題解決に必要なコミュニケーション能力を養うため以下の演習を行う。

1. 専門性の高い教科書、教材等を用いた知識学習、理解とともに、輪講形式による報告、議論を行う。
2. 専門分野の学術論文、国際会議資料などを題材とした専門分野に関する知識の習得、理解を深めるとともに、と定期的報告会および議論を行う。
3. 研究に関連した専門的な技術修得のための実験機材操作や計算機プログラム作成を行う。

【授業内容】

1. 若山 俊隆：光工学とそれらの医学応用に関する輪講。レーザ光源、光検出器の操作や信号解析・画像解析のプログラミング。および工作機械の修得。
2. 下岡 聡行：生体システム制御技術に関する輪講および電気機能制御装置の操作およびプログラミングの修得。
3. 宮本 裕一：低出力レーザ医療全般に関する輪講、および細胞培養技術と各種レーザ装置の操作方法の修得。
4. 奥村 高宏：連続循環型および不連続循環型人工心肺に関する輪講。流体力学関連の計測技術の修得
5. 川邉 学 ：医用機器安全および電磁環境管理に関する輪講。電磁環境関連の計測技術の修得。
6. 脇田 政嘉：細胞生物学、生物物理学に関する輪講、および生体試料の取扱い法と生化学・生物物理学的実験手法の修得。
7. 小林 直樹：生体信号処理、画像処理に関する輪講、および信号処理・画像処理のプログラミング修得。

【授業計画（場所：日高キャンパス)】

1. 輪講および学術論文討論

1回目 ： オリエンテーション（本演習の薦め方および教材および輪講分担の指示など）

2～30回目：毎週、輪講を2時限、学術論文 2時限 の計4時限を定期的に定め、事前学習の報告および報告に対する議論をグループで行う。事前学習は、教材分担および学術論文などを担当に割当て、輪講および討論の前に行わせる。

2. 専門技術の修得演習　　毎週 4 時限以上を使い下記の演習を行う。報告会は指導者ごとに行う。

1 週目：オリエンテーション　専門技術の修得に必要な項目および演習予定の説明

2 週目－4 週目：専門的装置に関する原理および操作法の理解

5 週目－7 週目：専門的装置を用いた実験検証

8 週目：第一回演習報告

9 週目－11 週目：実験用プログラム等作成

12 週目－14 週目：実験用プログラミング等の動作確認検証

15 週目：第二回演習報告

16 週目：研究テーマに即した演習項目および予定の説明

17 週目－19 週目：研究テーマに即した専門的装置に関する原理および操作法の理解

20 週目－22 週目：研究テーマに即した専門的装置を用いた実験検証

23 週目：第三回演習報告

24 週目－26 週目：テーマ実験用プログラミング等作成

27 週目－29 週目：テーマ実験用プログラミング等の動作確認検証

30 週目：第四回演習報告

【準備学習】事前に研究テーマに関する文献を検索し、関連文献のリストおよび取得をしておくこと。

評価方法	**連絡先／オフィスアワー**
事前の学習度合いおよび報告、討論、報告会などにおいての知識、理解の修得状況、コミュニケーション力、専門技術修得力などを総合的に評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	事前学習、学術論文の理解、技術修得など主体的に行うように心がけ、専門的能力を養うこと。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体医工学特別演習	演習	2 年 通年	4	専門科目 (生体医工学分野)	若山 俊隆、下岡 利行、 宮本 裕一、奥村 高宏、 川邉 学 、脇田 政嘉、 小林 直樹

到達目標

【到達目標】

生体安全工学、生体システム工学、生体信号処理および生体計測制御といった融合領域において、特別研究を進めるために、高い専門性と最新の研究に基づく知識、理解力および議論するためのコミュニケーション能力および専門的技術力が必要となる。このため、少人数グループで専門的教科書、教材等を用いた輪講および専門分野の学術論文、国際会議資料などを用いた論文抄読会および特別研究に必要な装置の操作習熟、プログラム作成などを進めることにより、専門知識を高めるとともに、理解力およびコミュニケーション能力および専門技術力を身に付けることを目標とする。

【教育内容（学習の具体的な目標)】

生体安全工学、生体システム工学、生体信号処理および生体計測制御における課題解決に必要となる専門性の高い知識と理解力および課題解決に必要なコミュニケーション能力を養うため以下の演習を行う。

1. 専門性の高い教科書、教材等を用いた知識学習、理解とともに、輪講形式による報告、議論を行う。
2. 専門分野の学術論文、国際会議資料などを題材とした専門分野に関する知識の習得、理解を深めるとともに、と定期的報告会および議論を行う。
3. 研究に関連した専門的な技術修得のための実験機材操作や計算機プログラム作成を行う。

【授業内容】

1. 若山 俊隆 : 光工学とそれらの医学応用に関する輪講。レーザ光源、光検出器の操作や信号解析・画像解析のプログラミング。および工作機械の修得。
2. 下岡 聡行 : 生体システム制御技術に関する輪講および電気機能制御装置の操作およびプログラミングの修得。
3. 宮本 裕一 : 低出力レーザ医療全般に関する輪講、および細胞培養技術と各種レーザ装置の操作方法の修得。
4. 奥村 高宏 : 連続循環型および不連続循環型人工心肺に関する輪講。流体力学関連の計測技術の修得
5. 川邉 学 : 医用機器安全および電磁環境管理に関する輪講。電磁環境関連の計測技術の修得。
6. 脇田 政嘉 : 細胞生物学、生物物理学に関する輪講、および生体試料の取扱い法と生化学・生物物理学的実験手法の修得。
7. 小林 直樹 : 生体信号処理、画像処理に関する輪講、および信号処理・画像処理のプログラミング修得。

【授業計画（場所：日高キャンパス)】

1. 輪講および学術論文討論

1 回目 ： オリエンテーション（本演習の薦め方および教材および輪講分担の指示など）

2～30 回目：毎週、輪講を 2 時限、学術論文　2 時限　の計 4 時限を定期的に定め、事前学習の報告および報告に対する議論をグループで行う。事前学習は、教材分担および学術論文などを担当に割当て、輪講および討論の前に行わせる。

2. 専門技術の修得演習　　毎週 4 時限以上を使い下記の演習を行う。報告会は指導者ごとに行う。

1 週目：オリエンテーション　専門技術の修得に必要な項目および演習予定の説明

2 週目－4 週目：専門的装置に関する原理および操作法の理解

5 週目－7 週目：専門的装置を用いた実験検証

8 週目：第一回演習報告

9 週目－11 週目：実験用プログラム等作成

12 週目－14 週目：実験用プログラミング等の動作確認検証

15 週目：第二回演習報告

16 週目：研究テーマに即した演習項目および予定の説明

17 週目－19 週目：研究テーマに即した専門的装置に関する原理および操作法の理解

20 週目－22 週目：研究テーマに即した専門的装置を用いた実験検証

23 週目：第三回演習報告

24 週目－26 週目：テーマ実験用プログラミング等作成

27 週目－29 週目：テーマ実験用プログラミング等の動作確認検証

30 週目：第四回演習報告

【準備学習】事前に研究テーマに関する文献を検索し、関連文献のリストおよび取得をしておくこと。

評価方法	連絡先／オフィスアワー
事前の学習度合いおよび報告、討論、報告会などにおいての知識、理解の修得状況、コミュニケーション力、専門技術修得力などを総合的に評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	事前学習、学術論文の理解、技術修得など主体的に行うように心がけ、専門的能力を養うこと。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体医工学特別研究	実験・実習	2年 通年	8	専門科目 (生体医工学分野)	若山 俊隆、下岡 利行、宮本 裕一、奥村 高宏、川邉 学 、脇田 政嘉、小林 直樹

到達目標

【到達目標】

臨床工学と生体工学，情報工学の融合領域における最新の研究動向を踏まえ、生体安全工学、生体システム工学、生体信号処理、人間工学および生体情報計測における未解決の問題に関する研究の指導と実践を行う。

指導教員および副指導教員の指導によって、生体医工学に関する研究計画を策定し、その研究計画の下で実験や理論を展開して研究論文を仕上げていく。この過程を通して、当該分野の高度な専門知識と実験技術、自主的、計画的に研究を推進し直面する問題を解決する能力、創造力などを身につけることを目標とする。

【教育内容（具体的な目標)】

臨床工学と生体工学，情報工学の融合領域の融合領域の課題に以下の手順で研究の指導と実践を行う。

第1段階では、研究テーマの設定に必要な文献調査、指導を受ける研究領域の動向、将来性などについて文献調査を行い、研究計画を策定する。

第2段階では、研究計画に基づき、計画的に研究を遂行する。その過程で、機材や実験装置の設計と組立て、ソフトウェア開発、データや文献収集などを行い研究を進め、定期的に進捗状況を検討会で報告し、課題の把握、解決方法を議論する。これらを通じて専門的知識と共に合理的な研究方法を修得する。

第3段階では、得られたデータを整理して吟味し、論理的な解釈を加える。さらに、成果をとりまとめて学会等に発表すると共に、その際に得られた意見等を考慮して修士論文をとりまとめる。これらの過程を通して、研究のまとめ方、発表の仕方、論文記述の方法、的確な質疑応答の方法などを学び修得する。

【授業内容】

1. 若山 俊隆：手術用の次世代三次元誘導システムおよび多波長縦電場誘起・蛍光共焦点顕微鏡の開発：光計測技術および特殊光波の物理を通して修士論文の指導を行う。
2. 下岡 聡行：免疫細胞に対する電気刺激による機能制御の検討：生体システムのモデリングと人為的な機能制御手法の検討に関する研究を通して修士論文の指導を行う。
3. 宮本 裕一：光線力学的細胞傷害作用に関する基礎研究：表在性早期がんの根治的療法として確立されている光線力学的治療における細胞傷害機構の解明と新たな応用先についての研究を通して修士論文の指導を行う。
4. 奥村 高宏：経験に依存しない体外循環技術の開発：バルブ式半閉鎖型体外循環法 VACC の開発およびローラポンプの圧閉度の数値化の研究を通して修士論文の指導を行う。
5. 川邉 学 :医用機器安全およびテレメータ利用環境などの電磁環境管理に関する研究および開発を通じて修士論文の指導を行う。
6. 脇田 政嘉：物理的刺激が生体におよぼす影響に関する研究：物理的刺激が生体（主に幹細胞）におよぼす影響を生化学および生物物理学的手法を用いて調べる研究を通して修士論文の指導を行う。
7. 小林 直樹：映像の生体影響の定量化および医用画像の定量化に関する研究：映像の視覚刺激による生体影響の定量的測定法および医用画像処理による定量的診断の研究を通して修士論文の指導を行う。

【授業計画（日高キャンパス)】

1 週：オリエンテーション（修士論文の最終目標を理解する）

2-4 週：文献調査、資料収集（研究課題関連領域の研究動向の理解と解決すべき問題点を理解する）

5 週：研究計画の策定（研究課題の進め方を理解する）

6-7 週：研究機材の準備（具体的研究方法、研究機材の性能、取扱いなどを理解する）

8-15 週：研究の推進（計画に従い研究を進め、各時点における問題点や課題を把握して解決方法を考え、専門的な知識と共に合理的な研究の進め方を学ぶ）および中間発表準備

16 週：中間発表（中間発表を通じ、第 3 者に理解させる方法、質疑応答の方法を学ぶ）

17 週：中間発表の結果を考慮した研究計画の修正（効果的な研究推進方法を学ぶ）

18-26 週：修正した研究計画に基づく研究の推進（期待した成果を得るための研究推進方法を学ぶ。学会等で発表等を通じて学会で学んだこと成果に反映させる）

17-29 週：研究のとりまとめと論文作成（研究のまとめ方、論文の書き方を学ぶ）

30 週：論文発表準備（研究のまとめ方、発表技術、質疑応答技術などを学ぶ）

【準備学習】研究テーマに関連する他の研究をサーベイし、研究計画を立てておくこと

評価方法	連絡先／オフィスアワー
研究の意義、有用性、研究方法の妥当性、研究結果の正確性、新規性の程度、修士論文の品質、学会発表などの成果物の品質、修士論文発表会の質疑応答などにより総合的に評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	問題や課題の発見と解決を常に主体的に行うように心がけ、研究遂行能力を養うこと。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
生体医工学特別研究	実験・実習	2 年 通年	8	専門科目 (生体医工学分野)	若山 俊隆、下岡 利行、宮本 裕一、奥村 高宏、川邉 学 、脇田 政嘉、小林 直樹

到達目標

【到達目標】

臨床工学と生体工学，情報工学の融合領域における最新の研究動向を踏まえ、生体安全工学、生体システム工学、生体信号処理、人間工学および生体情報計測における未解決の問題に関する研究の指導と実践を行う。

指導教員および副指導教員の指導によって、生体医工学に関する研究計画を策定し、その研究計画の下で実験や理論を展開して研究論文を仕上げていく。この過程を通して、当該分野の高度な専門知識と実験技術、自主的、計画的に研究を推進し直面する問題を解決する能力、創造力などを身につけることを目標とする。

【教育内容（具体的な目標)】

臨床工学と生体工学，情報工学の融合領域の融合領域の課題に以下の手順で研究の指導と実践を行う。

第 1 段階では、研究テーマの設定に必要な文献調査、指導を受ける研究領域の動向、将来性などについて文献調査を行い、研究計画を策定する。

第 2 段階では、研究計画に基づき、計画的に研究を遂行する。その過程で、機材や実験装置の設計と組立て、ソフトウェア開発、データや文献収集などを行い研究を進め、定期的に進捗状況を検討会で報告し、課題の把握、解決方法を議論する。これらを通じて専門的知識と共に合理的な研究方法を修得する。

第 3 段階では、得られたデータを整理して吟味し、論理的な解釈を加える。さらに、成果をとりまとめて学会等に発表すると共に、その際に得られた意見等を考慮して修士論文をとりまとめる。これらの過程を通して、研究のまとめ方、発表の仕方、論文記述の方法、的確な質疑応答の方法などを学び修得する。

【授業内容】

11. 若山 俊隆：手術用の次世代三次元誘導システムおよび多波長縦電場誘起・蛍光共焦点顕微鏡の開発：光計測技術および特殊光波の物理を通して修士論文の指導を行う。
2. 下岡 聡行：免疫細胞に対する電気刺激による機能制御の検討：生体システムのモデリングと人為的な機能制御手法の検討に関する研究を通して修士論文の指導を行う。
3. 宮本 裕一：光線力学的細胞傷害作用に関する基礎研究：表在性早期がんの根治的療法として確立されている光線力学的治療における細胞傷害機構の解明と新たな応用先についての研究を通して修士論文の指導を行う。
4. 奥村 高宏：経験に依存しない体外循環技術の開発：バルブ式半閉鎖型体外循環法 VACC の開発およびローラポンプの圧閉度の数値化の研究を通して修士論文の指導を行う。
5. 川邉 学 :医用機器安全およびテレメータ利用環境などの電磁環境管理に関する研究および開発を通じて修士論文の指導を行う。
6. 脇田 政嘉：物理的刺激が生体におよぼす影響に関する研究：物理的刺激が生体（主に幹細胞）におよぼす影響を生化学および生物物理学的手法を用いて調べる研究を通して修士論文の指導を行う。
7. 小林 直樹：映像の生体影響の定量化および医用画像の定量化に関する研究：映像の視覚刺激による生体影響の定量的測定法および医用画像処理による定量的診断の研究を通して修士論文の指導を行

【授業計画（日高キャンパス)】

1 週：オリエンテーション（修士論文の最終目標を理解する）

2-4 週：文献調査、資料収集（研究課題関連領域の研究動向の理解と解決すべき問題点を理解する）

5 週：研究計画の策定（研究課題の進め方を理解する）

6-7 週：研究機材の準備（具体的研究方法、研究機材の性能、取扱いなどを理解する）

8-15 週：研究の推進（計画に従い研究を進め、各時点における問題点や課題を把握して解決方法を考え、専門的な知識と共に合理的な研究の進め方を学ぶ）および中間発表準備

16 週：中間発表（中間発表を通じ、第 3 者に理解させる方法、質疑応答の方法を学ぶ）

17 週：中間発表の結果を考慮した研究計画の修正（効果的な研究推進方法を学ぶ）

18-26 週：修正した研究計画に基づく研究の推進（期待した成果を得るための研究推進方法を学ぶ。学会等で発表等を通じて学会で学んだこと成果に反映させる）

17-29 週：研究のとりまとめと論文作成（研究のまとめ方、論文の書き方を学ぶ）

30 週：論文発表準備（研究のまとめ方、発表技術、質疑応答技術などを学ぶ）

【準備学習】研究テーマに関連する他の研究をサーベイし、研究計画を立てておくこと

評価方法	連絡先／オフィスアワー
研究の意義、有用性、研究方法の妥当性、研究結果の正確性、新規性の程度、修士論文の品質、学会発表などの成果物の品質、修士論文発表会の質疑応答などにより総合的に評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	問題や課題の発見と解決を常に主体的に行うように心がけ、研究遂行能力を養うこと。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
理学療法研究方法論	講義	1年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	高倉 保幸 赤坂 清和

到達目標

1. システマティックレビューを理解し、読み取ることできる。
2. メタアナリシスを理解し、読み取ることできる。
3. 理学療法研究における統計の活用の仕方を説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究におけるデータの取り方
2	4/22	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究におけるカイニ乗検定の活用
3	5/13	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究における t 検定の活用
4	5/20	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究における一元配置分散分析の活用
5	5/27	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究における信頼性の検定の活用
6	6/3	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究における因子分析の活用
7	6/10	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究における回帰分析の活用
8	6/17	月	4限	川角キャンパス 院生室	高倉	理学療法研究におけるその他の統計手法の活用
9	6/24	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	PEDro からみたエビデンス
10	7/1	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	PEDro からみたエビデンス
11	7/8	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(1)
12	7/22	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(1)
13	7/29	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(2)
14	8/5	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(2)
15	8/19	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	エビデンスの高い論文の構成
16	8/26	月	4限	川角キャンパス 院生室	赤坂	エビデンスの高い論文の構成

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポートおよび発表により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：木原雅子・木原正博（訳）医学研究のデザイン、メディカル･サイエンス･インターナショナル	理学療法研究を行うための実践的なスキルの向上を目的とする。前半の授業では、実例を通して理学療法研究における統計の活用の仕方を学習する。統計の基礎知識を学習する授業ではないので注意すること。

授業内容

1. 理学療法研究におけるデータの取り方

担　当：　高倉 保幸

内　容：　データの特性に応じて適切にデータを収集できる。

2. 理学療法研究におけるカイ二乗検定の活用

担　当：　高倉 保幸

内　容：　1. 理学療法分野におけるカイ二乗検定の活用の仕方を説明できる。
2. カイ二乗検定の結果を適切に解釈できる。
3. カイ二乗検定の結果を適切に記述できる。

3. 理学療法研究における t 検定の活用

担　当：　高倉 保幸

内　容：　1.　理学療法分野における t 検定の活用の仕方を説明できる。
2.　t 検定の結果を適切に解釈できる。
3.　t 検定の結果を適切に記述できる。

4. 理学療法研究における一元配置分散分析の活用

担　当：　高倉 保幸

内　容：　1. 理学療法分野における一元配置分散分析の活用の仕方を説明できる。
2. 一元配置分散分析の結果を適切に解釈できる。
3. 一元配置分散分析の結果を適切に記述できる。

5. 理学療法研究における信頼性の検定の活用

担　当：　高倉 保幸

内　容：　1. .理学療法分野における信頼性の検定の活用の仕方を説明できる。
2. 信頼性の検定の結果を適切に解釈できる。
3. 信頼性の検定の結果を適切に記述できる。

6. 理学療法研究における因子分析の活用

担　当：　高倉 保幸

内　容：　1.理学療法分野における因子分析の活用の仕方を説明できる。
2.因子分析の結果を適切に解釈できる。
3.因子分析の結果を適切に記述できる。

7. 理学療法研究における回帰分析の活用

担　当：　高倉 保幸

内　容：　1.理学療法分野における回帰分析の活用の仕方を説明できる。
2.回帰分析の結果を適切に解釈できる。
3.回帰分析の結果を適切に記述できる。

8. 理学療法研究におけるその他の統計手法の活用

担　当：　高倉 保幸

内　容：　1.理学療法分野におけるその他の統計手法の活用の仕方を説明できる。
2.その他の統計手法の結果を適切に解釈できる。
3.その他の統計手法の結果を適切に記述できる。

9. PEDro からみたエビデンス

担　当：　赤坂 清和

内　容：　PEDro によるエビデンスについて説明できる。

10. PEDro からみたエビデンス

担　当：　赤坂 清和

内　容：　PEDroによるエビデンスについて説明できる。

11. エビデンスの高い論文の実際(1)

担　当：　赤坂 清和

内　容：　エビデンスの高い論文について説明できる。

12.　エビデンスの高い論文の実際(1)

担　当：　赤坂 清和

内　容：　エビデンスの高い論文について説明できる。

13.　エビデンスの高い論文の実際(2)

担　当：　赤坂 清和

内　容：　エビデンスの高い論文について説明できる。

14.　エビデンスの高い論文の実際(2)

担　当：　赤坂 清和

内　容：　エビデンスの高い論文について説明できる。

15.　エビデンスの高い論文の構成

担　当：　赤坂 清和

内　容：　エビデンスの高い論文構成について説明できる。

16.　エビデンスの高い論文の構成

担　当：　赤坂 清和

内　容：　エビデンスの高い論文構成について説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位数	科目区分	担当教員
理学療法研究方法論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	高倉 保幸 赤坂 清和

到達目標

1. システマティックレビューを理解し、読み取ることできる
2. メタアナリシスを理解し、読み取ることできる
3. 理学療法研究における統計の活用の仕方を説明できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	5/15	水	6 限	川越ビル	赤坂	PEDro からみたエビデンス (1)
2	5/15	水	7 限	川越ビル	赤坂	PEDro からみたエビデンス (2)
3	5/22	水	6 限	川越ビル	高倉	理学療法研究におけるデータの取り方
4	5/22	水	7 限	川越ビル	高倉	理学療法研究におけるカイニ乗検定の活用
5	5/29	水	6 限	川越ビル	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(1)
6	5/29	水	7 限	川越ビル	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(2)
7	6/5	水	6 限	川越ビル	高倉	理学療法研究における t 検定の活用
8	6/5	水	7 限	川越ビル	高倉	理学療法研究における一元配置分散分析の活用
9	6/19	水	6 限	川越ビル	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(3)
10	6/19	水	7 限	川越ビル	赤坂	エビデンスの高い論文の実際(4)
11	6/26	水	6 限	川越ビル	高倉	理学療法研究における信頼性の検定の活用
12	6/26	水	7 限	川越ビル	高倉	理学療法研究における因子分析の活用
13	7/3	水	6 限	川越ビル	赤坂	エビデンスの高い論文の構成 (1)
14	7/3	水	7 限	川越ビル	赤坂	エビデンスの高い論文の構成 (2)
15	7/10	水	6 限	川越ビル	高倉	理学療法研究における回帰分析の活用
16	7/10	水	7 限	川越ビル	高倉	理学療法研究におけるその他の統計手法の活用

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポートおよび発表により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：木原雅子・木原正博（訳）医学研究のデザイン、メディカル・サイエンス・インターナショナル	理学療法研究を行うための実践的なスキルの向上を目的とする。前半の授業では、実例を通して理学療法研究における統計の活用の仕方を学習する。統計の基礎知識を学習する授業ではないので注意すること。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
人体機能形態学特論Ⅰ	講義	1年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	時田 幸之輔

到達目標

骨格筋はロコモーションの背景をなす解剖学的構造として機能的要請を反映する。同時に、様々の制約のもとに存在する。理学療法学分野と関連の深い機能的観点からのみでなく、比較形態学や進化史的観点からも興味深い。ここでは，特に筋線維タイプ構成や筋構築の面から、骨格筋の比較機能形態学の基本的な概念や手法と，いくつかの話題をとりあげる。

【学習の具体的な目標】

1. 骨格筋の形態学的特性と機能的特性との関連について説明できる。
2. 筋構築および筋線維タイプ構成の概念と研究手法を説明できる。
3. 当該分野における最近の研究例について紹介し，理学療法分野とのかかわりについて考察できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	人体機能形態学序論
2	4/22	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	〃
3	5/13	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	骨格筋の構成と構造
4	5/20	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	〃
5	5/27	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	筋構築の概念と研究方法
6	6/3	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	〃
7	6/10	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	筋線維タイプ構成の概念と研究方法
8	6/17	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	〃
9	6/24	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	骨格筋の構成と配置と機能形態学的特性
10	7/1	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	〃
11	7/8	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	動物の運動様式の変異と筋の機能形態学的特性
12	7/22	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	〃
13	7/29	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	運動負荷，不使用にともなう筋の機能形態学的特性の変化
14	8/5	月	2限	川角キャンパス院生室	時田	〃
15	8/5	月	3限	川角キャンパス院生室	時田	骨格筋の機能形態学における研究課題

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席，授業時の質疑応答，課題提出とその内容等にもとづいて総合的に評価する.	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：教科書は特に定めない. 参考書：授業時に紹介する.	人体はきわめて多数の構成要素が互いに様々に関係し合って構成される複雑な構造である。その解析の視点はマクロからミクロまで種々の大きさの次元にかかわる。また，種々の変異を示す。人体構造の理解には多大の努力を要するが，発生，発達，適応，進化などの文脈と関連させながら理解を深めていくことは，きわめて興味深い。また，臨床的な応用も含め未知の分野が常に大きく広がっている。大いなる知的好奇心をもって授業に参加することを望む。

授業内容
1. 人体機能形態学序論 内　容：人体の構造についての形態学的視点と機能的視点について人体解剖学の研究史と関連させて説明できる。 2. 人体機能形態学序論 内　容：人体の構造についての形態学的視点と機能的視点について議論できる。 3. 骨格筋の構成と構造 内　容：骨格筋の基本的な構成，構造，機能について説明できる。 4. 骨格筋の構成と構造 内　容：全身を構成する骨格筋の構成と姿勢・動作における働きを説明できる。 5. 筋構築の概念と研究方法 内　容：筋構築の概念について研究史と関連させて説明できる。 6. 筋構築の概念と研究方法 内　容：筋構築の研究手法について説明できる。 7. 筋線維タイプ構成の概念と研究方法 内　容：筋線維タイプ構成の概念について研究史と関連させて説明できる。 8. 筋線維タイプ構成の概念と研究方法 内　容：筋線維タイプ構成の研究手法について説明できる。 9. 骨格筋の構成と配置と機能形態学的特性 内　容：骨格筋の構成，配置と筋構築，筋線維タイプ構成の関連について研究史および最近の研究成果を説明できる。 10. 骨格筋の構成と配置と機能形態学的特性 内　容：骨格筋の構成，配置と筋構築，筋線維タイプ構成に関連した研究課題について議論できる。 11. 動物の運動様式の変異と筋の機能形態学的特性 内　容：動物の運動様式の変異と筋構築，筋線維タイプ構成との関連について研究史および最近の研究成果を説明できる。 12. 動物の運動様式の変異と筋の機能形態学的特性 内　容：動物の運動様式の進化と骨格筋の機能形態学についての研究課題を議論できる。 13. 運動負荷，不使用にともなう筋の機能形態学的特性の変化 内　容：運動負荷，不使用と骨格筋の形態的，組織化学的，分子的変化の関連について最近の研究成果を説明できる。 14. 運動負荷，不使用にともなう筋の機能形態学的特性の変化 内　容：運動負荷，不使用と骨格筋の機能形態学について研究課題を議論できる。 15. 骨格筋の機能形態学における研究課題 内　容：骨格筋の機能形態学における研究課題について議論できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
人体機能形態学特論 I	講義	1 年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	時田幸之輔

到達目標

骨格筋はロコモーションの背景をなす解剖学的構造として機能的要請を反映する。同時に、様々の制約のもとに存在する。理学療法学分野と関連の深い機能的観点からのみでなく、比較形態学や進化史的観点からも興味深い。ここでは、特に筋線維タイプ構成や筋構築の面から、骨格筋の比較機能形態学の基本的な概念や手法と、いくつかの話題をとりあげる。

【学習の具体的な目標】

1. 骨格筋の形態学的特性と機能的特性との関連について説明できる。
2. 筋構築および筋線維タイプ構成の概念と研究手法を説明できる。
3. 当該分野における最近の研究例について紹介し、理学療法分野とのかかわりについて考察できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/17	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	人体機能形態学序論
2	4/17	水	7 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	〃
3	4/24	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	骨格筋の構成と構造
4	4/24	水	7 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	〃
5	5/1	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	筋構築の概念と研究方法
6	5/1	水	7 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	〃
7	5/8	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	筋線維タイプ構成の概念と研究方法
8	5/8	水	7 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	〃
9	7/17	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	骨格筋の構成と配置と機能形態学的特性
10	7/17	水	7 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	〃
11	7/24	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	動物の運動様式の変異と筋の機能形態学的特性
12	7/24	水	7 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	〃
13	7/31	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	運動負荷，不使用にともなう筋の機能形態学的特性の変化
14	7/31	水	7 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	〃
15	8/21	水	6 限	川越ﾋﾞﾙ	時田	骨格筋の機能形態学における研究課題

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席，授業時の質疑応答，課題提出とその内容等にもとづいて総合的に評価する．	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：教科書は特に定めない． 参考書：授業時に紹介する．	人体はきわめて多数の構成要素が互いに様々に関係し合って構成される複雑な構造である。その解析の視点はマクロからミクロまで種々の大きさの次元にかかわる。また，種々の変異を示す。人体構造の理解には多大の努力を要するが，発生，発達，適応，進化などの文脈と関連させながら理解を深めていくことは，きわめて興味深い。また，臨床的な応用も含め未知の分野が常に大きく広がっている。大いなる知的好奇心をもって授業に参加することを望む。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
人体機能形態学特論Ⅱ	講義	1年 後期	2	専門科目 (理学療法学分野)	時田 幸之輔

到達目標

・末梢神経系の構成と局所解剖学的関係の概略について説明できる。
・末梢神経系およびその局所解剖学的関係の変異についての肉眼解剖学的研究手法の概略を説明できる。
・末梢神経系の変異についての研究例を紹介し，その形態形成的背景について考察を試みることができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/2	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	肉眼解剖学序論
2	10/9	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	〃
3	10/16	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	末梢神経の構成
4	10/23	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	〃
5	10/30	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	胸神経前枝の構成と変異
6	11/6	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	〃
7	11/13	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	頚神経叢の構成と変異
8	11/20	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	〃
9	11/27	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	腕神経叢の構成と変異
10	12/4	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	〃
11	12/11	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	腰神経叢の構成と変異
12	12/18	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	〃
13	12/25	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	仙骨神経叢の構成と変異
14	1/8	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	〃
15	1/15	水	4限	川角キャンパス 院生室	時田	肉眼解剖学における研究課題

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席，授業時の質疑応答，課題の提出と内容にもとづいて評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：教科書は特に定めない. 参考書：授業時に紹介する.	人体はきわめて多数の構成要素が互いに様々に関係し合って構成される複雑な構造である。その解析の視点はマクロからミクロまで種々の大きさの次元にかかわる。また，種々の変異を示す。人体構造の理解には多大の努力を要するが，発生，発達，適応，進化などの文脈と関連させながら理解を深めていくことは，きわめて興味深い。また，臨床的な応用も含め未知の分野が常に大きく広がっている。大いなる知的好奇心をもって授業に参加することを望む。

授業内容
1. 肉眼解剖学序論 内　容：人体解剖の歴史の概略を説明できる。 **2. 肉眼解剖学序論** 内　容：肉眼解剖学のあり方を議論できる。 **3. 末梢神経の構成** 内　容：末梢神経系の構成ついて説明できる。 **4. 末梢神経の構成** 内　容：末梢神経系とその周辺構造物との位置関係について，その解剖学的意味を議論できる。 **5. 胸神経前枝の構成と変異** 内　容：胸神経前枝の構成と局所解剖学的関係について説明できる。 **6. 胸神経前枝の構成と変異** 内　容：胸神経前枝の構成と局所解剖学的変異の所見について議論できる。 **7. 頚神経叢の構成と変異** 内　容：頚神経叢の構成と局所解剖学的関係について説明できる。 **8. 頚神経叢の構成と変異** 内　容：頚神経叢の構成と局所解剖学的変異の所見について議論できる。 **9. 腕神経叢の構成と変異** 内　容：腕神経叢の構成と局所解剖学的関係について説明できる。 **10. 腕神経叢の構成と変異** 内　容：腕神経叢の構成と局所解剖学的変異の所見について議論できる。 **11. 腰神経叢の構成と変異** 内　容：腰神経叢の構成と局所解剖学的関係について説明できる。 **12. 腰神経叢の構成と変異** 内　容：腰神経叢の構成と局所解剖学的変異の所見について議論できる。 **13. 仙骨神経叢の構成と変異** 内　容：仙骨神経叢の構成と局所解剖学的関係について説明できる。 **14. 仙骨神経叢の構成と変異** 内　容：仙骨神経叢の構成と局所解剖学的変異の所見について議論できる。 **15. 肉眼解剖学における研究課題** 内　容：仙骨神経叢の構成と局所解剖学的関係について説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
人体機能形態学特論Ⅱ	講義	1 年 後期	2	専門科目 (理学療法学分野)	時田 幸之輔

到達目標

・末梢神経系の構成と局所解剖学的関係の概略について説明できる。
・末梢神経系およびその局所解剖学的関係の変異についての肉眼解剖学的研究手法の概略を説明できる。
・末梢神経系の変異についての研究例を紹介し，その形態形成的背景について考察を試みることができる。

授業計画

回	月日	日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/2	水	6 限	川角101	時田	肉眼解剖学序論
2	10/9	水	6 限	川角101	時田	〃
3	10/16	水	6 限	川角101	時田	末梢神経の構成
4	10/23	水	6 限	川角101	時田	〃
5	10/30	水	6 限	川角101	時田	胸神経前枝の構成と変異
6	11/6	水	6 限	川角101	時田	〃
7	11/13	水	6 限	川角101	時田	頚神経叢の構成と変異
8	11/20	水	6 限	川角101	時田	〃
9	11/27	水	6 限	川角101	時田	腕神経叢の構成と変異
10	12/4	水	6 限	川角101	時田	〃
11	12/11	水	6 限	川角101	時田	腰神経叢の構成と変異
12	12/18	水	6 限	川角101	時田	〃
13	1/8	水	6 限	川角101	時田	仙骨神経叢の構成と変異
14	1/15	水	6 限	川角101	時田	〃
15	1/22	水	6 限	川角101	時田	肉眼解剖学における研究課題

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席，授業時の質疑応答，課題の提出と内容にもとづいて評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：教科書は特に定めない. 参考書：授業時に紹介する.	人体はきわめて多数の構成要素が互いに様々に関係し合って構成される複雑な構造である。その解析の視点はマクロからミクロまで種々の大きさの次元にかかわる。また，種々の変異を示す。人体構造の理解には多大の努力を要するが，発生，発達，適応，進化などの文脈と関連させながら理解を深めていくことは，きわめて興味深い。また，臨床的な応用も含め未知の分野が常に大きく広がっている。大いなる知的好奇心をもって授業に参加することを望む。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
徒手理学療法学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (理学療法学分野)	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

筋骨格理学療法における徒手技術を全般的に学び、実践できるようになること。

【学習の具体的な目標】

頚椎、胸椎、腰椎、骨盤帯を含む脊椎および肩関節、肘関節、手関節を含む上肢と股関節、膝関節、足関節を含む下肢を合わせた四肢に対する関節モビライゼーションに関する原則を理解すると共に、Maitland Concept および Mulligan Concept における治療手技の理解と神経ダイナミクス検査および神経モビライゼーションに対する理解を深め、それぞれについて説明し実施できるようになること。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/10	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	関節モビライゼーション総論(1)
2	10/17	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	関節モビライゼーション総論(2)
3	10/24	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(1)頚胸椎
4	10/31	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(2)腰椎骨盤
5	11/7	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(3)上肢
6	11/14	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(4)下肢
7	11/21	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(1)頚胸椎
8	11/28	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(2)腰椎骨盤
9	12/5	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(3)上肢
10	12/12	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(4)下肢
11	12/19	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	Mulligan Concept(5)神経症状
12	1/9	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経ダイナミックス検査(1)
13	1/16	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経ダイナミックス検査(2)
14	1/23	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経モビライゼーション(1)
15	1/30	木	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経モビライゼーション(2)

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書： メイトランド脊椎モビライゼーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、エルゼビアジャパン） メイトランド四肢関節モビライーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、医学映像教育出版） オステオパシーアトラス（赤坂清和監修、医道の日本社） 参考書：エビデンスに基づく整形外科徒手検査法（柳澤健、赤坂清和監修、エルゼビアジャパン）	筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には，事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

授業内容
1. 関節モビライゼーション総論(1) 内　容：徒手理学療法における関節モビライゼーションおよびその周辺学問領域の理解を深め、説明できるようになる。 2. 関節モビライゼーション総論(2) 内　容：徒手理学療法における関節モビライゼーションおよびその周辺学問領域の理解を深め、説明できるようになる。 3. Maitland Concept(1) 内　容：Maitland Conceptによる頚胸椎に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 4. Maitland Concept(2) 内　容：Maitland Conceptによる腰椎骨盤に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 5. Maitland Concept(3) 内　容：Maitland Conceptによる上肢に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 6. Maitland Concept(4) 内　容：Maitland Conceptによる下肢に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 7. Mulligan Concept(1) 内　容：Mulligan Conceptによる頚胸椎に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 8. Mulligan Concept(2) 内　容：Mulligan Conceptによる腰椎骨盤に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 9. Mulligan Concept(3) 内　容：Mulligan Conceptによる上肢に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 10. Mulligan Concept(4) 内　容：Mulligan Conceptによる下肢に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 11. Mulligan Concept(5) 内　容：Mulligan Conceptによる神経症状に対する治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 12. 神経ダイナミクス検査(1) 内　容：上肢における神経ダイナミクス検査の特徴を理解し、説明できるようになる。 13. 神経ダイナミクス検査(2) 内　容：下肢における神経ダイナミクス検査の特徴を理解し、説明できるようになる。 14. 神経モビライゼーション(1) 内　容：上肢における神経モビライゼーションの治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。 15. 神経モビライゼーション(2) 内　容：下肢における神経モビライゼーションの治療手技の特徴を理解し、説明できるようになる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
徒手理学療法学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

筋骨格理学療法における徒手技術を全般的に学び、実践できるようになること。

【学習の具体的な目標】

頚椎、胸椎、腰椎、骨盤帯を含む脊椎および肩関節、肘関節、手関節を含む上肢と股関節、膝関節、足関節を含む下肢を合わせた四肢に対する関節モビライゼーションに関する原則を理解すると共に、Maitland Concept および Mulligan Concept における治療手技の理解と神経ダイナミクス検査および神経モビライゼーションに対する理解を深め、それぞれについて説明し実施できるようになること。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/8	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	関節モビライゼーション総論(1)
2	10/15	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	関節モビライゼーション総論(2)
3	10/22	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(1)頚胸椎
4	10/29	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(2)腰椎骨盤
5	11/5	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(3)上肢
6	11/12	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Maitland Concept(4)下肢
7	11/19	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(1)頚胸椎
8	11/26	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(2)腰椎骨盤
9	12/3	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(3)上肢
10	12/10	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	Mulligan Concept(4)下肢
11	12/17	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	Mulligan Concept(5)神経症状
12	1/7	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経ダイナミックス検査(1)
13	1/14	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経ダイナミックス検査(2)
14	1/21	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経モビライゼーション(1)
15	1/28	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	神経モビライゼーション(2)

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書： メイトランド脊椎モビライゼーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、エルゼビアジャパン） メイトランド四肢関節モビライーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、医学映像教育出版） オステオパシーアトラス（赤坂清和監修、医道の日本社） 参考書：エビデンスに基づく整形外科徒手検査法（柳澤健、赤坂清和監修、エルゼビアジャパン）	筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には，事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
がん理学療法学特論	講義	1年 後期	2	専門科目 (理学療法学分野)	高倉 保幸

到達目標

がん患者に対する理学療法に関する基礎的な知識および技術を修得し、模擬症例に対して実践できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/11	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	がん理学療法の背景
2	10/18	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	がんのステージングと治療
3	10/25	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	有害事象
4	11/1	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	インフォームドコンセントと目標設定
5	11/8	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	コミュニケーションスキル①
6	11/15	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	コミュニケーションスキル②
7	11/22	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	コミュニケーションスキル③
8	11/29	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	胸部術後の理学療法
9	12/6	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	腹部術後の理学療法
10	12/13	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	骨転移の基礎知識
11	12/20	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	骨転移に対する理学療法
12	1/10	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	低体力の評価
13	1/17	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	低体力に対する理学療法
14	1/24	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	全人的苦痛と疼痛治療
15	1/31	金	3限	川角キャンパス院生室	高倉	全人的苦痛と理学療法

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポートと質疑応答により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

授業内容

1．がん理学療法の背景

内　容：がん理学療法の背景について説明できる。

2．がんのステージングと治療

内　容：がんのステージングと治療について説明できる。

3．有害事象

内　容：有害事象について説明できる。

4．インフォームドコンセントと目標設定

内　容：インフォームドコンセントと目標設定について説明できる。

5．コミュニケーションスキル①

内　容：基本的なコミュニケーションスキルについて説明できる。

6. コミュニケーションスキル②

内　容：模擬症例に対してコミュニケーションスキルを使った対応ができる。

7. コミュニケーションスキル③

内　容：トラブルを抱えた模擬症例に対してコミュニケーションスキルを使った対応ができる。

8. 胸部術後の理学療法

内　容：胸部術後の理学療法について説明できる。

9. 腹部術後の理学療

内　容：腹部術後の理学療法について説明できる。

10. 骨転移の基礎知識

内　容：骨転移の基礎知識について説明できる。

11. 骨転移に対する理学療法

内　容：骨転移に対する理学療法について説明できる。

12. 低体力の評価

内　容：低体力の評価ができる。

13. 低体力に対する理学療法

内　容：低体力に対する理学療法について説明できる。

14. 全人的苦痛と疼痛治療

内　容：全人的苦痛と疼痛治療について説明できる。

15. 全人的苦痛と理学療法

内　容：全人的苦痛と理学療法について説明できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
がん理学療法学特論	講義	1 年 後期	2	専門科目 (理学療法学分野)	高倉 保幸

到達目標

がん患者に対する理学療法に関する基礎的な知識および技術を修得し、模擬症例に対して実践できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/21	月	6 限	川越ビル	高倉	がん理学療法の背景
2	10/21	月	7 限	川越ビル	高倉	がんのステージングと治療
3	11/11	月	6 限	川越ビル	高倉	有害事象
4	11/11	月	7 限	川越ビル	高倉	インフォームドコンセントと目標設定
5	11/25	月	6 限	川越ビル	高倉	コミュニケーションスキル①
6	11/25	月	7 限	川越ビル	高倉	コミュニケーションスキル②
7	12/9	月	6 限	川越ビル	高倉	コミュニケーションスキル③
8	12/9	月	7 限	川越ビル	高倉	胸部術後の理学療法
9	12/23	月	6 限	川越ビル	高倉	腹部術後の理学療法
10	12/23	月	7 限	川越ビル	高倉	骨転移の基礎知識
11	1/13	月	6 限	川越ビル	高倉	骨転移に対する理学療法
12	1/13	月	7 限	川越ビル	高倉	低体力の評価
13	1/27	月	6 限	川越ビル	高倉	低体力に対する理学療法
14	1/27	月	7 限	川越ビル	高倉	全人的苦痛と疼痛治療
15	2/3	月	7 限	川越ビル	高倉	全人的苦痛と理学療法

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポートと質疑応答により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
予防理学療法学特論	講義	1年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	新井 智之

到達目標

理学療法士の対象は、疾患や障害を有した後のリハビリテーションとして行われてきた。超高齢社会を迎える我が国において、健康寿命の延伸を図ることは重要であり、予防医学に関わることは重要な位置づけとなる。健康寿命を延伸するには、病気を治療することに加えて、病衣にかからないための方略が重要となる。このような社会的なニーズに答えるため、理学療法学を予防という観点から学ぶ。

【学習の具体的な目標】

予防理学療法学の定義やその領域を学ぶとともに、予防理学療法学に関わる制度や研究法についても学ぶ。予防理学療法学を理解するために、栄養、スポーツ、コミュニケーションを中心とした取り組みなど、すべてのライフステージにわたる介入についての理解を学ぶ。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/16	火	4限	川越ビル	新井	予防理学療法学概論・定義
2	4/23	火	4限	川越ビル	新井	予防理学療法学の領域と制度
3	4/30	火	4限	川越ビル	新井	予防理学療法学の研究法
4	5/7	火	4限	川越ビル	新井	栄養学から見た予防理学療法学
5	5/14	火	4限	川越ビル	新井	発達から老化と予防理学療法学
6	5/21	火	4限	川越ビル	新井	学童期の予防と運動器検診
7	5/28	火	4限	川越ビル	新井	骨粗鬆症に対する予防理学療法学
8	6/4	火	4限	川越ビル	新井	ロコモティブシンドロームの予防
9	6/11	火	4限	川越ビル	新井	メタボリックシンドロームの予防
10	6/18	火	4限	川越ビル	新井	廃用症候群の予防（サルコペニア、低栄養）
11	6/25	火	4限	川越ビル	新井	呼吸・心血管機能の低下
12	7/2	火	4限	川越ビル	新井	抑うつ・骨盤機能低下
13	7/9	火	4限	川越ビル	新井	軽度認知機能障害（MCI）の予防
14	7/16	火	4限	川越ビル	新井	まとめ①
15	7/23	火	4限	川越ビル	新井	まとめ②

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポートおよびディスカッションなどにより総合的に評価する	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

授業内容
1. 予防理学療法学概論・定義 ・ 理学療法の歴史と予防医学 ・ 予防理学療法学の定義 2. 予防理学療法学の領域と制度 ・ 予防の相から見た領域、ライフステージから見た領域 ・ 保健・福祉制度及び健康増進制作の概要 3. 予防理学療法学の研究法 ・ 疫学調査の基礎 ・ 予防理学療法学の統計学的手法 4. 栄養学から見た予防理学療法学 ・ 日本人の食事摂取基準と低栄養について ・ 栄養アセスメントと食事バランスガイド 5. 発達から老化と予防理学療法学 ・ 学童期における予防（肥満、メタボ） ・ 学童期の脊柱変形 6. 学童期の予防と運動器検診 ・ 運動不足と運動のしすぎによるスポーツの二極化 7. 骨粗鬆症に対する予防理学療法学 ・ 一般的に考えられるスポーツの鋼材 ・ スポーツを用いた予防の実際 8. ロコモティブシンドロームの予防 ・ ロコモへの取り組みの重要性と疫学的背景 ・ ドコモ度テストと介入方法及びその効果 9. メタボリックシンドロームの予防 ・ 第三次国民健康づくり対策とメタボ ・ メタボのメカニズムと一般的介入 10. 廃用症候群の予防（サルコペニア、低栄養） ・ サルコペニアとその簡易判定法 ・ フレイルの３つの領域と判定方法 ・ 低栄養に対する介入効果 11. 呼吸・心血管機能の低下 ・ 臥床が身体へ与える影響 ・ 呼吸器系合併症の予防と採択 ・ 心血管機能の評価 ・ 心血管機能低下予防のための理学療法 12. 抑うつ・骨盤低機能低下 ・ うつ病と抑うつの評価 ・ 骨盤底機能低下の重要性 13. 軽度認知機能障害（MCI）の予防 ・ 認知症と軽度認知機能障害の重要性 ・ 身体活動が認知機能に与える効果 14. まとめ① 内容： 総合討論 15. まとめ② 内容： 総合討論

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
予防理学療法学特論	講義	1 年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	新井 智之

到達目標

理学療法士の対象は、疾患や障害を有した後のリハビリテーションとして行われてきた。超高齢社会を迎える我が国において、健康寿命の延伸を図ることは重要であり、予防医学に関わることは重要な位置づけとなる。健康寿命を延伸するには、病気を治療することに加えて、病衣にかからないための方略が重要となる。このような社会的なニーズに答えるため、理学療法学を予防という観点から学ぶ。

【学習の具体的な目標】

予防理学療法学の定義やその領域を学ぶとともに、予防理学療法学に関わる制度や研究法についても学ぶ。予防理学療法学を理解するために、栄養、スポーツ、コミュニケーションを中心とした取り組みなど、すべてのライフステージにわたる介入についての理解を学ぶ。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/22	月	6 限	川越ビル	新井	予防理学療法学概論・定義
2	4/22	月	7 限	川越ビル	新井	予防理学療法学の領域と制度
3	5/13	月	6 限	川越ビル	新井	予防理学療法学の研究法
4	5/13	月	7 限	川越ビル	新井	栄養学から見た予防理学療法学
5	5/27	月	6 限	川越ビル	新井	発達から老化と予防理学療法学
6	5/27	月	7 限	川越ビル	新井	学童期の予防と運動器検診
7	6/10	月	6 限	川越ビル	新井	ロコモティブシンドロームとフレイルの予防
8	6/10	月	7 限	川越ビル	新井	メタボリックシンドロームの予防
9	6/24	月	6 限	川越ビル	新井	サルコペニア、低栄養の予防
10	6/24	月	7 限	川越ビル	新井	軽度認知機能障害（MCI）の予防
11	7/8	月	6 限	川越ビル	新井	骨粗鬆症と骨折後に対する予防
12	7/8	月	7 限	川越ビル	新井	ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける予防
13	7/29	月	6 限	川越ビル	新井	産業分野における予防
14	7/29	月	7 限	川越ビル	新井	まとめ①
15	8/5	月	7 限	川越ビル	新井	まとめ②

評価方法	連絡先／オフィスアワー
課題レポートおよびディスカッションなどにより総合的に評価する	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：予防理学療法学要論（医歯薬出版）	

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
筋骨格理学療法学特論Ⅰ （上肢・脊椎）	講義	1年 前期	2	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

筋骨格徒手理学療法からみた、肩甲帯、肩関節、肘関節、手関節とこれらを構成する上腕骨、前腕骨、手根骨、手指を含む上肢と頚椎、胸椎、腰椎、骨盤帯を含む脊椎に生じる疾患と外傷の特徴を理解する。

【学習の具体的な目標】

上肢及び脊椎を対象として行われる整形外科の治療後の整形外科理学療法及び筋骨格系の症状に対する筋骨格理学療法におけるエビデンスについて、実際に運用されているガイドライン等を参考に確認するとともに、臨床場面で有効な徒手理学療法を実施することができる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	頚椎に対する筋骨格徒手理学療法の手技
2	4/25	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	〃
3	5/2	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	脊柱・骨盤帯に対する筋骨格徒手理学療法の手技
4	5/9	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
5	5/16	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
6	5/23	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
7	5/30	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	上肢に対する筋骨格徒手理学療法の手技
8	6/6	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
9	6/13	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
10	6/20	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
11	6/27	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	上半身に対する筋骨格徒手理学療法の手技
12	7/4	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
13	7/11	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
14	7/18	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
15	7/25	木	4限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃

評価方法

出席及び学期末試験により評価する。

連絡先／オフィスアワー

教員一覧参照

教科書・参考書

教科書：
メイトランド脊椎モビライゼーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、エルゼビアジャパン）
メイトランド四肢関節モビライーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、医学映像教育出版）
オステオパシーアトラス（赤坂清和監修、医道の日本社）
参考書：エビデンスに基づく整形外科徒手検査法（柳澤健、赤坂清和監修、エルゼビアジャパン）

履修上の注意・履修要件

筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。
該当しない場合には，事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

授業内容
1. 頚椎に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：　1.後頭環椎関節に対する徒手理学療法 2.環軸椎関節に対する徒手理学療法 **2. 頚椎に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　頚椎に対する徒手理学療法を実施することができる。 **3. 脊柱・骨盤帯に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　胸椎に対する徒手理学療法を実施することができる。 **4. 脊柱・骨盤帯に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　腰椎に対する徒手理学療法を実施することができる。 **5. 脊柱・骨盤帯に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　腰椎・骨盤帯に対する徒手理学療法を実施することができる。 **6. 脊柱・骨盤帯に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　骨盤帯に対する徒手理学療法を実施することができる。 **7. 上肢に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　胸骨・鎖骨に対する徒手理学療法を実施することができる。 **8. 上肢に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　肩甲骨を含む肩関節に対する徒手理学療法を実施することができる。 **9. 上肢に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　肘関節に対する徒手理学療法を実施することができる。 **10. 上肢に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　手関節・手指に対する徒手理学療法を実施することができる。 **11. 上半身に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　上半身に対する徒手理学療法の各論を実施することができる。 **12. 上半身に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　上半身に対する徒手理学療法の各論を実施することができる。 **13. 上半身に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　上半身に対する徒手理学療法の各論を実施することができる。 **14. 上半身に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　上半身に対する徒手理学療法の各論を実施することができる。 **15. 上半身に対する筋骨格徒手理学療法の手技** 内　容：　上半身に対する徒手理学療法の各論を実施することができる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
筋骨格理学療法学特論Ⅰ (上肢・脊椎)	講義	1 年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

筋骨格徒手理学療法からみた、肩甲帯、肩関節、肘関節、手関節とこれらを構成する上腕骨、前腕骨、手根骨、手指を含む上肢と頚椎、胸椎、腰椎、骨盤帯を含む脊椎に生じる疾患と外傷の特徴を理解する。

【学習の具体的な目標】

上肢及び脊椎を対象として行われる整形外科の治療後の整形外科理学療法及び筋骨格系の症状に対する筋骨格理学療法におけるエビデンスについて、実際に運用されているガイドライン等を参考に確認するとともに、臨床場面で有効な徒手理学療法を実施することができる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/16	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	頚椎に対する筋骨格徒手理学療法の手技
2	4/23	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	〃
3	4/30	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	脊柱・骨盤帯に対する筋骨格徒手理学療法の手技
4	5/7	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
5	5/14	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
6	5/21	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
7	5/28	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	上肢に対する筋骨格徒手理学療法の手技
8	6/4	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
9	6/11	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
10	6/18	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
11	6/25	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	上半身に対する筋骨格徒手理学療法の手技
12	7/2	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
13	7/9	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
14	7/16	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
15	7/23	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃

評価方法

出席及び学期末試験により評価する。

連絡先／オフィスアワー

教員一覧参照

教科書・参考書

教科書：
メイトランド脊椎モビライゼーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、エルゼビアジャパン）
メイトランド四肢関節モビライーション（赤坂清和、斉藤昭彦監修、医学映像教育出版）
オステオパシーアトラス（赤坂清和監修、医道の日本社）
参考書：エビデンスに基づく整形外科徒手検査法（柳澤健、赤坂清和監修、エルゼビアジャパン）

履修上の注意・履修要件

筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。
該当しない場合には，事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
筋骨格理学療法学特論Ⅱ (下肢)	講義	1年 後期	2	専門科目 (理学療法学分野)	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

筋骨格徒手理学療法からみた、股関節、膝関節、足関節とこれらを構成する大腿骨、脛骨、腓骨、足根骨、足指に生じる疾患と外傷の特徴を理解する。

【学習の具体的な目標】

下肢を対象として行われる整形外科の治療後の整形外科理学療法及び筋骨格系の症状に対する筋骨格理学療法におけるエビデンスについて、実際に運用されているガイドライン等を参考に確認するとともに、臨床場面で有効な徒手理学療法を実施することができる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/10	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	股関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技
2	10/17	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	〃
3	10/24	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
4	10/31	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
5	11/7	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技
6	11/14	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
7	11/21	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
8	11/28	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
9	12/5	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
10	12/12	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
11	12/19	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	足関節・足部に対する筋骨格徒手理学療法の手技
12	1/9	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
13	1/16	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
14	1/23	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
15	1/30	木	5限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書： メイトランド四肢関節モビライーション （赤坂清和、斉藤昭彦監修、医学映像教育出版） オステオパシーアトラス(赤坂清和監修､医道の日本社) 参考書：エビデンスに基づく整形外科徒手検査法 （柳澤健、赤坂清和監修、エルゼビアジャパン）	筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には，事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

授業内容
1. 股関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：股関節疾患に対する整形外科徒手検査を実施することができる。 2. 股関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：股関節に対する関節モビライゼーション(1)を実施することができる。 3. 股関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：股関節に対する関節モビライゼーション(2)を実施することができる。 4. 股関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：股関節に対するその他の徒手理学療法を実施することができる。 5. 膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：膝関節疾患に対する整形外科徒手検査を実施することができる。 6. 膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：膝関節に対する関節モビライゼーション(1)を実施することができる。 7. 膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：膝関節に対する関節モビライゼーション(2)を実施することができる。 8. 膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：膝関節に対する関節モビライゼーション(3)を実施することができる。 9. 膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：膝関節に対する関節モビライゼーション(4)を実施することができる。 10. 膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：膝関節に対するその他の徒手理学療法を実施することができる。 11. 足関節・足部に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：足関節・足部疾患に対する整形外科徒手検査を実施することができる。 12. 足関節・足部に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：足関節・足部に対する関節モビライゼーション(1)を実施することができる。 13. 足関節・足部に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：足関節・足部に対する関節モビライゼーション(2)を実施することができる。 14. 足関節・足部に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：足関節・足部に対する関節モビライゼーション(3)を実施することができる。 15. 足関節・足部に対する筋骨格徒手理学療法の手技 内　容：足関節・足部に対するその他の徒手理学療法を実施することができる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
筋骨格理学療法学特論Ⅱ (下肢)	講義	1 年 後期	2	専門科目 (理学療法学分野)	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

筋骨格徒手理学療法からみた、股関節、膝関節、足関節とこれらを構成する大腿骨、脛骨、腓骨、足根骨、足指に生じる疾患と外傷の特徴を理解する。

【学習の具体的な目標】

下肢を対象として行われる整形外科の治療後の整形外科理学療法及び筋骨格系の症状に対する筋骨格理学療法におけるエビデンスについて、実際に運用されているガイドライン等を参考に確認するとともに、臨床場面で有効な徒手理学療法を実施することができる能力を養う。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/8	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	股関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技
2	10/15	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・大久保	〃
3	10/22	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
4	10/29	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
5	11/5	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	膝関節に対する筋骨格徒手理学療法の手技
6	11/12	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
7	11/19	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
8	11/26	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
9	12/3	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
10	12/10	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部・赤坂	〃
11	12/17	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	足関節・足部に対する筋骨格徒手理学療法の手技
12	1/7	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
13	1/14	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
14	1/21	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃
15	1/28	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂・服部	〃

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書： メイトランド四肢関節モビライーション （赤坂清和、斉藤昭彦監修、医学映像教育出版） オステオパシーアトラス(赤坂清和監修､医道の日本社) 参考書：エビデンスに基づく整形外科徒手検査法 （柳澤健、赤坂清和監修、エルゼビアジャパン）	筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には，事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

科目名	形態	配当年次	単位数	科目区分	科目担当
神経理学療法学特論 I (治療計画)	講義	1 年 前期	2	専門科目 (理学療法学分野)	高倉 保幸 藤田 博曉

到達目標

1. 近年の神経理学療法の考え方を説明できる。
2. 神経疾患の治療計画を科学的に立案できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/18	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	正常な構造・機能と疾病の基礎
2	4/25	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	医学的診断と治療介入
3	5/2	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	理学療法介入の意義と理学療法士の役割
4	5/9	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測
5	5/16	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	脳卒中後の運動機能障害に対する理学療法
6	5/23	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法
7	5/30	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	脳卒中後の活動・参加制限に対する理学療法
8	6/6	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法
9	6/13	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	機能回復と ADL 自立に向けた回復期理学療法
10	6/20	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法
11	6/27	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	終末期における理学療法
12	7/4	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	自立支援や疾病管理の補助具・機器とその活用
13	7/11	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	発症予防、重症化予防、再発予防
14	7/18	木	5 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	患者・家族教育の意義とその方法
15	7/25	木	6 限	川角キャンパス 院生室	高倉・國 澤・清水	社会資源の活用

評価方法	連絡先・オフィスアワー
授業での質疑・応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
特になし	特になし

授業内容

1. 正常な構造・機能と疾病の基礎

内容：臓器や器官の正常な構造および機能を確認するとともに、その破綻によって生じる症状を理解する。また、その疾患の疫学、病態、病型、予後などの情報を整理し、それらを習得する。

2. 医学的診断と治療介入

内容：医学的な診断や治療介入の方法や時期などについて、各種ガイドラインあるいは指針などに基づいて理解する。また、他職種との関わりを整理し、各職種が関わる意義を理解する。

3. 理学療法介入の意義と理学療法士の役割

内容：理学療法による介入の意義や目的を確認し、また、他職種と比較した理学療法士の役割を理解する。

4. 疾患によって生じる障害とその評価および予後予測

内容：疾患によって生じる障害を整理するとともに、その障害の評価方法を習得する。また、評価に基づいた予後予測の考え方や方法を理解し、予後予測に基づく理学療法介入の意義を確認する。

5. 神経筋障害の運動機能障害に対する理学療法

内容：神経筋障害の運動機能障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また、それらの介入による効果やその検証方法について理解する。

6. 神経筋障害の非運動機能障害に対する理学療法

内容：神経筋障害の非運動機能障害（精神機能、自律神経機能、疲労、疼痛など）に対する理学療法の基本的な考え方を整理・理解する。また、それらの介入による効果やその検証方法について理解する。

7. 神経筋障害の活動・参加制限に対する理学療法

内容：神経筋障害の活動・参加制限の特徴を整理・理解する。また、その要因を検証するとともに、理学療法による介入の考え方や方法について理解する。

8. 機能障害に対する発症早期の理学療法

内容：発症早期において、疾患に直接起因する一次機能障害に対する理学療法の具体的な方法を整理・理解する。また、この時期のリスク管理における注意点やその方法を習得するとともに、介入の方法やその根拠を理解する。

9. 機能改善と日常生活活動自立に向けた改善期理学療法

内容：改善期における二次的機能障害や動作障害の改善、日常生活活動自立、薬物治療に向けた考え方やその具体的な方法を整理する。また、この時期のリスク管理における注意点やその方法を理解・習得するとともに、介入の方法やその根拠を理解する。

10. 在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法

内容：在宅生活期での日常生活活動の自立支援や社会生活を促進させる考え方やその具体的な方法を整理する。また、この時期のリスク管理における注意点やその方法を習得するとともに、介入の方法やその根拠を理解する。

11. 終末期における理学療法

内容：終末期における理学療法の考え方やその具体的な方法を整理する。また、この時期のリスク管理における注意点やその方法を習得するとともに、介入の方法やその根拠を理解する。

12. 自立支援や疾病管理の補助具・機器とその活用

内容：自立支援や介助量軽減のための補助具や機器、疾病を管理するための機器を整理し、その適応や注意点などについて理解する。

13. 発症予防、重症化予防、合併症予防

内容：神経筋障害の発症予防や重症化予防、合併症予防の考え方やその具体的な方法を理解する。また、その効果検証の方法を確認する。

14. 患者・家族教育の意義とその方法

内容：患者・家族に対し、状態・病期に即した理学療法を説明し理解を得ることの必要性を理解するとともに、どのように教育・指導するのかを整理・理解する。

15. 社会資源の活用

内容：障害などを持って生活する上で利用できる社会資源やそれらの活用方法を理解する。

第 14 条特例

科目名	形体	配当年次	単位数	科目区分	科目担当
神経理学療法学特論Ⅰ（治療計画）	講義	1 年 前期	2	専門科目 （理学療法学分野）	高倉 保幸 藤田 博暁

到達目標

1. 近年の神経理学療法の考え方を説明できる。
2. 神経疾患の治療計画を科学的に立案できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/15	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	正常な構造・機能と疾病の基礎
2	4/15	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	医学的診断と治療介入
3	5/6	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	理学療法介入の意義と理学療法士の役割
4	5/6	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測
5	5/20	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	脳卒中後の運動機能障害に対する理学療法
6	5/20	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法
7	6/3	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	脳卒中後の活動・参加制限に対する理学療法
8	6/3	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法
9	6/17	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	機能回復と ADL 自立に向けた回復期理学療法
10	6/17	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法
11	7/1	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	終末期における理学療法
12	7/1	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	自立支援や疾病管理の補助具・機器とその活用
13	7/22	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	発症予防、重症化予防、再発予防
14	7/22	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	患者・家族教育の意義とその方法
15	8/5	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	社会資源の活用

評価方法	連絡先・オフィスアワー
授業での質疑・応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
特になし	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
神経理学療法学特論Ⅱ （手技）	講義	1年 後期	2	専門科目 （理学療法学分野）	高倉 保幸

到達目標

1. 機能的動作毎に代表的な神経理学療法手技を選択できる。
2. 適応を理解した上で適切な神経理学療法手技を実践できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/4	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（脳画像評価の実際）
2	10/11	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	〃
3	10/18	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（リスク管理の実際）
4	10/25	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	〃
5	11/1	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（歩行再建の実際）
6	11/8	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	〃
7	11/15	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（ニューロモデュレーションの実際）
8	11/22	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	〃
9	11/29	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（装具療法の実際）
10	12/6	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	〃
11	12/13	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（上肢トレーニングの実際）
12	12/20	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	〃
13	1/10	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（ロボット療法の実際）
14	1/17	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	〃
15	1/24	金	5限	川角キャンパス院生室	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編8）（予後予測の実際）

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業での質疑応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

授業内容
1．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（脳画像評価の実際） 内容：脳画像評価に必要な知識を整理し、脳画像評価を用いた理学療法の展開を理解する。 2．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（リスク管理の実際） 内容：リスク管理に必要な知識を整理し、理学療法実施に際しリスク管理をどのように行うのかを理解する。 3．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（歩行再建の実際） 内容：歩行再建に必要な知識を整理し、歩行再建に必要な評価・トレーニングについて理解する。 4．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（ニューロモデュレーションの実際） 内容：ニューロモデュレーションに関する知識を整理し、ニューロモデュレーションを用いた理学療法の展開について理解する。 5．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（装具療法の実際） 内容：装具療法に必要な知識を整理し、装具療法を用いた理学療法の展開を理解する。 6．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（上肢トレーニングの実際） 内容：上肢トレーニングに必要な知識を整理し、上肢機能の評価ならびに上肢トレーニングの展開を理解する。 7．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（ロボット療法の実際） 内容：ロボット療法に必要な知識を整理し、ロボット療法を用いた理学療法の展開を理解する。 8．疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編 8）（予後予測の実際） 内容：予後予測に必要な知識を整理し、予後予測に必要な評価ならびに予後予測の展開を理解する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
神経理学療法学特論Ⅱ (手技)	講義	1 年 後期	2	専門科目 （理学療法学分野）	高倉 保幸

到達目標

1. 機能的動作毎に代表的な神経理学療法手技を選択できる。
2. 適応を理解した上で適切な神経理学療法手技を実践できる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	10/7	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（脳画像評価の実際）
2	10/7	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	〃
3	10/28	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（リスク管理の実際）
4	10/28	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	〃
5	11/18	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（歩行再建の実際）
6	11/18	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	〃
7	12/2	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（ニューロモデュレーションの実際）
8	12/2	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	〃
9	12/16	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（装具療法の実際）
10	12/16	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	〃
11	1/6	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（上肢トレーニングの実際）
12	1/6	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	〃
13	1/20	月	7 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（ロボット療法の実際）
14	1/20	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	〃
15	2/3	月	6 限	川越ビル	高倉・國澤・清水	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編 8）（予後予測の実際）

評価方法	連絡先／オフィスアワー
授業での質疑応答、レポート課題により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：特になし 参考書：特になし	特になし

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
スポーツ理学療法学特論	講義	1年 前期	1	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

スポーツ理学療法における上肢と下肢、骨盤帯を含む脊椎に生じる症状と外傷の特徴を理解し、アンチ・ドーピングや障害発生予防やパフォーマンス向上などスポーツ理学療法に関連する知識や技能を習得する。

【学習の具体的な目標】

・スポーツ外傷・障害に対する理学療法に必要となる病態生理を理解し、診断や治療、予後予測について説明することができる。

・スポーツ理学療法に関するガイドライン等を理解し、評価や治療介入を実践することができる。・病期、障害に即した理学療法を説明し、実施することができる。

・スポーツ外傷・障害の発生予防や重症化予防、再発予防の考え方やその方法を理解し、説明することができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/16	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ理学療法 総論
2	4/23	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	医学的診断と治療介入
3	4/30	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷・傷害の機能評価
4	5/7	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	アンチ・ドーピング
5	5/14	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷の急性期対応
6	5/21	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷・傷害のアスレティックリハビリテーション
7	5/28	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	服部	スポーツ外傷・障害の発生・再発予防のための理学療法
8	6/4	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	服部	パフォーマンス向上のための介入とその方法

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：スポーツ理学療法学（陶山哲夫，赤坂清和．メジカルビュー社） 参考書： ジュニアアスリートをサポートするスポーツ医科学ガイドブック（金岡恒治，赤坂清和．メジカルビュー社）	スポーツ理学療法または筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には、事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

授業内容

1. スポーツ理学療法 総論

内　容：スポーツを取り巻く現状やスポーツの意義を理解し，理学療法との関りを理解する．
また，理学療法による介入の意義や目的を理解する．

2. 医学的診断と治療介入

内　容：医学的な診断や治療介入の方法や時期等について，各種ガイドラインあるいは指針等に基づいて理解する。また多職種の関わりを整理し、各職種が関わる意義を理解する。

3. スポーツ外傷・障害の機能評価

内　容：疾患によって生じる機能障害を整理するとともに、その障害の評価方法を習得する。
また、評価に基づいたクリニカルリーズニングの考え方や方法を理解する。

4. アンチ・ドーピング

内　容：スポーツ現場におけるアンチドーピングについての知識を理解する。

5. スポーツ外傷の急性期対応

内　容：スポーツ現場における救急対応や急性期理学療法について評価の方法と具体的な介入方法を整理し、その根拠を理解する。また、この時期のリスク管理について習得する。

6. スポーツ外傷・傷害のアスレティックリハビリテーション

内　容：スポーツ外傷・障害の機能回復や競技復帰に向けた考え方や具体的な介入方法を整理し、その根拠を理解する。

7. スポーツ外傷・障害の発生・再発予防のための理学療法

内　容：スポーツ外傷・障害のリスク因子を理解し、発生予防や重症化予防、再発予防の考え方やその具体的な方法を理解する。またその効果検証の方法を確認する。

8. パフォーマンス向上のための介入とその方法

内　容：スポーツ参加者のパフォーマンス向上に対する考え方やその具体的な方法を整理する。また年代における注意点やコンディショニングの方法やその根拠を理解する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
スポーツ理学療法学特論	講義	1 年 前期	1	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

スポーツ理学療法における上肢と下肢、骨盤帯を含む脊椎に生じる症状と外傷の特徴を理解し、アンチ・ドーピングや障害発生予防やパフォーマンス向上などスポーツ理学療法に関連する知識や技能を習得する。

【学習の具体的な目標】

・スポーツ外傷・障害に対する理学療法に必要となる病態生理を理解し、診断や治療、予後予測について説明することができる。

・スポーツ理学療法に関するガイドライン等を理解し、評価や治療介入を実践することができる。・病期、障害に即した理学療法を説明し、実施することができる。

・スポーツ外傷・障害の発生予防や重症化予防、再発予防の考え方やその方法を理解し、説明することができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	4/16	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ理学療法 総論
2	4/23	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	医学的診断と治療介入
3	4/30	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷・傷害の機能評価
4	5/7	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	アンチ・ドーピング
5	5/14	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷の急性期対応
6	5/21	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷・傷害のアスレティックリハビリテーション
7	5/28	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	スポーツ外傷・障害の発生・再発予防のための理学療法
8	6/4	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	パフォーマンス向上のための介入とその方法

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：スポーツ理学療法学（陶山哲夫，赤坂清和．メジカルビュー社） 参考書： ジュニアアスリートをサポートするスポーツ医科学ガイドブック（金岡恒治，赤坂清和．メジカルビュー社）	スポーツ理学療法または筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には、事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

授業内容

1. スポーツ理学療法 総論

内　容：スポーツを取り巻く現状やスポーツの意義を理解し，理学療法との関りを理解する．
また，理学療法による介入の意義や目的を理解する．

2. 医学的診断と治療介入

内　容：医学的な診断や治療介入の方法や時期等について，各種ガイドラインあるいは指針等に基づいて理解する。また多職種の関わりを整理し、各職種が関わる意義を理解する。

3. スポーツ外傷・障害の機能評価

内　容：疾患によって生じる機能障害を整理するとともに、その障害の評価方法を習得する。
また、評価に基づいたクリニカルリーズニングの考え方や方法を理解する。

4. アンチ・ドーピング

内　容：スポーツ現場におけるアンチドーピングについての知識を理解する。

5. スポーツ外傷の急性期対応

内　容：スポーツ現場における救急対応や急性期理学療法について評価の方法と具体的な介入方法を整理し、その根拠を理解する。また、この時期のリスク管理について習得する。

6. スポーツ外傷・傷害のアスレティックリハビリテーション

内　容：スポーツ外傷・障害の機能回復や競技復帰に向けた考え方や具体的な介入方法を整理し、その根拠を理解する。

7. スポーツ外傷・障害の発生・再発予防のための理学療法

内　容：スポーツ外傷・障害のリスク因子を理解し、発生予防や重症化予防、再発予防の考え方やその具体的な方法を理解する。またその効果検証の方法を確認する。

8. パフォーマンス向上のための介入とその方法

内　容：スポーツ参加者のパフォーマンス向上に対する考え方やその具体的な方法を整理する。また年代における注意点やコンディショニングの方法やその根拠を理解する。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
スポーツ理学療法学演習	演習	1年 前期	1	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

スポーツ理学療法における上肢と下肢、骨盤帯を含む脊椎に生じる症状と外傷の特徴を理解し、理学療法や障害者スポーツ、テーピング、患者・家族教育の意義などスポーツ理学療法に関連する知識や技能を実践できる。

【学習の具体的な目標】

・患者、家族、チームスタッフに対し、適切な理学療法指導、教育を実施することができる。
・活用できる社会資源を理解するとともに、自立支援および疾病管理について説明することができる。
・障がい者スポーツと理学療法との関りを理解し、適切な支援を実施することができる。
・スポーツ障害に関連する画像評価、救急対応、装具やテーピングを実施することができる。
・スポーツ現場にて、理学療法業務を準備、遂行、改善していくことができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	6/11	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	服部	スポーツ外傷・傷害への理学療法 上肢
2	6/18	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	服部	スポーツ外傷・傷害への理学療法 下肢
3	6/25	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷・傷害への理学療法 頭頸部・体幹
4	7/2	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	患者・家族教育の意義とその方法
5	7/9	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用
6	7/16	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	障害者スポーツ 総論
7	7/23	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	障害者スポーツ 障害別各論
8	7/30	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編1）（画像評価の実際）
9	7/30	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	服部	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編2）（救急対応の実際）
10	8/6	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	服部	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編3）（スポーツ用装具・テーピング　上肢・体幹）
11	8/6	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4）（スポーツ用装具・テーピング　下肢）
12	8/20	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編5）（物理療法）
13	8/20	火	1限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ現場での理学療法士の役割(1:準備)
14	8/27	火	2限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ現場での理学療法士の役割(2:理学療法)
15	8/27	火	3限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ現場での理学療法士の役割(3:報告と改善)

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。なお、6月18日は日程変更になる可能性があり、現時点の予定である。	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：スポーツ理学療法学（陶山哲夫，赤坂清和．メジカルビュー社） 参考書： ジュニアアスリートをサポートするスポーツ医科学ガイドブック（金岡恒治，赤坂清和．メジカルビュー社）	スポーツ理学療法または筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には、事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

授業内容

1. スポーツ外傷・傷害への理学療法 上肢

内　容：上肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。

2. スポーツ外傷・傷害への理学療法 下肢

内　容：下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。

3. スポーツ外傷・傷害への理学療法 頭頸部・体幹

内　容：頭頚部・体幹のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。

4. 患者・家族教育の意義とその方法

内　容：患者・家族・チームスタッフに対し、状態・病期に即した理学療法を説明し理解を得ることの必要性を理解するとともに、どのように教育・指導するのかを整理し、習得する。

5. スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用

内　容：スポーツ外傷・障害に対する装具やテーピングや物理療法について整理し、その適応や禁忌について理解する。

6. 障害者スポーツ 総論

内　容：障がい者スポーツを取り巻く現状や障がい者スポーツの意義を理解し、理学療法との関りを理解する。また、障がい者スポーツの歴史やクラシフィケーションについて理解する。

7. 障害者スポーツ 障害別各論

内　容：障がい者の特性を理解し、参加可能なスポーツについて理解する。また、障害特性に合わせたリスク管理の方法を習得する。

8. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編1）（画像評価の実際）

内　容：レントゲン、CT、MRI、超音波エコー画像などから得られる情報を整理し,要点を理解する.

9. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編2）（救急対応の実際）

内　容：スポーツ現場における救急対応の実際を理解する。

10. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編3）（スポーツ用装具・テーピング　上肢・体幹）

内　容：上肢・体幹のスポーツ外傷・障害に対しての装具療法、テーピングを理解する。

11. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4）（テーピング　下肢）

内　容：下肢のスポーツ外傷・障害に対しての装具療法、テーピングを理解する。

12. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4）（物理療法）

内　容：スポーツ領域における物理療法介入について理解する。

13. スポーツ現場での理学療法士の役割(1: 準備)

内　容：スポーツ領域における理学療法士の準備と役割について理解する。

14. スポーツ現場での理学療法士の役割(2: 理学療法)

内　容：スポーツ領域における理学療法士の役割について理解する。

15. スポーツ現場での理学療法士の役割(3: 報告と改善)

内　容：スポーツ領域における理学療法士の役割についての報告と改善方法について理解する。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
スポーツ理学療法学演習	演習	1 年 前期	1	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和 大久保 雄 服部 寛

到達目標

スポーツ理学療法における上肢と下肢、骨盤帯を含む脊椎に生じる症状と外傷の特徴を理解し、理学療法や障害者スポーツ、テーピング、患者・家族教育の意義などスポーツ理学療法に関連する知識や技能を実践できる。

【学習の具体的な目標】

・患者、家族、チームスタッフに対し、適切な理学療法指導、教育を実施することができる。
・活用できる社会資源を理解するとともに、自立支援および疾病管理について説明することができる。
・障がい者スポーツと理学療法との関りを理解し、適切な支援を実施することができる。
・スポーツ障害に関連する画像評価、救急対応、装具やテーピングを実施することができる。
・スポーツ現場にて、理学療法業務を準備、遂行、改善していくことができる。

授業計画

回	月日	曜日	時限	講義室	担当者	テーマ
1	6/11	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	スポーツ外傷・傷害への理学療法 上肢
2	6/18	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	スポーツ外傷・傷害への理学療法 下肢
3	6/25	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ外傷・傷害への理学療法 頭頸部・体幹
4	7/2	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	患者・家族教育の意義とその方法
5	7/9	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用
6	7/16	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編 5）（物理療法）
7	7/23	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	大久保	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編 3）（スポーツ用装具・テーピング　上肢・体幹）
8	7/30	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編 1）（画像評価の実際）
9	7/30	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編 2）（救急対応の実際）
10	8/6	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編 4）（スポーツ用装具・テーピング　下肢）
11	8/6	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	服部	障害者スポーツ総論
12	8/20	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	障害者スポーツ各論
13	8/20	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ現場での理学療法士の役割(1:準備)
14	8/27	火	6 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ現場での理学療法士の役割(2:理学療法)
15	8/27	火	7 限	川越ﾋﾞﾙ	赤坂	スポーツ現場での理学療法士の役割(3:報告と改善)

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出席及び学期末試験により評価する。なお、7 月 22 日は日程変更になる可能性があり、現時点の予定である。	教員一覧参照

教科書・参考書	履修上の注意・履修要件
教科書：スポーツ理学療法学（陶山哲夫，赤坂清和．メジカルビュー社） 参考書： ジュニアアスリートをサポートするスポーツ医科学ガイドブック（金岡恒治，赤坂清和．メジカルビュー社）	スポーツ理学療法または筋骨格理学療法を専門として理学療法業務を行う方が望ましい。 該当しない場合には、事前に科目責任者に連絡を取り、相談すること。

授業内容

1. スポーツ外傷・傷害への理学療法 上肢

内　容：上肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。

2. スポーツ外傷・傷害への理学療法 下肢

内　容：下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。

3. スポーツ外傷・傷害への理学療法 頭頸部・体幹

内　容：頭頚部・体幹のスポーツ外傷・障害に対する理学療法の基本的な考え方を整理する。また介入による効果やその検証方法について理解する。

4. 患者・家族教育の意義とその方法

内　容：患者・家族・チームスタッフに対し、状態・病期に即した理学療法を説明し理解を得ることの必要性を理解するとともに、どのように教育・指導するのかを整理し、習得する。

5. スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用

内　容：スポーツ外傷・障害に対する装具やテーピングや物理療法について整理し、その適応や禁忌について理解する。

6. 障害者スポーツ 総論

内　容：障がい者スポーツを取り巻く現状や障がい者スポーツの意義を理解し、理学療法との関りを理解する。また、障がい者スポーツの歴史やクラシフィケーションについて理解する。

7. 障害者スポーツ 障害別各論

内　容：障がい者の特性を理解し、参加可能なスポーツについて理解する。また、障害特性に合わせたリスク管理の方法を習得する。

8. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編1）（画像評価の実際）

内　容：レントゲン、CT、MRI、超音波エコー画像などから得られる情報を整理し,要点を理解する.

9. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編2）（救急対応の実際）

内　容：スポーツ現場における救急対応の実際を理解する。

10. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編3）（スポーツ用装具・テーピング　上肢・体幹）

内　容：上肢・体幹のスポーツ外傷・障害に対しての装具療法、テーピングを理解する。

11. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4）（テーピング　下肢）

内　容：下肢のスポーツ外傷・障害に対しての装具療法、テーピングを理解する。

12. 疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編4）（物理療法）

内　容：スポーツ領域における物理療法介入について理解する。

13. スポーツ現場での理学療法士の役割(1: 準備)

内　容：スポーツ領域における理学療法士の準備と役割について理解する。

14. スポーツ現場での理学療法士の役割(2: 理学療法)

内　容：スポーツ領域における理学療法士の役割について理解する。

15. スポーツ現場での理学療法士の役割(3: 報告と改善)

内　容：スポーツ領域における理学療法士の役割についての報告と改善方法について理解する。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
理学療法学演習	演習	2年 通年	4	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和、高倉 保幸 國澤洋介、新井 智之 大久保雄、時田幸之輔

到達目標

理学療法学分野を行うために必要なスキルを理解し向上させることで科学的な論文を書くことができるようになることを到達目標とする。当科目では模擬テーマや模擬データ等を利用した演習により、研究計画の立て方、倫理申請書の書き方、論文の書き方、発表の仕方などを学習する。

【演習テーマ】

1. 赤坂 清和　筋電図や筋トルクマシーン、動作解析装置などを用いた筋骨格の機能に関する研究や徒手療法を含めた筋骨格理学療法における臨床研究に関する演習を行う。
2. 高倉 保幸　運動学習に関する評価と対応、脳機能を意識した理学療法、がんリハビリテーションに関する臨床研究に関する演習を行う。
3. 國澤 洋介　脊髄損傷（不全麻痺）患者やがん患者に対する理学療法（予防的、回復的、維持的、緩和的）に関する演習を行う。
4. 新井 智之　高齢者のロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニア、骨粗鬆症における予防理学療法、地域における介護予防事業や健康増進事業の効果検証に関する演習を行う。
5. 大久保 雄　理学療法に関連するバイオメカニクス（筋電図や動作解析）や骨格筋の形状変化（超音波画像）をテーマとした研究を取り上げ，演習を行う。
6. 時田 幸之輔　比較解剖学または局所説明解剖学からみた体幹と四肢の境界領域の末梢神経系・筋骨格系及び脈管系についての研究に関する演習を行う。

授業計画

回	月日	時限	講義室	担当者	テーマ
1-2	4/15（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究テーマの立て方
3-4	4/22（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究計画の立案①（対象の設定）
5-6	4/29（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究計画の立案②（評価）
7-8	5/6（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究計画の立案③（介入）
9-10	5/13（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	倫理申請書の書き方
11-12	5/20（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	対象に対する説明書・同意書の書き方
13-14	5/27（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	サンプルデータの探索的解析
15-16	6/3（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	データベースの作成
17-18	6/10（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	情報収集用調査票の作成
19-20	6/17（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	データのチェック
21-22	6/24（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	データ解析
23-24	7/1（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	母集団の推測
25-26	7/8（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	仮説と統計的検証
27-28	7/15（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	システマティックレビュー
29-30	7/22（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	メタアナリシス
31-32	10/7（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	要旨の書き方
33-34	10/16（1週）	4，5限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	結果の書き方

35-36	10/23 (1 週)	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	考察の書き方
37-38	10/30（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究背景の書き方
39-40	11/6（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	目的の書き方
41-42	11/13（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	対象の書き方
43-44	11/20（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	評価方法の書き方
45-46	11/27（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	介入法の書き方
47-48	12/4（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	統計的検討法の書き方
49-50	12/11（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	図表の書き方
51-52	12/18（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	英文表記の仕方
53-54	1/6（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	科学性の検証
55-56	1/13（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	将来性の検証
57-58	1/20（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	独自性の検証
59-60	1/27（1 週）	4，5 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	査読と校正

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出欠、レポート課題、発表により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：指導教員の指示に従うこと。 参考書：指導教員の指示に従うこと。	指導教員の指示に従うこと。

授業内容

1－2. 研究テーマの立て方

内容：関連するテーマの過去の研究論文を参考に、研究論文の明確なテーマを設定できる。

3－4. 研究計画の立案①（対象の設定）

内容：予想される結果から適切な対象者の条件と対象者数を設定することができる。

5－6. 研究計画の立案②（評価）

内容：テーマに合わせた適切な評価法を立案することができる。

7－8. 研究計画の立案③（介入）

内容：テーマに合わせた適切な介入法を立案することができる。

9－10. 倫理申請書の書き方

内容：倫理委員会に審査を依頼するための倫理申請書を書くことができる。

11－12. 対象に対する説明書・同意書の書き方

内容：対象者に対するわかりやすく適切な説明書・同意書を書くことができる。

13－14. サンプルデータの探索的解析

内容：サンプルデータを採取し、統計学的手法を用いて探索的解析ができる。

15－16. データベースの作成

内容：収集する情報に合わせた適切なデータベースを構築できる。

17－18. 情報収集用調査票の作成

内容：大規模データの情報収集にも耐えることができる適切な調査票を作成できる。

19－20. データのチェック

内容：統計学的手法を用いて得られたデータをチェックすることができる。

21－22. データ解析

内容：得られたデータに合わせて解析方法を選択し、記述統計的手法を用いてデータを整理することができる。

23－24. 母集団の推測

内容：収集されたデータから母集団の特性を推測することができる。

25－26. 仮説と統計的検証

内容：推測した母集団の特性から仮説を立て、統計学的手法を用いて仮説を検証することができる。

27－28. システマティックレビュー

内容：検証された仮説に関するテーマでシステマティックレビューを実践できる。

29－30. メタアナリシス

内容：証された仮説に関するテーマでメタアナリシスを実践できる。

31－32. 要旨の書き方

内容：簡潔で論理的に要旨を記述できる。

33－34. 結果の書き方

内容：解析方法に合う適切な記述方法で結果を記載できる。

35－36. 考察の書き方

内容：過去の論文と対比させながら、客観的に得られた結果を検討し、記述できる。

37－38. 研究背景の書き方

内容：研究目的を明瞭にするために、研究背景を科学的に記述できる。

39－40. 目的の書き方

内容：目的を明確に記述できる。

41－42. 対象の書き方

内容：サンプリングの方法、サンプル数の特性について、明確に記述できる。

43－44. 評価方法の書き方

内容：情報収集の方法、特に理学療法分野に特異的な評価方法を適切に記述できる。

45－46. 介入法の書き方

内容：理学療法としての介入を行った場合に、その記述が適切にできる。

47－48. 統計的検討法の書き方

内容：選択した統計手法とその選択理由、統計手法の解析条件について適切に記載できる。

49－50. 図表の書き方

内容：代表的な図表について、種類に応じて適切に記載できる。

51－52. 英文表記の仕方

内容：要旨を中心に、適切な英文での記載ができる。

53－54. 科学性の検証

内容：論文を読み、科学性の検証ができる。

55－56. 将来性の検証

内容：論文を読み、将来性の検証ができる。

57－58. 独自性の検証

内容：論文を読み、独自性の検証ができる。

59－60. 査読と校正

内容：1.論文を査読することができる。
2.査読結果をもとに、論文を修正できる。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
理学療法学演習	演習	2 年 通年	4	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和、高倉 保幸 國澤洋介、新井 智之 大久保雄、時田幸之輔

到達目標

理学療法学分野を行うために必要なスキルを理解し向上させることで科学的な論文を書くことができるようになることを到達目標とする。当科目では模擬テーマや模擬データ等を利用した演習により、研究計画の立て方、倫理申請書の書き方、論文の書き方、発表の仕方などを学習する。

【演習テーマ】

1. 赤坂 清和　筋電図や筋トルクマシーン、動作解析装置などを用いた筋骨格の機能に関する研究や徒手療法を含めた筋骨格理学療法における臨床研究に関する演習を行う。
2. 高倉 保幸　運動学習に関する評価と対応、脳機能を意識した理学療法、がんリハビリテーションに関する臨床研究に関する演習を行う。
3. 國澤 洋介　脊髄損傷（不全麻痺）患者やがん患者に対する理学療法（予防的、回復的、維持的、緩和的）に関する演習を行う。
4. 新井 智之　高齢者のロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニア、骨粗鬆症における予防理学療法、地域における介護予防事業や健康増進事業の効果検証に関する演習を行う。
5. 大久保 雄　理学療法に関連するバイオメカニクス（筋電図や動作解析）や骨格筋の形状変化（超音波画像）をテーマとした研究を取り上げ，演習を行う。
6. 時田 幸之輔　比較解剖学または局所説明解剖学からみた体幹と四肢の境界領域の末梢神経系・筋骨格系及び脈管系についての研究に関する演習を行う。

授業計画

回	月日	時限	講義室	担当者	テーマ
1-2	4/15（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究テーマの立て方
3-4	4/22（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究計画の立案①（対象の設定）
5-6	4/29（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究計画の立案②（評価）
7-8	5/6（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究計画の立案③（介入）
9-10	5/13（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	倫理申請書の書き方
11-12	5/20（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	対象に対する説明書・同意書の書き方
13-14	5/27（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	サンプルデータの探索的解析
15-16	6/3（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	データベースの作成
17-18	6/10（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	情報収集用調査票の作成
19-20	6/17（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	データのチェック
21-22	6/24（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	データ解析
23-24	7/1（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	母集団の推測
25-26	7/8（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	仮説と統計的検証
27-28	7/15（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	システマティックレビュー
29-30	7/22（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	メタアナリシス

31-32	10/7（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	要旨の書き方
33-34	10/16（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	結果の書き方
35-36	10/23 (1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	考察の書き方
37-38	10/30（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	研究背景の書き方
39-40	11/6（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	目的の書き方
41,42	11/13（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	対象の書き方
43-44	11/20（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	評価方法の書き方
45-46	11/27（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	介入法の書き方
47-48	12/4（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	統計的検討法の書き方
49-50	12/11（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	図表の書き方
51-52	12/18（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	英文表記の仕方
53-54	1/6（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	科学性の検証
55-56	1/13（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	将来性の検証
57-58	1/20（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	独自性の検証
59-60	1/27（1 週）	6，7 限	川角キャンパス院生室他	赤坂他	査読と校正

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出欠、レポート課題、発表により評価する。	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：指導教員の指示に従うこと。 参考書：指導教員の指示に従うこと。	指導教員の指示に従うこと。

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
理学療法学特別研究	実験・実習	2年 通年	8	専門科目 (理学療法学分野)	赤坂 清和、高倉 保幸 國澤洋介、新井 智之 大久保雄、時田幸之輔

到達目標

倫理的な配慮、科学的な思考に基づき実験計画を立て実行し、得られた結果を正確かつ論理的に報告できる。

【研究テーマ】

1. 赤坂 清和

筋骨格の機能に関する基礎理学療法研究および筋骨格理学療法に関する臨床理学療法研究（筋電図やトルクマシーンなどを用いた基礎研究や徒手療法を含めた筋骨格理学療法における臨床研究の指導を行う）

2. 高倉 保幸

運動学習や脳機能、がんリハビリテーションなどに関する臨床研究（運動学習に関する評価と対応，脳機能を意識した理学療法、がんリハビリテーションに関する理学療法研究などの指導を行う）

3. 國澤　洋介

脊髄損傷（不全麻痺）患者の歩行能力や基本動作、がん患者に対する研究分野（予防的、回復的、維持的、緩和的理学療法の安全性や有効性の検証、コミュニケーション・スキルの学習法なども研究指導を行う）

4. 新井 智之

高齢者のロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニア、骨粗鬆症における予防理学療法、地域における介護予防事業や健康増進事業の効果検証、中高年の加齢変化に関する基礎的研究を行う。

6. 大久保 雄

筋骨格系理学療法やスポーツ医学に関する領域の研究法および論文作成指導を行う

7. 時田 幸之輔

末梢神経系・筋骨格系及び脈管系についての局所説明解剖学または比較解剖学に関する研究（体幹と四肢の境界領域における末梢神経系、筋骨格系、脈管系の肉眼解剖学的手法を用いた研究の指導を行う）

授業計画

回	月日	時限	担当者	テーマ
1-15	4/15-4/27（2週間）	4，5限	赤坂 他	研究準備
16-30	4/29-5/11（2週間）	4，5限	赤坂 他	予備実験と研究計画発表会の準備
31-35	5/13-5/18（1週間）	4，5限	赤坂 他	研究計画発表討論会
36-70	5/20-7/6（7週間）	4，5限	赤坂 他	研究計画の修正とデータ収集・解析
71-90	7/8-7/27（3週間）	4，5限	赤坂 他	中間発表討論会
91-125	10/7-11/12（5週間）	4，5限	赤坂 他	データ収集と解析
126-140	11/14-11/26（2週間）	4，5限	赤坂 他	研究発表討論会用資料の作成
141-155	11/28-12/10（2週間）	4，5限	赤坂 他	研究発表討論会
156-180	12/12-1/28（5週間）	4，5限	赤坂 他	論文の作成

注意：本科目は、前・後期月・水・金曜日の内3日間、4・5限目（14条は6・7限目）にサテライトキャンパス（川越ビル）あるいは川角キャンパスにて行う。

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出欠、レポート課題、発表により評価する	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：指導教員の指示に従うこと。 参考書：指導教員の指示に従うこと。	指導教員の指示に従うこと。

授業内容

1-18. 研究準備

内容：1. 文献検索

2. テーマの設定（過去の論文を参考にテーマを考えることで、理学療法分野における研究の意義と効果に対する理解を深める）。

3. 研究計画の立案（大まかな研究計画を具体的に立案することで理学療法研究の課題と展望についての理解を深める）。

4. 倫理申請書の作成（被験者に対する倫理的な課題に対する理解とその具体的な対応についての理解を深める）。

19-30. 予備実験と研究計画発表会の準備

内容：実際に機器を操作したり、対象者の評価を行ったりすることで、実験計画の課題を明らかにした上で研究計画発表会の準備を進める。

31-36. 研究計画発表討論会

内容：研究計画について他の学生や教員と質疑応答を行うことで実験計画の問題点やその対応の理解を深める。

37-78. 研究計画の修正とデータ収集・解析

内容：研究計画発表討論会を通じて明らかとなった課題や対応をもとに実験計画を修正、データ収集と解析を開始する。

79-90. 中間発表討論会

内容：改めて研究計画について質疑応答を行うことで実験計画の問題点やその対応の理解を深める。

91-126. データ収集と解析

内容：中間発表会の結果をもとに研究計画を修正し、修正された研究を推進する。

127-138. 研究発表討論会用資料の作成

内容：学会発表と同等の形式で発表用資料を作成する。

139-150. 研究発表討論会

内容：十分な質疑応答を行い、研究で検証された事実と課題を明らかにし、研究の成果を確認する。

151-180. 論文の作成

内容：科学的な検証に耐えうる論理的な記述法を身につけるとともに、研究内容を文章にすることで一層の理解を深める。

第 14 条特例

科目名	形態	配当年次	単位	科目区分	担当教員
理学療法学特別研究	実験・実習	2 年 通年	8	専門科目 （理学療法学分野）	赤坂 清和、高倉 保幸 國澤洋介、新井 智之 大久保雄、時田幸之輔

到達目標

倫理的な配慮、科学的な思考に基づき実験計画を立て実行し、得られた結果を正確かつ論理的に報告できる。

【研究テーマ】

1. 赤坂清和

筋骨格の機能に関する基礎理学療法研究および筋骨格理学療法に関する臨床理学療法研究（筋電図やトルクマシーンなどを用いた基礎研究や徒手療法を含めた筋骨格理学療法における臨床研究の指導を行う）

2. 高倉 保幸

運動学習や脳機能、がんリハビリテーションなどに関する臨床研究（運動学習に関する評価と対応，脳機能を意識した理学療法、がんリハビリテーションに関する理学療法研究などの指導を行う）

3. 國澤　洋介

脊髄損傷（不全麻痺）患者の歩行能力や基本動作、がん患者に対する研究分野（予防的、回復的、維持的、緩和的理学療法の安全性や有効性の検証、コミュニケーション・スキルの学習法なども研究指導を行う）

4. 新井 智之

高齢者のロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニア、骨粗鬆症における予防理学療法、地域における介護予防事業や健康増進事業の効果検証、中高年の加齢変化に関する基礎的研究を行う。

6. 大久保 雄

筋骨格系理学療法やスポーツ医学に関する領域の研究法および論文作成指導を行う

7. 時田 幸之輔

末梢神経系・筋骨格系及び脈管系についての局所説明解剖学または比較解剖学に関する研究（体幹と四肢の境界領域における末梢神経系、筋骨格系、脈管系の肉眼解剖学的手法を用いた研究の指導を行う）

授業計画

回	月日	時限	担当者	テーマ
1-15	4/15-4/27（2 週間）	6，7 限	赤坂 他	研究準備
16-30	4/29-5/11（2 週間）	6，7 限	赤坂 他	予備実験と研究計画発表会の準備
31-35	5/13-5/18（1 週間）	6，7 限	赤坂 他	研究計画発表討論会
36-70	5/20-7/6（7 週間）	6，7 限	赤坂 他	研究計画の修正とデータ収集・解析
71-90	7/8-7/27（3 週間）	6，7 限	赤坂 他	中間発表討論会
91-125	10/7-11/12（5 週間）	6，7 限	赤坂 他	データ収集と解析
126-140	11/14-11/26（2 週間）	6，7 限	赤坂 他	研究発表討論会用資料の作成
141-155	11/28-12/10（2 週間）	6，7 限	赤坂 他	研究発表討論会
156-180	12/12-1/28（5 週間）	6，7 限	赤坂 他	論文の作成

注意：本科目は、前・後期の内 3 日間、4・5 限目（14 条は 6・ 7 限目）にサテライトキャンパス（川越ビル）あるいは川角キャンパスにて行う。

評価方法	連絡先／オフィスアワー
出欠、レポート課題、発表により評価する	教員一覧参照
教科書・参考書	**履修上の注意・履修要件**
教科書：指導教員の指示に従うこと。 参考書：指導教員の指示に従うこと。	指導教員の指示に従うこと。

学生生活に関する事項

学生生活に関する規定

１．学籍番号

学籍番号は入学時に定められ、卒業までの間、一貫して学生固有の番号となります。

学籍番号は６桁の数字と文字で表され、始めの１桁は学科を示すアルファベット記号、続く２桁は西暦の入学年度、終わりの３桁は学生個々の番号を示しています。

２．学生証及び在籍確認票

本学の学生証は「学生証（IC 内蔵のプラスチックカード)」とその裏に貼り付ける「在籍確認票」を合わせて、有効な学生証となります。学生証には、本学の学生であることが確認できるよう、顔写真、学部、学科名、学籍番号、氏名、生年月日を掲載してあります。

学生証は本学学生としての身分を証明する大切なものです。キャンパス内では、常時携帯し、教職員に提示を求められた場合は、速やかに提示しなければなりません。また、テレサホール、ラウンジヤマネを利用する際の電子マネー機能、図書館を利用する際の身分証明、通学定期券の購入など、学生生活を円滑に過ごすため必要となります。紛失、盗難、破損のないように十分に注意してください。

(1) 有効期限

学生証は入学式当日に交付し、在籍期間中有効です。

裏面の在籍確認票は毎年４月に交付し、有効期間は１年です。

(2) 記載事項の確認と訂正

入学時に学生証が交付されたら、裏面の在籍確認票の所定欄に現住所を正確に記載してください。なお、2 年次以降の更新時にはコンピュータで住所が印字されますので、必ず確認してください。

また、住所・氏名等が変わった場合には、直ちに事務室に届け出てください。大学の訂正印のないものは無効となり、通学定期券の購入や学割の使用ができなくなります。

(3) 通学区間の記入方法（通学定期券を購入する場合）

在籍確認票の通学区間欄に、現住所から大学までの通学区間を各自で記入してください。記入上の注意事項は次のとおりです。

a. 現住所から大学までの最短通学区間を記入してください。
b. バスの利用も含め、交通機関ごとにそれぞれ記入してください。
c. 通学区間欄内で記入しきれない場合は事務室へ申し出てください。
d. 現住所の変更などで通学区間を変更する場合は、在籍確認票の再発行を事務室に申し出てください。
e. 通学定期券購入欄に余白がなくなった場合は、在籍確認票の再発行を事務室に申し出てください。

(4) 学生証の携帯と提示

学生証は常に携帯し、次のような場合には必ず提示してください。

a. 定期試験、追試験または再試験を受けるとき
b. 証明書の交付を受けるとき
c. 本学施設を利用するとき（ロッカー室・テレサホール・ラウンジヤマネ・図書館など）
d. 図書の貸し出しを受けるとき
e. 通学定期券・学生割引乗車券を購入するとき、及びそれを使用して乗車し係員から提示を求められたとき
f. その他、本学教職員から提示を求められたとき

(5) 取扱上の注意

学生証には学籍番号を識別するバーコードやテレサホール、ラウンジヤマネを利用する際の電子マネー機能など多くの情報が記憶されている IC チップを内蔵しています。汚したり折り曲げたりすると使用できない場合がありますので大切に取り扱ってください。

(6) 学生証の紛失と再交付

学生証の紛失や、破損、汚損、IC チップの損傷をきたした場合には、速やかに事務室に届け出て再交付の手続きを行ってください。原則として願い出より１週間後に交付されますが、再交付料が必要となります。

なお、紛失や盗難の場合は、必ず最寄りの交番か警察に届けを出してください。また、学生証を拾った場合には、直ちに事務室に届けてください。

(7) 学生証の返還

卒業・退学・除籍などにより本学の学籍を離れる場合は、速やかに学生証を事務室に返還してください。

(8) 仮学生証

試験の当日に学生証を忘れた場合は、事務室で「仮学生証」を発行します。なお、「仮学生証」は当日限り有効で、上記以外の目的で使用することはできません。当日の試験終了後、必ず事務室に返納してください。

３．ネームカード

a. 本学の学生であることが確認できるよう、顔写真、専攻名、学籍番号、氏名を掲載したネームカードを支給します。
b. キャンパス内においてネームカードを着用することで、大学院生であることの確認及び部外者との識別を容易にすることを目的としています。防犯対策の意味合いも含んでいますので、キャンパス内では、ネームカードは常時着用してください。
c. ネームカードのストラップは研究科ごとに色分けされています。
   ブルー：医学研究科　　ピンク：看護学研究科
d. 卒業・退学・除籍などにより本学の学籍を離れる場合は、速やかにネームカードを事務室に返還してください。

４．通学について

(1) 川角キャンパスへのスクールバス

川角キャンパスへは東武東上線 坂戸駅南口及び東武越生線 東毛呂駅よりスクールバスが利用できます。

(2) 通学定期券

通学定期券は居住地（学生証に記載した住所）の最寄駅から大学の最寄駅までの区間で、最も経済的なコースで通学する場合に限り購入することができます。アルバイトなど通学以外の目的では購入できません。

購入にあたっては、学生証（裏面）の「通学区間欄」に乗降駅を記入し、「定期券購入申込書」に必要事項を記載し、各定期券販売所で学生証を提示して購入してください。

(3) 実習用定期券

学外実習などのために、通学区間外の定期券が必要な場合には、「通学証明書（臨床実習用）申込書」（様式 53 号）を事務室に提出し、鉄道会社に申請することにより、「実習用定期券」を購入することができます。なお、鉄道会社から定期券購入の承認通知書が届くまでに期間を要しますので、遅くとも実習開始の１か月前までに申込書を提出してください。申請が遅いと、購入出来ないこともあります。

(4) 自家用車･バイク（原付も含む）・自転車での通学

自家用車・バイクでの通学にあたっては「通学用自動車等登録申請書」を事務室に提出してください。駐車場の利用はこの登録により可能となりますが、利用方法についてはキャンパスにより異なりますので注意してください。また、学内外を問わず路上駐車や違法な駐車場占拠、指定場所以外での駐車・駐輪は厳禁です。判明した場合は、処分の対象となります。

なお、バイク及び自転車で通学する場合は、駐輪場が指定されていますので、必ず施錠し、所定の場所に置くようにしてください。また、放置バイク及び自転車は強制的に撤去されることがあります。

通学用の車両を変更・追加の際は、事務室で変更の手続き（通学用自動車等登録変更届）を行ってください。

(5) 各キャンパスの駐車場

a. 日高キャンパス

日高キャンパスの教職員専用駐車場を利用する場合は、有料となります。利用を希望する学生は、「駐車場賃借契約書」を記載し利用料金を添えて事務室に申し込みください。なお、学生が利用できる駐車場は６か所あります（駐車場 4・6・7・8・9・10）。各駐車場とも入口ゲートの IC カードリーダーに駐車場専用カードをかざすことによりゲートが開きます。

b. 川角キャンパス

川角キャンパスにも学生用駐車場があり、登録申請により駐車が可能です。利用を希望する場合には、「通学用自動車等登録申請書（川角キャンパス）」を川角キャンパス

事務室へ提出してください。なお、学生用駐車場の周辺には、民家もありますので空ふかしや無駄なアイドリングはしないでください。

c. 毛呂山キャンパス
毛呂山キャンパスを利用する場合は、予め事務室に届け出ることにより、毛呂山キャンパス教職員駐車場（小田谷駐車場）の利用カードを、一定の期間借用することができます。入り口にある IC カードリーダーに専用 IC カードをかざすことによりゲートが開きます。なお、利用期間の終了後は速やかに事務室までカードを返却してください。

d. 川越キャンパス
川越キャンパスには、学生駐車場はありません。

e. サテライトキャパス（川越ビル）
サテライトキャパスには、学生駐車場はありません。

５．キャンパス・マナー

a. 本学学生としての“品位”を保つよう、自覚をもって行動してください。これは、キャンパス外においても同様です。

b. “挨拶”をしましょう。キャンパス内で出会う人は、全てが友人であり、先輩や後輩であり、また、キャンパスに来られたお客様です。

c. “美しい日本語”を使いましょう。ことば遣いはその人の“品性”を表します。

d. “身だしなみ”に配慮しましょう。周囲に不快感を与える奇異な服装、髪型は禁止します。

e. 公共の交通機関を利用して通学する際は、停留所での割り込み行為、車内において大声での会話を慎み、お年寄りや体の不自由な人がいたら席を譲るなど、“医療人”を志す者としての自覚を持ちましょう。

f. 大学側から呼び出しを受けた際は、速やかに事務室に来るか、電話連絡等をしてください。

６．告示・掲示

a. 学生に対する告示などは、全て C 棟 1 階（川角キャンパスでは玄関）の所定の掲示板に掲示します。告示の一部はメールでも配信されますが、全てではありません。必ず、掲示板で確認してください。

　なお、掲示した事項については、全ての学生に周知されたものとみなしますので、掲示板のチェックを忘れないでください。自身の該当学科掲示板のみならず、全体掲示板や奨学金・保健室前などの掲示板も常に見るよう習慣づけをすることが大切です。

b. 掲示物にみだりに手を触れることを禁止します。掲示物を除去、破損、汚染した者は処分の対象となります。

７．学内 LAN について

１）LAN（Local Area Network）とは

LAN とは同じ建物にあるコンピュータやプリンタなどの機器をケーブルや無線などで接続し、データをやり取りするネットワークシステムのことです。埼玉医科大学では、毛呂山キャンパス、日高キャンパス、川角キャンパス及び川越キャンパスで学内 LAN が利用可能です。

２）学内 LAN でできること

(1) Internet 接続

Internet に接続し各種の情報の収集ができます。

(2) E-mail によるコミュニケーションと学習促進

E-mail による学生相互の連絡、教員へのアクセス、与えられた課題の提出などが可能です。

(3) 施設予約システムの閲覧

学内用ホームページにある「学生のためのページ」から、施設予約システムの閲覧を行うことができます。学生は所定の用紙を用いて事務室で講義室及び講堂等の予約を行うことができます。

施設予約を申し出る場合は、予約状況を確認した上で事務室に申し出てください。なお、多くの人が利用できるよう、各自心がけてください。また、川角キャンパスの教室・実習室等は予約システムに含まれていません。

(4) 学生向けホームページについて

学生の利用可能な学内向け公開情報を大学内ホームページ http://smswww/ で調べることができます。図書館の文献検索システムの利用、上記(3) 施設予約状況の閲覧、教員の電子メールアドレス、シラバスなどを見ることができます。

３）学内 LAN の利用法

(1) メールアドレスの付与

大学院生には「学籍番号@student.saitama-med.ac.jp」で表す個人別のメールアドレスを付与します。このメールアドレスにきたメールはスマートフォンや携帯電話等へ転送することができます。

なお、上記のアドレスを通じて、大学や教員からの連絡事項が配信される場合がありますから、スマートフォンや携帯電話等への転送を必ず行っておいてください。

（転送方法については http://smswww/hoken/gakusei/pc/ を参照）

(2) メーリングリストの利用

次のメーリングリストアドレスを利用すれば、学年及び学科全員にメールを配信することができます。添付ファイルは 100KB までとしてください。なお、このメーリングリストは、学習に必要な連絡事項での利用を目的としたものであり、私用や勧誘などでの使用は禁止します。

メーリングリスト一覧

内 訳	メールアドレス
医学研究科医科学専攻1年生	m-s-1nensei@saitama-med.ac.jp
看護学研究科看護学専攻1年生	m-n-1nensei@saitama-med.ac.jp
医学研究科医科学専攻2年生（含：長期履修生）	m-s-2nensei@saitama-med.ac.jp
看護学研究科看護学専攻2年生（含：長期履修生）	m-n-2nensei@saitama-med.ac.jp

(3) 学内 LAN を利用できる場所

学生は次の場所で学内 LAN を利用できます。

● 大学に設置されているコンピュータ

建　物	場　所
日高キャンパス Ｂ棟6Ｆ	マルチメディア教室
日高キャンパス 図書館2Ｆ	情報機器コーナー
日高キャンパス 図書館3Ｆ	情報機器コーナー
川角キャンパス 校舎2Ｆ	コンピュータ室
川角キャンパス図書館	情報機器コーナー
毛呂山キャンパス　本館12Ｆ	マルチメディア教室
毛呂山キャンパス　図書館1Ｆ	情報機器コーナー
毛呂山キャンパス　図書館3Ｆ	情報機器コーナー
毛呂山キャンパス　9号館3・4Ｆ	ゼミ室

● 無線 LAN により各自のコンピュータから学内 LAN を利用できる場所

- 日高キャンパス A 棟 図書館 2 階、3 階
- 日高キャンパス B､C 棟の講堂、実習室、ゼミ室、マルチメディア教室
- 日高キャンパス B､C 棟北側の中庭（校舎の近くのみ）
- 日高キャンパス　オスラーホール
- 川角キャンパス 校舎、食堂棟、川角キャンパス図書館

(4) 学内に設置されたコンピュータの利用方法

開始時： 電源ボタンを押し、ユーザーＩＤ・パスワードを入力する。

終了時： 利用が終わったら必ず電源をシャットダウンする。

(5) IT 環境の不調、その他の報告・相談

IT 環境（コンピュータ）の調子が悪い時は“学籍番号・名前・建物・場所・症状”を次へ報告してください。また、その他、コンピュータに関する相談も受け付けます。

キャンパス	連絡先	連絡方法(メールアドレス)	結果報告
日高キャンパス	事務室	直接職員に申し出る(hokeniryou@saitama-med.ac.jp)	C棟1F掲示板
川角キャンパス	事務室	直接職員に申し出る(kawakado@saitama-med.ac.jp)	事務室前掲示板

4）個人パソコンの学内ネットワーク使用

申請により個人のパソコンを学内のネットワークに接続し使用することができます。

ただし、持ち込んだパソコンが原因で大学業務に支障が生じた時は処分の対象となりますので、次の注意を守ってください。

<使用上の注意>

① コンピュータウィルス対策の確実な履行

a. ウィルス対策ソフトの実行（記憶媒体、メール、ホームページに対して、即時及び定時実行）

b. ウィルスパターンの定期的な更新(最低週 1 回)

② セキュリティホール対策の確実な履行

a. ウィンドウズアップデートの実行（自動実行で更新時に確認設定）

b. アプリケーションのアップデート（適宜）

③ 情報漏洩防止の確実な履行

a. 使用者認証の設定

b. 情報の紛失防止、漏れては困る情報の保存の禁止、学外持ち出し禁止（学内ネットワークに関する情報、個人情報など）

c. ファイル共有ソフト（P2P ソフト、Winny、share、vabos、WinMX、Lime Wire Bit Comet など）の使用禁止

学内ネットワークの利用には研究科長（または運営委員会委員長）の許可が必要です。学内 LAN の利用を希望する学生は、事務で所定の手続きを行ってください。

①「個人所有コンピュータの学内ネットワーク接続下での使用申込書」と「個人所有コンピュータの学内ネットワーク使用についての誓約書」の提出

a. 申込期間は、原則として 5 月と 11 月のそれぞれ 1 ヶ月間です。

b. 申し込みには、使用するパソコンについて次の情報が必要となりますので、前もって調べておいてください。

メーカー名、型式、OS 名

ネットワークアダプタの物理アドレス（MAC アドレス）

＊ MAC アドレスの調べ方は http://smswww/hoken/gakusei/pc/ にあります。

② 持ち込みコンピュータの登録

③ 登録許可シールの発行（登録番号で管理されます）
持ち込むパソコンに登録許可シールを貼って、登録されたパソコンであることを明示してください。

④ 学内使用開始
使用開始には、使用するパソコンにネットワーク設定が必要です。
マルチメディア教室などで、http://smswww/hoken/gakusei/pc/ を参照して、自分自身で設定をしてください。正しく設定が終われば使用可能となります。

a. 学籍がなくなった場合は、登録が抹消されます。
b. 登録内容が変わった場合は、再申請しなければなりません。
c. 必要と認められる場合、パソコンの使用状態を調べることがあります。

８．学内の環境保全

a. 学生は、本学の建物、設備、備品などを破損したり、汚染することのないよう努めてください。場合によっては処分の対象になります。また、キャンパス内の清掃、整理整頓、火気取り締まりに常に留意してください。
b. 所定の喫煙場所以外はキャンパス内での喫煙を禁止します。
c. キャンパス内での飲酒は禁止します。ただし、相応の理由が認められる場合には、研究科長（または運営委員会委員長）の許可により場所・時間を限って認められることがあります。
　また、アルコールの過剰摂取により死亡事故に至るケースもあるので、「イッキ飲み」等の危険な飲酒行為及び飲酒運転は絶対にしないでください。
d. キャンパス内での麻雀等の賭博性のある遊戯を行うことを禁止します。

９．校舎への出入りと教室の使用

１）校舎への出入りについて

(1) 日高キャンパス

月曜日から土曜日の 7 時～21 時まで出入りができます（自動施錠・自動開錠）。原則として日曜日・祝日・入学試験日及び大学が指定する年末年始の休暇期間は出入りができません。ただし、教員の監督のもとであれば、利用を認めることがあります。校舎は基本的に 19 時に施錠されますが、事務室前の正面玄関は 20 時まで開いています。施錠された後は、A1 階段近くの入口、C 棟階段近くの入口、C 棟ロッカー室近くの入口の 3 か所にあるカードリーダーに、学生証をかざすことにより入室可能となります。

➢オスラーホール（学生ホール）

利用時間は月曜日から土曜日の 7 時～21 時までとします。19 時以降は、ホール裏側出入口にあるカードリーダーに学生証をかざすことにより入室可能となります。なお、日曜日・祝日・入学試験日及び大学が指定する年末年始の休暇期間は出入りができません。

※ 学園祭の準備等、特別な理由がある場合には、教室使用願を提出し、学生部委員長の許可のもとに、オスラーホールや教室の使用及び利用時間の延長を認めることがあります。

(2) 川角キャンパス

利用時間は月曜日から土曜日の 7 時～21 時まで出入りができます。なお、日曜日・祝日及び大学が指定する年末年始の休暇期間は出入りができません。

特別な理由がある場合には、教室等使用届を事前に提出し、事務室長の許可のもとに、日曜日や祝日の教室等の使用及び利用時間の延長を認めることがあります。

2）教室及びゼミ室等の使用について

(1) 日高キャンパス

自己学習や研究などで教室及びゼミ室を使用することができます。利用を希望する学生は、事務室で鍵を受け取ってください。なお、使用時間は、原則として事務室が開いている 17 時までとなっていますので、鍵は 17 時までに事務室へ返却してください。また、使用時間の延長を希望する学生は、17 時までに事務室で延長手続きを行ってください。21 時まで利用時間を延長することができます。延長した場合、鍵は事務室前の鍵返却ボックスに返却してください。

※ ゼミ室及び教室内での飲食及び携帯電話等の充電は厳禁とします。鍵を借りたままの長時間の離室や、部屋の専有、部屋の内側からドアを目隠しする行為も禁じます。退出時には、室内にあるゴミ箱の中身をエレベータホールにあるゴミ捨て場に捨て、空にしてください。多くの学生が利用できるよう各自マナーを守ってください。

(2) 川角キャンパス

ゼミ室を使用する場合は、事務室に届けを提出してから使用してください。ゼミ室は図書館内にあるため、図書館開館時間内の利用になります。

※ ゼミ室及び教室内での飲食及び携帯電話等の充電は厳禁とします。また、鍵を借りたままの長時間の離室や、部屋の専有などの行為を禁じます。多くの学生が利用できるよう各自マナーを守ってください。

➢オスラーホール（学生ホール）

自己学習や飲食を目的に使用することができます。使用時間を厳守し、退出時には室内の整理整頓を心がけ、電気の消灯を確認してください。また、夜間の非常時は、国際医療センター警備室(℡ 042-984-4110)に連絡してください。

10. 昼食・売店

(1) 日高キャンパス

日高キャンパスのテレサホール（厚生棟）には、学生をはじめ日高キャンパスに勤めて

いる教職員や国際医療センターの患者さんが利用できる食堂及びローソンがあります。また、管理棟にも教職員ならびに学生用の食堂（ラウンジヤマネ）及び書店(文光堂)があります。食堂を利用する場合には、食堂ごとに予め学生証にお金をチャージし、売り場の IC カードリーダーに学生証をかざして料金を支払います。なお、学生証へのチャージは紛失・盗難の関係上少額にしてください。

営業時間：テレサホール(年中無休　11:00～19:30)
ラウンジヤマネ(月～金　8：00～14:00)
文光堂書店(月～金 10:30～16:30)

(2) 川角キャンパス

川角キャンパスの学生食堂では、食券を現金にて券売機で購入します。麺類と日替わり定食があります。売店はありません。

営業時間：11:00～13:00（昼食のみ）

11. 学生による掲示物の掲示

a. 学生が掲示を行おうとする場合には、事務室に印刷物掲示・配布願(様式 75 号)を提出し、研究科長（または運営委員会委員長）の許可を得る必要があります。(掲示までに約 1 週間要します)
b. 掲示期間は原則として 2 週間以内とします。
c. 掲示物の大きさは最大で A3 用紙サイズまでとします。
d. 所定の場所以外に掲示物を掲示することを禁止します。
e. 掲示物は掲示期間後すみやかに取り除いてください。
f. 上の規定に違反した掲示物は撤去します。
G. 掲示責任者の指示によらず掲示物を除去、破損、汚染した者は処分の対象となります。

12. 印刷物の配布

学生が新聞、ビラその他の印刷物、またはこれらに準ずるものをキャンパス内で配布しようとする場合は、代表者が原稿または現物を添えて事務室に印刷物掲示・配布願(様式 75 号)を提出し、研究科長（または運営委員会委員長）の許可を得る必要があります。

13. 集会、催し物など

a. 学内外を問わず、本学学生として集会や催し物などを行おうとする場合は、1 週間前までに事務室に集会許可願(様式 74 号)を提出し、研究科長（または運営委員会委員長）の許可を得る必要があります。
b. 集会や催し物などに際し、本学施設の利用を希望する場合は、事務室に集会許可願とともに施設使用願を提出し、事務室長の許可を得る必要があります。
c. 参加費や入場料などを徴収する場合は、その金額及び収入金の使途を明記した書類を

集会許可願に添付してください。

d. 集会終了後、責任者はすみやかに経過報告を学生部委員長に行ってください。また、収入金があった場合は、学生部委員長あてに会計報告書を提出してください。

e. 集会に使用した施設や備品は、清掃、点検ののち元どおりの状態に戻してください。また、使用中、使用後とも火災防止に十分注意してください。

f. 集会における行為が、学生としてふさわしくなかったり、大学や社会の秩序を乱したり、危険な事態が発生する恐れがあると認められた場合は、その集会の禁止・解散を命ずることがあります。

g. 署名運動、デモなどの対外的な活動を行おうとする場合も上記各項が適用されます。

h. 学内においては、布教活動と認められる行為を一切禁止します。また、学内で教育等に使用している住所録、メールアドレス等の個人情報を布教活動に使用することも禁止します。

14. 学外団体の本部、支部、事務局などの設置

a. 学外団体の本部、支部、事務局などを本学施設内に設置することは原則として禁止します。

b. 趣意書などを研究科長（または運営委員会委員長）に提出し、特に必要と認められた場合には、学長の許可を得た上で例外的に設置が認可される場合があります。

15. 備品などの使用

a. 大学の備品などを課外活動その他の目的で使用する場合は、事務室に備品使用願(様式 78 号)を提出し、事務室長の許可を得てください。

b. 使用後の備品などは、清掃、点検ののち、元の場所に確実に戻し、事務室長の確認を得てください。

16. 健康管理

将来の医療従事者として、学生時代より適切な生活習慣の確立と感染症予防などにより、自分の健康は自分で守るという心構えを築いておくことが必要です。学生健康推進室（保健室)は事務室とともに、健康相談や健康診断、予防接種などをとおして、皆さんが快適で健康的な学生生活を送れるように支援します。

学生健康推進室（保健室）

学生健康推進室（保健室）は日高キャンパスおよび川角キャンパスの 1 階にあります。

＜対応内容＞

(1) 体調不良時の初期対応及び受診指導
(2) 定期健康診断の実施と健診後の保健指導
(3) 各種予防接種の実施
(4) 診断書、証明書の発行
(5) 身体的な健康の相談
(6) こころの相談
(7) 体調不良による欠席への対応

＜利用方法＞

(1) 体調不良時の初期対応及び受診指導

簡単な傷の手当てや、ベッドでの休養ができます。場合によっては、埼玉医科大学国際医療センターや埼玉医科大学病院へ受診指導をします。病院で診療を受ける際には保険証の提示が必要です。本学の病院を受診する際には、学生証と健康保険証を必ず持参してください。自宅通学以外の学生は、遠隔地健康保険証を取得しておいてください。

(2) 定期健康診断の実施と健診後の保健指導

学生は毎年 1 回健康診断を受診することが義務付けられています。健康診断を必ず受診してください。将来医療従事者として医療に従事するためには、自らが健康でなければなりません。定期健康診断は、現在の皆さんの健康状態を把握するだけでなく、将来の生活習慣病を予防するための重要な資料となります。返却された健康診断結果票は在学中大切に保管してください。学生健康推進室（保健室）では、健康診断の結果に基づき、生活指導や医療機関への受診勧奨をします。健康診断の結果を受け取り、異常がある場合には、指示に従い適切な医療機関を受診してください。

a．実施内容

1 年生・2 年生・長期履修生

身長、体重、視力、血圧測定、尿検査、胸部エックス線検査

b．事後指導

健康診断の結果によって､生活習慣改善のための指導や専門医療期間への受診勧奨を行います。通知された学生は速やかに指導に従って受診し、受診報告書を学生健康推進室（保健室）に提出してください。また、返却された健康診断結果票は在学中大切に保

管してください。

(3) 診断書、証明書の発行

実習、留学、就職活動などに必要な診断書や証明書は、健康診断のデータを用いて作成します。詳細は次項目「17. 健康診断書」を参照ください。

(4) 身体的な健康の相談

体調不良や健康上心配なことがある場合には、遠慮なく相談してください。必要があれば、埼玉医科大学国際医療センターや埼玉医科大学病院の専門診療科などを紹介します。

(5) こころの相談

不安・悩み・気分の落ち込み・不眠・早期覚醒・意欲の低下など、いつもと違う症状がある場合は、臨床心理士によるカウンセリングが受けられます。相談は予約制であるため、学生健康推進室（保健室）で予約してください。（毎週金曜日 16 時 30 分から 2 件まで）

(6) 体調不良による欠席への対応

体調不良や事故等により実習を欠席する場合は、速やかに履修時間の開始前までに、事務室に電話をしてください。実習担当教員に電話をおつなぎします。

特に、下の感染症（学校感染症）に罹患した場合、学校での流行を予防するために、欠席して必ず医療機関を受診してください。

第 1 種：エボラ出血熱、クリミア･コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、
ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS)、
鳥インフルエンザ（H5N1 型)、指定感染症および感染症

第 2 種：インフルエンザ、百日咳、麻疹（はしか)、風疹（3 日ばしか)、水痘（水ぼうそう)、
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ)、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

第 3 種：コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症（O-157)、腸チフス、パラチフス、
流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、
ヘルパンギーナなど

H25. 3 月　文部科学省

学生健康推進室（保健室）では、皆さんの健康管理に関する情報提供や指導を行っています。
日頃から掲示を良く確認し、呼び出しがあった場合には速やかに対応してください。

【連絡先】 **学生健康推進室（保健室）：** 3123（内線）

保健医療学部事務室： 042-984-4801（外線）　hokeniryou@saitama-med.ac.jp

17. 健康診断書

原則として健康診断書の発行は行いません。ただし、就職活動並びに奨学金の申請あるいは保健所、保育所、幼稚園などにおける実習の申請時など、本学での学業を遂行する上で必要と認められ、かつ、採血などの特殊検査を要しない場合、健康診断のデータを用いて健康診断書を発行します。健康診断書の発行を希望する場合は、2 週間前までに事務室に「証明書交付願」を提出してください。

ただし、健康診断を受診していない場合や、異常値があるのに受診や精査を受けていない場合は、診断書の作成はできません。発行に際しては大学書式に限りませんが、記載事項は大学で実施した健康診断項目のみとなります。検査を必要とする健康診断書は各自で病院を受診依頼してください。

18. 傷害保険

本学においては、学生が不慮の事故等にあった場合の支援措置として保険制度が設けられています。

(1) 学生教育研究災害傷害保険制度（公益財団法人 日本国際教育支援協会）

この保険は文部科学省が、大学で学ぶ学生の被る種々の教育研究中の災害に対する被害救済の措置として検討してきた災害補償制度です。(公財)日本国際教育支援協会を保険契約者とし、(公財)日本国際教育支援協会と国内損害保険会社 5 社【幹事・東京海上日動】との間で締結された共同保険契約であり、東京海上日動が他の引受保険会社の代理･代行を行います。各大学は（公財）日本国際教育支援協会の賛助会員として、被保険者となる学生の保険加入をとりまとめ、保険金の請求などの事務を行います。本学は入学時に 2,000 万円コースの修学期間（通常履修者は 2 年間、長期履修者は 3 年間）について全員加入しています。

在学生の災害・傷害については、次により所定の保険金が支払われます。

a. 保険金が支払われる事故の範囲

被保険者が教育研究活動中に被った急激かつ偶然の事故による身体の傷害

＊ 教育活動中とは下記のような状況をいいます。

① 正課を受けている間
② 学校行事に参加している間
③ 上記①②以外で学校施設内にいる間
④ 学校施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間
⑤ 通学中
⑥ 学校施設等相互間の移動中

b. 保険料：1,790 円（2 年間の通常履修期間）
2,650 円（3 年間の長期履修期間）
（保険料適用区分：昼間部）…平成 23 年度改定

＊保険料については入学時の学納金に含まれています。

c. 保険期間：入学時の 4 月 1 日より卒業年次の 3 月末までの期間

d. 保険金の請求は事務室を通じて行いますので、該当する傷害を被った場合は必ず事務室に報告してください。なお、病気はこの保険の対象とはなりません。

19. 賠償責任保険

(1) 学研災付帯賠償責任保険

この保険は、「**18. 傷害保険** 1) 学生教育研究災害傷害保険制度」に付帯する保険であり、学生が講義中、実験・実習中、学校行事、ボランティア、クラブ活動等の課外活動及びその活動を行うための交通の途上で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、学生が被る種々の賠償責任事故に対する被害者救済のための賠償責任保険です。この保険には、A、B、C の３コースがあり、本学部においては、病院実習開始に伴い、C コース（医学生教育研究賠償責任保険（医療関連学部を含む））に加入することになります。

a. 補償の対象となる主な事故例（国内のみ対象）

① 実習中に患者さんの移動を手伝い、誤って転倒などにより、けがをさせてしまった場合。

② 患者さんの検査に付き添い、患者さんの眼鏡や持ち物を預かり、破損あるいは紛失してしまった場合など。

b. 保険料：1,000 円（2 年間の通常履修期間）
1,500 円（3 年間の長期履修期間）
（保険料適用区分：医学生教育研究賠償責任保険（医療関連学部を含む））

＊ 保険料については入学時の学納金に含まれています。

c. 保険期間：入学時の 4 月 1 日より卒業年次の 3 月末までの期間

d. 保険金の請求は事務室を通じて行いますので、該当する賠償責任を負った場合は、必ず事務室に報告してください。

20. 奨学金

奨学金には、以下のものがあります。

① 日本学生支援機構（無利子貸与・有利子貸与）
奨学金額は、奨学金の種類、自宅通学や自宅外通学の別、奨学金採用年度等によって異なります。

募集対象、募集人数、募集内容は年度によって異なります。4 月上旬から下旬にかけて奨学金の募集要項が奨学金専用の掲示板に掲示されるので希望する学生は確認してください。

21. アルバイト

a. 原則として学期中（授業期間中及び試験期間中）のアルバイトは避けてください。

b. アルバイトをする場合には、以下のことを守ってください。

① 学業に支障がない程度にとどめること。

② 学生としての品位にかかわるような職種を選定しないこと。

22. ハラスメント

(1) セクシュアル・ハラスメント

教職員や学生による、他の教職員、学生または関係者を不快にさせる性的な関心や欲求に基づく嫌がらせのことです。

① セクシュアル・ハラスメントは、被害者の人間としての尊厳を傷つける重大な行為ですが、加害者との人間関係その他の事情により、被害の届け出が遅れることが少なくありません。

② セクシュアル・ハラスメントに該当するか否かは、結果的に相手がそう感じるかどうかで決められます。男性であれ、女性であれ、不用意な言動や行動は慎むように気をつけてください。

(2) パワー・ハラスメント

教職員や上級生による地位や権限を利用した嫌がらせのことで、職権、年齢差、経験の差などによる権力差（パワー）を背景にし、人格と尊厳を傷つける言動を行い、学生生活の環境を悪化させる、あるいは不安を与える行為を指します。

(3) アカデミック・ハラスメント

教育・研究上の優越的な地位にある者による権力を利用した嫌がらせのことで、それによって相手方の勉学・研究意欲や学習・研究環境を害することを指します。例えば、授業を受けさせない、専攻の変更を迫る、学生のプライバシーを暴露する、就職活動において不利な扱いをする、学位論文を受理しない、私的な用事に使う、といったものがあります。

(4) 対処

あなたがこのようなハラスメント受けた場合は、教員または保健医療学部保健室・事務室に出向くかメール（e-mail: hmc_hara@saitama-med.ac.jp）で連絡してください。その段階で相談内容を詳しく説明する必要はありません。保健医療学部内に置かれた相談員（男性2名・女性2名）が連絡を受け、あなたの意見を最大限尊重しながら、問題を整理し、問題解決に向けて一緒に考えます。友人が被害にあったというような時でもお話を聞きます。また、埼玉医科大学保健医療学部ハラスメント防止規則も参考にしてください。

(5) 事実関係の調査

相談員は、相談者(被害者)からの申し立てがあればヒアリングを行い、相談者の同意を得た上で、規程に基づき速やかにハラスメント防止委員会に報告し、対応を協議する。この際、相談員は男女2名一組で対応する。

なお、相談者が学部内での調査・対応を希望する場合には、相談内容を学生部委員会委員長（以下、学生部委員長）通じて学部長に報告し、さらに、学部長が必要と認めた場合には、相談者の希望を尊重しつつ、調査・対策委員会を開催する。

(6) 事実確認と対応策の検討

調査・対策委員会は学生部委員会委員長（以下、学生部委員長）及び相談員 4 名により構成され、相談者、加害者と想定される者及び関係者からヒアリングを行い、事実を確認するとともに対応策を検討する。なお、学生部委員長が必要と認めた場合には、学部長、学科長、事務室長などの出席を求めることができる。

(7) 対応策の実施

調査・対策委員会は学生部委員長を通じて、委員会の結論を学部長に報告する。学部長は事例の軽重により、下記 a. または b. の対応を実施する。

a. とくに悪質と考えられる事例では、学部長から学長に報告した上で、法人のハラスメント防止委員会に裁定をゆだね、必要に応じて賞罰委員会での審議を経て法人として対処する。また、その結果を教授会に報告する。

b. それ以外の事例では、学生部長及び学部長は加害者に対する忠告と指導等を行うとともに、相談員を通じて学生本人及び家族に対して説明を行う。また、学生部委員会を通じて教授会に簡単な経緯を報告する。

(8) 被害者の救済措置

相談・申し立ての時点であっても、ハラスメントの疑いのある行為が継続し、被害者を救済する措置が必要と判断される場合は、相談員は緊急避難の措置を学生部委員長を通じて学部長に要請する。また、相談者(被害者)の心理的なケアにも十分対応しなければならない。

(9) プライバシーの保護

相談・申し立て、事実調査等のあらゆる過程において、被害者の名誉とプライバシーの保護を最優先とし、個人情報が外部に漏れることがないように最善を尽くす。また、相談者(被害者)が相談・申し立て等を理由に、就学の不利益(報復)を被ることのないように配慮をする。

23. 災害に対する予防と事故遭遇時の対応

(1) 災害に対する予防と対応

a. 地震及び火災発生時の対応については、「埼玉医科大学保健医療学部危機管理マニュアル」に詳しく書いてあります。マニュアルの文章及びそれに続く対応図や避難場所地図、消火器具の配置図などに目をとおし、日ごろから危機管理の意識を持ってください。

b. 火災予防に努めてください。構内は原則として禁煙です。指定の場所以外での喫煙はできません。また、構内において火気を使用する場合には許可が必要です。

C. 埼玉県南西部地方に大雨・暴風警報または、大雪警報が発令された場合には、授業や実習を中止とすることがあります。警報発令時の授業や実習の中止に関する判断は、警報が発令された時間により異なります。

(2) 安全運転及び事故遭遇時の対処

a. 自転車、自動二輪車、自動車を運転する場合には、交通ルールを守り安全運転を心がけてください。また、飲酒運転は厳禁です。

b. 事故に遇った場合には先ず人命救助に努め、その後、大学（保健医療学部・事務室）に速やかに報告してください。

＜連 絡 先＞Tel：042-984-4801　e-mail: hokeniryou@saitama-med.ac.jp

＜報告事項＞氏名・学科・学年・事故遭遇時間と場所・状況・負傷者の有無

24. 海外への旅行等

観光、語学研修などで海外旅行をする場合などは、事前に海外旅行届を事務室に提出してください。

25. 安全管理は自らの手で

近年、日本全国で常識を超えた凶悪な事件が頻発していることは、新聞やテレビを通じて誰でも知っています。路上で、駅で、さらには自分の家でさえも、事件が起こっています。

本学の周辺は民家が少なく、県道も人通りはまばらです。とくに夜間では大学構内といえども必ずしも安全とはいえないことに留意して、登下校時の安全を図ってください。

また、一人暮らしの場合には、複数の鍵をつける、防犯チェーンをつける、見知らぬ人物の来訪時に簡単にドアを開けない、2階の部屋でも窓を開け放して寝ないなど、自らの安全に関する十分な注意を払うことが必要です。

安全管理は人任せでなく自らの責任で行うことを肝に銘じてください。

学生の懲戒処分における標準ガイドライン

本学では、学則第 29 条に定める懲戒処分について、処分の適正と公正を図る観点から、処分の指針となる標準ガイドラインを制定しています。

埼玉医科大学学則第 29 条及び埼玉医科大学大学院学則第 27 条に規定する学生の懲戒の手続きについて

（令和 2 年 3 月 27 日制定）
学長裁定第 4 号

埼玉医科大学学則(昭和 47 年 2 月 16 日制定)第 29 条及び埼玉医科大学大学院学則(昭和 53 年 3 月 24 日制定）に規定する学生の懲戒については、次の手続きによるものとする。

1．学部長（大学院にあっては研究科長、以下同じ）は、学生の行為が懲戒の対象となりうることを認識した場合、速やかに学長に報告するとともに、学生部長等に対し事実関係の調査を行うよう指示をする。この場合、学長は必要に応じ調査委員会の設置を命ずることができる。
2．当該学生からの事情聴取にあたっては、学生の人権に配慮したうえで行い、弁明の機会を十分に与えるものとする。但し、当該学生が逮捕拘留される等により、直接事情聴取ができない場合はこの限りではない。
3．調査結果の報告を受けた学長は事実関係の認定を行い、学部長等と協議の上、「学生の懲戒処分における標準ガイドライン」を参考に、懲戒処分の方針を決定する。
4．学長は懲戒処分の方針について教授会（大学院にあっては研究科委員会、以下同じ）の意見を聴き、処分を確定する。
5．懲戒処分については、本人に通知するとともに、学内に告示する。
6．学部長は、学長により懲戒処分が決定されるまでの期間、当該学生を自宅謹慎とすることができる。
7．無期停学処分を解除する場合、及び有期停学処分を延長する場合についても、学長は教授会の意見を聴いたうえで決定する。
8．学長は、懲戒決定前に当該学生から退学の申し出があった場合には、この申し出を受けないことができる。

附則

令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

以上

学生の懲戒処分における標準ガイドライン

区分	非違行為	懲戒処分		
		退学	停学	けん責
犯罪行為	殺人、強盗、放火等の凶悪な犯罪行為（未遂を含む）	○		
	暴力、窃盗、恐喝、詐欺、万引きなどの犯罪行為	○	○	
	薬物犯罪（脱法ドラッグを含む）	○		
	ストーカー、痴漢、盗撮等の犯罪	○	○	
	コンピュータ、SNS の不正使用または不適切使用	○	○	○
交通違反	飲酒運転・無免許運転・暴走運転等の危険運転（事故の有無は問わない）	○	○	
	ひき逃げ	○		
	その他の交通法規違反による人身事故		○	○
	交通法規違反の教唆・幇助		○	○
	本学敷地内・周辺での無断駐車		○	○
飲酒	飲酒を強要し重篤な事態を生じさせた場合	○	○	
	満 20 歳未満の学生と知りながら飲酒を勧める行為、満 20 歳未満の学生の飲酒行為		○	○
試験・授業に係る不正	カンニング等の不正行為 レポート等の盗作や剽窃		○	○
	授業出席に係る不正行為		○	○
学問的倫理	論文等作成における捏造、改ざん、盗用等	○	○	○
ハラスメント	各種ハラスメントによる人権侵害	○	○	○
その他	本学の教育方針に違背する等、学生の本分に反する行為	○	○	○

具体的な処分については、以下を勘案し量定を決定する

・懲戒対象行為の動機、態様、過失度合い

・他の学生や社会への影響

・過去に懲戒対象行為を行っているか

諸手続き

１．願入れ・届け出

学生生活を送るために必要な願入れ・届け出には多くの種類がありますので、関係する規定をよく理解し、記載事項、提出時期、提出先などを誤らないように注意してください。
なお、願入れ・届け出の必要が生じた場合には、次の要領に従って、速やかに行ってください。

１）事務室に備え付けの所定の用紙を使用してください。
２）所定の用紙がない場合は、A4 版の便箋を使用し、事由を具体的に記載してください。
３）戸籍記載事項の変更について届け出る場合は、戸籍抄本を添付してください。
４）特に、次の変更については速やかに届出てください。
(1) 学生本人の戸籍記載事項の変更
(2) 学生本人の現住所や電話番号の変更
(3) 保証人の変更
(4) 保証人の住所変更

２．証明書の交付

各種証明書の交付を要する場合は、『証明書交付願』に必要事項を記入し、事務室に提出してください。なお、証明書の交付時期は翌日（金曜日提出の場合は翌週月曜日以降）を原則としていますが、証明書の種類によっては暫時を要しますので、適宜、窓口で確認してください。

３．窓 口

１）窓口
日高キャンパス　保健医療学部 A 棟 1F　事務室
川角キャンパス　理学療法学科校舎 1F　事務室
２）受付時間
月曜日から土曜日　　8:30～17:00
（日曜日・祝祭日・年末年始は取扱いません）

願入れ・届け出ならびに証明書交付の概説

１．身上関係

書　類	概　説	備　考
改姓・改名届 （様式 11 号）	姓または名を変更した場合	戸籍抄本添付
保証人変更届 （様式 12 号）	入学時に提出した誓約書の保証人を変更する場合	保護者連署
保証人住所変更届 （様式 13 号）	入学時に提出した誓約書の保証人住所に変更が生じた場合	保護者連署
住所・本籍変更届 （様式 14 号）	住所や本籍が変更になった場合	《本籍変更の場合》 戸籍抄本添付

２．学籍関係

書　類	概　説	備　考
休学願 （様式 21 号）	疾病その他やむを得ない事由のため、3 箇月以上修学できない場合　（学則第 8 章 第 22 条）	《疾病の場合》 診断書添付
復学願 （様式 22 号）	休学中の学生が復学する場合 （学則第 8 章 第 23 条）	《疾病の場合》 診断書添付
退学願 （様式 23 号）	退学する場合 （学則第 8 章 第 25 条）	《疾病の場合》 診断書添付
学生証･ﾈｰﾑｶｰﾄﾞ 再交付願 （様式 25 号）	学生証またはネームカードを紛失した場合	発行：1 週間 手数料： 学生証 2,000 円 ﾈｰﾑｶｰﾄﾞ 500 円

３．授業関係

書　類	概　説	備　考
履修届 （所定用紙を配布）	履修登録のため、年度始めに指導教員と相談し、指導教員が押印したものを届け出る。	
欠席届 （様式 31 号）	授業を欠席した場合	《必要に応じ》 診断書･遅延証明書等添付
企業説明会に伴う授業欠席届 就職活動届 （様式 31-2）	企業説明会に出席する関係で欠席する場合	表面：事前届出 裏面：事後届出
忌引届 （様式 32 号）	忌引きが発生した場合	保護者連署
聴講願 （様式 33 号）	履修科目以外の、所属ないし他学科科目の聴講を希望する場合	

書　類	概　説	備　考
他専攻受講願 （様式 34 号）	他専攻の科目の履修を希望する場合	
学外教育活動届 （様式 35 号）	学外での教育活動を行う場合	
就職活動による欠席届 （様式 36 号）	就職活動の関係で欠席する場合	

４．試験関係

書　類	概　説	備　考
試験欠席届 （様式 41 号）	定期試験を欠席した場合	《必要に応じ》 診断書･遅延証明書等添付
追試験受験願 （様式 42 号）	追試験を希望する場合	
追試験受験届 （様式 43 号）	追試験を受験する場合	手数料：0 円
再試験受験届 （様式 44 号）	再試験を受験する場合	手数料：2,000 円
仮学生証交付願 （様式 45 号）	試験時に学生証およびネームカードを忘れた場合	手数料：500 円

５．証明書関係

書　類		概　説	交付手数料
証明書交付願（様式 51 号）	在学証明書	遠隔地保険証の交付や納税手続きを行なう場合など	発行：翌日午後 手数料：300 円
	成績証明書	就職試験を受ける場合など	
	卒業･修了見込み証明書	就職試験を受ける場合など	
	卒業･修了証明書	就職先などに提出する場合など	
	単位修得見込証明書	大学院に進学する場合など	発行：適宜 手数料：300 円
	内申書	大学院に進学する場合など	
	調査書	大学院に進学する場合など	
	推薦書	大学院に進学する場合など	
	健康診断書	奨学金申請あるいは実習などで使用する場合	発行：1～2 週間 手数料：2,000 円
※ 学生旅客運賃割引交付願（様式 52 号）		JR 各社の片道で 100 キロメートルを超える区間を乗車する場合	発行：翌日午後

※ 学生旅客運賃割引の使用目的について
交付は、原則として、次の目的をもって旅行をする必要があると認められる場合に限ります。

(1) 休暇、所用による帰省
(2) 実験実習並びに通信による教育を行う学校の面接授業及び試験などの正課の教育活動
(3) 学校が認めた特別教育活動又は体育・文化に関する正課外の教育活動
(4) 就職又は進学のための受験等
(5) 学校が修学上適当と認めた見学又は行事への参加
(6) 傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理
(7) 保護者の旅行への随行

６．学生団体関係

書　類	概　説	添付・他
団体設立願 （様式 61 号）	学内団体を設立しようとする場合	団体員名簿
団体変更･継続届 （様式 62 号）	（変更）　学内団体の届出事項に変更が生じた場合 （継続）　毎年 5 月に継続届を提出のこと	団体員名簿
団体解散届 （様式 63 号）	学内団体を解散する場合	
試合･合宿許可願 （様式 64 号）	試合あるいは合宿のため学外で活動する場合	参加者名簿
団体名簿届 （様式 65 号）	学内団体（医学部を含む）の学生名簿を届け出る場合	学生名簿

７．その他

書　類	概　説	添付・他
通学用自動車等 登録申請書 （様式 71 号）	バイクや自動車を利用して通学する場合	
駐車場利用申込書 兼 賃借契約書 （様式 72 号）	日高キャンパス内の自動車駐車場を利用する場合	学生証
海外旅行届 （様式 73 号）	海外への観光あるいは語学研修で海外旅行をする場合	
集会許可願 （様式 74 号）	学内外を問わず、本学学生として集会や催しものなどを行なう場合	
印刷物掲示･配布願 （様式 75 号）	印刷物を学内掲示する場合および配布する場合	掲示･配布物 のサンプル
教室使用願 （様式 76 号）	自己学習や研究などで午後 8 時以降まで教室の使用を希望する場合	
施設使用願 （様式 77 号）	自己学習や研究などで午後 8 時以降まで教室以外の施設の使用を希望する場合	
備品使用願 （様式 78 号）	大学の備品などを課外活動その他の目的で使用する場合	
事故届 （様式 81 号）	学内および学外で発生した事件や事故を報告する場合	

図書館の利用案内

保健医療学部図書館ホームページ：http://smswww/hoken/tosho/index.html

１．開館時間

日高キャンパス分館　　月曜～金曜：8:45～19:45　　土曜：8:45～17:00
川角キャンパス分館　　月曜～金曜：8:45～18:30

２．休館日

- 日曜日(川角キャンパスは土曜日も休館)、国民の祝日、創立記念日(5 月 4 日)
- 年末年始

※ 開館時間の変更や臨時休館については、掲示や図書館ホームページでお知らせします。

３．利用上の注意

- 館内では、携帯電話での通話と充電を禁止します。
- 館内では、飲食及び喫煙を禁止します。
- 借りた資料は期限を守って返却してください。
- 各図書館内の掲示にも気をつけて、ルールを守ってご利用ください。

４．貸出・返却

1）貸出：借りたい資料と学生証をカウンターにお持ちください。学内の全ての図書館で借りることができます。

(1) 貸出期間
　図書・視聴覚資料 -------- 2 週間
　製本雑誌 ---------- 1 週間
　新着雑誌(未製本) ------ 1 日(翌日まで)

(2) 貸出冊数：5 冊

(3) 貸出延長：予約のない場合に限り、延長が可能です。資料をカウンターまでお持ちください。

(4) 予約：貸出中の資料を予約することができます。カウンターでお申し込みください。返却され次第、掲示等でお知らせします。

2）返却：カウンターに持参してください。学内のどの図書館でも返すことができます。

※ 閉館時はブックポストに返すことができます。

※ CD、DVD が附属している図書や視聴覚資料は、カウンターに返却してください。破損の原因となるのでブックポストには入れないでください。

3）返却に関する注意事項

(1) 延滞した場合：罰則規定により、延滞日数に応じて資料の貸出が停止されます。

【停止期間】

15 日から 30 日の延滞 ------ 30 日の貸出し停止

31 日から 60 日の延滞 ------ 90 日の貸出し停止

61 日以上の延滞 ---------- 180 日の貸出し停止

(2) 汚損・紛失した場合：貸出中の図書を紛失・破損・汚損した場合は、同様の現物をもって弁償となります。紛失等がわかり次第、ご連絡ください。

５．複写

著作権法の範囲で複写をすることができます。

- 複写できる条件

  目的：調査研究

  資料：図書館所蔵の資料(ノート、プリント類は不可)

  図書の複写範囲

  ：半分以下

  雑誌(定期刊行物)の複写範囲

  ：次号が刊行されたもの、または刊行後 3 ヶ月たっているものの全部

  部数：1 人につき一部

- 金額

  白黒：1 枚 10 円、カラー：1 枚 30 円

６．資料の配架順

1）図書：分類表に従って主題ごとに並べられています。

医学と医学関連分野 ---------- 米国国立医学図書館分類表

医学と直接関連のない分野 ------ 日本十進分類表

2）雑誌：アルファベット順に並べられています。

日高キャンパス分館＝日本語雑誌と外国語雑誌が別々に並べられています

川角キャンパス分館＝日本語雑誌と外国語雑誌が一緒に並べられています

７．資料の探し方

1）データベース等を利用して探す。

(1) 学内に所蔵する資料を探す：蔵書検索(OPAC)

必要な資料が学内の図書館にあるか、探すことができます。

(2) 論文を探す。

論文検索データベースを使って、雑誌に掲載された論文を探すことができます。

(3) 電子ジャーナルを見る。

学内のパソコンから雑誌論文の全文をみることができます。

※ 詳細は図書館のホームページをご覧ください。

2）図書館員に聞く。

資料の探し方や OPAC の使い方、資料の所蔵など、図書館員がお答えします。

８．学内の図書館の利用

埼玉医大及び系列学校全ての図書館が利用できます。学生証が必要です。

他のキャンパスの図書館に資料がある場合には、資料や複写した文献を取り寄せることができます。カウンターでお申込みください。

○　毛呂山キャンパス本館(埼玉医科大学附属図書館)

〒350－0495　埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

Tel:049-276-1417

○　総合医療センター分館(総合医療センター3 階)

〒350－8550　埼玉県川越市大字鴨田辻道町 1981

Tel:049-228-3641

○　日高キャンパス分館

〒350-1241　埼玉県日高市大字山根 1397-1

Tel:042-984-4814

○　川角キャンパス分館

〒350-0496　埼玉県入間郡毛呂山町大字川角字峯畑 981

Tel:049-295-8243

○　短期大学図書館

〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

Tel：049-276-1537

○　総合医療センター看護専門学校図書室

〒350-8550 川越市鴨田辻道町 1981

Tel:049-228-3816

○　毛呂病院看護専門学校図書室

〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

Tel:049-276-2057

９．学外の図書館の利用

学内の図書館に資料がない場合は、他大学等の図書館の文献を利用(文献取寄せ・直接利用)することができます。

他大学等に連絡する必要がありますので、カウンターでお申込みください。

ハラスメントに関する手引

[ハラスメントとは]

ハラスメントとは、相手の意に反する不適切な言動をいい、教職員と学生、先輩と後輩、男性と女性といった関係等で、一方がその地位・立場・力関係を利用して、精神的な面を含めて相手に不利益や損害を与えたり、環境を悪化させることです。性的な関心や欲求に基づく言動によるセクシュアルハラスメント、職場における職務権限を利用した暴言や態度による嫌がらせを言うパワーハラスメント、研究教育の場における権力を利用した嫌がらせを言うアカデミックハラスメント、診療の場で医師や医療従事者が患者に対して不用意に発する暴言や態度を言うドクターハラスメントなどがあります。

[ハラスメントの具体例]

(1) セクシュアルハラスメント・・・性的な内容の発言・性的な行動

スリーサイズを聞く。
卑猥な冗談を交わす。
「おばさん、おねぇちゃん、僕ちゃん」などと人格を認めないような呼び方をする。
女性（男性）を蔑視したり差別したりするような発言を繰り返す。
卑猥な写真・記事をわざと見せたり読んだりする。
しつこく食事やデートに誘う。
性的及び相手に不快感を与えるような内容のメール・手紙を送る。
つけまわす。
酒の席でお酌やデュエット・チークダンスを強要する。

(2) パワーハラスメント・・・職場での権限を笠に着た理不尽ないじめ嫌がらせ

業績が厳しく、重圧にさらされた上司が部下をはけ口に嫌がらせをする。
同僚の前で「能無し、大学のダニ」などと人格を否定する暴言を吐く。
過度な仕事を押し付ける。職場内で無視するなど部下を孤立させる。

(3) アカデミックハラスメント・・・教育・研究の場での権力を利用した差別、嫌がらせ

教員が私的な用事を学生にいいつけ、学生が断ると、もう面倒見ないと無視する。
特定の学生に対し、必要がない作業を命ずる。
言うことを聞かない(学位を出さない､就職を世話しない)と単位をやらないと発言する。
教育・研究と関係なく時間を拘束される（教員より先に帰れない)。

(4) ドクターハラスメント・・・患者に心の傷を残すような暴言､態度､雰囲気

患者の不安を取り除くはずの医師や医療従事者が患者に対して、「急いで手術しないと治らないよ」「遊んでいるからこんな病気になるんだよ」などと言う。

［相談手続きについて］

ハラスメントの被害を受けていると思う人は、相談員に対して相談あるいは苦情を申し出ることができます。この申し出は、ハラスメントの直接の被害者だけでなく、他の教職員、関係者等に対するハラスメントを不快に思う人によっても行うことができます。

ハラスメントについて、相談あるいは苦情の申し出をする場合は、次のような方法でして下さい。

(1) ハラスメント相談窓口へ電話、ファックス、手紙、メール等により連絡して下さい。
連絡先・・・ハラスメント相談窓口

(2) 相談員と相談日時及び相談場所の調整をとり、相談します。
［例；電話による場合］

相談者　「○○部ですか？
私は、○○部の××といいますが、セクハラの関係で相談したいのですが。」

相談窓口　「わかりました。
それでは、事情をお聞きしたいので□月□日の△△時に＊＊室でお会いできますか？
よろしければ○○部の職員とお話をお聞きしたいのですが。」
××室で事情聴取した後、処理していく。

［例；手紙による場合］

相談者　相談窓口の相談箱等へ手紙を入れる。
手紙の内容
「ハラスメント相談窓口　御中
私は、○○部の××といいますが、セクハラの関係で相談したいのです。
お話を聞いて頂きたいので、ご都合の良い日をお知らせください。
よろしくお願いします。」

相談窓口　相談者に対して日程、場所等を連絡する。

［各種ハラスメントの具体的事例］

ハラスメントには多様な形態があるが、以下にその具体例を示す。

1．セクシュアル・ハラスメント

(1) 性的欲求に対する服従又は拒否を理由に、利益又は不利益を与え、あるいはそれを示唆すること。

①個人的な性的欲求への服従又は拒否を、就学上、研究上、就労上の指導、評価、学業成績等に反映させること。

②就学上、研究上、就労上又は学生生活における利益又は不利益を条件として、性的働きかけをすること。

(2) 明確な利益又は不利益の提示は伴わないが、相手の望まない性的行為を行うこと、又はそれを求めること。

①執拗若しくは強制的な性的行為への誘い、あるいは交際の働きかけをすること。

②強引な接触や性的行為を行うこと。

③性的魅力をアピールするような服装や振る舞いを要求すること。

(3) 性的言動や性にかかわる掲示、性差別的な言動等により、不快の念を抱かせるような環境を作ること。

①性的な意図をもって、身体への一方的な接近又は接触などを行うこと。

ア　相手の身体を上から下まで長い間じろじろ眺め又は目で追ったりすること。

イ　相手の身体の一部（肩、背中、腰、頬、髪等）に意識的に触れること。

②性的な面で、不快感をもよおすような話題、行動及び状況をつくること。

ア　職場等にポルノ写真、わいせつ図画などを貼る等の扇情的な雰囲気をつくること。

イ　卑猥な絵画、映像又は文章等を見ることを強要すること。

ウ　コンパ、親睦会のつきあい等において集団で下品な行動をとること。

エ　性に関する悪質な冗談やからかいを行うこと。

オ　相手が返答に窮するような性的又は下品な冗談をいうこと。

カ　相手が不快感を表明しているにもかかわらず、その場からの離脱を妨害すること。

キ　意図的に性的な噂を流すこと。

ク　個人的な性的経験を尋ねること、あるいは経験談を話すこと又は聞くことを強要すること。

③性的特徴を理由とする蔑視的な発言を行うこと。

ア　性的理由のみによって、性格、能力、行動及び傾向的において劣っている、あるいは望ましくないと決めつけること。

イ　「権利を主張する女性は、性的魅力に乏しい。」等、個人の主張や意見を、性的属性に結びつけること。

ウ　相手が望まない（おじさん、おばさん、坊や、ねぇちゃん）等の呼称を蔑視的に使用すること。

2.パワー・ハラスメント

組織・上司が職務権限を使って、職務とは関係のない事項について、あるいは職務上であっても適正な範囲を超えて、有形無形に部下に圧力を加えること。

① 仕事上の地位などを笠に着て人格を否定するような暴言を吐くこと。
② 職場で部下を孤立させること。
③ 過度な仕事量を強要するなど、部下の健康を危険にさらすこと。
④ 同僚の前で罵声を浴びせるなど、言葉の暴力や実際に暴力をふるうこと。
⑤ 権力を濫用し、部下を脅迫すること。
⑥ 仕事で部下の信用を傷つけること。

3．アカデミック・ハラスメント

研究教育の場において、権限を利用した嫌がらせをすること。

① 上司にあたる教授等が教員に対し、研究妨害、昇任差別、退職勧奨等をすること。
② 指導教員等が指導的立場や権限を不当に利用し、学生に対し、退学・留年勧奨、指導拒否、学位論文の取得防止等をすること。
③ 教員等が学生に対し、就職・進学・単位取得妨害、成績評価、卒業判定等について差別すること。

4．ドクター・ハラスメント

診療の場で、患者に心の傷を残すような医師や医療従事者による暴言や態度を言う。

① 強引に治療に従わせる。
「このまま退院したら半年でがんは再発する。」
② 患者やその家族を絶望に追い込む。
「どうせ助からないんだから無駄なことはしない。」
③ 患者の治療や回復よりも病院の利益を優先する。
「急いで手術をしないと治らない。」
④ 人間として許せないと思われるほど、患者の心を傷つける。
手術後の若い女性に対し「こんな体じゃお嫁にいけないね。」
⑤ 産婦人科などで女性を傷つける。
乳がんの検診で「あんた胸大きいね」
⑥ 患者の状況を理解せずにちぐはぐな言動。
患者は痛みで涙を流しているのに「何か悲しいことがあったの？話してごらん。相談にのってあげるから。」
⑦ 子どもの治療時に親に向かって行う。
「こんな病気にしたのはお母さんのせいだからね。」

埼玉医科大学 保健医療学部
危機管理マニュアル（抄）

１　保健医療学部危機管理マニュアル
２　火災発生時の行動マニュアル図（学生・教職員）
３　地震発生時の行動マニュアル図（学生・教職員）
４　地震発生後の行動マニュアル図（学生）
５　同（一般教員）【省略】
６　同（一般職員）【省略】
７　同（管理者）【省略】
８　日高キャンパス見取り図（避難場所）
９　川角キャンパス見取り図（避難場所）
１０　消火器・消火栓・火災報知器の配置図（日高ｷｬﾝﾊﾟｽ）
１１　消火器・消火栓・火災報知器の配置図（川角ｷｬﾝﾊﾟｽ）
１２　緊急連絡網【省略】
１３　防災のための日頃の取り組み

緊急連絡先

日高ｷｬﾝﾊﾟｽ

事務室　：　TEL 042-984-4801

夜間及び祝祭日

防災ｾﾝﾀｰ：TEL 042-984-4119／国際医療ｾﾝﾀｰ内

警備ｾﾝﾀｰ：TEL 042-984-4110／国際医療ｾﾝﾀｰ内

川角ｷｬﾝﾊﾟｽ

事務室　：　TEL 049-295-1001

1　埼玉医科大学保健医療学部　危機管理マニュアル

埼玉医科大学危機管理委員会 2012.8

Ⅰ　趣　旨

本マニュアルは、学校法人埼玉医科大学危機管理規程第 14 条に基づき、日高キャンパスおよび川角キャンパスに係る大規模災害などにおける危機管理への対応について定めたものである。

Ⅱ　定　義

1　このマニュアルで「危機」とは次のものをいう。

1）火災の発生　2）震災の発生　3）風水害による被害の発生　4）不審者の侵入
5）危害予告電話の受理

2　このマニュアルで「管理者」とは次の者をいう。

1）全学レベルの管理者：①理事長　②事務局長　③学長
2）現地管理者：①保健医療学部長　②事務室長　③各学科長　④事務室管理職

3　このマニュアルで「緊急連絡網」は別紙のとおりとする。

Ⅲ　危機の際の個別の対応

1 火災の発生

（1）火災の発見と連絡体制

1）火災の発見者は、直ちに大声で周囲に呼びかけて支援を求めるとともに、自らまたは周囲の者と連携して、事務室および消防署（119 番）への連絡を行う。また、火災報知器で警報を発する。事務室：内線 3101、外線 042-984-4801

2）火災の発見者は、消火器または消火栓から引いた消防ホースを用いて初期消火活動を行う。なお、初期消火活動では無理をしないよう心掛ける。天井に火が届きそうな場合には、消火活動を中止して安全な場所に避難する。

3）連絡を受けた事務室職員は、事務室長に報告した上で、現場に急行して初期消火活動に加わるとともに、状況を把握し事務室長に連絡する。事務室長は学部長に状況報告を行う。

4）初期消火活動が無理と判断された場合は、事務室長は直ちに防災センターおよび日高キャンパス防火管理者への報告を行う。これを受け、防火管理者は法人本部への報告を行う。

5）事務室長は、非常放送設備により、出火付近や建物内の学生・教職員に避難の指示を行う。この際、出火状況、初期消火状況、避難の方法、誘導などの緊急情報について周知徹底を図る。

6）学生・教職員は、避難の指示に従い、速やかにあらかじめ定められた避難場所に退避する。避難時には下記の事項に注意する。

・煙が多い場合には、姿勢を低くして、ハンカチなどで口や鼻を覆い、煙を吸い込まないようにする。

・持ち物は最小限にとどめ、いったん避難を開始したら現場には戻らない。

7）避難場所は、日高キャンパスにおいては創立 30 周年記念講堂前広場、川角キャンパスにおいては図書館横芝生とする。避難場所において、教職員は手分けして学生・教職員の安否を確認する。

8）日高キャンパス防火管理者は、学部長、事務室長と連携し、現地対策本部（自衛消防組織本部）を設置する。現地対策本部は、日高キャンパスにおいては保健医療学部事務室、川角キャンパスにおいては川角事務室を第一候補とする。

9）関係者は以上の他、緊急連絡網により、必要な連絡を行う。

（２）自衛消防組織の活動

火災時の自衛消防組織の活動手順については別に定める。

（３）勤務時間外の場合（夜間、休日）

委託している警備会社との警備計画書等による他、次による。

1）火災の発見者は、防災センターおよび消防署（119 番）への通報を行う。また、火災報知器で警報を発する。

2）火災の発見者等は、直ちに消火器等を使用して初期消火活動を行う。

3）初期消火活動では無理をしないよう心がけ、天井に火が届きそうな場合には、消火活動を中止して安全な場所に避難する。

4）関係者は別に定める緊急連絡を行う。

5）関係者は火災の延焼状況により、貴重品の搬出、搬出された物の管理を行う。

２ 震災の発生

震災（地震災害）とは、地震動により直接に生ずる被害及びこれに伴い発生する津波、火事、爆発その他の異常な現象により生ずる被害をいい、震災の発生時間が、勤務時間中の場合と勤務時間外の場合に分けて対応を行う。なお、震災では、交通が極めて困難となったり、外部との通信網が途絶する可能性に留意して行動する必要がある。

ア．勤務時間中の場合

（１）自らの安全の確保

1）出入り口の確保（可能ならドアを開けておく）

2）手近な机やテーブルの下に身をかくす。とくに頭部を守るようにする。窓ガラスや倒れそうな物のそばは避け、落下物に注意する。

3）エレベータの中にいた場合は、各階のボタンを押し、とにかく最寄りの階でおりる。また、廊下や階段では壁際によるが、窓ガラスや落下物に注意する。

4）屋外にいた場合は、建物から離れ、広い場所に退避する。

5）車を運転中であれば、前後に注意しながら速度を緩め停止する。必要に応じて車外に退避する場合は、車のキーは抜かずに車検証を持って出る。

（２）二次火災の発生防止、二次火災発生時の通報・消火活動

1）火を使っている場合は、直ちに火を止める。

2）揺れがある程度おさまったら、ガスの元栓を閉めるとともに、使用機器を停止し、コンセントを抜いておく。

3）二次火災の発生があったら、火災発生時のマニュアルに従い、通報と初期消火活動を行う。

（３）同室者や近くの部屋の安全確認

1）同室者について、倒壊・落下物による下敷きや負傷の有無を確認する。

2）近くの部屋についても、部屋の安全や負傷者の有無を確認する。

（４）学内にいる学生・教員の地震発生後の行動マニュアル

1）学生および教員は、室内の火元や薬品、近辺の実験室の安全を確認するとともに、負傷者などで救援が必要な場合は、事務室に連絡する。教員は学生がパニックにならないよう留意する。教員のうち、実験室等の管理責任者は、当該部署の安全確認を行う。

2）学生は、事務室長（または教員）からの避難指示があった場合は、教員の誘導のもとに最寄りの階段を利用して、速やかに避難場所に移動し待機する。避難場所は日高キャンパスでは創立 30 周年記念講堂とし、川角キャンパスでは図書館西隣の芝生とする。（避難指示がない場合は、授業を継続）

3）学生は、交通状況などによる帰宅困難が明らかとなった場合は、教職員の指示に従い、学内その他の避難場所に移動またはその場で待機する。また、帰宅困難がない場合は、教職員の指示に従い、適宜帰宅する。

4）教員は現地対策本部の指示に従い、学生の指導・監督、各種業務の補佐を行う。

（５）学外にいる学生・教員の地震発生後の行動マニュアル

1）適切な避難場所に移動する。実習先では現地指導者の指示に従う。

2）事務室（または指導教員）に自身の安否と居場所・連絡先を連絡する。自宅にいる場合も連絡する。

3）事務室職員（または指導教員）は、学生・職員の情報を事務室長経由で現地対策本部に報告する。

4）交通状況などによる帰宅困難が明らかとなった場合は、現地指導者の指示に従い、指定された避難場所に移動またはその場で待機する。また、帰宅困難がない場合は、

現地指導者の指示に従い、適宜帰宅する。なお、何らかの事情で居場所を変更した場合には、忘れずに再連絡を行う。

5）学生に同行した教員は、現地指導者の指示に従い、学生の指導・監督、各種業務の補佐を行う。

（６）一般職員の地震発生後の行動マニュアル

1）一般職員は事務室長の指示により、学生・教員への対応、事務室および教室の被害状況調査を行う。

2）負傷者等への救援要請があれば、現場に急行して応急救護措置を講ずるとともに、必要に応じて救急車の手配その他を行う。

3）事務室長からの避難指示が出た場合は、自らも避難場所に向かうとともに、可能な限り学生・教職員の避難誘導を行う。

4）避難場所においては、教員の協力のもとに学生の安否確認を行う。

5）現地対策本部が設置された場合は、対策本部長の指示のもとに、法人の危機管理対策本部との連絡・調整、交通情報等の災害情報の収集、学外にいる学生からの連絡への対応等を行う。

6）学外にいる学生からの連絡を受けた場合、安否の確認、居場所と連絡先の確認を行うとともに、移動時には必ず再連絡するよう指示する。

7）交通状況などによる帰宅困難を想定して、学生・教職員の避難場所の確保や水・食料の手配を検討する。

8）交通状況などによる帰宅困難が明らかとなった場合は、対策本部長の指示に従い、学生・教職員の学内その他の避難場所への誘導またはその場での待機をサポートする。また、帰宅困難がない場合は、対策本部長の指示に従い、適宜帰宅を誘導する。

（７）管理者の地震発生後の行動マニュアル

1）事務室長は、学生・教職員から得られた被災状況をまとめ、学部長、各学科長に報告するとともに、事務局長経由で法人本部に報告する。

2）負傷者があった場合は、応急救護措置のために職員を派遣する。この際、現場付近にいる教員や学生の協力援助を求めることがある。

3）被災状況から避難の必要性ありと判断した場合、事務室長は学部長と協議の上、非常放送設備により避難の指示を行う。

4）事務室長は、学生・教職員の避難の誘導、学外にいる学生からの連絡受理、交通状況等の災害情報収集を職員に指示する。

5）法人本部に危機管理対策本部が設置されたら、事務室長は学部長および同本部と協議の上、現地対策本部を設置する。

（８）現地対策本部

1）学内に在勤している管理者は、避難完了後、危機管理対策本部の指示に従い、速やかに現地対策本部を組織する。

2) 現地対策本部員は管理者および必要な教職員で構成し、現地対策本部長には、Ⅱ「定義」の 2 に示した現地管理者のうち最上位の者が当たる。

3) 現地対策本部は安全で、連絡が容易な場所に設置し、その位置を学内に周知するなお、日高キャンパスにおいては保健医療学部事務室を、川角キャンパスにおいては川角校舎事務室を現地対策本部設置の第 1 候補とする。

4) 現地対策本部は、危機管理対策本部との連絡・調整を図りつつ、引き続き、交通状況等の災害情報の収集、学外学生からの連絡への対応を行うとともに、帰宅困難時への対応、翌日以降の方針の検討、被災の拡大防止、負傷者の救護、行方不明者の捜索、関係者との連絡方法の確立、その他災害の復旧（被災状況の写真撮影を含む。）に必要な措置を実施する。

5) 現地対策本部は、緊急連絡網により被災状況、避難状況等の報告を行う。

6) 現地対策本部員は、本部長の承認の上、帰宅する。

7) 地元被災者の学内への避難には柔軟に対応する。

イ．勤務時間外の場合＝夜間、休日等

(1) 緊急出勤体制

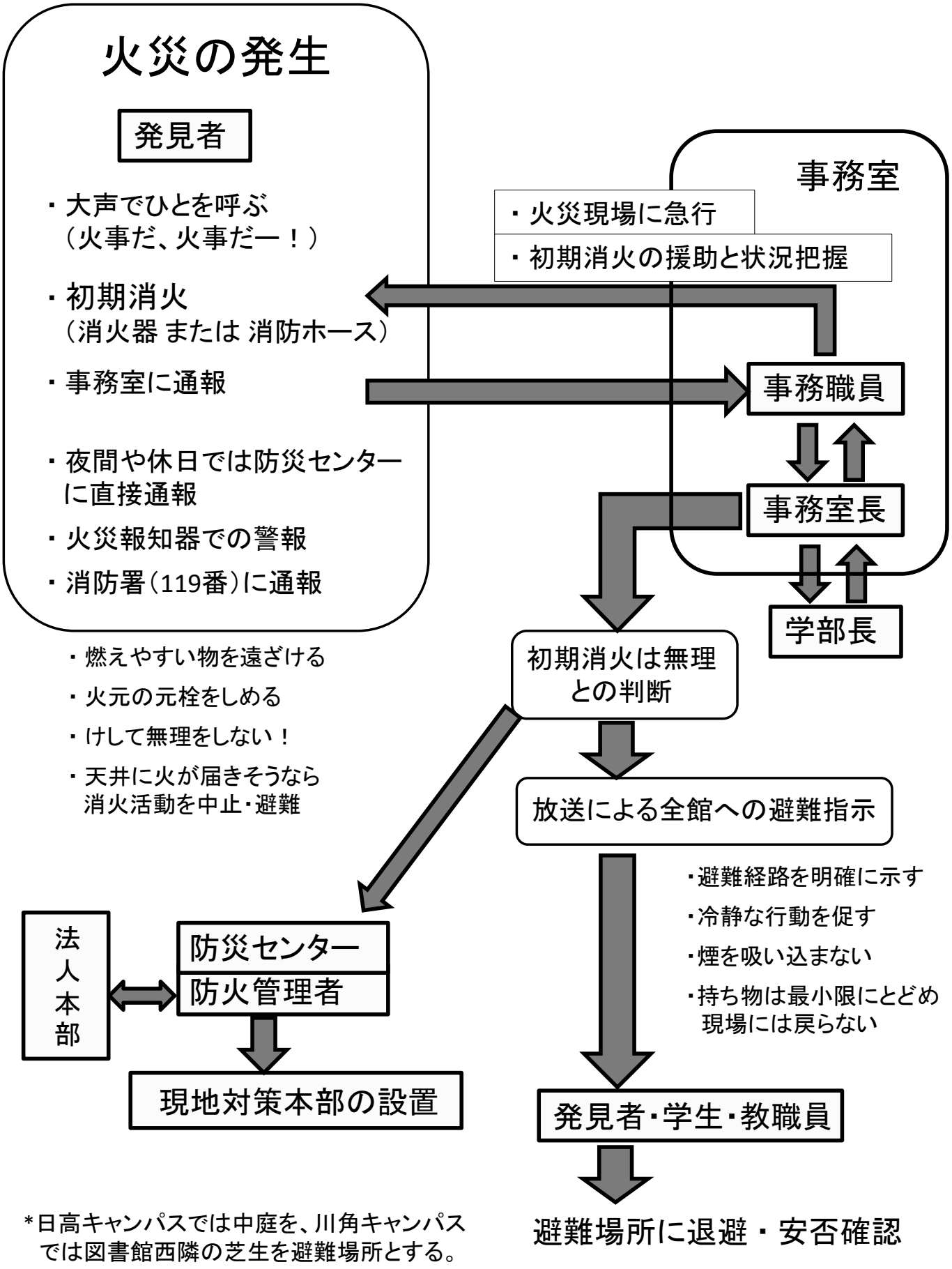
震災時、教職員で大学に緊急出勤できる者は、近親の安否を確認後、大学に出勤し、災害の拡大防止措置を行う。（二次火災の消火措置など）

(2) 緊急管理体制（現地対策本部）の組織

1) 出勤した管理者（管理者が出勤できない場合はその他の教職員）は、被害状況を調査して緊急連絡網により法人本部や他の管理者に連絡するとともに、法人本部と協議の上、現地災害対策本部を組織する。

2) その他の事項は、勤務時間中の対応の場合を準用する。

2 火災発生時の行動マニュアル： 学生・教職員



*日高キャンパスでは中庭を、川角キャンパスでは図書館西隣の芝生を避難場所とする。

3 地震発生時の行動マニュアル： 学生・教職員

大地震の発生

自らの安全確保を優先

出入り口の確保
（ドアを開けておく）

火を使っている場合は
直ちに火を止める

手近な机・テーブルの下に
（とくに頭を守ること）

・窓ガラスのそばは避ける
・倒れそうな物のそばは避ける
・落下物に注意

・エレベータの中にいたら
各階のボタンを押し、とにかく最寄りの階でおりる
・廊下や階段では壁際に
（窓ガラス・落下物に注意）
・屋外にいたら
建物から離れ、広い場所に
（落下物に注意）

同室者の安全確認
（けが人や下敷きなど）

使用機器の停止
コンセントを抜いておく

近くの部屋の安全確認
（けが人や下敷きなど）

余震に注意
二次火災に注意

地震発生後の行動マニュアルへ

4 地震発生後の行動マニュアル： 学生

大地震の発生
（とりあえず自身の安全確保）

揺れがおさまったら・・・

学内にいる場合

室内の火元・薬品などチェック
救援が必要なら事務室に連絡

事務室長または教員からの
避難指示
あり　　なし

避難場所*に移動

授業継続

交通状況などによる
帰宅困難
あり　　なし

教職員の指示に従い
学内その他の避難場所に
移動または待機

帰宅

*日高キャンパスでは創立30周年講堂前広場を、川角キャンパスでは図書館横芝生を避難場所とする。

学外にいる場合

適切な避難場所に移動
（実習先では指導者の指示に従う）

自身の安否と居場所を連絡
（自宅にいる場合も）

学生課
または
指導教員

事務室長

対策本部

交通状況などによる
帰宅困難
あり　　なし

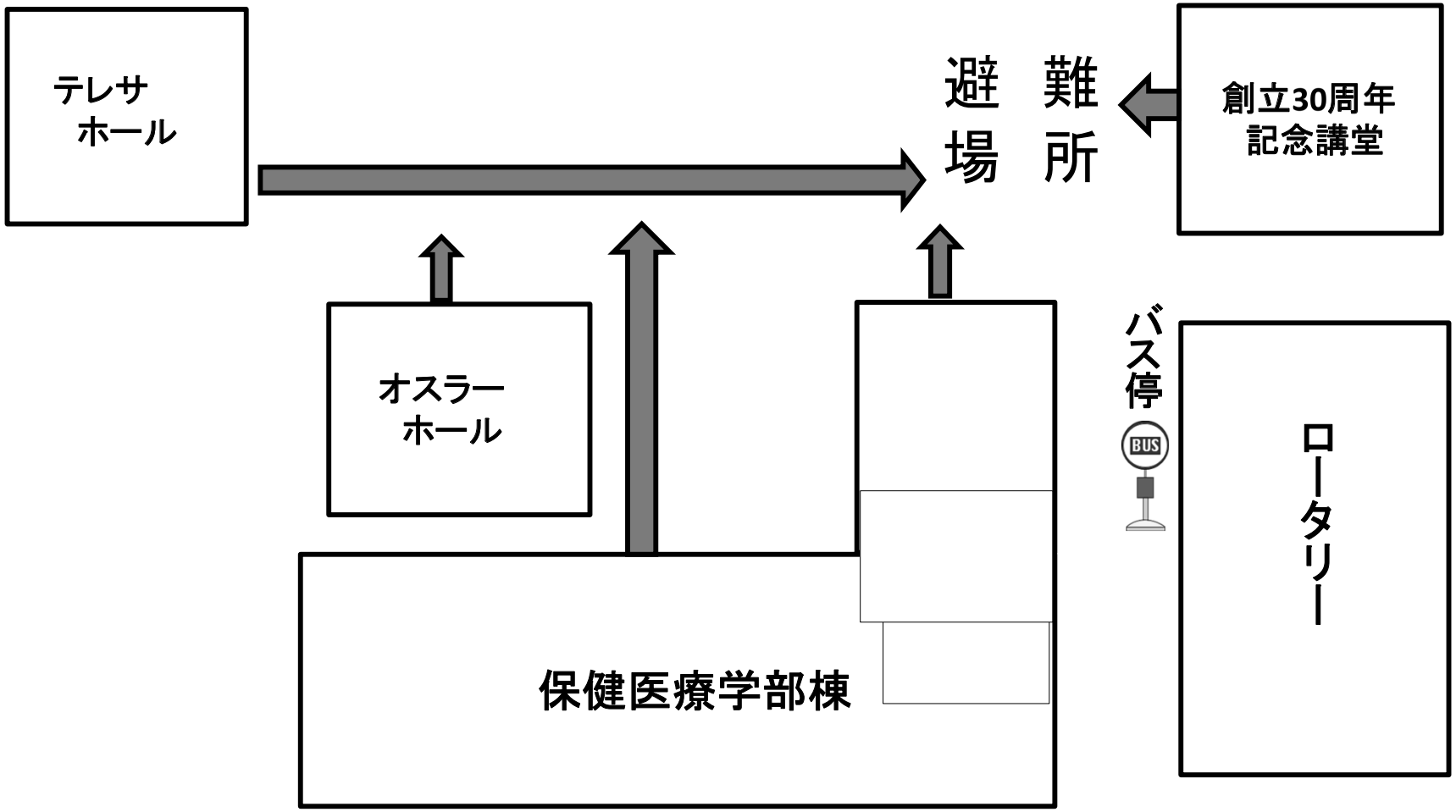
現場指導者の
指示に従い
移動または待機

帰宅

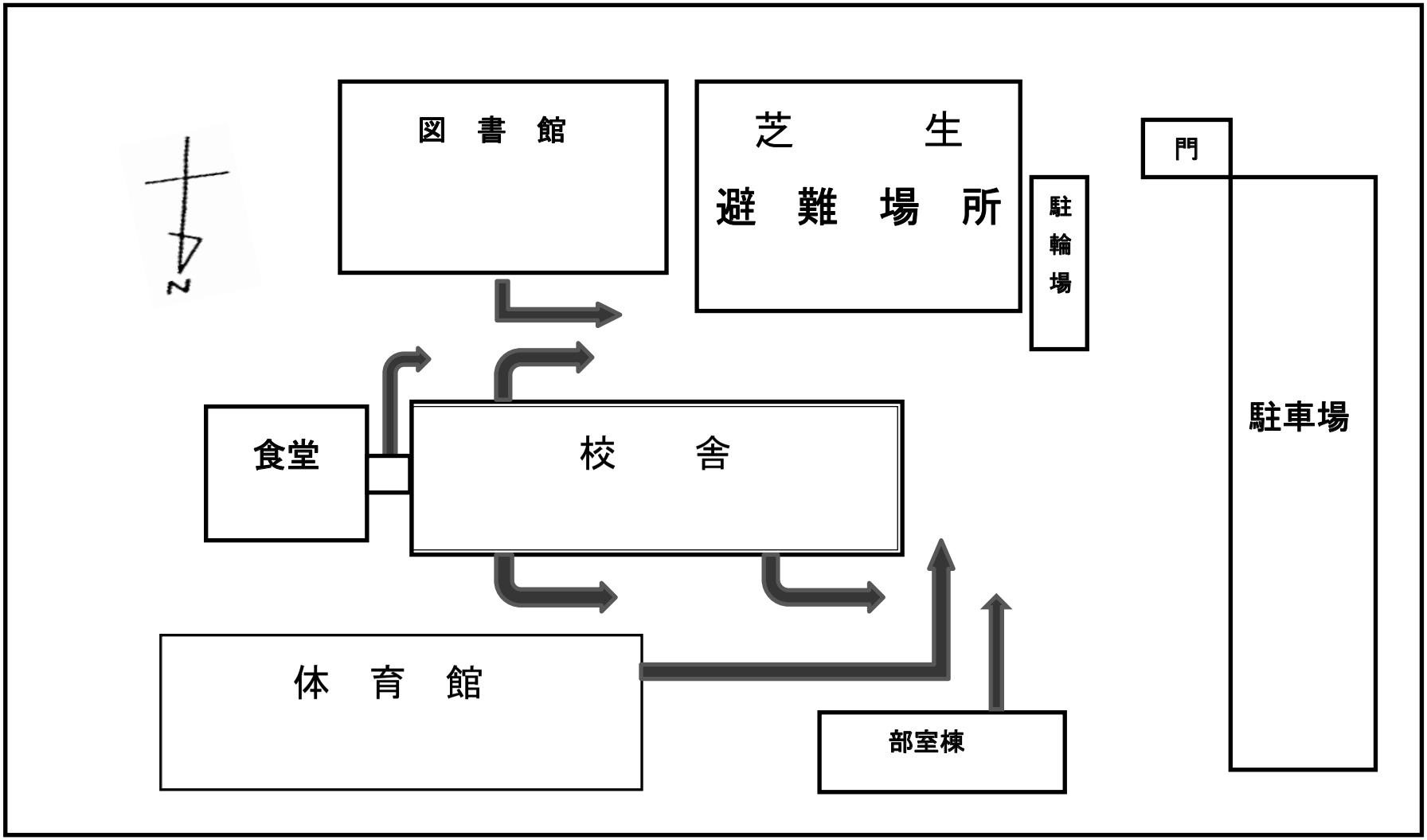
＊居場所を変更した場合には
速やかに連絡すること

夜間・休日の大地震の場合は、翌朝、大学への連絡を！

日高キャンパス見取り図（避難場所）

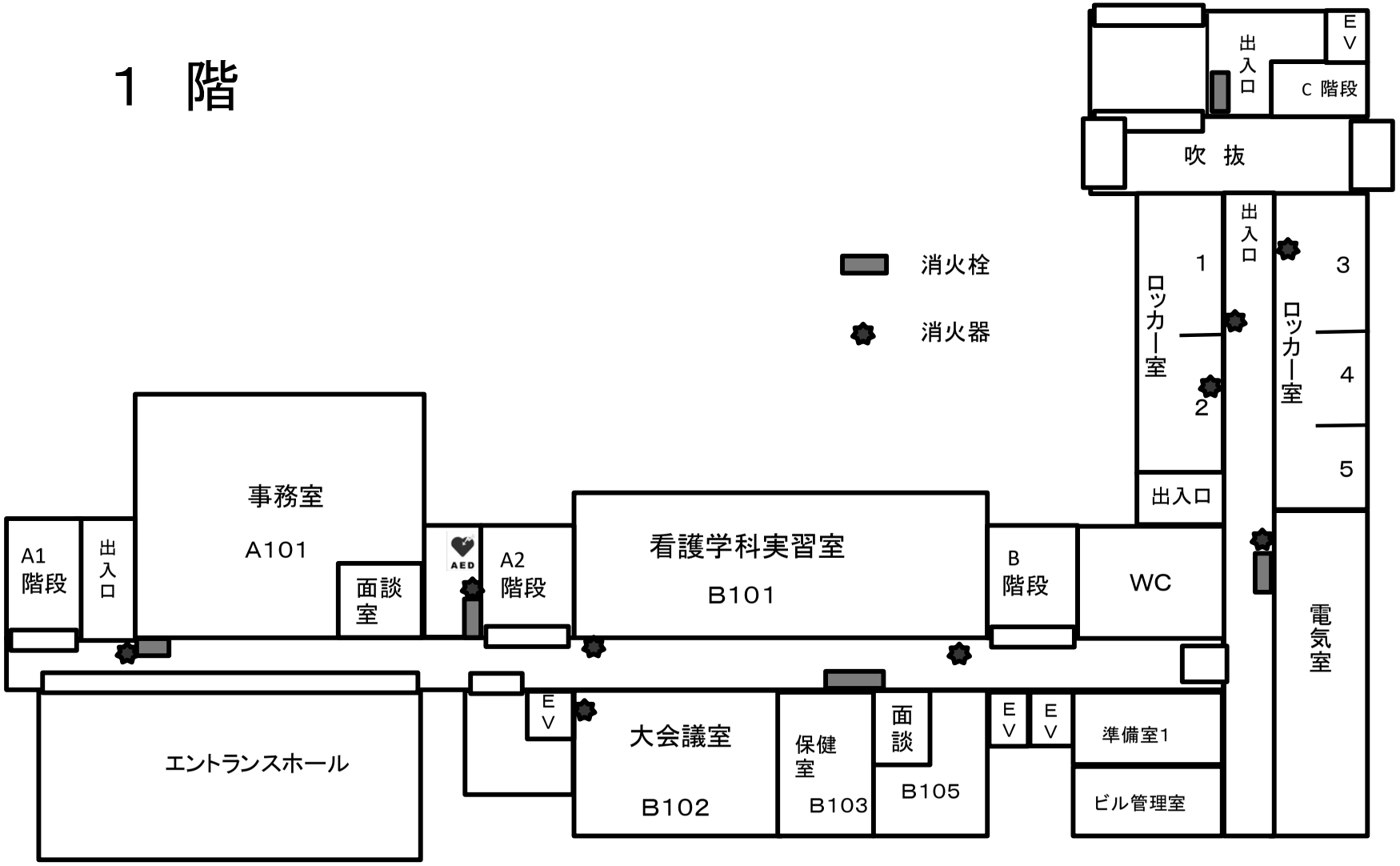


川角キャンパス見取り図（避難場所）



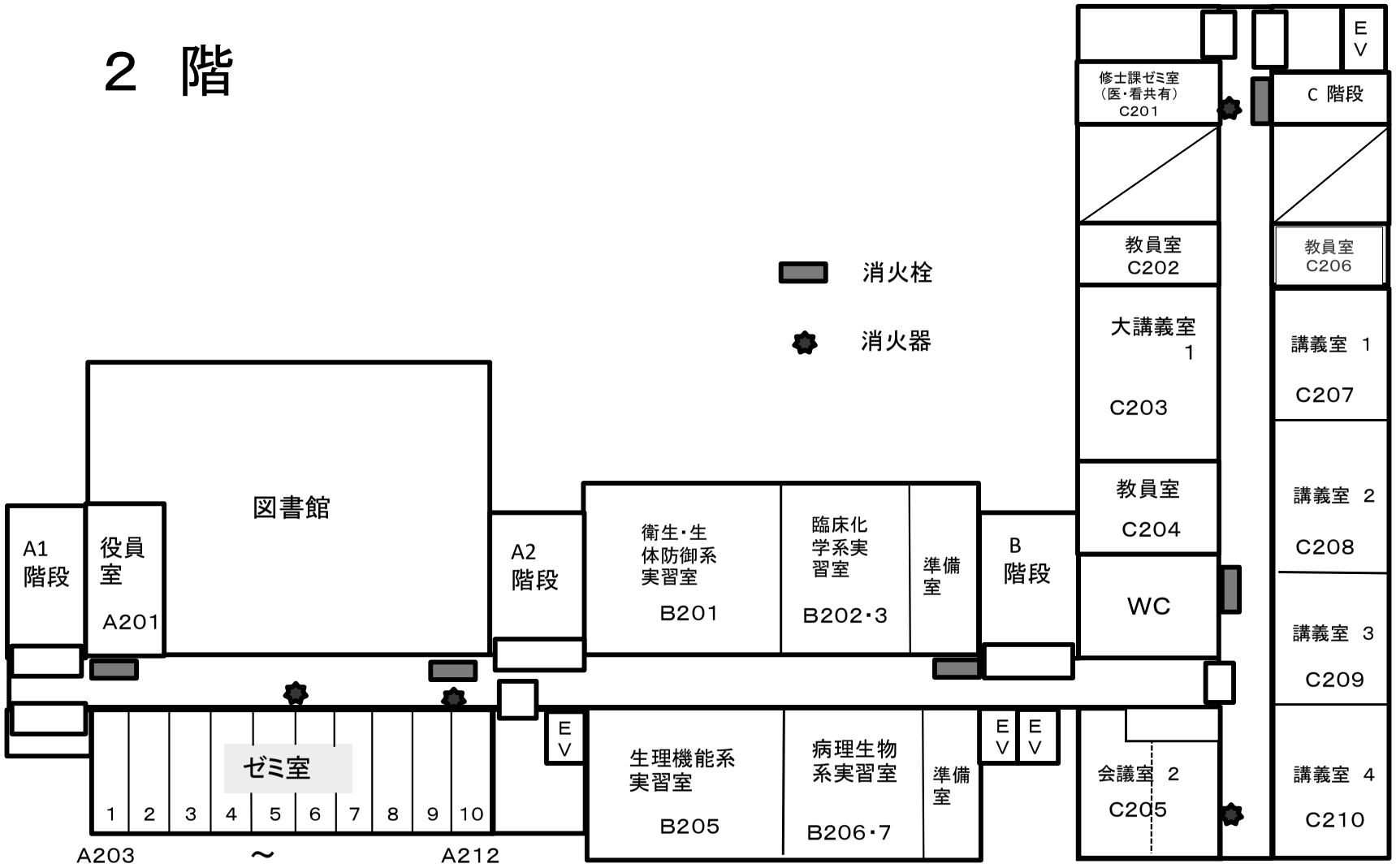
消火器・消火栓・火災報知機の配置図（日高キャンパス・保健医療学部棟）

１　階



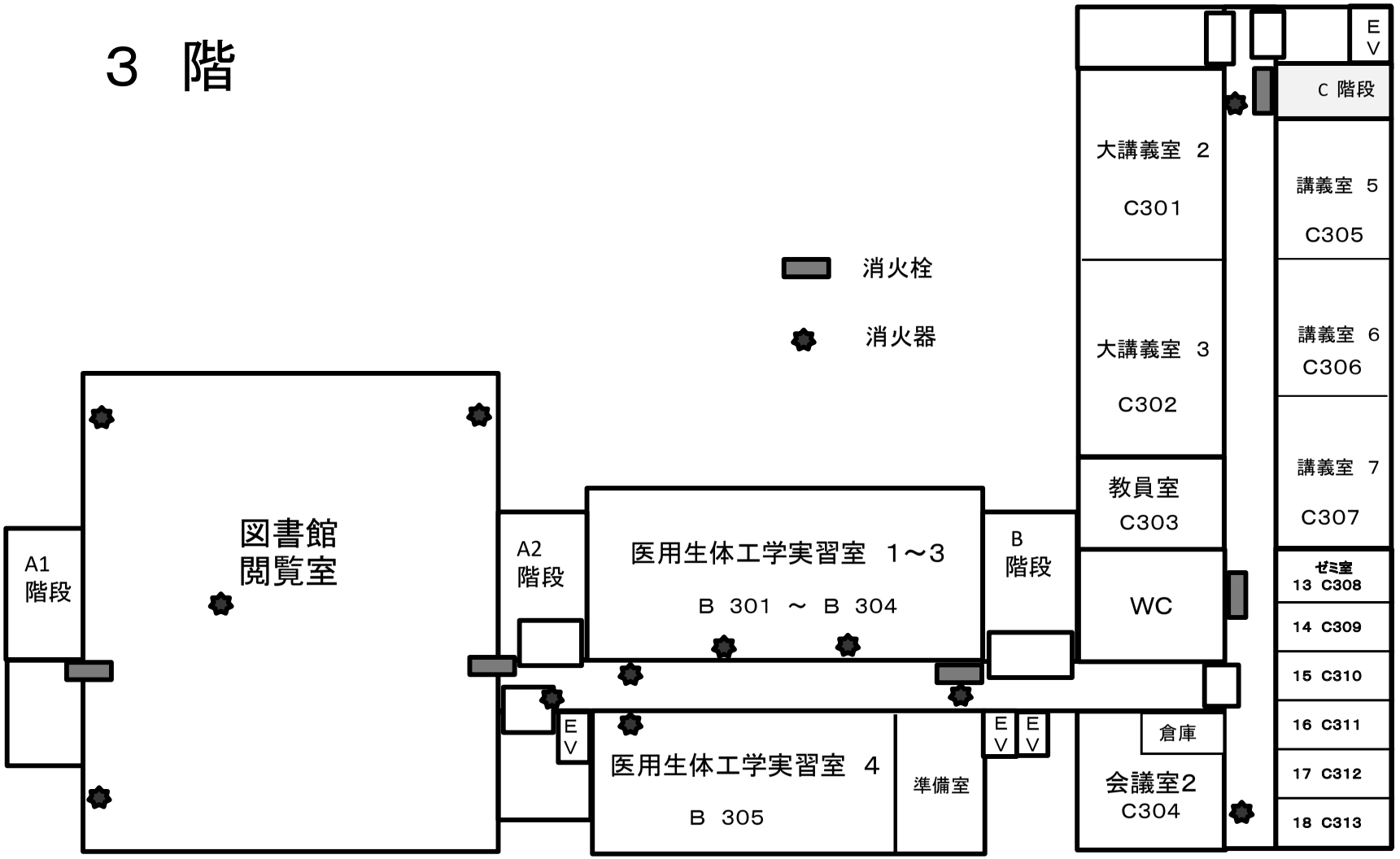
消火器・消火栓・火災報知機の配置図（日高キャンパス・保健医療学部棟）

２　階



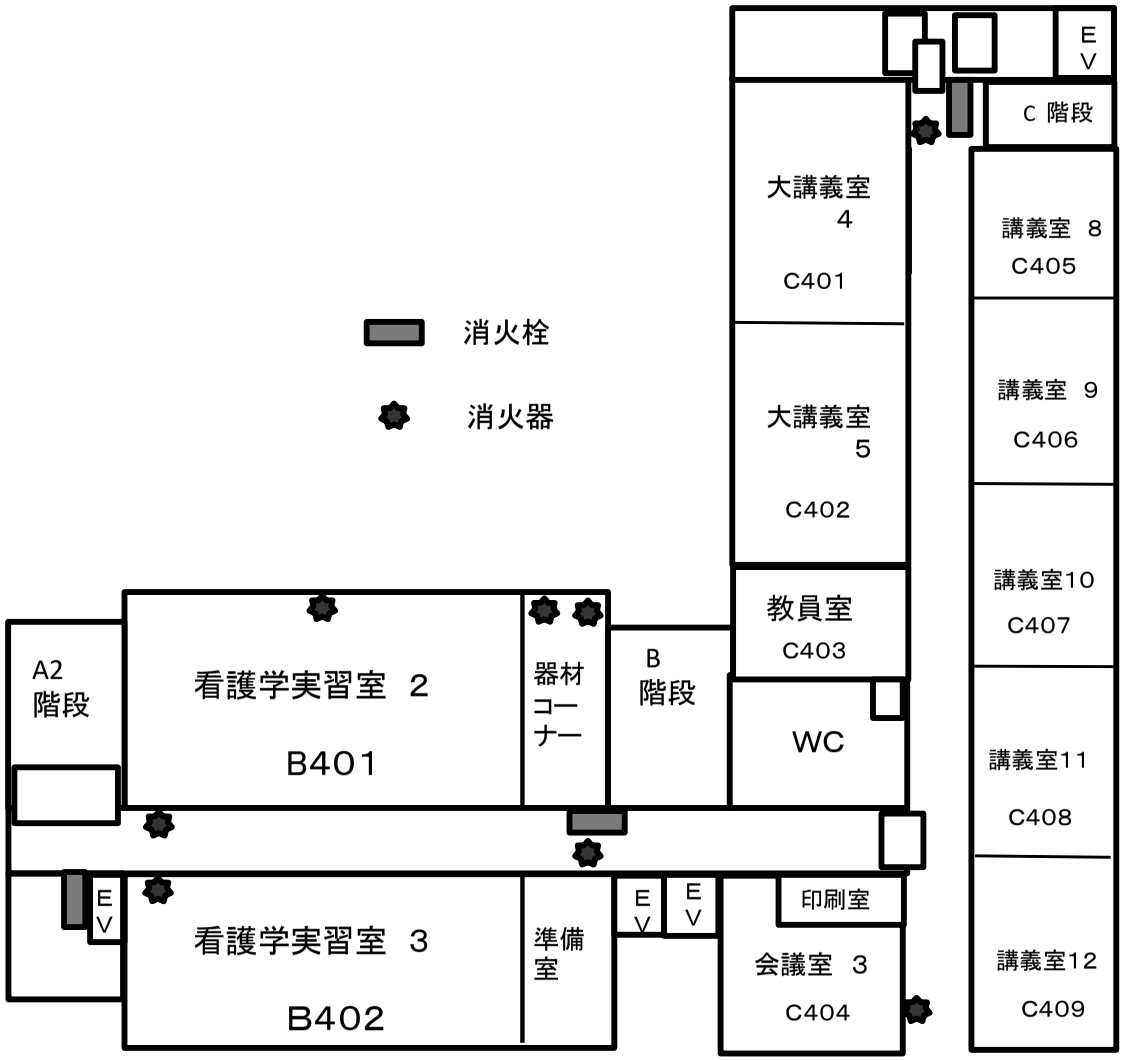
消火器・消火栓・火災報知機の配置図（日高キャンパス・保健医療学部棟）

３　階



消火器・消火栓・火災報知機の配置図（日高キャンパス・保健医療学部棟）

４　階

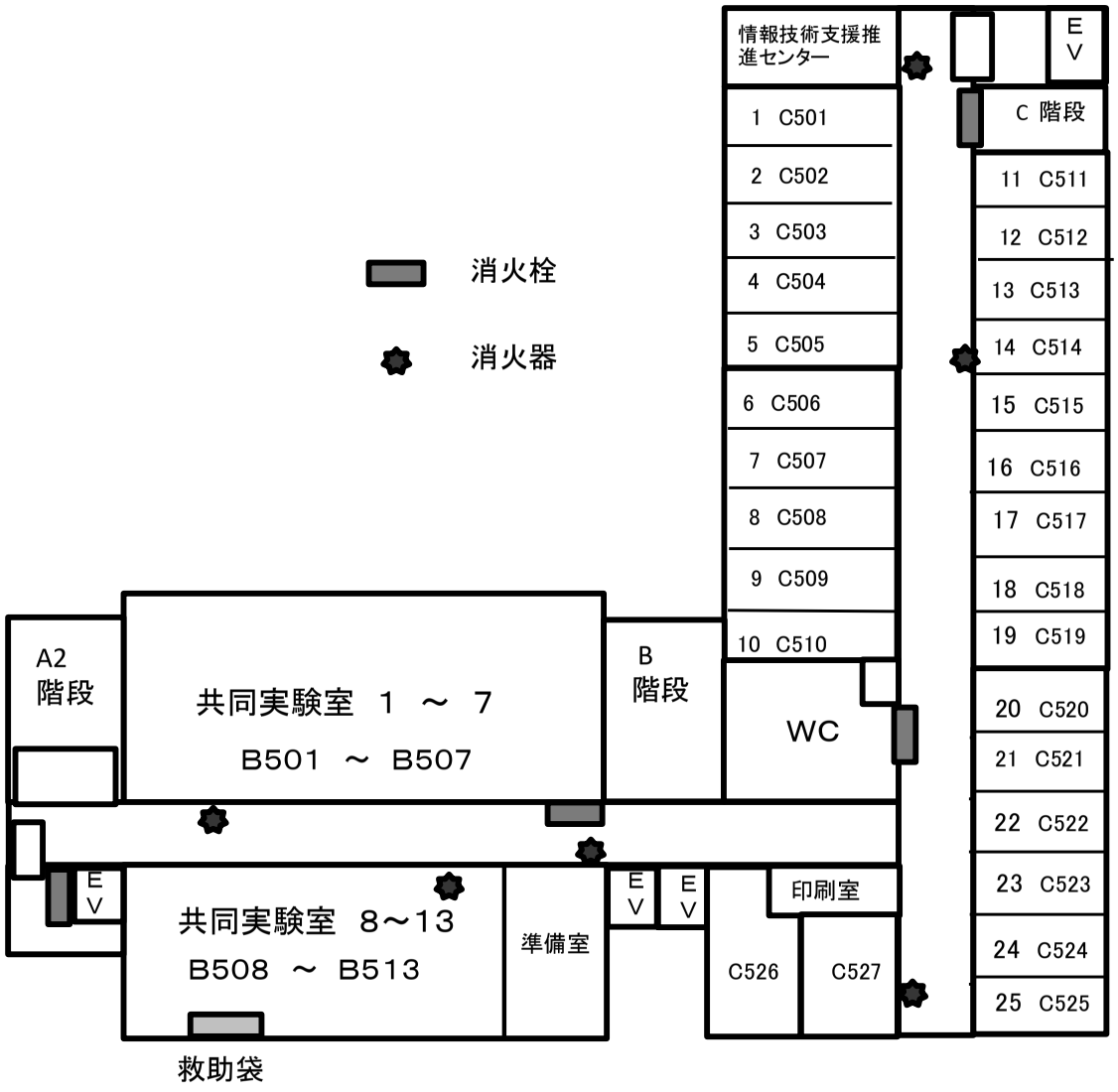


消火器・消火栓・火災報知機の配置図（日高キャンパス・保健医療学部棟）

５　階

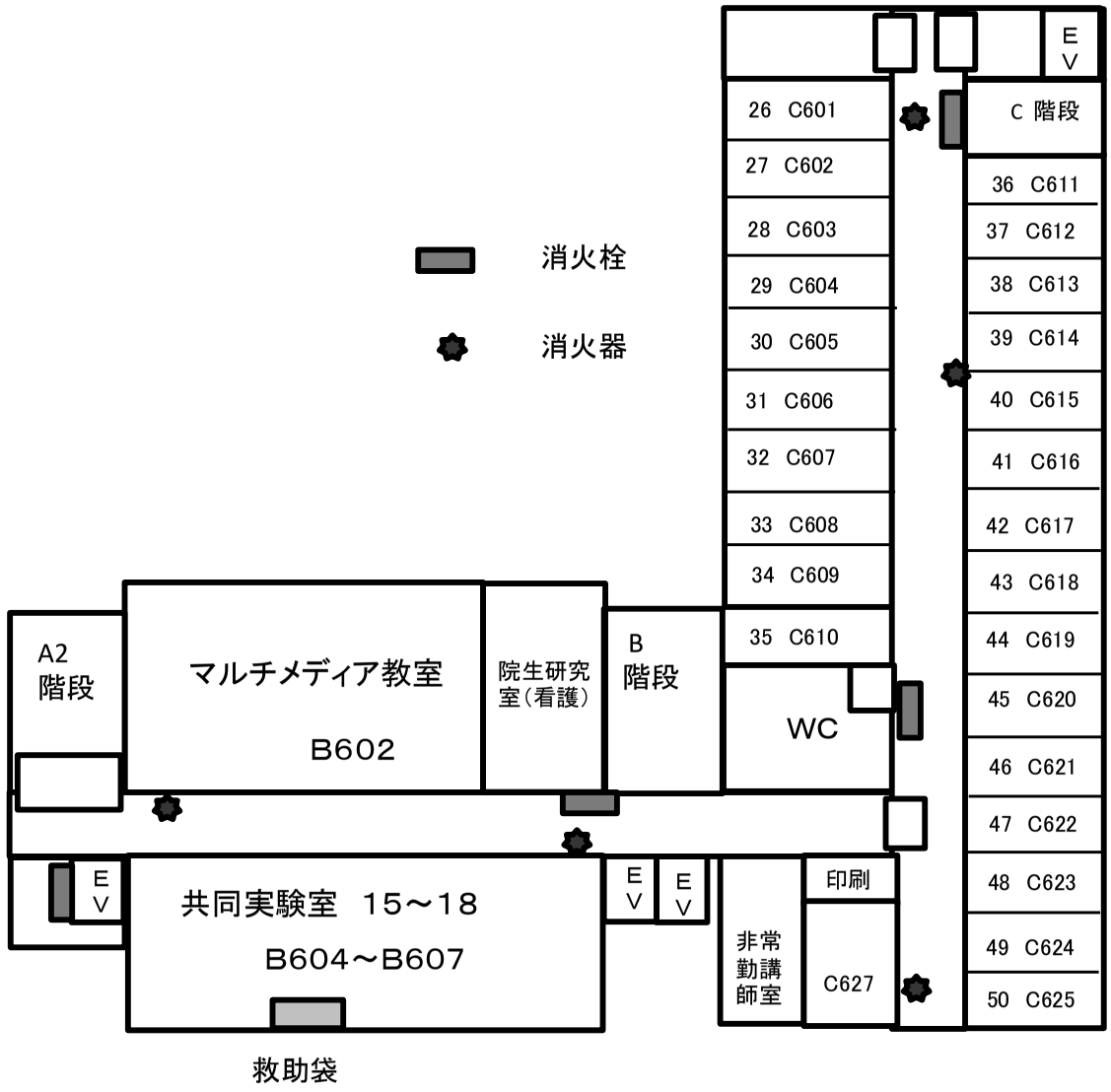
○共同実験室の区分

1	B501	培養・化学分析室
2	B502	生化学
3	B503	オプトメカトロニクス
4	B504	生体システム工学
5	B505	臨床光学
6	B506	脳情報工学
7	B507	レーザー医学
8	B508	工作室
9	B509	安全工学
10	B510	電気・電子回路
11	B511	分子生物・遺伝子系
12	B512	形態病理系
13	B513	生理機能系



消火器・消火栓・火災報知機の配置図（日高キャンパス・保健医療学部棟）

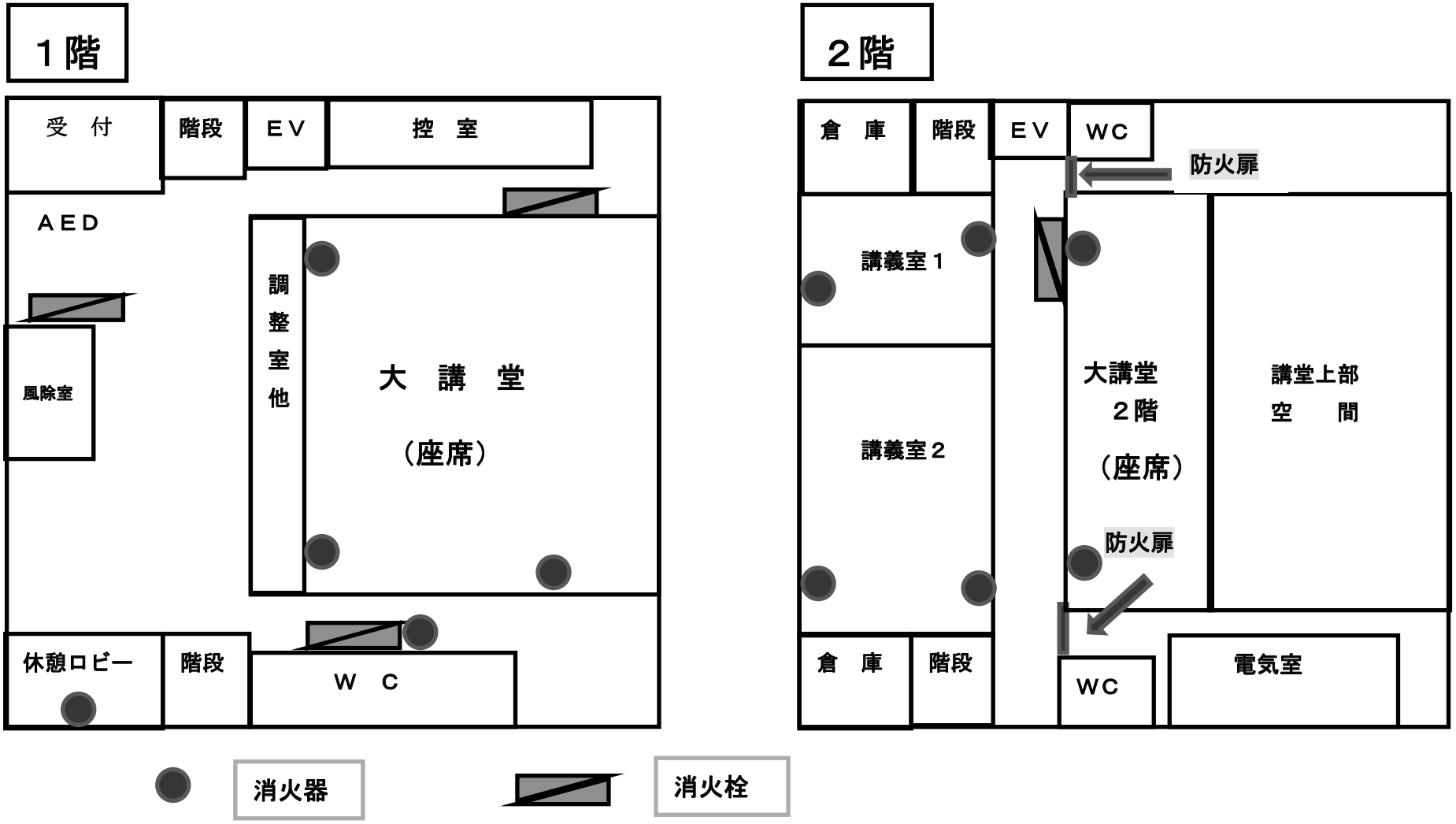
６　階



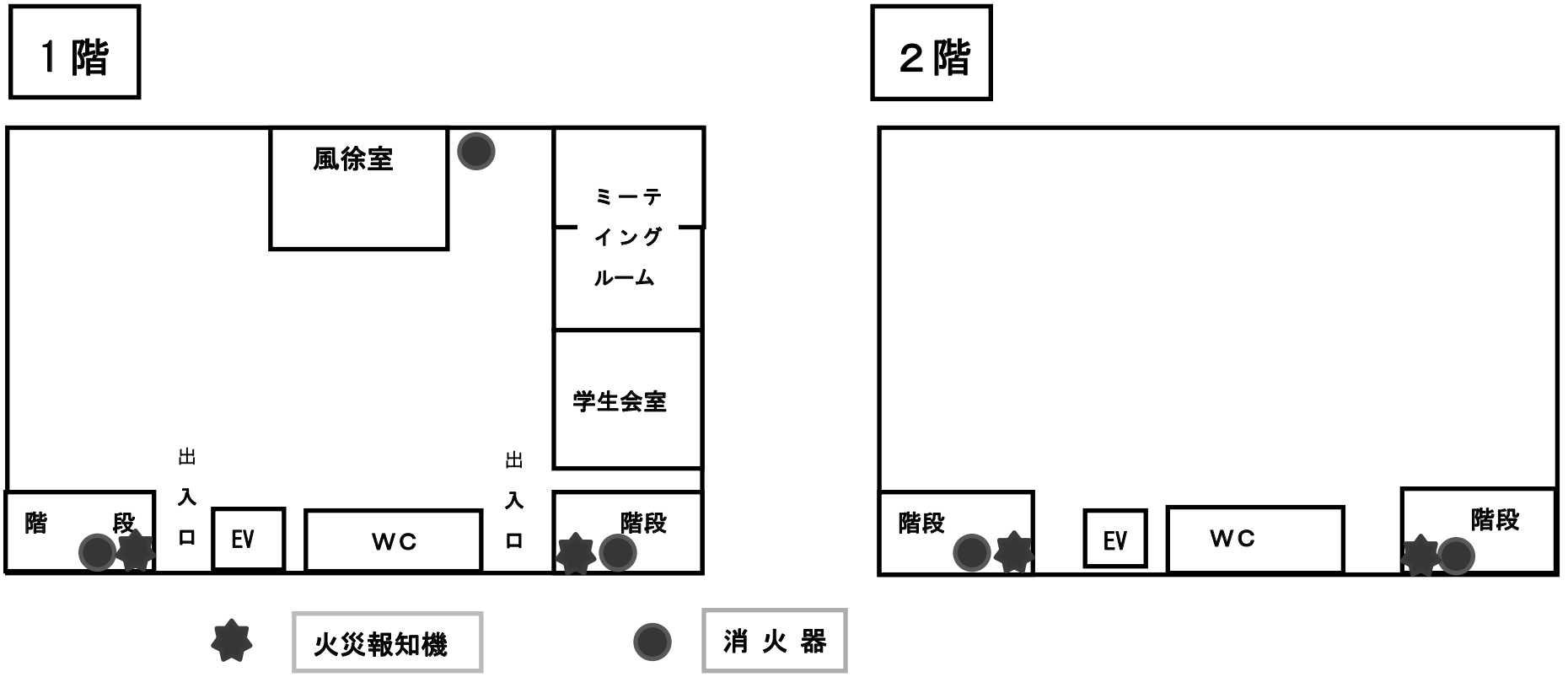
○共同実験室の区分

15	B604	動物実験室
16	B605	微生物・感染防御系
17	B606	生化学・臨床化学、免疫・血液・食品・環境系
18	B607	看護学

消火栓・消火器・火災報知機の配置図（日高キャンパス・創立 30 周年記念講堂）



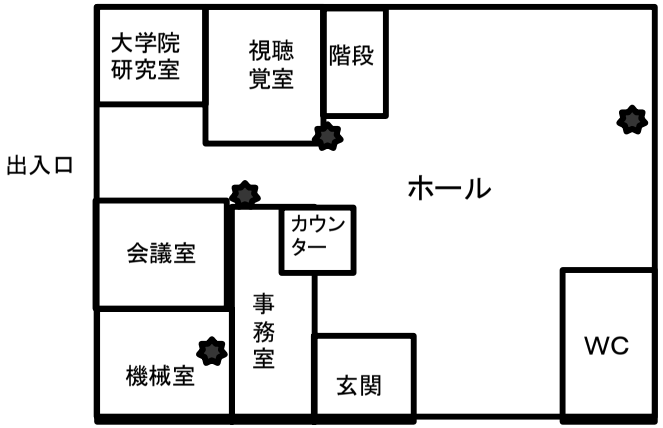
消火器・火災報知機の配置図（日高キャンパス・オスラーホール）



※　オスラーホールには屋内消火栓は設置されていない。

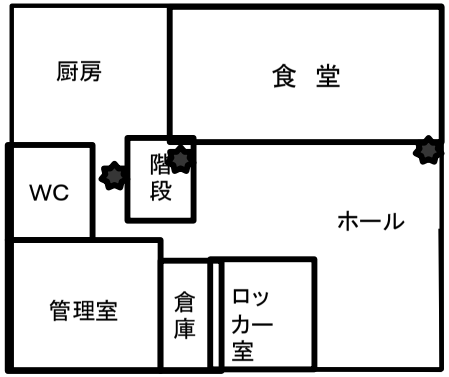
消火器・消火栓・火災報知機の配置図 （川角キャンパス）

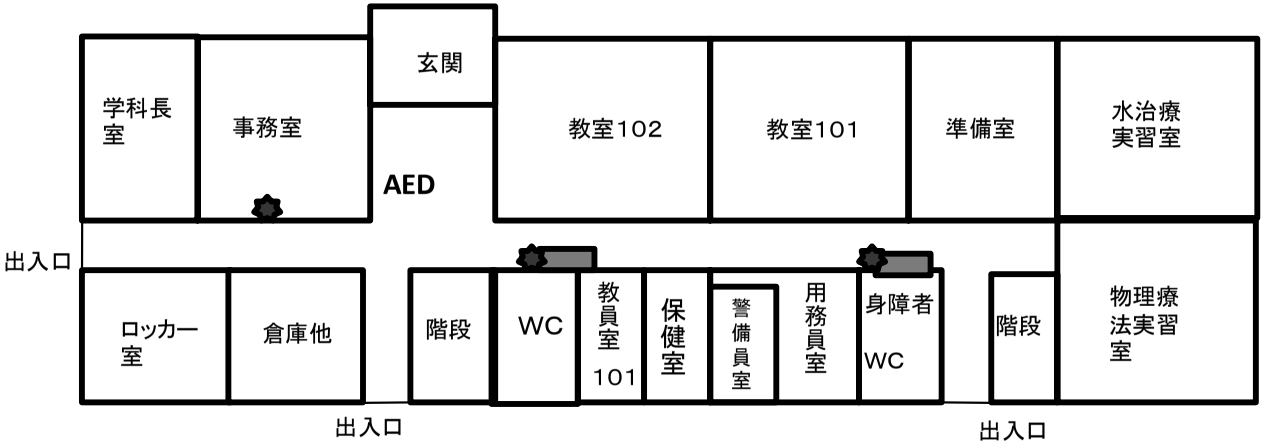
1 階



図書館

校舎





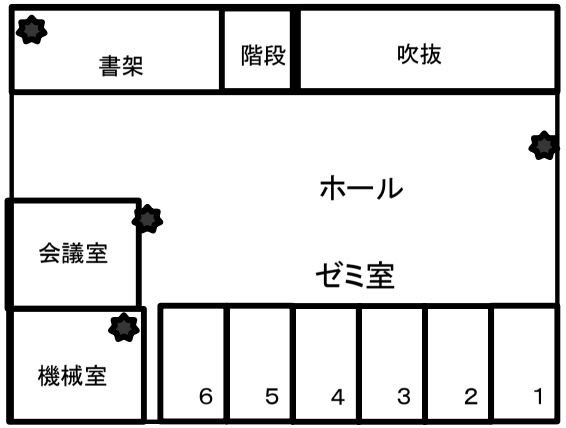
食堂棟

消火器・消火栓・火災報知機の配置図 （川角キャンパス）

２ 階

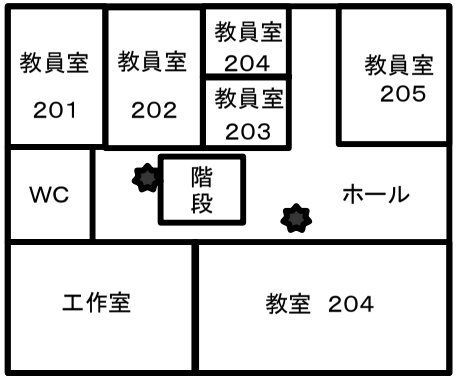
消火栓

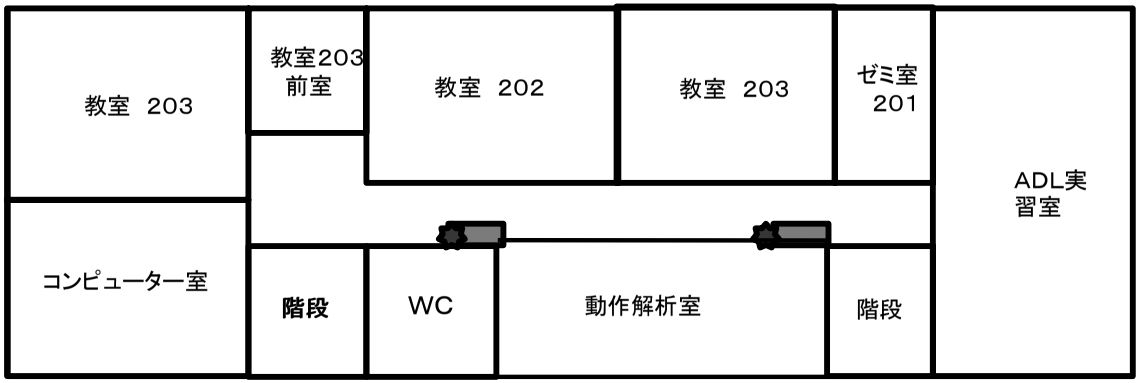
消火器



図書館

校舎

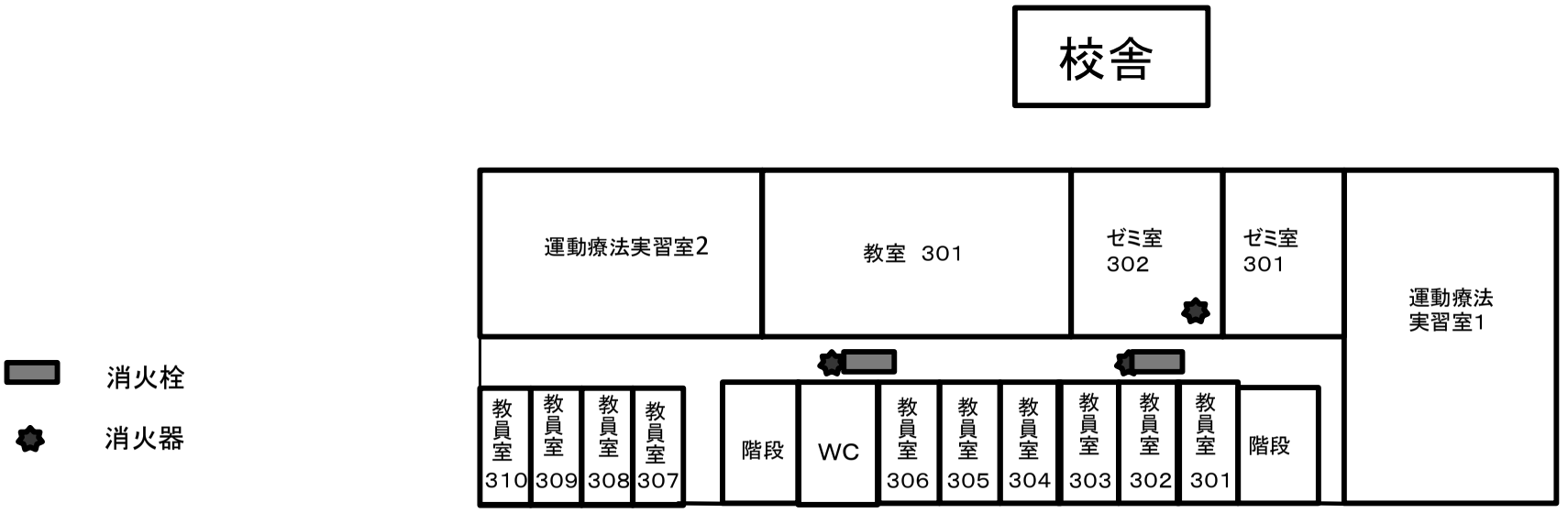




食堂棟

消火器・消火栓・火災報知機の配置図 （川角キャンパス）

３ 階



その他

学校法人埼玉医科大学個人情報保護規程

（平成 17 年 3 月 26 日制定）
改正 平成 17 年 11 月 26 日 平成 18 年 3 月 25 日
平成 19 年 3 月 24 日 平成 29 年 3 月 25 日
平成 31 年 3 月 23 日

第１章　総則

（目的）

第１条　この規程は、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）（以下「個人情報保護法」という。）に基づき学校法人埼玉医科大学（以下「法人」という。）が取り扱う個人情報の適切な保護のための項目を定め、役員をはじめとする全ての従事者がその業務内容に応じた個人情報の適正な取扱いを確保することを目的とする。

（個人情報保護方針）

第２条　法人の個人情報保護方針については、別紙１のとおり定める。

2　法人が開設する医療機関における患者個人情報保護方針については、別紙 2 のとおり定める。

（用語の定義）

第３条　この規程において用語の定義は、下記のとおりとする。

(1)　個人情報

「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるものを含む。）をいう。

(2)　本人

「本人」とは、個人情報によって識別される特定の個人をいう。

(3)　最高責任者

「最高責任者」とは、法人の個人情報保護体制を統括する最高の責任者をいう。

(4)　従事者

「従事者」とは、法人において業務に従事する役員、教職員、派遣労働者及びアルバイト等全てをいう。

（適用範囲）

第４条　この規程は、コンピュータ・システムにより処理されているか否か、及び書面に記載されているか否かを問わず、法人内において取り扱われるすべての個人情報を対象とする。

（法令及びその他の規範の遵守）

第５条　従事者は、個人情報保護法をはじめ法令及びその他の規範を遵守する。

また、法人の関連規程である学校法人埼玉医科大学倫理綱領(平成 15 年 3 月 22 日制定)、学校法人埼玉医科大学就業規程(昭和 53 年 4 月 1 日制定。以下「就業規程」という。)、学校法人埼玉医科大学危機管理規程(平成 14 年 11 月 30 日制定)、学校法人埼玉医科大学情報資産管理規程(平成 28 年 11 月 26 日制定)、埼玉医科大学病院電子診療録運用管理規程(平成 17 年 3 月 26 日制定)、埼玉医科大学総合医療センター電子診療録運用管理規程(平成 17 年 3 月 26 日制定)、埼玉医科大学国際医療センター電子診療録運用管理規程(平成 18 年 11 月 25 日制定)等を理解し遵守する。

(部門)

第６条　法人における個人情報保護に関する部門の区分は、次のとおりとする。

(1)　学生部門

(2)　患者部門

(3)　教職員部門

(4)　その他部門

(体制及び責任)

第７条　法人の個人情報保護体制は、最高責任者を理事長とし、次の責任者を部門ごとに置くものとする。

①　個人情報保護責任者

②　教育責任者

③　苦情対応責任者

④　監査責任者

⑤　必要に応じてこの他の責任者

第８条　前条に規定する責任者の責務は、次のとおりとする。

(1)　最高責任者

①　最高責任者は、法人の個人情報保護体制の効果的な運用を図るために、この規程をはじめ関係法令及び法人の関連規程等をすべての部門に徹底させる。

②　最高責任者は、個人情報保護体制の実施及び管理に必要な措置を講ずる。

③　最高責任者は、各部門の個人情報保護責任者を任命し、責任と権限を明確にして業務を行わせる。

(2)　個人情報保護責任者

①　個人情報保護責任者は、この規程を理解し遵守するとともに、従事者にこれを理解させ遵守させるための教育訓練、安全対策の実施及び周知徹底等の措置を実施する責任を負う。

②　個人情報保護責任者は、前項の責務を果たすため、各部門の教育責任者、苦情対応責任者及び監査責任者を指名する。

③　個人情報保護責任者は、必要に応じてこの他の責任者を指名する。

(3)　教育責任者

教育責任者は、この規程を理解し遵守するとともに、個人情報に関連のある業務に関わる従事者にこの規程を遵守させるための教育訓練を企画・運営する責任を負う。

(4)　苦情対応責任者

苦情対応責任者は、この規程を理解し遵守するとともに、学生、患者、教職員等からの個人情報に係わる問い合せ・苦情を受け付けて対応し、相談内容を分析して再発防止等を検討してこの規程の運営に反映させる責任を負う。

(5)　監査責任者

監査責任者は、この規程をはじめ関連規程を理解し遵守するとともに、定期的にこれらの規程が適切かつ有効に実施されているかを評価し確認する責任を負う。

(個人情報の利用目的の特定)

第９条　個人情報の利用目的は、法人の正当な業務の範囲で部門毎に明確に定め、できる限り具体的に特定する。

(取得に際しての利用目的等の通知)

第１０条　個人情報を取得し、ホームページ等で公表する場合は、事前に本人に通知し、同意を得ること。

2　その他個人情報をホームページ等で利用する場合の詳細については、部門毎に定める。

(個人情報の収集と利用の原則)

第１１条　個人情報の収集は、適法かつ公正な手段によって行うこと。

また、個人情報の取得と利用は、利用目的の達成に必要な範囲内で行うこと。

(特定の機微な個人情報の取得、利用及び提供の禁止)

第１２条　次に示す社会的差別を助長するような内容を含む個人情報の収集、利用又は提供を行ってはならない。ただし、診療部門においては、適切で迅速な医療を提供する目的で、当該医療機関の個人情報保護に関する規定あるいは厚生労働省の定める指針に準拠して、その取り扱いに十分配慮しつつ収集、利用することとする。

①　思想、信条及び宗教に関する事項

②　人種、出身地、生活習慣、嗜好、疾患既往歴、健康状態、犯罪歴、その他社会的差別の原因となる事項

③　勤労者の団結権、団体交渉及びその他団体行動の行為に関する事項

④　集団示威行為への参加、請願権の行使及びその他の政治的権利の行使に関する事項

ただし、これらの取得、利用又は提供について、本人の明確な同意、法令に特別の規定がある場合及び司法手続き上必要不可欠である場合はこの限りではない。

(提供の制限)

第１３条　個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供してはならない。

ただし、本人の求めに応じて当該本人が識別される個人情報の第三者への提供を停止することとしている場合であって、次に掲げる事項について、あらかじめ本人に通知し、又は本

人が容易に知り得る状態においているときは、当該個人データを第三者に提供することができる。

① 第三者への提供を利用目的とすること

② 第三者に提供されるデータの項目

③ 第三者への提供の手段又は方法

④ 本人の求めに応じて当該本人が識別される個人情報の第三者への提供を停止すること

(個人情報の委託処理に関する措置)

第１４条 部門によって、業務の一部を外部委託する等のため個人情報をその委託先に預託する場合は、十分な情報セキュリティ水準を確保できる業者を選定すること。

2 前項で選定した委託業者とは、契約により、法人の指示の遵守、個人情報に関する秘密の保持、再委託に関しての事項及び事故時の責任分担等を担保するとともに、当該契約書等の書面又は電子的記録を個人情報の保存期間にわたり保存するものとする。

3 前項の再委託に関しての事項では、委託業者による再委託は原則禁止とし、必要な場合は法人の承諾を得る旨を盛り込むこと。

(個人情報に関する本人の権利)

第１５条 本人又はその代理人(未成年者又は成年被後見人の法定代理人及び開示等の求めをすることにつき本人が委任した代理人に限る。)から自己の情報について開示を求められた場合は、原則として合理的な期間内にこれに応ずること。

2 開示の結果、誤った情報があった場合で、訂正又は削除を求められた場合には、合理的な期間内にこれに応ずるものとし、訂正又は削除を行った場合には、可能な範囲内で当該個人情報の受領者に対して通知を行うこと。

3 法人が既に保有している個人情報について、本人から自己の情報についての利用又は第三者への提供を拒まれた場合は、合理的な期間内にこれに応ずること。

(個人情報の正確性の確保)

第１６条 個人情報は、利用目的に応じ必要な範囲内において、正確かつ最新の状態で管理すること。

(個人情報利用時の安全性の確保)

第１７条 個人情報に関するリスク(個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えい等)に対して、技術面及び組織面において合理的な安全対策を、部門ごとに講ずるものとする。

2 電子的に処理される個人情報のリスクに対しての遵守事項は、下記のとおりとする。(電子的な処理とは、コンピュータやコンピュータネットワークなどの電子機器を用いた情報の入力、出力、処理、管理及び通信を指す。)

(1) コンピュータを用いた電子的な処理について

① コンピュータの起動時(あるいは操作開始時)にパスワードを要求する設定にし、パスワードを厳重に管理する。

② 「①」が実現できない場合は、個人情報を内蔵のハードディスクに保存しない。外部媒体(ＦＤ、ＭＯ、外付けＨＤ等)に保存し、鍵のかかる場所に保管する。

③ 「①」及び「②」が実現できない場合は、従来の印刷物と同様にコンピュータを十分な管理下に置き、個人情報を安全に運用・管理する。

(2) コンピュータネットワーク(以下「学内ＬＡＮ」という。)を用いた電子的な処理について

① 学内ＬＡＮの管理者は、学外・学内からのネットワークを経由した個人情報への不正なアクセスを防ぐための十分な対策を行わなければならない。具体的にはファイアーウォールの設置と的確な運用、学内ＬＡＮへの不正な接続の防止など。

② 学内ＬＡＮを利用したシステムの管理者は、ネットワークを経由した個人情報への不正なアクセスを防ぐための十分な対策を行わなければならない。具体的にはシステム利用のパスワードの厳重な管理など。

③ 学内ＬＡＮの利用者は、個人情報を含むデータを学内ＬＡＮを経由して送信する場合は、その内容を簡単には解読されない程度に暗号化しなければならない。

④ 学内ＬＡＮの利用者は、あらかじめ本人の同意を得た場合を除き、個人情報を含むデータを学外に公開又は送信してはならない。

(個人情報の廃棄方法)

第１８条 個人情報を廃棄する場合、その方法は次のとおりとする。

(1) 書面に記載された個人情報は、破砕機による破砕、溶解又は焼却をする。

(2) 電子的に記録された個人情報は、記録媒体の破砕又は電子ファイルの完全消去(再利用不可能な方法)を徹底する。

(教育)

第１９条 すべての従事者は、教育責任者による個人情報保護に関する教育を受けなければならない。

2 教育には、下記の事項を含むこととする。

① 個人情報保護の重要性及び利点

② 個人情報保護のための役割及び責任

③ 本マニュアルや関連法令の規定に違反した際に予想される結果と処理

3 研修の内容及びスケジュールは、毎年教育責任者が定め、最高責任者の承認を得ることとする。スケジュール及び実績は、「教育計画／実績表」に記載する。

(苦情及び相談)

第２０条 各部門毎に苦情対応責任者を置き、苦情及び相談を受け付けて対応する。

対応内容は、「苦情対応記録表」に記録する。

2 現行の個人情報保護管理方法に是正や予防措置が必要な場合は、苦情対応責任者は「是正・予防措置依頼書」を起票、個人情報保護責任者に提出し指導を得て対策を講ずる。

(監査の実施)

第２１条　監査責任者は、毎年監査を行い、「監査報告書」を作成し、部門ごとの個人情報保護責任者を経て最高責任者に提出する。

2　報告書に改善勧告が含まれていた場合、最高責任者は被監査部門に対し「改善計画書」の提出を命じるものとする。

3　改善計画書の提出を求められた被監査部門は、改善計画書に従って改善活動を行わなければならない。

4　監査責任者は、改善計画書の作成支援、改善活動のフォローアップを行なうとともに、改善状況を部門ごとの個人情報保護責任者を経て最高責任者に報告する。

第２章　学生部門

（所管部署）

第２２条　個人情報保護に関する学生部門の所管部署は、次のとおりとする。

(1)　医学部、大学院、保健医療学部　　大学事務部

(2)　短期大学　　短期大学事務部

(3)　看護専門学校　　看護専門学校事務室

（関連規程）

第２３条　学生部門における個人情報保護に関する規程類は、別に定める。

第３章　患者部門

（所管部署）

第２４条　個人情報保護に関する患者部門の所管部署は、次のとおりとする。

(1)　大学病院　　医務部

(2)　総合医療センター　　総合医療センター医務課

(3)　かわごえクリニック　　かわごえクリニック事務室

(4)　国際医療センター　　国際医療センター医務課

(5)　訪問看護ステーション　　訪問看護ステーション事務室

(6)　総合医療センター訪問看護ステーション　　総合医療センター訪問看護ステーション事務室

（関係諸規程等）

第２５条　患者部門における個人情報保護に関する諸規程については、別に定める。

第４章　教職員部門

（所管部署）

第２６条　個人情報保護に関する教職員部門の所管部署は、総務部とする。

（関連規程）

第２７条　教職員部門における個人情報保護に関する規程類は、別に定める。

第５章　その他部門

（所管部署）

第２８条　個人情報保護に関して、学生部門、患者部門、教職員部門以外に法人が関与する諸団体や関係先等についての所管部署は、それぞれの事務局とする。

（関連規程）

第２９条　その他部門における個人情報に関する規程類は、法人の関連規程類を準用するとともに、それぞれ必要に応じて別に定めるものとする。

第６章　雑則

（罰則）

第３０条　この規程に故意に違反した者、あるいは自らの職務を適正に遂行していれば違反を知り得た教職員は、就業規程及び学校法人埼玉医科大学賞罰委員会規程（平成 11 年 3 月 20 日制定）に基づき懲戒の対象となる。

附　則

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 17 年 11 月 26 日）

この規程は、平成 17 年 11 月 26 日から施行し、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。

附　則（平成 18 年 3 月 25 日）

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 19 年 3 月 24 日）

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 29 年 3 月 25 日）

この規程は、平成 29 年 3 月 25 日から施行する。

附　則（平成 31 年 3 月 23 日）

この規程は、平成 31 年 3 月 23 日から施行する。

別紙１（第２条関係）

個 人 情 報 保 護 方 針

１．本法人は、個人情報を取り扱う部門毎に個人情報保護責任者を置き、個人情報の適切な管理に努めます。

２．本法人は、個人情報の取り扱いに関し、その利用目的を予め特定し、公表又は通知いたします。

３．本法人が取得した個人情報は、業務上の目的以外には一切利用いたしません。

４．本法人が個人情報の取り扱いを外部に委託する際は、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等により委託先においても個人情報の安全管理、秘密保持、再委託の禁止等、適切な管理を実施させます。

５．個人情報を関係先等と共同利用する際は、①共同利用する個人データ項目　②共同利用者　③共同利用の目的　④個人情報の管理について責任を有する者を予め公表又は通知いたします。

６．本法人が保有する個人情報は、下記の場合を除き、本人の同意がない限り、第三者に開示・提供しません。

・法令に基づく場合

・人の命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。

・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために、特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。

・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受け、法令の定める事務を遂行することに対して、協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼす恐れがあるとき。

７．本法人は、本法人が保有する個人情報を本法人の厳正な管理の下で保管し、目的達成後適当な時期に安全に返還又は消去します。

８．本法人は、本法人が保有する個人情報を適切かつ合理的なレベルの安全対策を実施することにより、個人情報への不正な進入、個人情報の紛失、改ざん、漏えいなどの危険防止に努めます。

９．本法人は、個人情報保護に関する法令その他の規範を遵守します。

１０．本法人は、個人情報保護体制を継続的に見直し、その改善に努めます。

１１．この方針は、本法人の全従事者に周知、徹底させます。

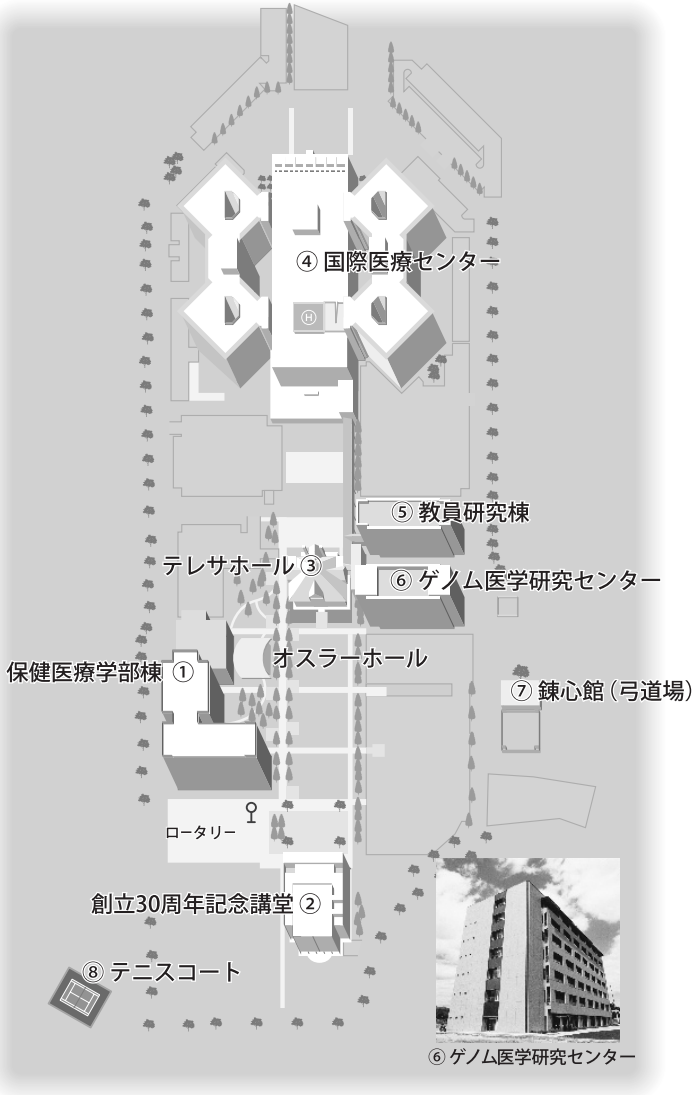
１２．本法人は、本法人の全従事者に対し適切な教育を実施し、個人情報保護意識の高揚を図ります。

平成１７年４月１日

学校法人埼玉医科大学

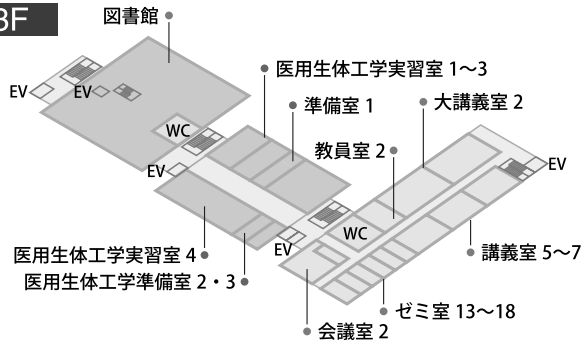
理事長　丸　木　清　之

日高キャンパス案内図

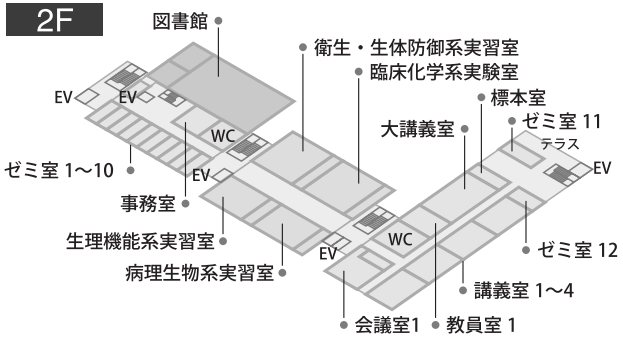


〈保健医療学部棟フロア紹介〉

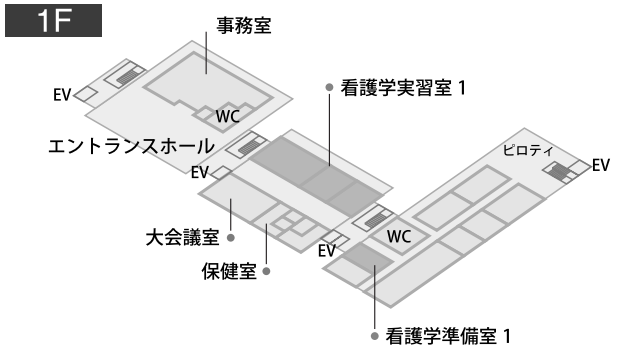
3F



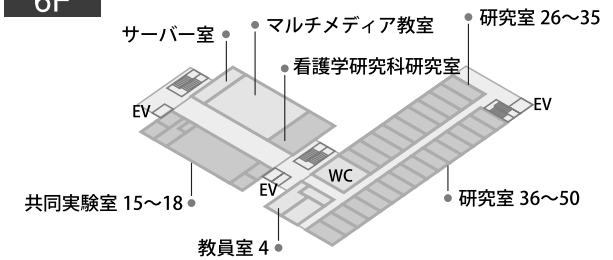
2F



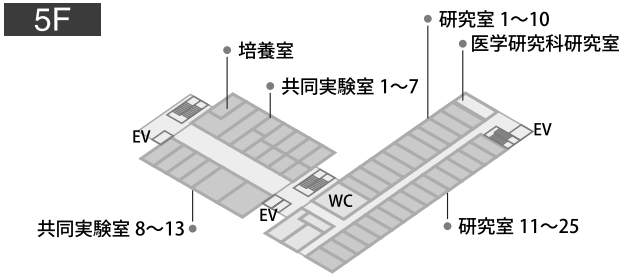
1F



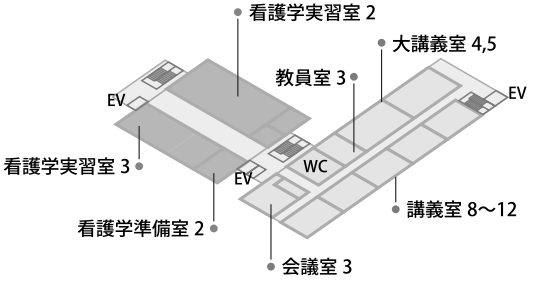
6F



5F



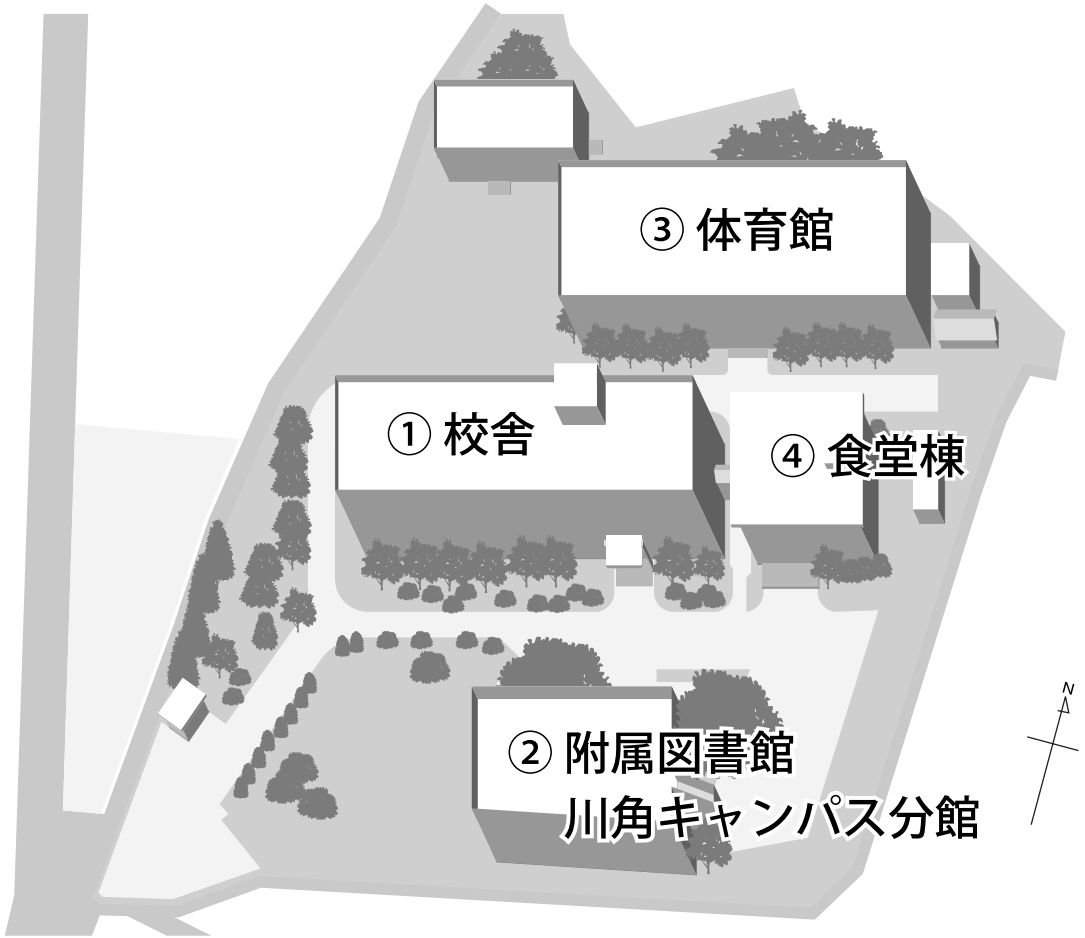
4F

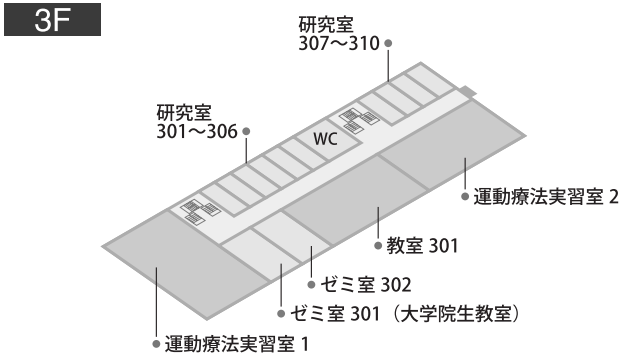


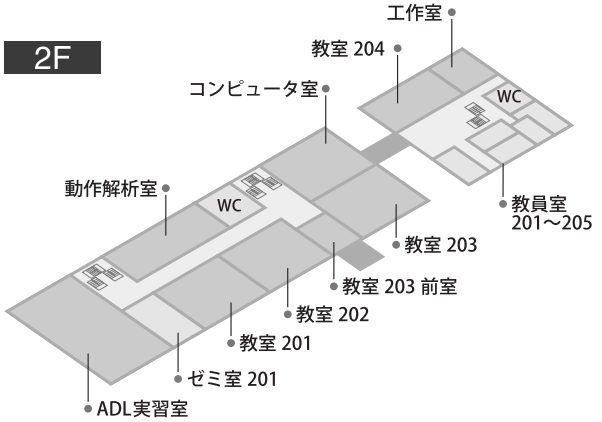
埼玉医科大学保健医療学部
2010.7

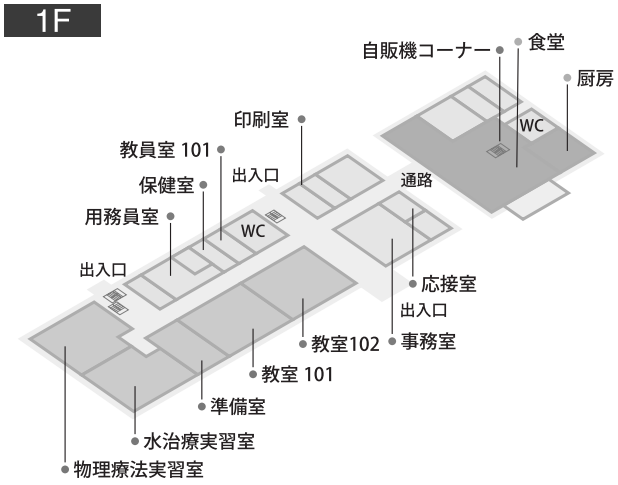
川角キャンパス案内図

〈理学療法学科〉









埼玉医科大学保健医療学部

2010.7

緊急連絡先

◎犯罪の場合　　１１０（飯能警察署　042-972-0110）

◎火災や負傷者の救護の場合　　１１９（埼玉西部広域消防本部　042-973-9119）

◎日高キャンパス内の連絡先

（火災の場合）　防火センター　042-984-4119（内線 7119）

（犯罪等の場合）　警備センター　042-984-4110（内線 7110）

◎大学の連絡先

保健医療学部事務室　　042-984-4801（内線 3010）